

かつらぎ町アンケート調査結果

令和8年1月

目次

1.	住民アンケート調査	1
(1)	調査概要	1
(2)	町民アンケート調査結果	5
①	個人属性	5
②	運転免許証や自動車の保有について	8
③	普段の外出について	11
④	公共交通の利用状況について	19
⑤	送迎について	33
⑥	デマンド乗合交通「かつらいど」の実証実験について（花園地域除く）	47
⑦	自由意見	51
2.	高校生アンケート調査	65
(1)	調査概要	65
(2)	高校生アンケート調査結果	66
①	個人属性	66
②	普段の登下校の状況	69
③	公共交通等の利用状況・満足度	74
④	保護者の送迎状況（最も多く送迎してもらうパターン）	79
⑤	新たな交通手段（デマンド乗合交通「かつらいど」）について	81
⑥	公共交通に対する改善要望	82
(3)	保護者アンケート調査結果	84
①	送迎状況	84
②	公共交通に対する改善要望	91
③	新たな交通手段（デマンド乗合交通「かつらいど」）について	93
3.	民生児童委員・サロン代表者アンケート調査	95
(1)	調査概要	95
(2)	民生児童委員・サロン代表者アンケート調査結果	97
①	担当地区名	97
②	日常生活での移動について	98
③	普段利用する医療施設や商業施設	102
④	公共交通や移動に関する要望・意見	106
⑤	運転免許証の状況や免許返納	112
⑥	自由意見	116

1. 住民アンケート調査

(1) 調査概要

調査のねらい	統計データで把握しきれない、町民の移動実態や移動に関する問題点、ニーズの把握
調査期間	令和7年9月
調査対象	かつらぎ町民（無作為抽出）
配布・回収方法	配布方法：郵送配布 2,912部 ※河北地域・河南地域・花園地区には1世帯2部配布 回収方法：郵送回収、Web回答
回収率・回収数	回収率：37.1%（郵送32.2% Web4.9%） 回収数：1,080部（郵送937部 Web143部） 【内訳】 A.都市活動エリアにお住まいの方 50.7%（回収550部/配布1,084部） B-1.河北地域にお住まいの方 25.2%（回収159部/配布632部） B-2.河南地域にお住まいの方 29.0%（回収268部/配布924部） C.花園地域にお住まいの方 32.0%（回収87部/配布272部） ※地区無回答16部
主な質問項目	① 個人属性 ② 運転免許証や自動車の保有について ③ 普段の外出について ④ 公共交通の利用状況について ⑤ 送迎について ⑥ デマンド乗合交通の実証実験について（花園地域は除く） ⑦ 自由意見
地域内訳 ※各エリア・地域は右記の地区で設定しております。計画区域の地域区分とは多少誤差がございます。	【都市活動エリア】 笠田地区／妙寺地区（丁ノ町・新田・妙寺・中飯降・西飯降） 大谷地区／見好地区（西渋田・東渋田・平沼田） 三谷地区（山崎・三谷・兄井・寺尾） 【河北地域】 妙寺地区（短野・大畑）／四郷地区 【河南地域】 見好地区（宮本）／三谷地区（教良寺）／四邑地区／天野地区 志賀地区／新城地区 【花園地域】

かつらぎ町民のお出かけに関するアンケート調査票 AB

1. あなたの自身のことについて(いずれか1つに○)

① 居住地区
 1. 笠田地区 2. 妙寺地区(丁ノ町・新田・妙寺・中瀬降・西瀬降)
 3. 妙寺地区(短野・大畑) 4. 大谷地区 5. 四郷地区
 6. 見好地区(西流田・東流田・平沼田) 7. 見好地区(宮本)
 8. 三谷地区(山崎・三谷・兎井・寺尾) 9. 三谷地区(教良寺)
 10. 四色地区 11. 天野地区 12. 志賀地区
 13. 新城地区 14. 花園地区

② 年齢
 1. 22歳以下 2. 23～29歳 3. 30代 4. 40代 5. 50代
 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

③ 性別
 1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

④ 職業等
 1. 会社員(正社員) 2. 会社員(契約・派遣社員) 3. 公務員
 4. 自営業・自由業 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦・主夫
 7. 学生 8. 無職 9. その他()

⑤ 同居家族の状況
 1. 一人暮らし 2. 配偶者のみ 3. 子ども世代と同居
 4. 孫世代と同居 5. その他()

⑥ 携帯電話の保有状況
 1. スマートフォンを持っている
 2. スマートフォン以外の携帯電話(ガラケーなど)を持っている
 3. 携帯電話(スマートフォン・ガラケーなど)を持っていない

2. 運転免許証や自動車の保有について

(1) 運転免許証の保有状況についてお答えください。(いずれか1つに○)

1. 自動車免許あり 2. 自動車(原付)免許あり
 3. 運転免許証を保有していることがない ⇒ **5. 普段の外出について**へお進みください
 4. 過去に運転免許証を持っていたが返納した ⇒ **5. 普段の外出について**へお進みください

(2) (1)で1,または2と回答した運転免許証を保有している方におたずねします。
 今後の運転について、お考えに最も近いものをお答えください。(いずれか1つに○)

1. 今後も運転を続けたい ⇒ あと()年程度は運転を続けたい
 2. 運転は続けるが、将来的には控えている 3. できる限り運転を控えている
 4. 運転免許証の返納を検討している 5. すでに運転していない

(3) 世帯の自動車保有状況についてお答えください(いずれか1つに○)。

1. 自分専用で使える車がある 2. 家族や他の人と共同して利用している車がある
 3. 保有していない

3. 普段の外出について

(1) 普段の外出で利用する主な移動手段をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 自動車(自分で運転) 2. 自動車(家族や知人による送迎) 3. 自動車・原付
 4. 自転車 5. JR 和歌山線 6. 一般乗用タクシー 7. コミュニティバス
 8. デマンド型乗合タクシー 9. 徒歩 10. その他()

(3) 利用しないと回答した理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

① JR 和歌山線
 1. 運行時間が合わない 2. 運行本数が少ない 3. 乗り場が遠い・不便
 4. 乗り方がわからない 5. 料金が安い 6. 乗り継ぎが不便
 7. その他()

② コミュニティバス
 1. 運行時間が合わない 2. 運行本数が少ない 3. 乗り場が遠い・不便
 4. 乗り方がわからない 5. 料金が安い 6. 乗り継ぎが不便
 7. その他()

③ デマンド型乗合タクシー
 1. 運行時間が合わない 2. 運行本数が少ない 3. 乗り場が遠い・不便
 4. 乗り方がわからない 5. 料金が安い 6. 乗り継ぎが不便
 7. その他()

5. 送迎について

(1) 送迎の状況をお答えください。(いずれか多いもの1つに○)

1. 家族や知人に送迎をしてもらう ⇒ (2)へお進みください
 2. 自分で運転して家族や知人を送迎している ⇒ (7)へお進みください
 3. 送迎をしていないし、してもらっていない ⇒ **6. デマンド型乗合交通の実証実験について**へお進みください

(2) 送迎をしてもらう方をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者 2. 親 3. 子ども 4. 近隣の住民の方
 5. 友人・知人 6. その他()

(3) 送迎をしてもらう頻度をお答えください。(いずれか1つに○)

1. ほぼ毎日 2. よくある(週3回以上) 3. 週1回～2回程度
 4. 時々ある(月数回程度) 5. たまにある(年数回程度)

(4) 送迎をしてもらう主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 公共交通が利用できない・不便 2. 運転免許証を持っていない
 3. 身体的な理由で運転ができない 4. 荷物が多し時 5. 夜間・早朝の移動
 6. 悪天候の時 7. 緊急時 8. その他()

(5) 送迎をもらう移動の主な目的をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 買い物 2. 通院 3. 通学・通学 4. 金融機関 5. 塾や習い事
 6. 友人・知人との交流 7. 趣味・娯楽活動 8. その他()

(6) 送迎してもらうことについて、申し訳なく感じていますか。(いずれか1つに○)

1. 全く感じている 2. あまり感じている 3. やや感じる 4. 大いに感じる
 ⇒ **6. デマンド型乗合交通の実証実験について**へお進みください

(7) 自分で運転して送迎している対象をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者 2. 親(実親・義理の親を含む) 3. 子ども(高校生以下)
 4. 子ども(大学生以上) 5. 孫(高校生以下) 6. 孫(大学生以上)
 7. 近隣の住民の方 8. 友人・知人 9. その他家族()

(2) 主な外出目的と頻度をお答えください。(それぞれについていずれかの数字1つに○)

目的	週6日以上	週3～5日	週1～2日	月1～3日	月1日未満	行かない
① 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5	6
② 通院	1	2	3	4	5	6
③ 友人・知人との交流	1	2	3	4	5	6
④ 趣味・娯楽活動	1	2	3	4	5	6

(3) 主な外出時間帯をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 早朝(6～8時) 2. 午前(8～12時) 3. 午後(12時～17時)
 4. 夕方以降(17時以降)

(4) 外出で困っていることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 移動手段がない・少ない 2. 目的地まで直接行けない 3. 時間が合わない
 4. 料金が安い 5. 乗換が大変 6. デマンド乗合交通の予約方法がわからない・面倒
 7. 荷物を持っての移動が大変 8. 身体的な負担が大きい
 9. 外出先への移動手段を調べる方法がわからない 10. 特につまらない
 11. その他()

4. 公共交通の利用状況について

(1) 過去1年間の公共交通の利用頻度をお答えください。(それぞれについていずれかの数字1つに○)

公共交通	週6日以上	週3～5日	週1～2日	月1～3日	月1日未満	利用しない
① JR 和歌山線	1	2	3	4	5	6
② コミュニティバス	1	2	3	4	5	6
③ デマンド型乗合タクシー	1	2	3	4	5	6

(2) 各公共交通の総合的な満足度をお答えください。(それぞれについていずれかの数字1つに○)

公共交通	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
① JR 和歌山線	1	2	3	4	5
② コミュニティバス	1	2	3	4	5
③ デマンド型乗合タクシー	1	2	3	4	5

(1) の設問で①～③のいずれも「利用しない」と回答されなかった方
 ⇒ **5. 送迎について**へお進みください

(8) 送迎をする頻度をお答えください。(いずれか1つに○)

1. ほぼ毎日 2. よくある(週3回以上) 3. 週1回～2回程度
 4. 時々ある(月数回程度) 5. たまにある(年数回程度)

(9) 送迎をする主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 公共交通が利用できない・不便 2. 運転免許証を持っていない
 3. 身体的な理由で運転ができない 4. 荷物が多し時 5. 夜間・早朝の移動
 6. 悪天候の時 7. 緊急時 8. その他()

(10) 送迎をする移動の主な目的をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 買い物 2. 通院 3. 通学・通学 4. 金融機関 5. 塾や習い事
 6. 友人・知人との交流 7. 趣味・娯楽活動 8. その他()

(11) 送迎をする状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の運動のついでに送迎している 2. 買い物や用事のついでに送迎している
 3. 送迎のためだけに外出している 4. 送迎の時間に合わせて自分の予定を調整している
 5. その他()

(12) 送迎をすることについて、あなたは負担に感じていますか。(いずれか1つに○)

1. 全く感じている 2. あまり感じている 3. やや感じる 4. 大いに感じる

6. デマンド乗合交通の実証実験について (回答する方のみ) (回答する方のみ) (回答する方のみ)

(1) 10月から始まるデマンド乗合交通の実証実験についてご存じですか。(いずれか1つに○)

1. 詳しく知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らなかった

(2) デマンド乗合交通を利用してみたいですか。(いずれか1つに○)

1. ぜひ利用したい 2. 機会があれば利用したい 3. あまり利用したいと思わない
 4. 利用したいと思わない 5. わからない

(3) デマンド乗合交通に期待することはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅近くで乗降できる 2. スマホやWEB予約ができる 3. 運行時間の柔軟さ
 4. 荷物を持っての利用しやすさ 5. 特になし
 6. その他()

7. 自由意見

かつらぎ町の公共交通について、ご意見があれば自由に書かせてください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

図1 アンケート用紙 (A 都市活動エリア・B 河北地域・河南地域)

かつらぎ町民のお出かけに関するアンケート調査票 C

1. あなたの自身のことについて(いずれか1つに○)

① 居住地区

1. 笠田地区	2. 妙寺地区(丁ノ町・新田・妙寺・中飯降・西飯降)
3. 妙寺地区(短野・大畑)	4. 大谷地区
5. 見好地区(西水田・東水田・平沼田)	6. 見好地区(宮本)
7. 三谷地区(山崎・三谷・兎井・寺尾)	8. 三谷地区(教良寺)
9. 四郎地区	10. 天野地区
11. 志賀地区	12. 新成地区
13. 花園地区	

② 年齢

1. 22歳以下	2. 23~29歳	3. 30代	4. 40代	5. 50代
6. 60代	7. 70代	8. 80代以上		

③ 性別

1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
-------	-------	----------

④ 職業等

1. 会社員(正社員)	2. 会社員(契約・派遣社員)	3. 公務員
4. 自営業・自由業	5. パート・アルバイト	6. 専業主婦・主夫
7. 学生	8. 無職	9. その他()

⑤ 同居家族の状況

1. 一人暮らし	2. 配偶者のみ	3. 子ども世代と同居
4. 孫世代と同居	5. その他()	

⑥ 携帯電話の保有状況

1. スマートフォンを持っている
2. スマートフォン以外の携帯電話(ガラケーなど)を持っている
3. 携帯電話(スマートフォン・ガラケーなど)は持っていない

2. 運転免許証や自動車の保有について

(1) 運転免許証の保有状況についてお答えください。(いずれか1つに○)

1. 自動車免許あり	2. 自動車二輪・原付免許あり
3. 運転免許証を保有したことがない⇒ 8. 普段の外出についてへお進みください	
4. 過去に運転免許証を持っていたが返納した⇒ 8. 普段の外出についてへお進みください	

(2) (1)で1または2と回答した運転免許証を保有している方におたずねします。
今後の運転について、お考えに最も近いものをお答えください。(いずれか1つに○)

1. 今後も運転を続けたい⇒ あと()年程度は運転を続けたい
2. 運転は続けるが、将来的には控えない
3. できる限り運転を控えている
4. 運転免許証の返納を検討している
5. すでに運転していない

(3) 世帯の自動車保有状況についてお答えください。(いずれか1つに○)

1. 自分専用で使える車がある	2. 家族や他の人と共用している車がある
3. 保有していない	

3. 普段の外出について

(1) 普段の外出で利用する主な移動手段をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 自動車(自分で運転)	2. 自動車(家族や知人による送迎)	3. 自動車二輪・原付
4. 自転車	5. JR和歌山線	6. 一般乗用タクシー
7. コミュニティバス	8. デマンド型乗合タクシー	9. 徒歩
10. その他()		

(3) 「利用しないと回答した理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

① JR和歌山線

1. 運行時間が合わない	2. 運行本数が少ない	3. 乗り場が遠い・不便
4. 乗り方がわからない	5. 料金が高い	6. 乗り継ぎが不便
7. その他()		

② コミュニティバス

1. 運行時間が合わない	2. 運行本数が少ない	3. 乗り場が遠い・不便
4. 乗り方がわからない	5. 料金が高い	6. 乗り継ぎが不便
7. その他()		

③ デマンド型乗合タクシー

1. 運行時間が合わない	2. 運行本数が少ない	3. 乗り場が遠い・不便
4. 乗り方がわからない	5. 料金が高い	6. 乗り継ぎが不便
7. その他()		

5. 送迎について

(1) 送迎の状況をお答えください。(いずれか多いもの1つに○)

1. 家族や知人に送迎をしてもらう ⇒ (2)へお進みください
2. 自分で運転して家族や知人を送迎している ⇒ (7)へお進みください
3. 送迎をしていないし、してもらってない ⇒ 6. 自由意見へお進みください

(2) 送迎をしてもらう方をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	2. 親	3. 子ども	4. 近隣の住民の方
5. 友人・知人	6. その他()		

(3) 送迎をしてもらう頻度をお答えください。(いずれか1つに○)

1. ほぼ毎日	2. よくある(週3回以上)	3. 週1回~2回程度
4. 時々ある(月数回程度)	5. たまにある(年数回程度)	

(4) 送迎をしてもらう主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 公共交通が利用できない・不便	2. 運転免許証を持っていない
3. 身体的な理由で運転ができない	4. 荷物が多し時
5. 夜間・早朝の移動	6. 悪天候の時
7. 緊急時	8. その他()

(5) 送迎をもらう移動の主な目的をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 買い物	2. 通院	3. 通学・通学	4. 金融機関	5. 塾や習い事
6. 友人・知人との交流	7. 趣味・娯楽活動	8. その他()		

(6) 送迎してもらうことについて、申し訳なく感じていますか。(いずれか1つに○)

1. 全く感じていない	2. あまり感じていない	3. やや感じる	4. 大いに感じる
-------------	--------------	----------	-----------

⇒ 6. 自由意見へお進みください

(7) 自分で運転して送迎をしている対象をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	2. 親(実親・義理の親を含む)	3. 子ども(高校生以下)
4. 子ども(大学生以上)	5. 孫(高校生以下)	6. 孫(大学生以上)
7. 近隣の住民の方	8. 友人・知人	9. その他家族()

(2) 主な外出目的と頻度をお答えください。(それぞれについていずれかの数字1つに○)

目的	週6日以上	週3~5日	週1~2日	月1~3日	月1日未満	行かない
① 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5	6
② 通院	1	2	3	4	5	6
③ 友人・知人との交流	1	2	3	4	5	6
④ 趣味・娯楽活動	1	2	3	4	5	6

(3) 主な外出時間帯をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 早朝(6~8時)	2. 午前(8~12時)	3. 午後(12時~17時)
4. 夕方以降(17時以降)		

(4) 外出で困っていることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 移動手段がない・少ない	2. 目的地まで直接行けない	3. 時間が合わない
4. 料金が安い	5. 乗換が大変	6. デマンド乗合交通の予約方法がわからない・面倒
7. 荷物を持つのが移動が大変	8. 身体的な負担が大きい	
9. 外出先への移動手段を調べる方法がわからない	10. 困っていない	
11. その他()		

4. 公共交通の利用状況について

(1) 過去1年間の公共交通の利用頻度をお答えください。(それぞれについていずれかの数字1つに○)

公共交通	週6日以上	週3~5日	週1~2日	月1~3日	月1日未満	利用しない
① JR和歌山線	1	2	3	4	5	6
② コミュニティバス	1	2	3	4	5	6
③ デマンド型乗合タクシー	1	2	3	4	5	6

(2) 各公共交通の総合的な満足度をお答えください。(それぞれについていずれかの数字1つに○)

公共交通	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
① JR和歌山線	1	2	3	4	5
② コミュニティバス	1	2	3	4	5
③ デマンド型乗合タクシー	1	2	3	4	5

(1) の感問で①~③のいずれも「利用しないと回答できなかった方 ⇒ 6. 自由意見へお進みください

(8) 送迎をする頻度をお答えください。(いずれか1つに○)

1. ほぼ毎日	2. よくある(週3回以上)	3. 週1回~2回程度
4. 時々ある(月数回程度)	5. たまにある(年数回程度)	

(9) 送迎をする主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 公共交通が利用できない・不便	2. 運転免許証を持っていない
3. 身体的な理由で運転ができない	4. 荷物が多し時
5. 夜間・早朝の移動	6. 悪天候の時
7. 緊急時	8. その他()

(10) 送迎をする移動の主な目的をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 買い物	2. 通院	3. 通学・通学	4. 金融機関	5. 塾や習い事
6. 友人・知人との交流	7. 趣味・娯楽活動	8. その他()		

(11) 送迎をする状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の通勤のついでに送迎している	2. 買い物や用事のついでに送迎している
3. 送迎のためだけに外出している	4. 送迎の時間に合わせて自分の予定を調整している
5. その他()	

(12) 送迎することについて、あなたは負担に感じていますか。(いずれか1つに○)

1. 全く感じていない	2. あまり感じていない	3. やや感じる	4. 大いに感じる
-------------	--------------	----------	-----------

6. 自由意見

かつらぎ町の公共交通について、ご意見があればご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございます。

図2 アンケート用紙 (C 花園地域)

お知らせ

デマンド型乗合タクシーは
令和7年 **9/30** をもって休止いたします

10月1日から、デマンド乗合交通実証実験がはじまります

ポイント 1 事前に必ず利用登録と予約が必要です
※スマホからの予約も可能

ポイント 2 ほぼドアトゥドアの運行になります

ポイント 3 1回の乗車 600円
月額乗り放題 3,000円

詳しくは
二次元コードをスキャンして町公式HPまで!

ポイント 4 「まちなか」ポイントから「まちなか」ポイントには乗れません

ご予約：(株)有交紀北
電話番号：0736-22-3333

お問合せ先：かつらぎ町企画室
電話番号：0736-22-0300

登録 予約方法 支払い方法 乗り方

質問や不明な点等は、
かつらぎ町企画室まで
ご連絡ください

運行日・時間
平日のみ (土日祝、12/31～1/3は運休)

町内共通	
オンデマンド運行	帰宅便
9:00～16:00	16:00～19:30

※下記エリアでは7:15～ダイヤ便を運行
四郷エリア 笠田エリア
妙寺エリア 大谷エリア
 詳細は町公式HPまで

主なまちなかポイント

駅・バス停	病院・医院	郵便局・銀行	買い物先
1 西笠田駅	1 紀北分院	1 笠田郵便局	1 連の駅紀の川万葉の里
2 笠田駅	町内の医療機関	2 大谷郵便局	2 まってかつらぎ店
3 大谷駅	公共施設	3 かつらぎ郵便局	3 エバグリーンかつらぎ店
4 妙寺駅	1 かつらぎ町役場	4 妙寺郵便局	4 オークワかつらぎ店
5 中飯降駅	2 総合文化会館	5 紀陽銀行笠田支店	5 ホームストックかつらぎ店
コミュニティバス停留所	3 笠田公民館	6 JAかつらぎ支店	など・・・

図3 同封チラシ(C花園地域以外に配布)

(2) 町民アンケート調査結果

① 個人属性

- ・ 居住地は都市活動エリア内の方の回答が最も多く、70代以上の方の回答が全体の60%を超えている。
- ・ 回答者のうち男性が全体の58.8%を占め、花園地域では女性の回答が59.5%と男性を上回っている。
- ・ 花園地域の同居家族の状況では「一人暮らし」または「配偶者のみ」の回答が82.1%と最も多くなっている。
- ・ 全体の76.4%がスマートフォンを保有しており、都市活動エリアでは80.9%と最も高い一方、河北地域ではスマートフォンの保有率が64.7%と最も低く、ガラケーなどの携帯電話を持つ人が多くなっている。

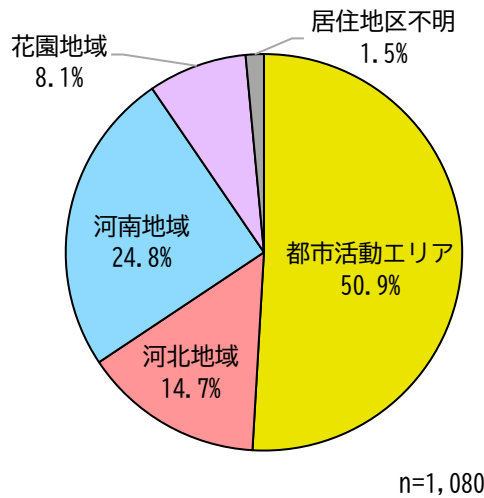


図4 居住地区

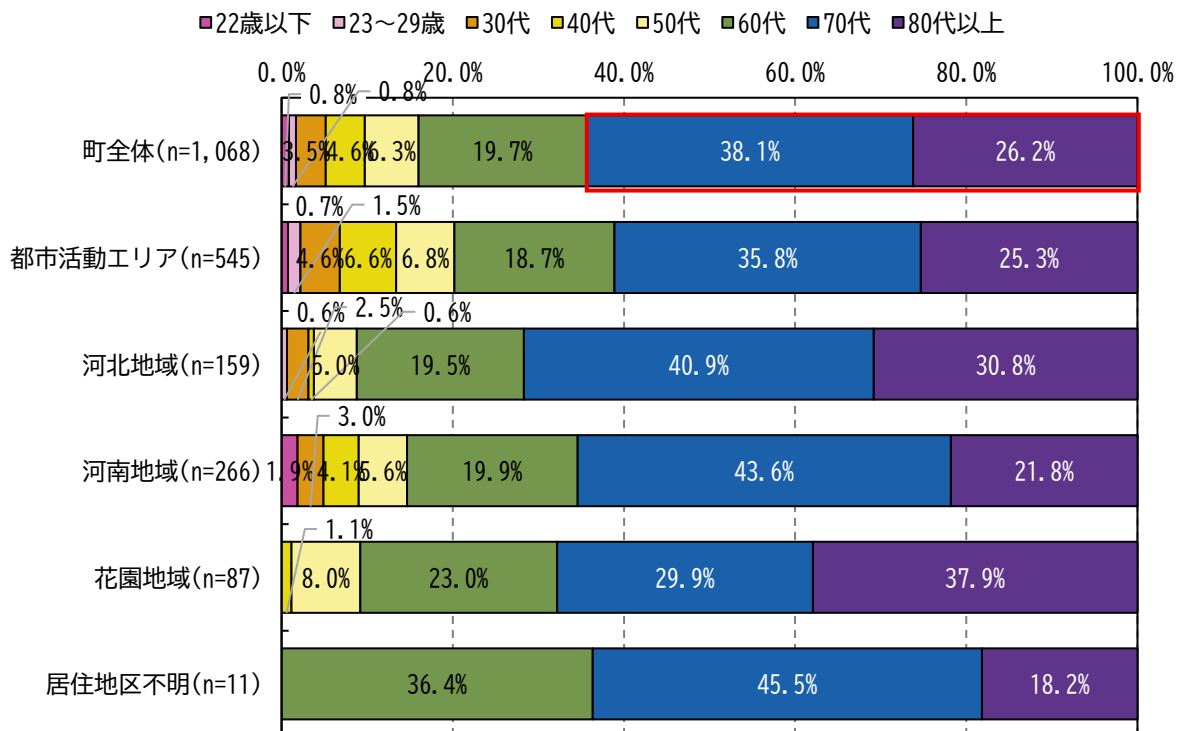


図5 年齢

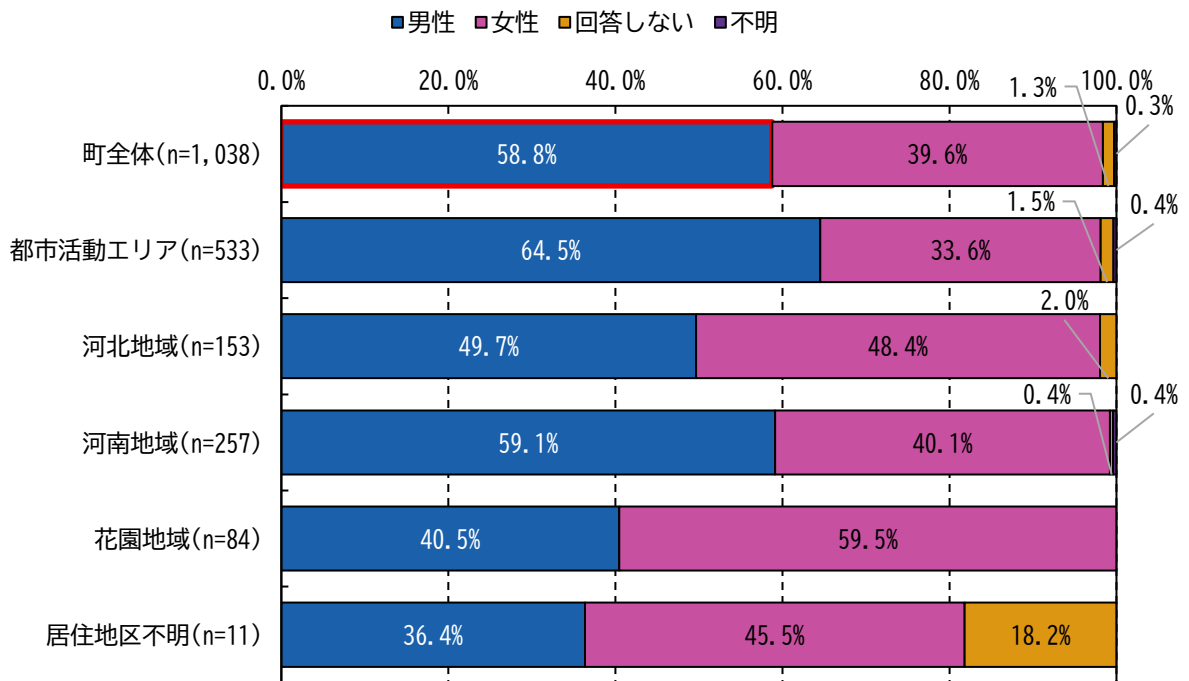
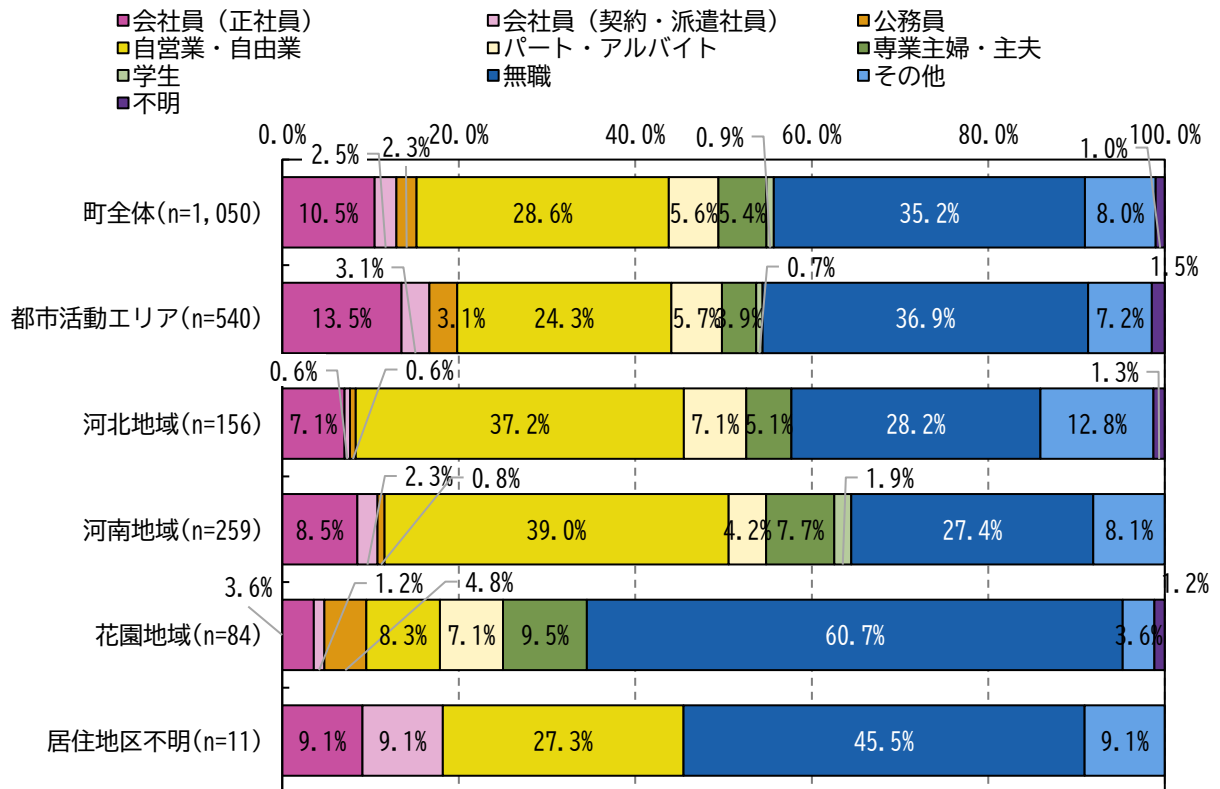


図 6 性別



【その他内容】 農業関係、会社役員、団体職員、臨時職員、A型作業所 など

図 7 職業等

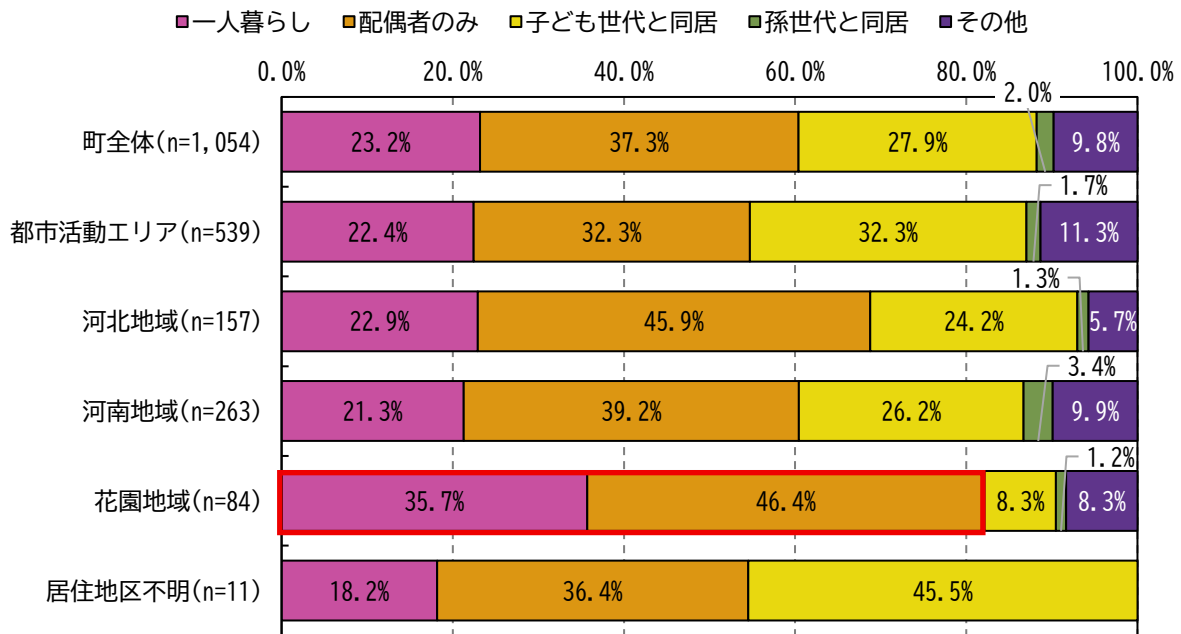


図 8 同居家族の状況

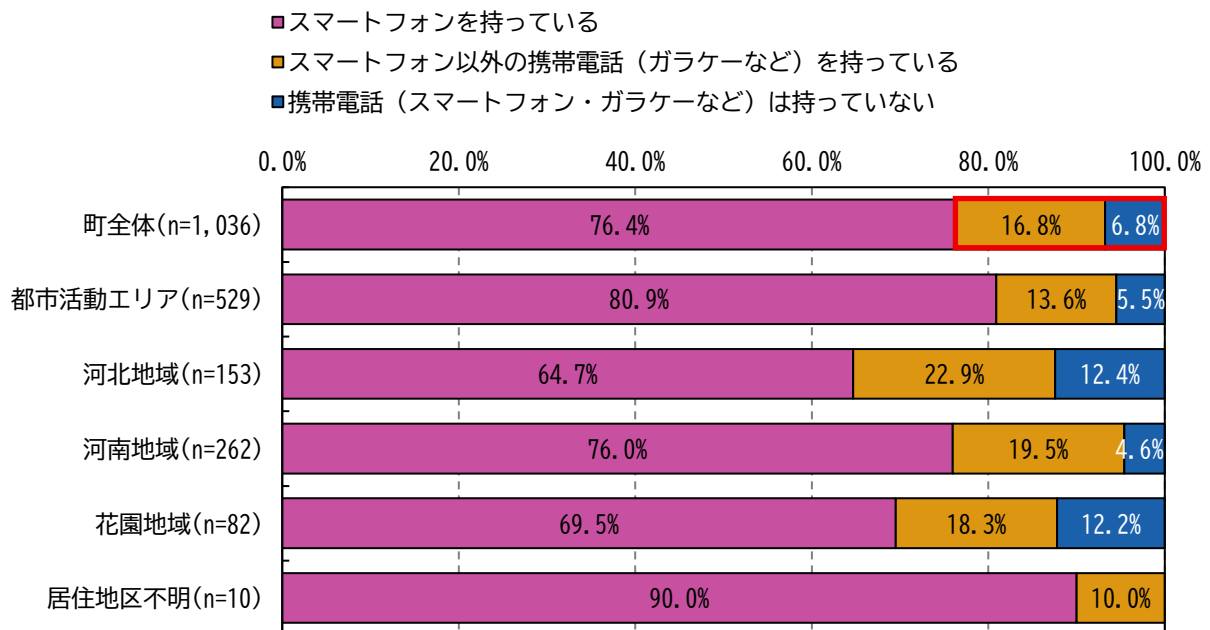
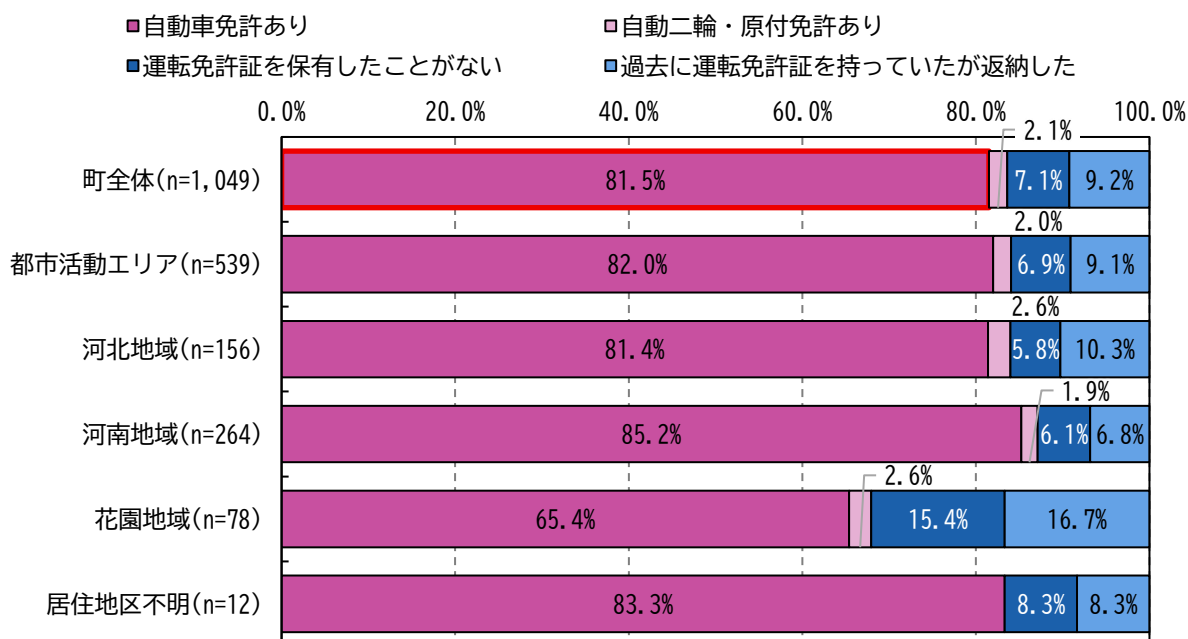


図 9 携帯電話の保有状況

② 運転免許証や自動車の保有について

■ 運転免許証の保有

- ・ 自動車免許の保有率は全体で 81.5%。花園地域を除くすべての地域で 8 割を超えている。
- ・ 免許を返納したと回答している割合は花園地域が 16.7%と最も高く、他地域と比べて返納者の割合が高い。地域の高齢化や単身世帯の多さが影響している可能性がある。
- ・ 70 代以上の免許保有者で「返納を検討している」と回答したのは全体の 1.4%にとどまり、運転継続意向が強い。



【その他内容】施設入居、兄弟・姉妹と同居、同僚と同居 など

図 10 運転免許証の保有状況

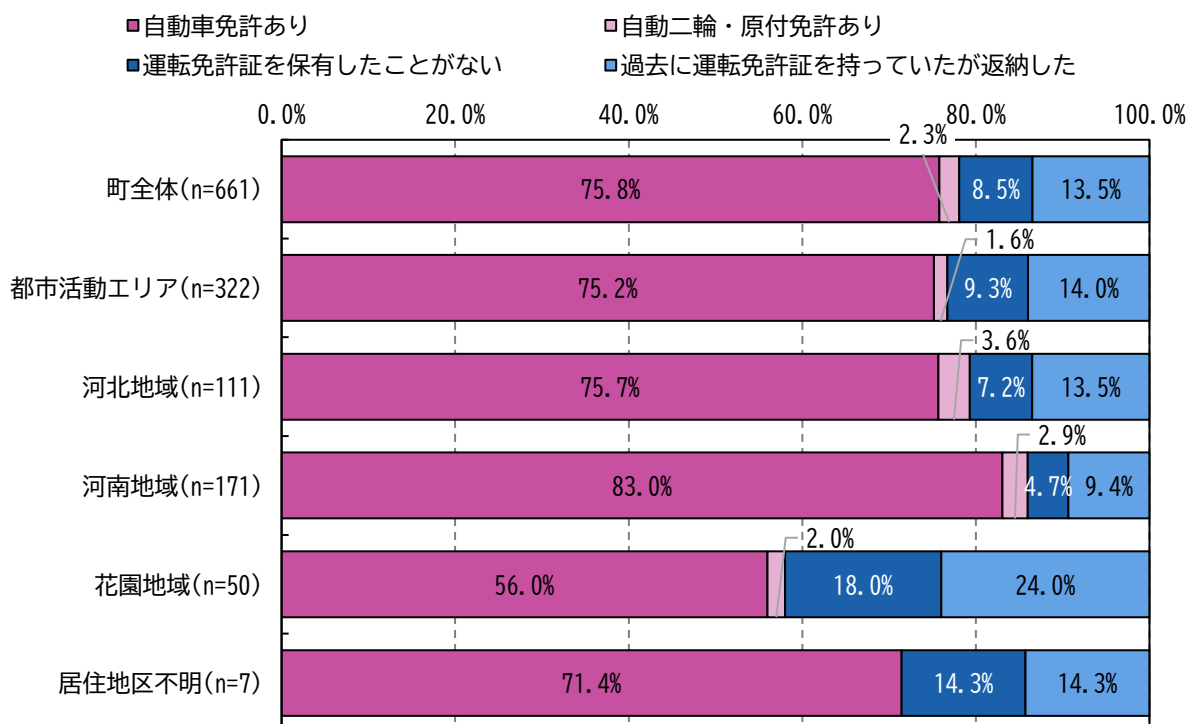


図 11 運転免許証の保有状況（70 代以上抜粋）

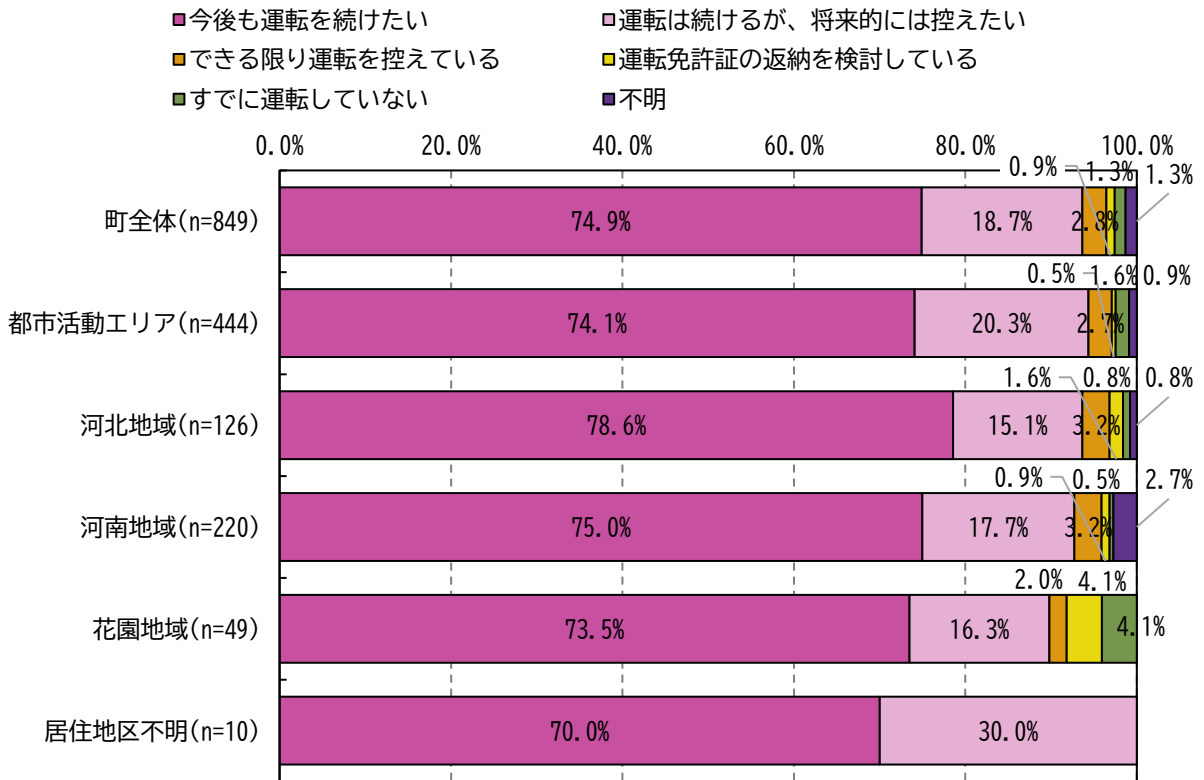
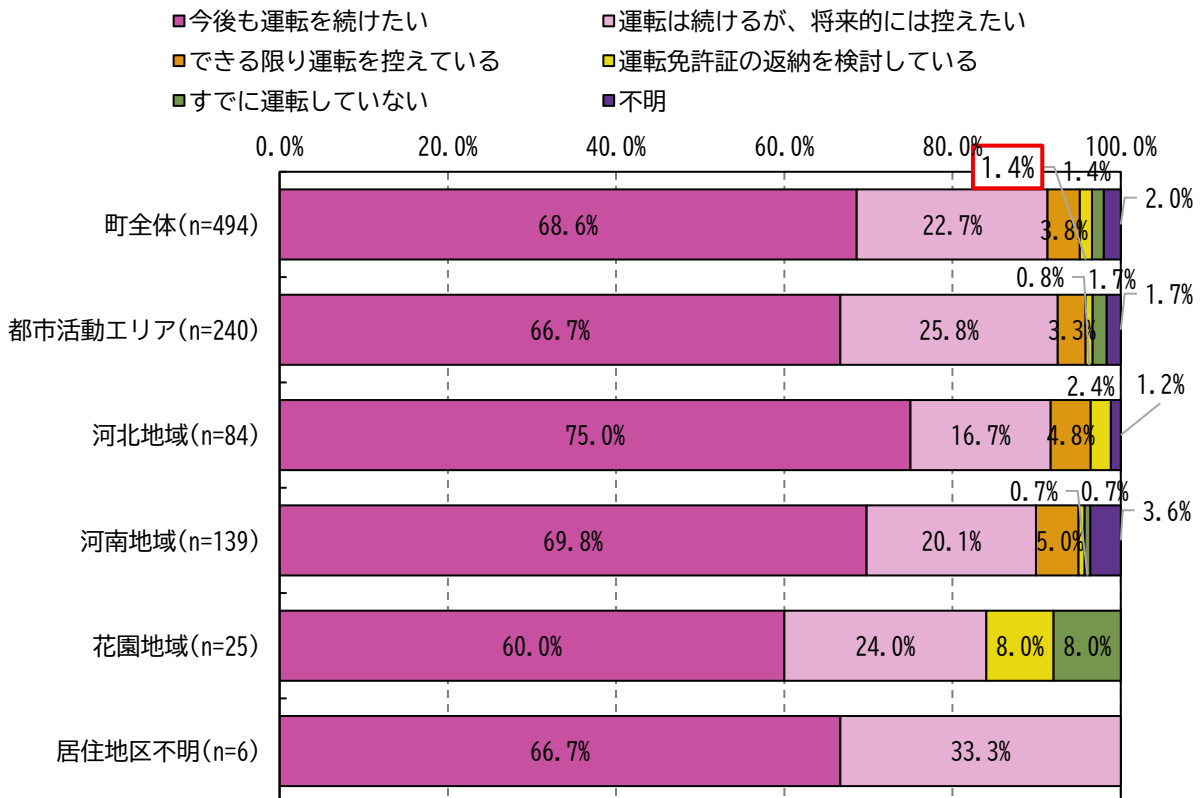


図 12 免許返納意向



【「今後も運転を続けたい」と回答した方があと何年運転を続けたいと考えているか】（上位 5 位）

- ①あと 10 年…128 人 ②あと 5 年…66 人 ③あと 3 年…23 人 ④あと 15 年…22 人 ⑤あと 2 年…8 人

図 13 免許返納意向（70 代以上抜粋）

■ 世帯の自動車保有

- ・ 自動車を保有していない世帯は、全体でわずか2.4%にとどまっている。
- ・ 免許を持つ70代以上の回答者のうち88.1%が、「自分専用で使える車」を保有している。

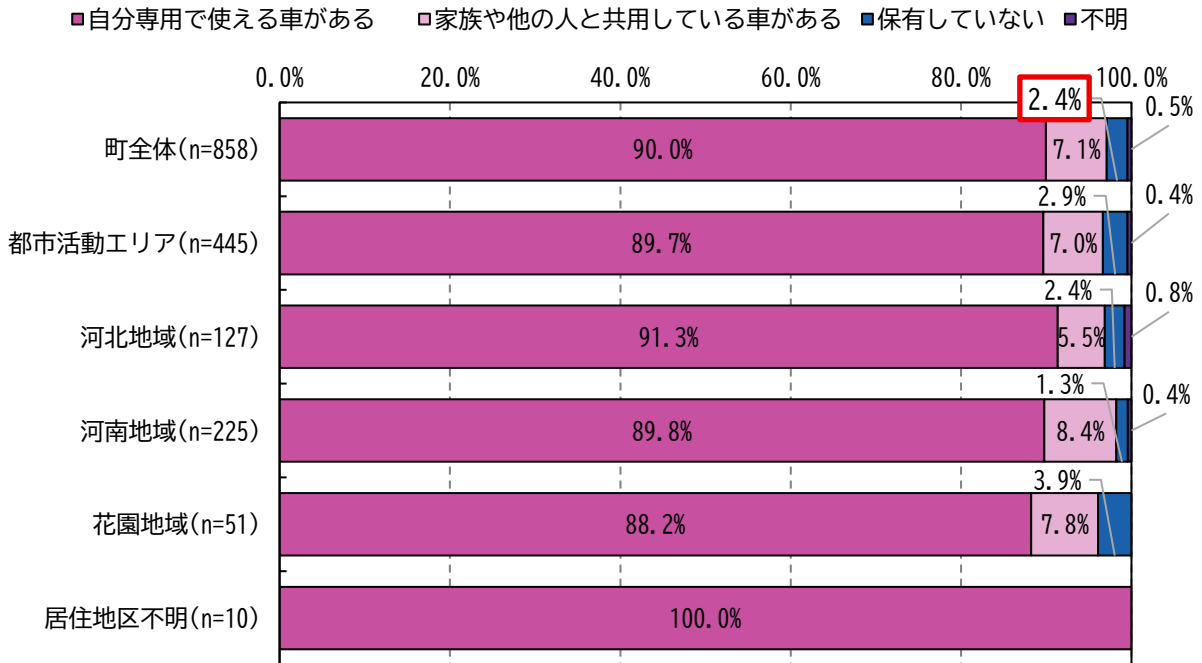


図 14 世帯の自動車保有状況

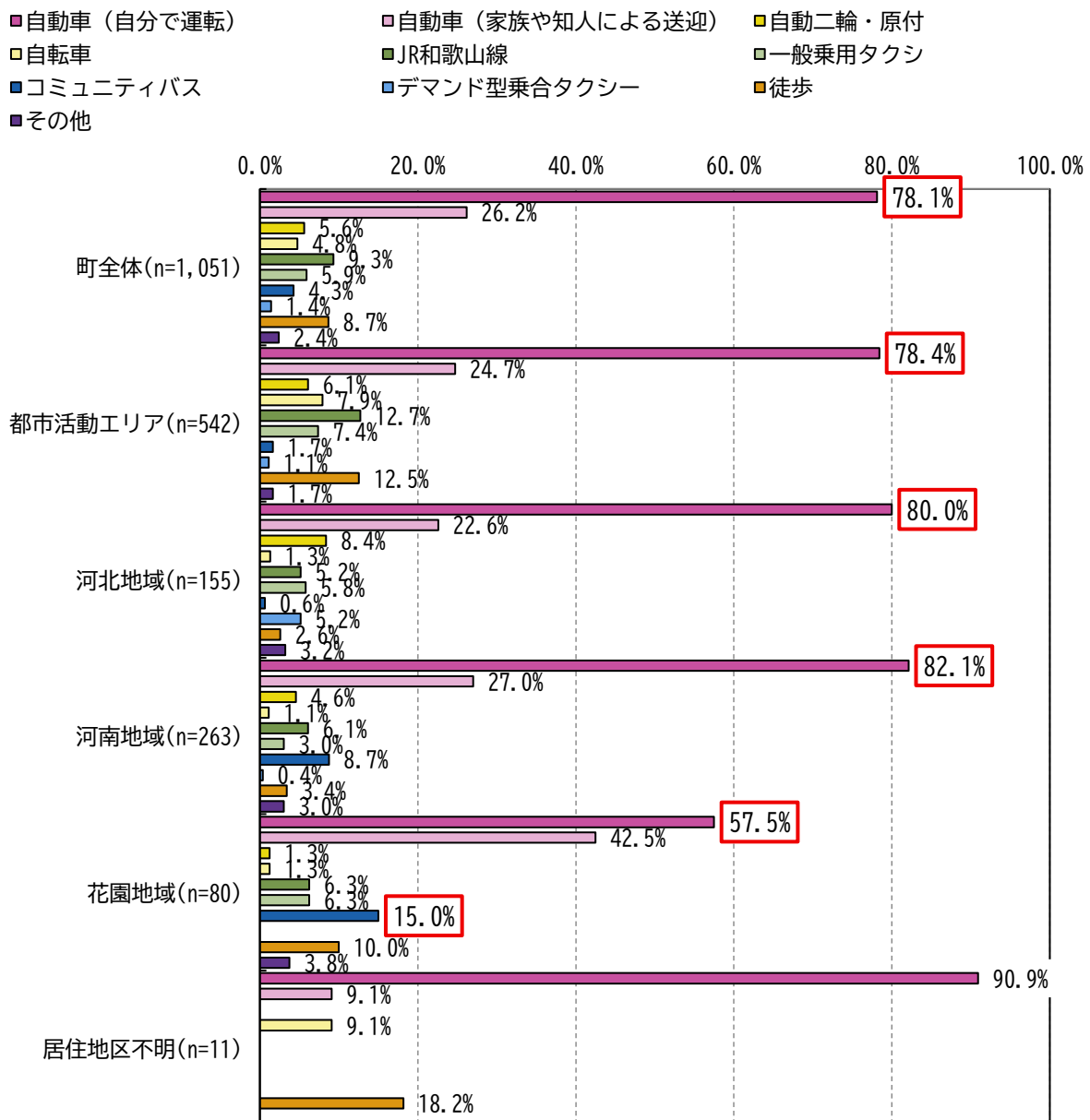


図 15 世帯の自動車保有状況（70代以上抜粋）

③ 普段の外出について

■ 主な移動手段

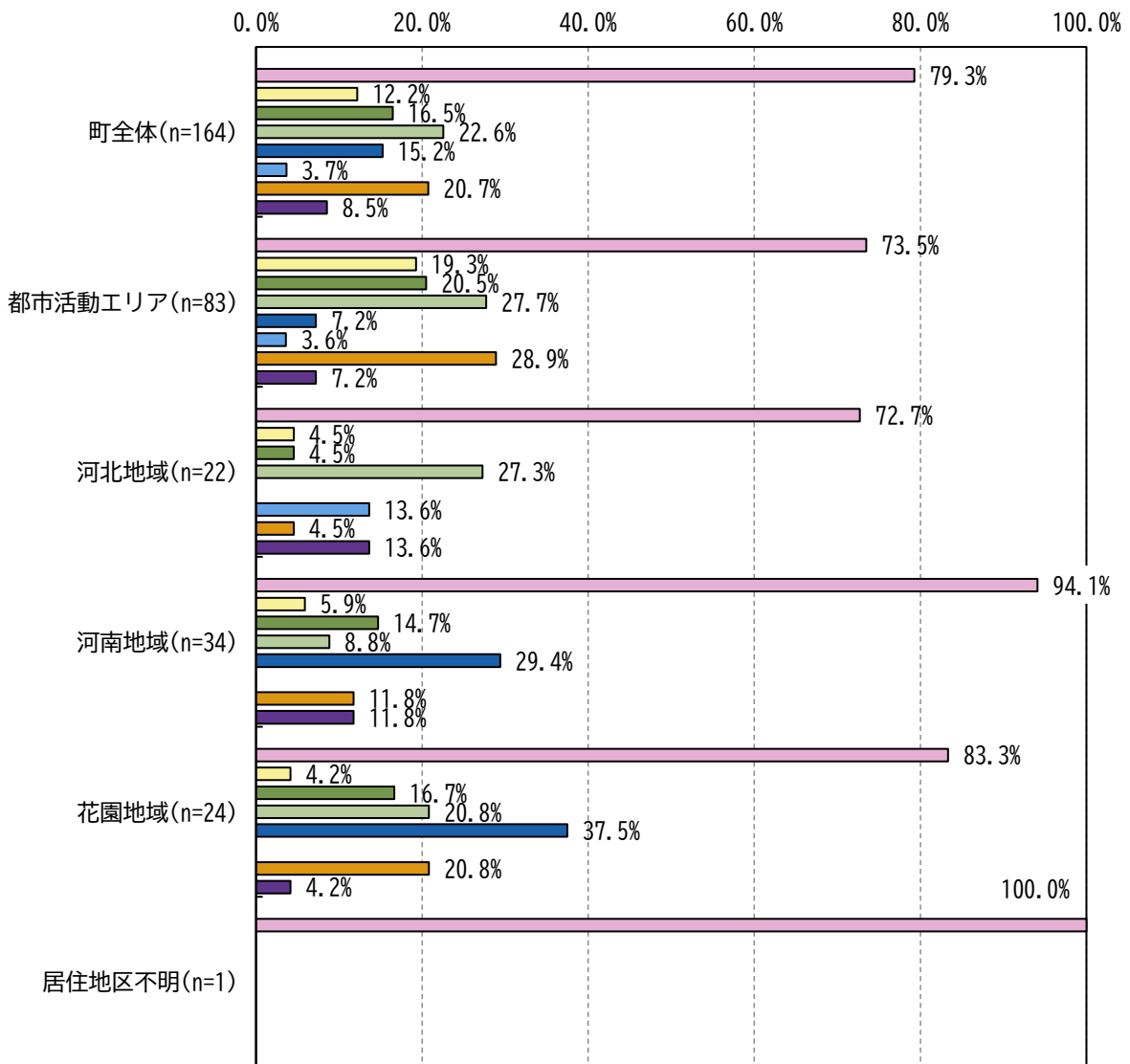
- ・ 主な移動手段として「自動車（自分で運転）」を選んだ割合は、都市活動エリア、河北地域、河南地域でいずれも 80%前後となっている。一方、花園地域では 57.5%にとどまり、他地域より低い傾向が見られる。
- ・ 花園地域では「自動車（家族や知人による送迎）」の割合が 42.5%と高く、他地域と比べて送迎に依存する傾向が強い。
- ・ 免許を保有していない方におけるコミュニティバスの利用率は、河南地域と花園地域で特に高くなっている。



【その他内容】 花園地区ふれあいサービス、介護タクシー、南海電車 など

図 16 普段の外出で利用する主な移動手段

- 自動車（自分で運転）
- 自動車（家族や知人による送迎）
- 自転車
- JR和歌山線
- 一般乗用タクシー
- コミュニティバス
- デマンド型乗合タクシー
- 徒歩
- その他



【その他内容】花園地区ふれあいサービス、介護タクシー など

図 17 普段の外出で利用する主な移動手段（免許を保有していない方を抜粋）

■ 外出目的別の頻度

- 「食料品・日用品の買い物」の外出頻度が、全体では 76.9%が週 6 日以上と回答している。一方、免許を保有していない方では週 1~2 日が最多で 37.9%、次いで「行かない」が 26.9%となっており、外出頻度が全体より低い傾向がある。
- 「通院」に関しては、免許を保有していない方も町全体とほぼ同様の傾向を示している。
- 「友人・知人との交流」や「趣味・娯楽活動」では、免許を保有していない方の「行かない」と回答が全体の回答に比べて多く、社会的・文化的な外出機会が限られている様子がうかがえる。

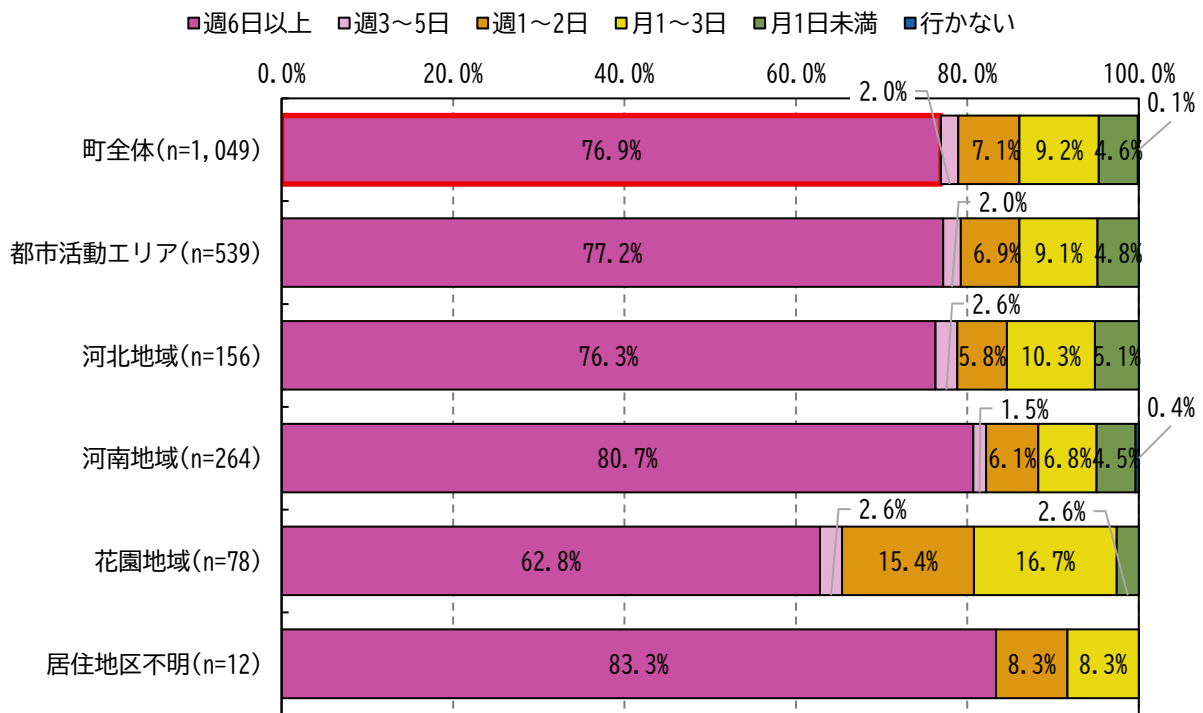


図 18 ①食料品・日用品の買い物

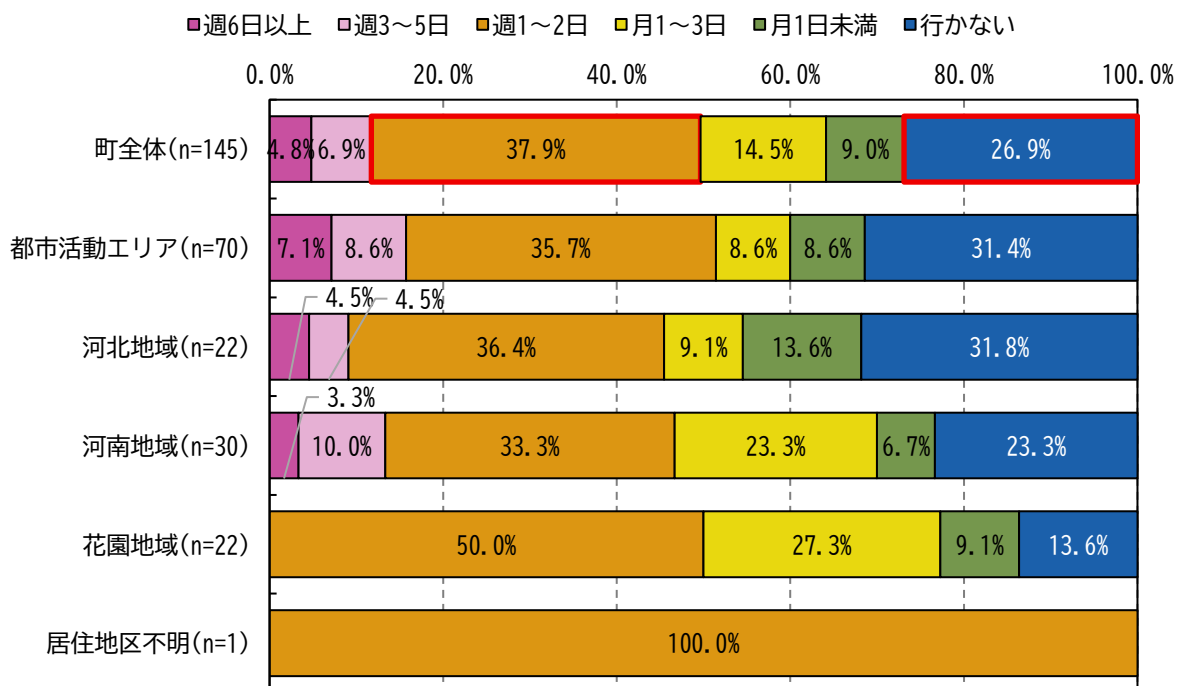


図 19 ①食料品・日用品の買い物（免許を保有していない方を抜粋）

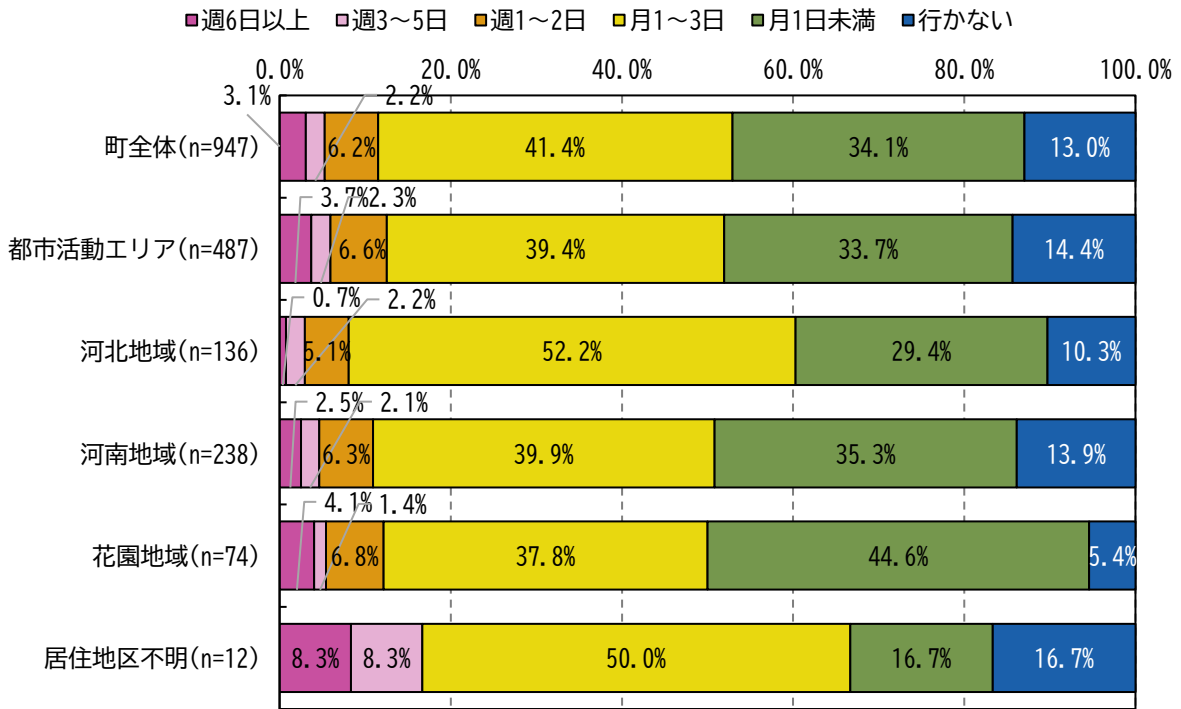


図 20 ②通院

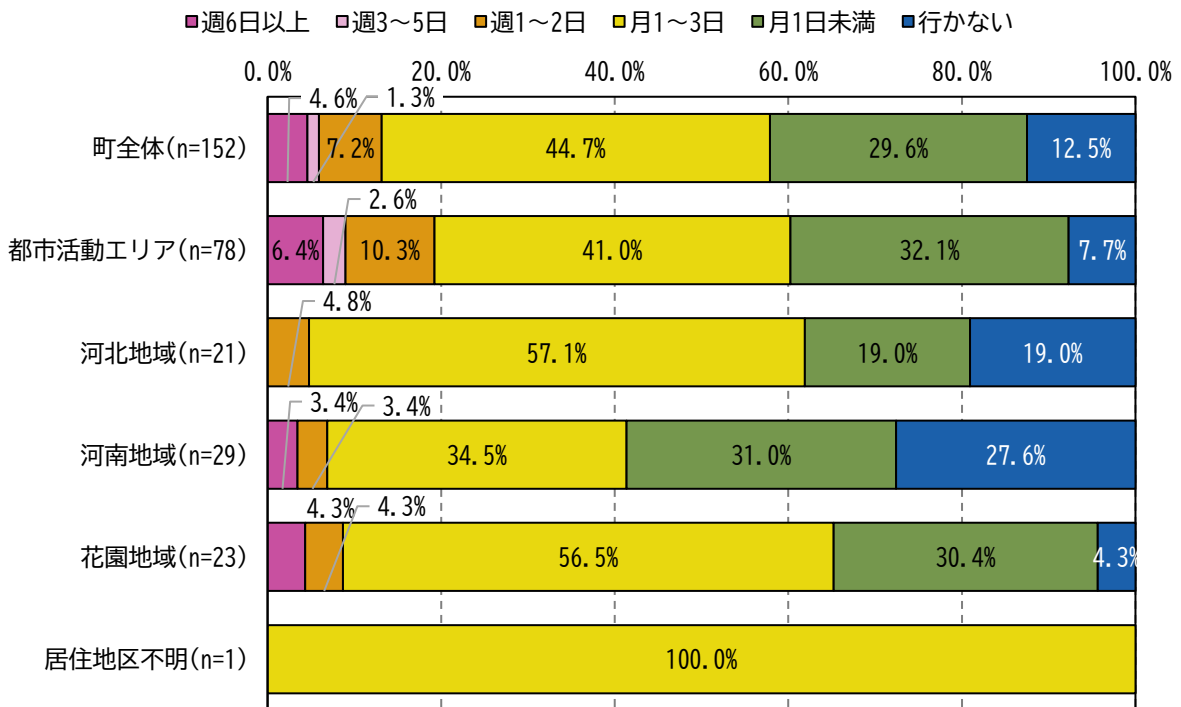


図 21 ②通院 (免許を保有していない方を抜粋)

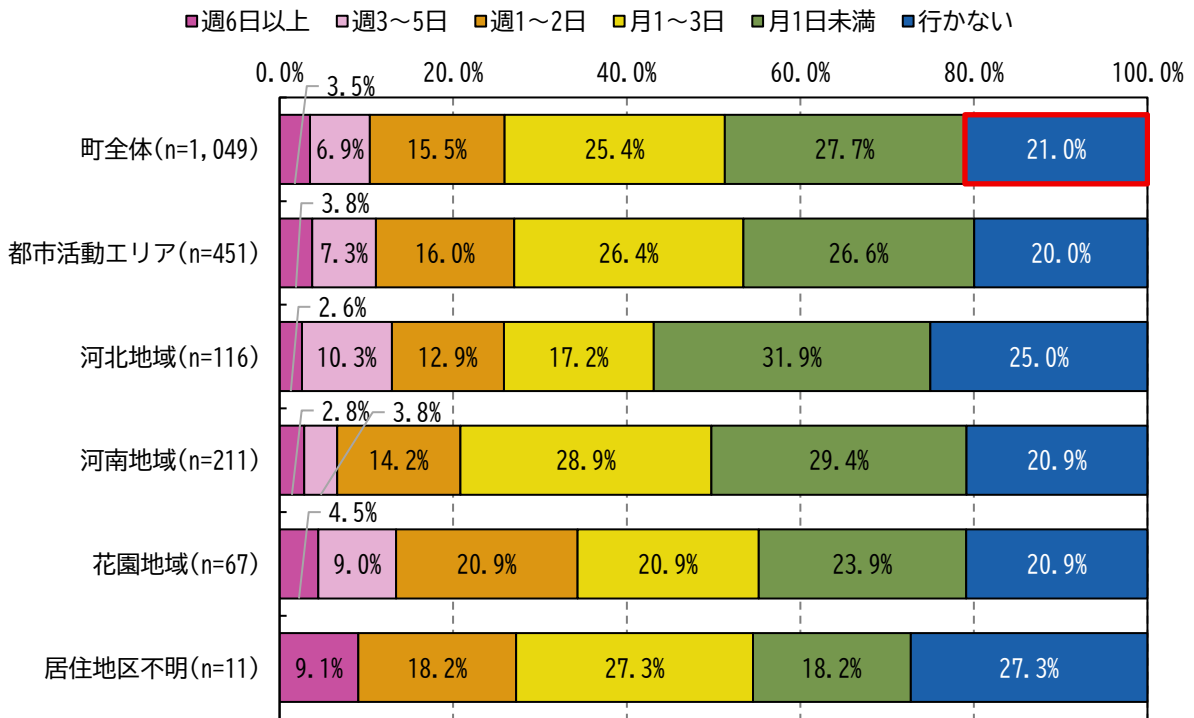


図 22 ③友人・知人との交流

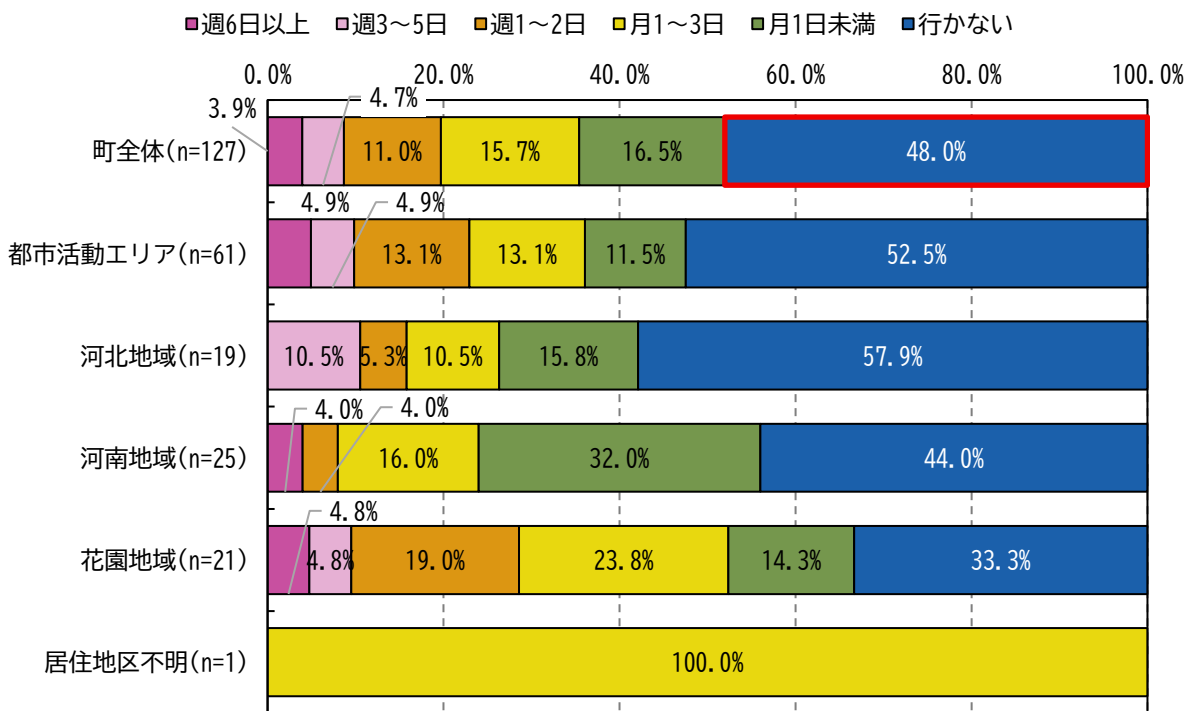


図 23 ③友人・知人との交流（免許を保有していない方を抜粋）

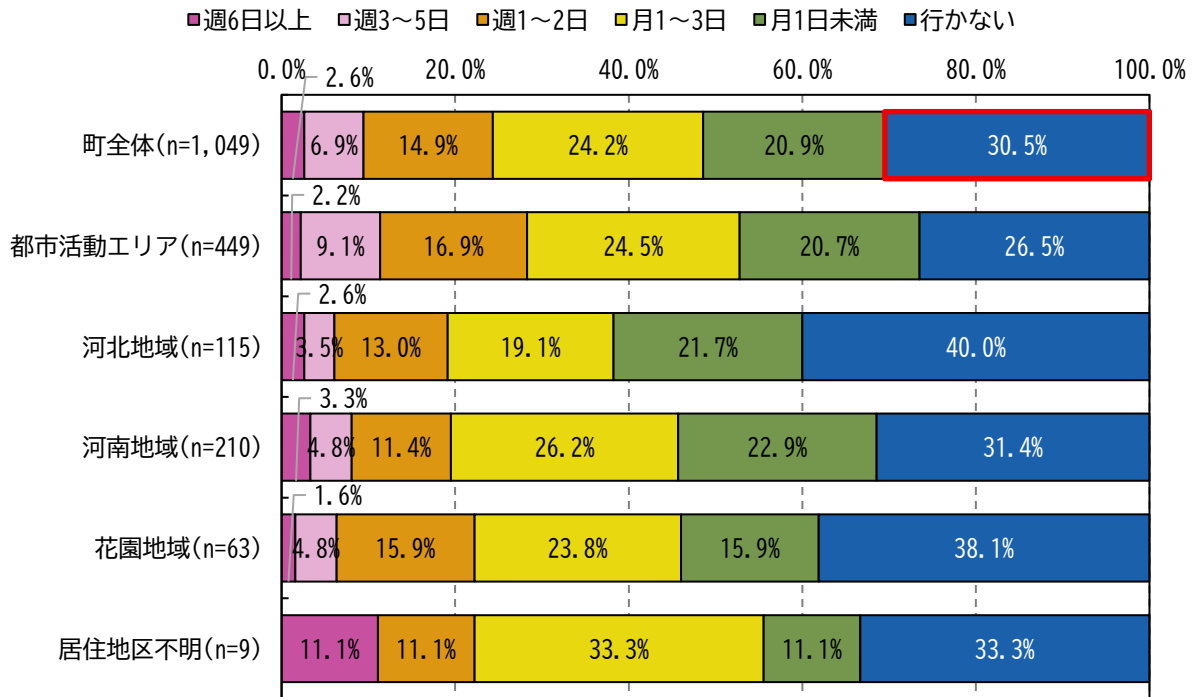


図 24 ④趣味・娯楽活動

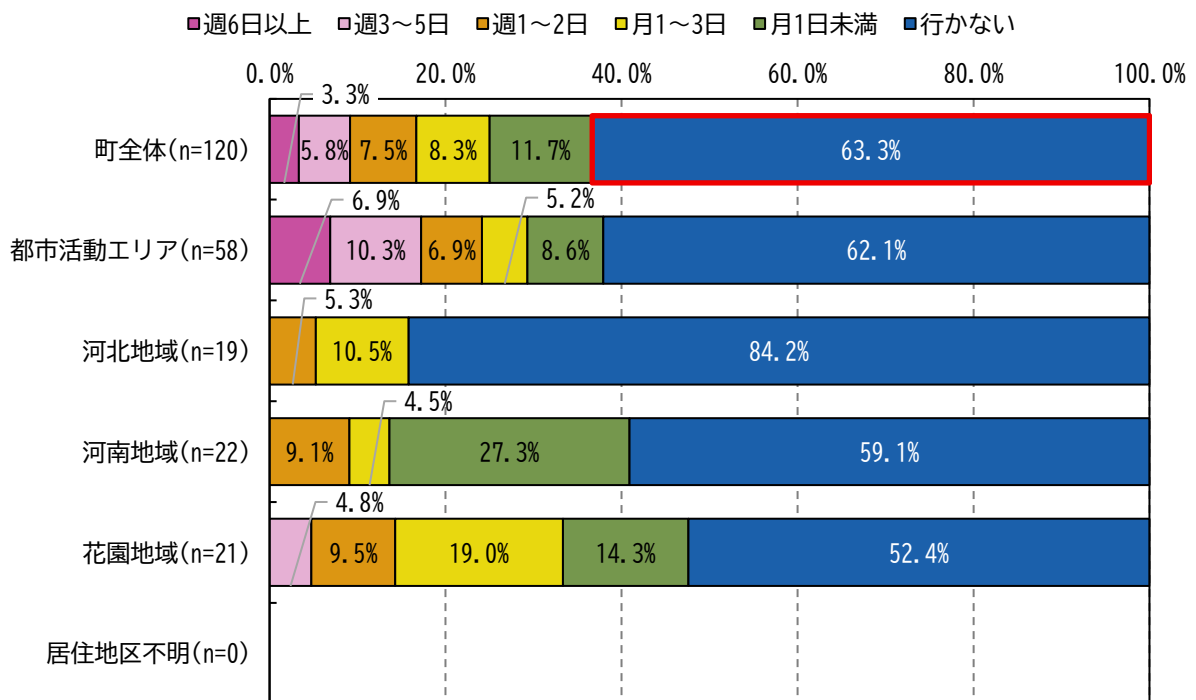


図 25 ④趣味・娯楽活動（免許を保有していない方を抜粋）

■ 外出時間帯

- ・ いずれの地区でも「午前（8～12時）」の外出が最も多く、時間帯の傾向に大きな差は見られない。
- ・ 地域別に見ても、午前の外出が中心となっており、共通した行動パターンが確認できる。
- ・ 免許を保有していない方では、午前の外出割合が全体より高く、夕方以降の外出は少ない傾向がある。移動手段の制約が外出時間帯にも影響している可能性がある。

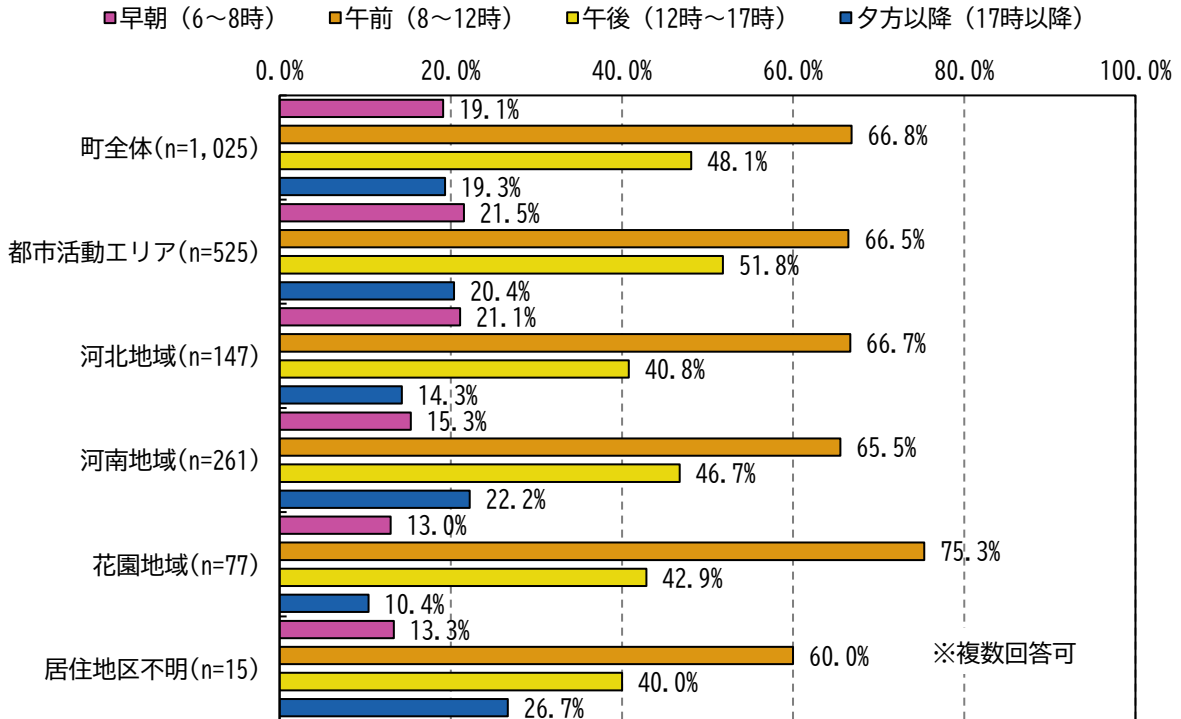


図 26 主な外出時間帯

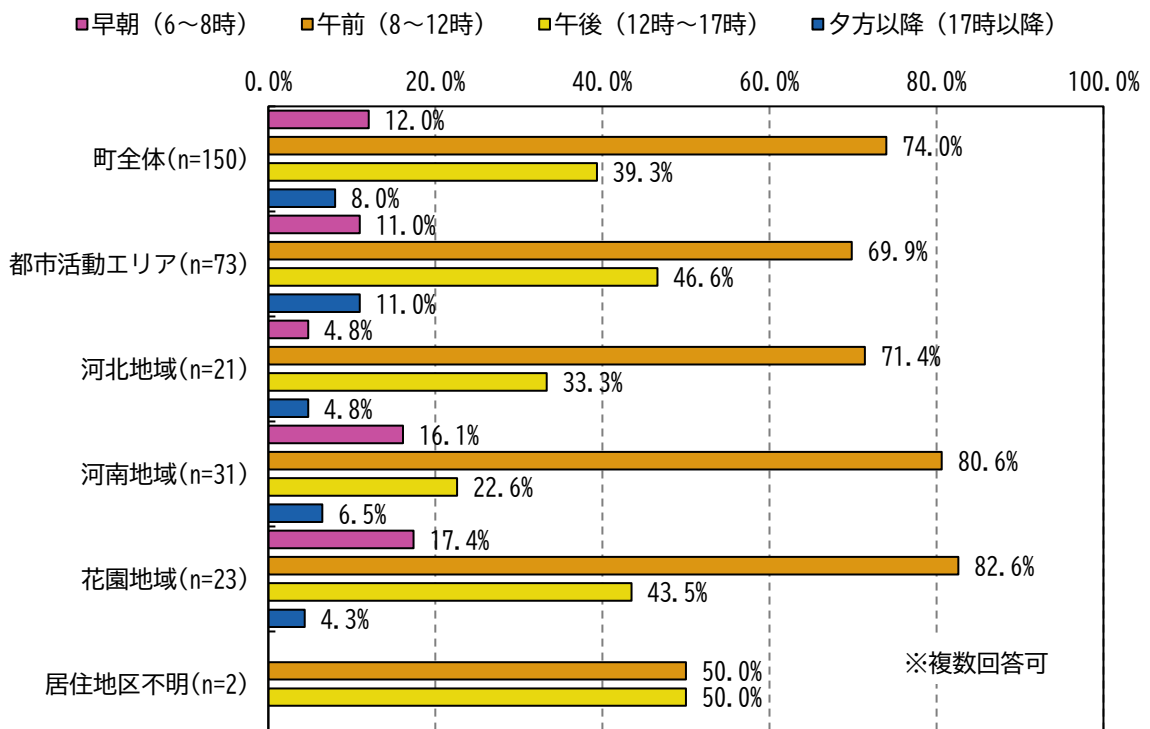


図 27 主な外出時間帯（免許を保有していない方を抜粋）

■ 外出で困っていること

- ・ 全体では、いずれの地区も「特に困っていない」とする回答が 50%を超えており、外出に大きな支障を感じていない層が多数を占めている。
- ・ 一方で、免許を保有していない方では「移動手段がない・少ない」とする回答が最も多く、移動環境に対する不安や制約が顕著に表れている。
- ・ 特に花園地域では、免許を保有していない方の 57.1%が「目的地まで直接行けない」と回答しており、乗り継ぎ等が外出の障壁となっている可能性がある。

	町全体(n=926)	都市活動エリア(n=476)	河北地域(n=135)	河南地域(n=231)	花園地域(n=71)	居住地区不明(n=13)
移動手段がない・少ない	19.9%	20.2%	23.0%	18.2%	21.1%	0.0%
目的地まで直接行けない	10.7%	10.9%	8.1%	9.1%	21.1%	0.0%
時間が合わない	9.6%	8.0%	10.4%	12.6%	9.9%	7.7%
料金が安い	1.7%	2.5%	0.0%	0.4%	4.2%	0.0%
乗換が大変	5.5%	5.7%	5.2%	4.3%	7.0%	15.4%
デマンド乗合交通の予約方法がわからない・面倒	5.0%	5.7%	5.9%	3.9%	2.8%	0.0%
荷物を持つての移動が大変	11.9%	11.8%	12.6%	9.5%	19.7%	7.7%
身体的な負担が大きい	9.6%	9.0%	11.1%	6.5%	22.5%	0.0%
外出先への移動手段を調べる方法がわからない	2.5%	1.9%	4.4%	2.2%	4.2%	0.0%
特に困っていない	62.7%	63.2%	56.3%	68.0%	53.5%	69.2%
その他	3.5%	2.7%	4.4%	4.8%	2.8%	0.0%

【その他内容】 ガソリンが高い、近くにお店がない、乗車場所まで遠い、
子供の小学校が徒歩 40 分かかる、雪の時 など

※複数回答可

図 28 外出で困っていること

	町全体(n=151)	都市活動エリア(n=77)	河北地域(n=20)	河南地域(n=32)	花園地域(n=21)	居住地区不明(n=1)
移動手段がない・少ない	46.4%	41.6%	50.0%	53.1%	52.4%	0.0%
目的地まで直接行けない	24.5%	20.8%	20.0%	15.6%	57.1%	0.0%
時間が合わない	15.9%	6.5%	15.0%	31.3%	23.8%	100.0%
料金が安い	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
乗換が大変	7.3%	3.9%	10.0%	3.1%	23.8%	0.0%
デマンド乗合交通の予約方法がわからない・面倒	10.6%	9.1%	20.0%	9.4%	9.5%	0.0%
荷物を持つての移動が大変	23.2%	24.7%	15.0%	9.4%	47.6%	0.0%
身体的な負担が大きい	30.5%	33.8%	30.0%	18.8%	38.1%	0.0%
外出先への移動手段を調べる方法がわからない	3.3%	1.3%	10.0%	3.1%	4.8%	0.0%
特に困っていない	27.8%	28.6%	20.0%	34.4%	23.8%	0.0%
その他	4.0%	5.2%	5.0%	3.1%	0.0%	0.0%

【その他内容】 乗車場所まで遠い、判断能力・身体能力において付き添いが必要

※複数回答可

図 29 外出で困っていること（免許を保有していない方を抜粋）

④ 公共交通の利用状況について

■ 過去1年間の公共交通の利用頻度と利用しない理由

● JR 和歌山線（全体）

- ・ 「利用しない」と回答した割合は、すべての地区で 70%を超えており、JR 和歌山線の利用率は全体的に低い傾向にある。
- ・ 利用しない理由としては、「運行本数が少ない」「乗り場が遠い・不便」とする回答が多く、どの地区でも共通して挙げられている。

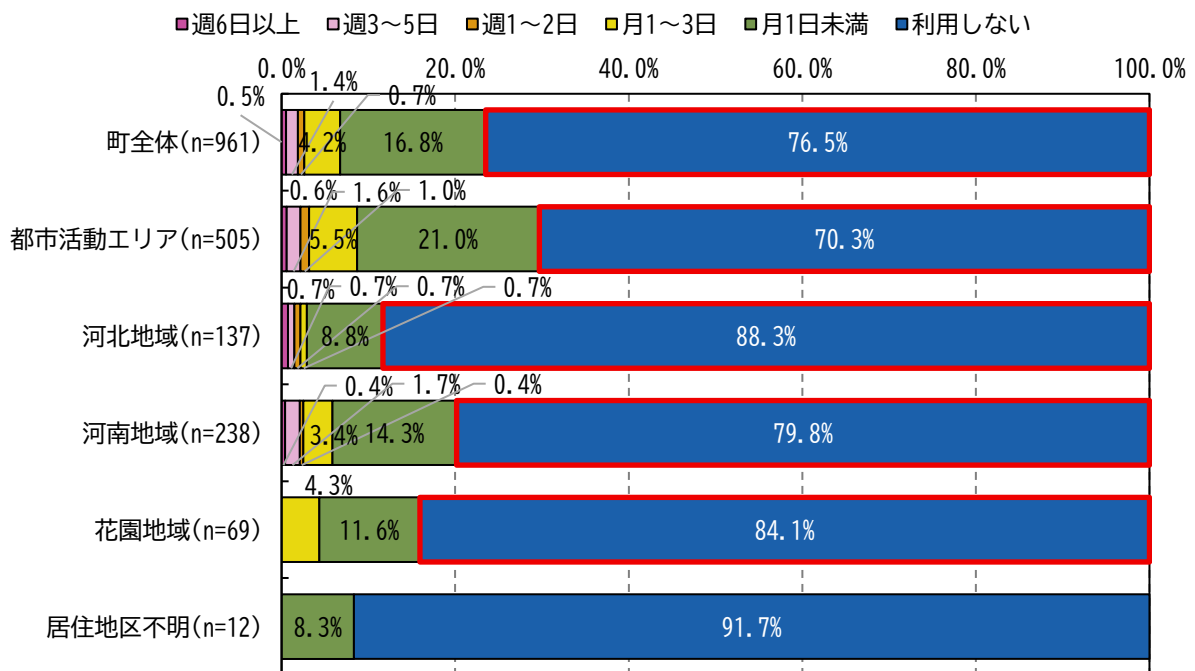
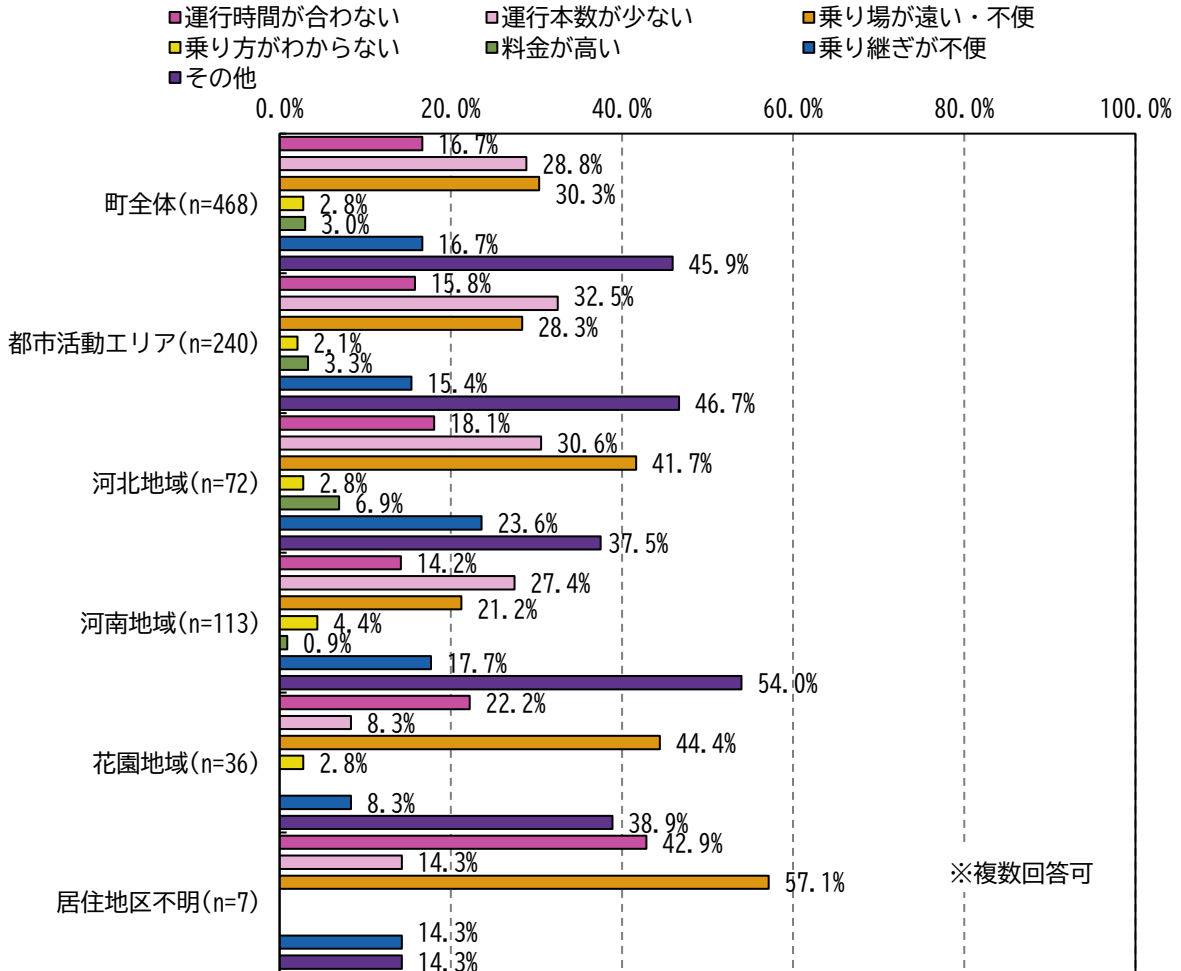


図 30 JR 和歌山線の利用頻度



【その他内容】自家用車を利用するから、必要ないから、車の方が早く到着できるから、駅までが遠い、
 駐車場がない、南海との乗り継ぎが悪い、上り線に行く時に足が悪いので大変 など

図 31 JR 和歌山線を「利用しない」と回答した理由

●JR 和歌山線（免許を保有していない方のみ）

- ・ JR 和歌山線について、「利用しない」と回答した割合は、免許を保有していない方の中でもすべての地区で最も多くなっている。
- ・ 利用しない理由としては、「乗り場が遠い・不便」とする回答が各地区で最も多く、共通した課題として浮かび上がっている。

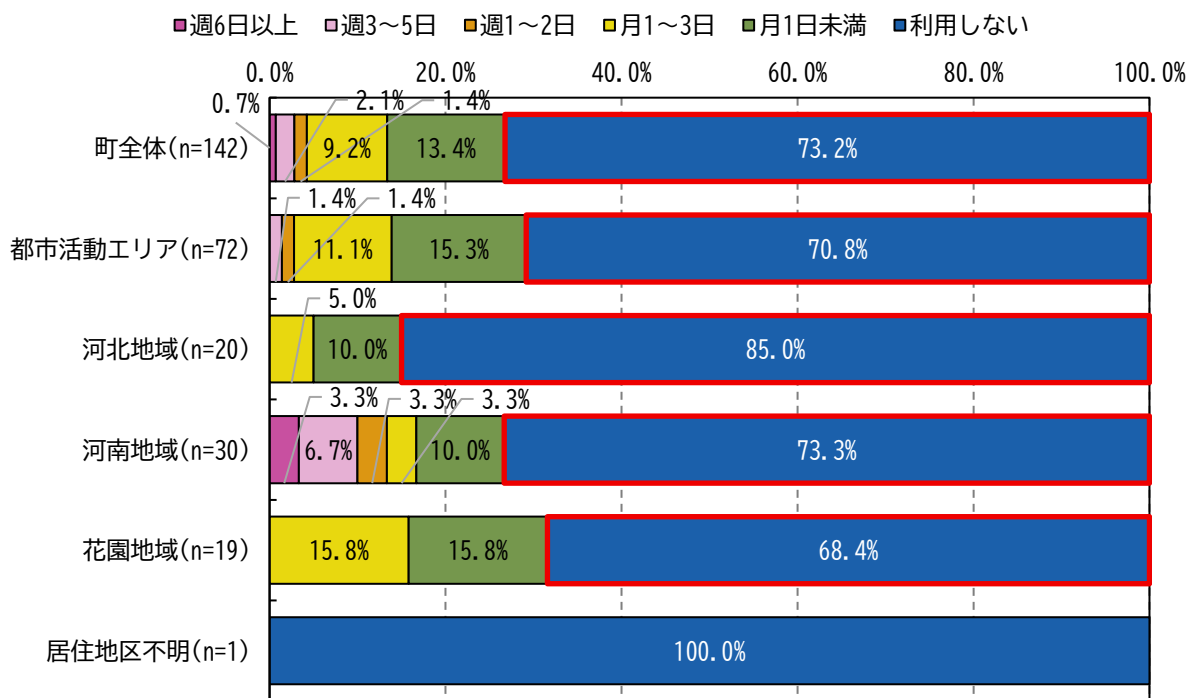
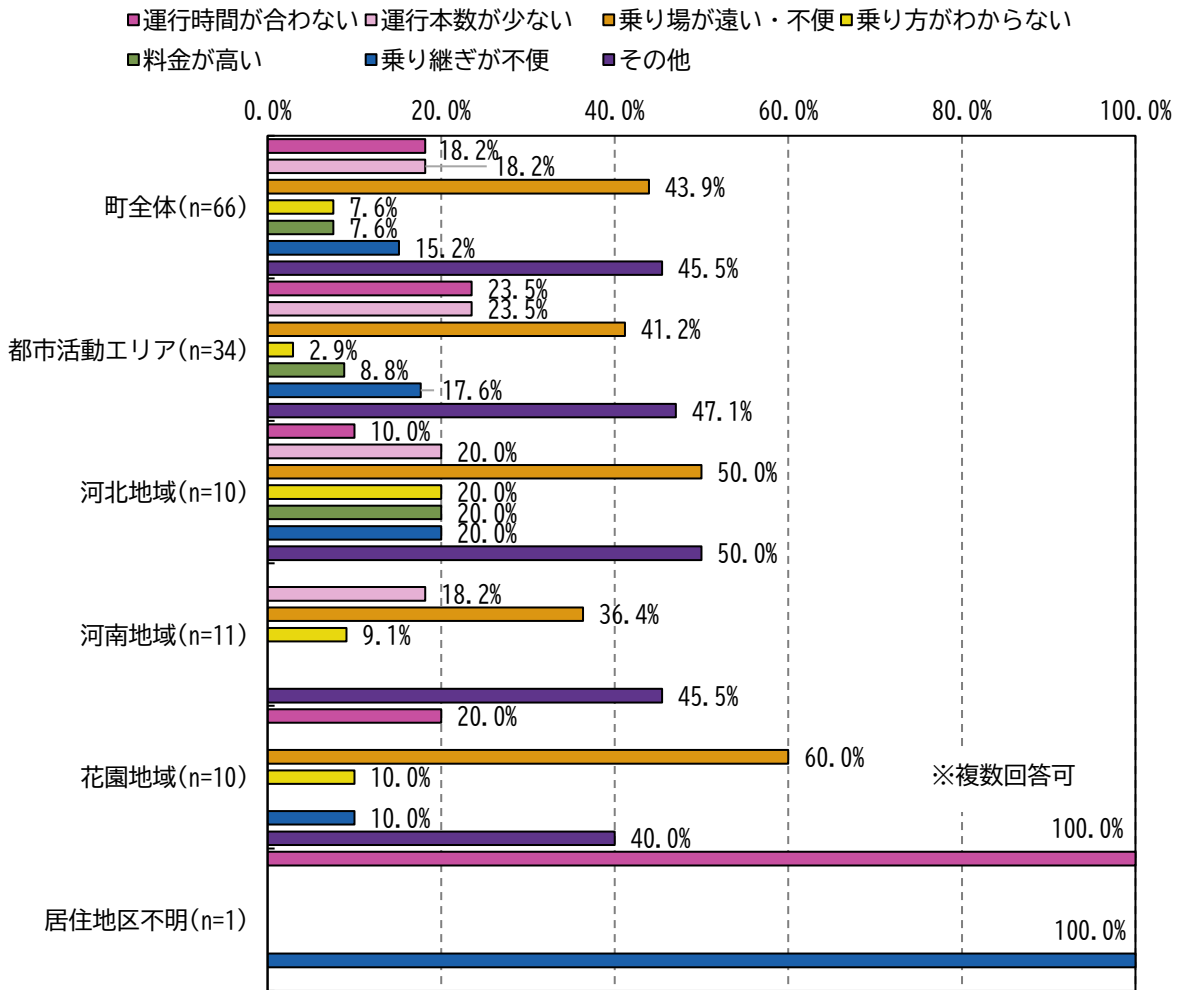


図 32 JR 和歌山線の利用頻度（免許を保有していない方を抜粋）



【その他内容】 必要ないから、身体が不自由なため、自分ひとりで移動できない、駅までの交通手段がない
 駅まで歩くことができない など

図 33 JR 和歌山線を「利用しない」と回答した理由（免許を保有していない方を抜粋）

●コミュニティバス（全体）

- ・ コミュニティバスについて、「利用しない」と回答した方が、すべての地区で最も多く、利用率は全体的に低い傾向が見られる。
- ・ 利用しない理由としては、「その他」を除くと、「乗り場が遠い・不便」「運行時間が合わない」とする回答が多く、いずれの地区でも共通して挙げられている。
- ・ 特に「運行時間が合わない」とする回答は、河北地域や花園地域で全体よりやや高く、地域ごとの生活リズムとダイヤの不一致が背景にあると考えられる。

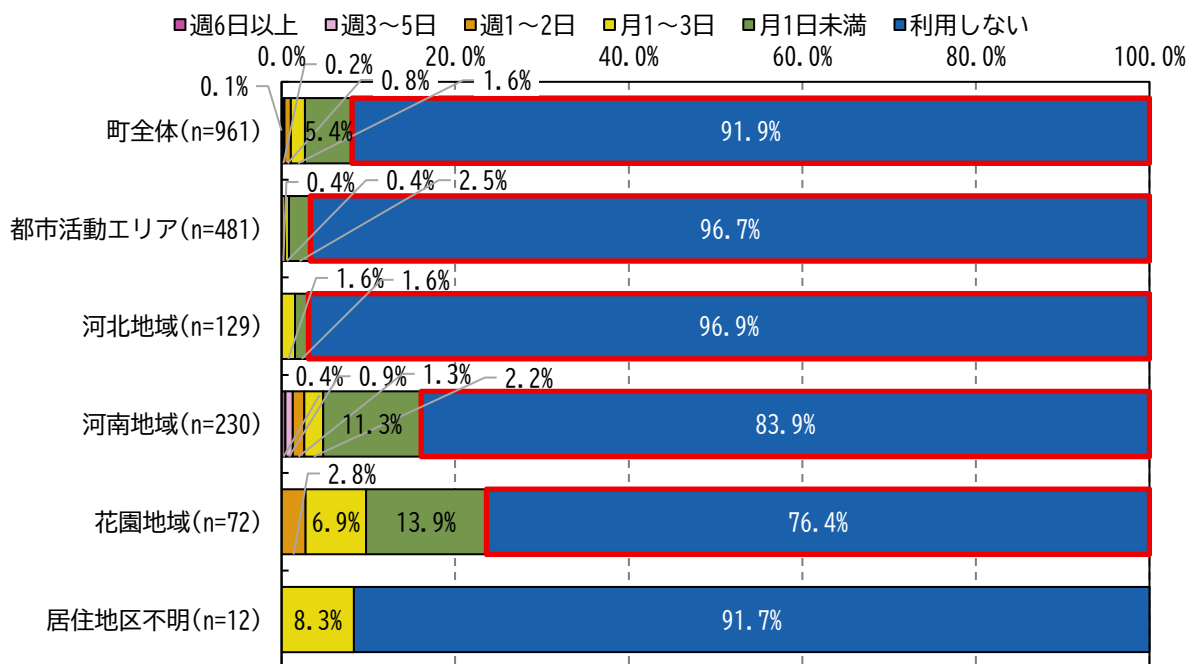
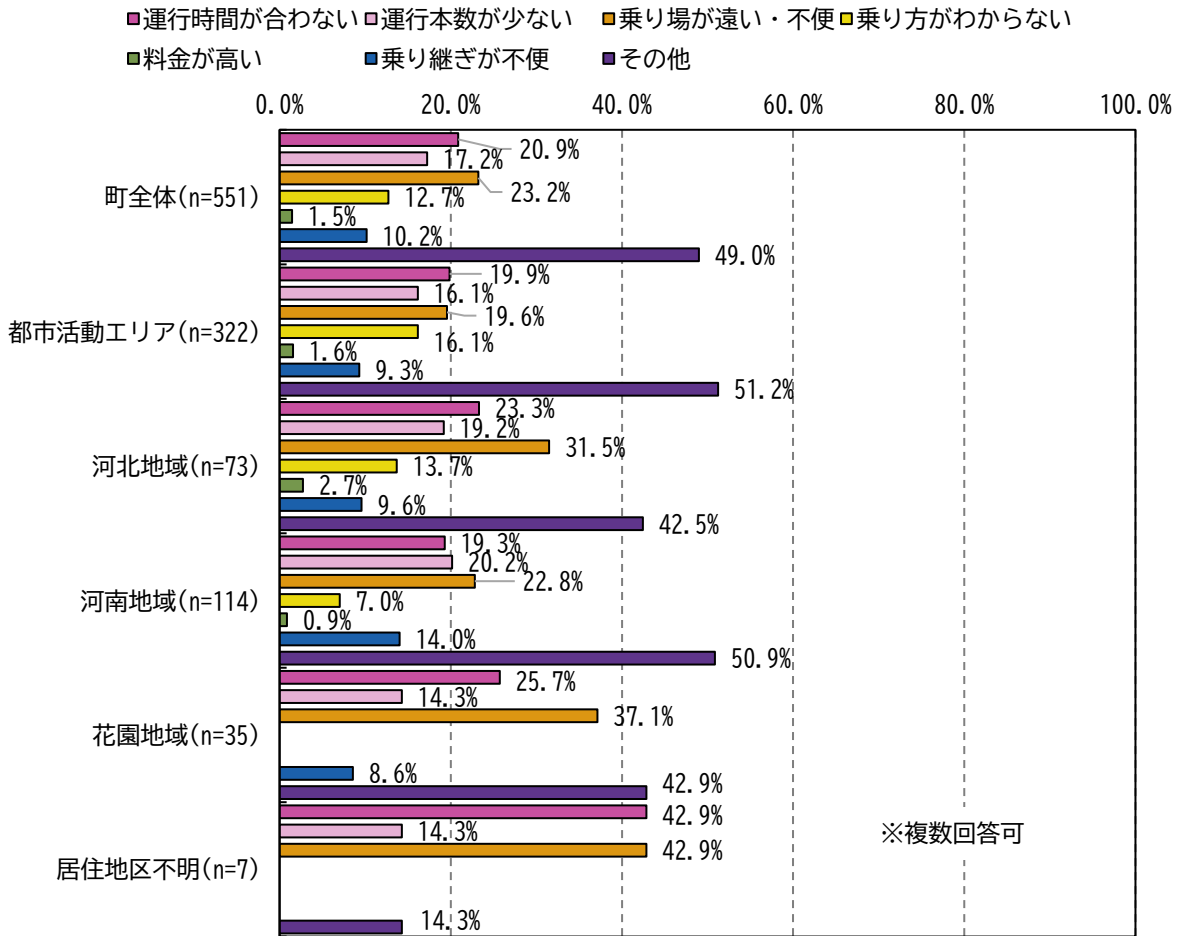


図 34 コミュニティバスの利用頻度



【その他内容】 自家用車を利用するから、必要ないから、自分で移動できる、バス停が遠い、移動先に目的地がない など

図 35 コミュニティバスを「利用しない」と回答した理由

●コミュニティバス（免許を保有していない方のみ）

- ・ コミュニティバスの利用頻度について、免許を保有していない方に限って見ると、河南地域と花園地域で比較的に利用が多くなっている。
- ・ 花園地域では、「乗り場が遠い・不便」とする回答が利用しない理由として最も多く挙げられている一方で、「週 1～2 日」「月 1～3 日」と回答した方が 24.0%にのぼり、一定の利用ニーズも確認できる。

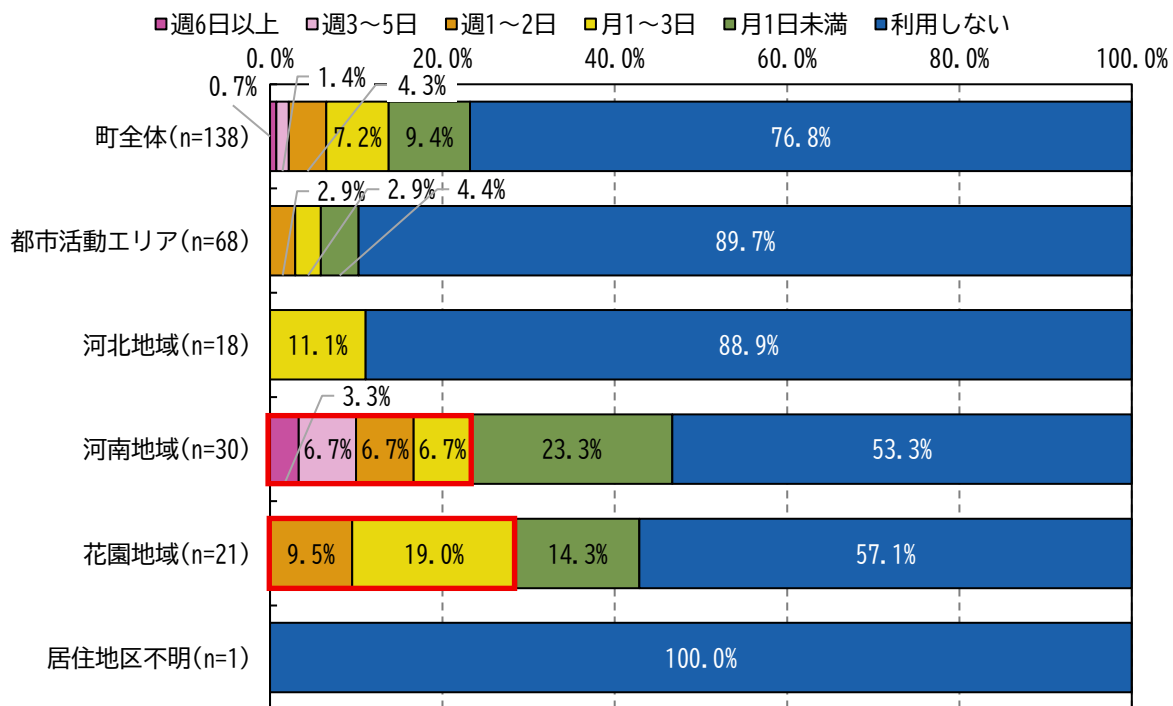
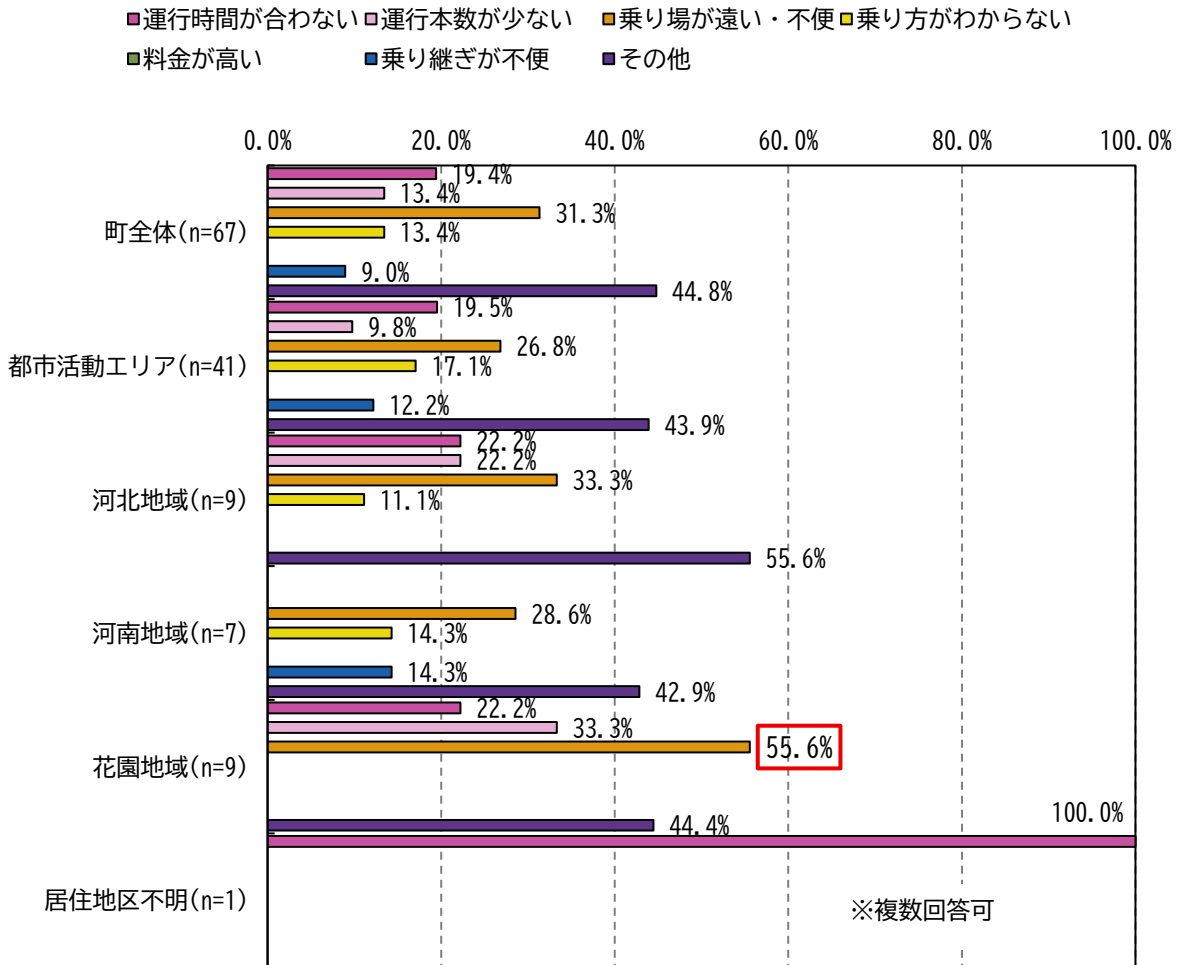


図 36 コミュニティバスの利用頻度（免許を保有していない方を抜粋）



【その他内容】身体的な負担が大きい、自分1人で移動できない、バス停が遠い など

図 37 コミュニティバスを「利用しない」と回答した理由（免許を保有していない方を抜粋）

●デマンド型乗合タクシー（全体）

- ・ デマンド型乗合タクシーについて、「利用しない」と回答した方がすべての地区で最も多く、利用率は全体的に低い傾向が見られる。
- ・ 利用しない理由としては、「その他」を除くと、「乗り方がわからない」とする回答が各地域で多く挙げられており、制度や利用方法の認知不足が課題となっている可能性がある。
- ・ また、「その他」の自由記述には、「知らなかった」「自家用車を利用している」「必要ない」などが含まれており、制度そのものの認知度や生活スタイルの違いも利用控えの背景にあると考えられる。

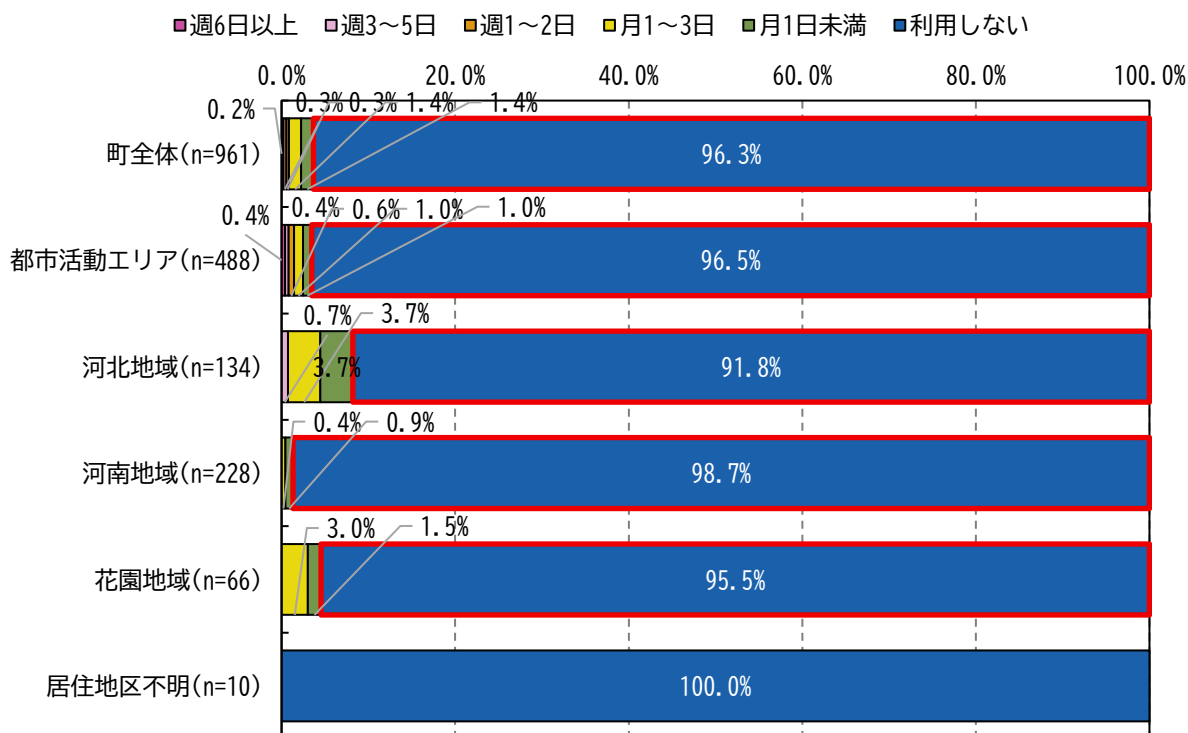
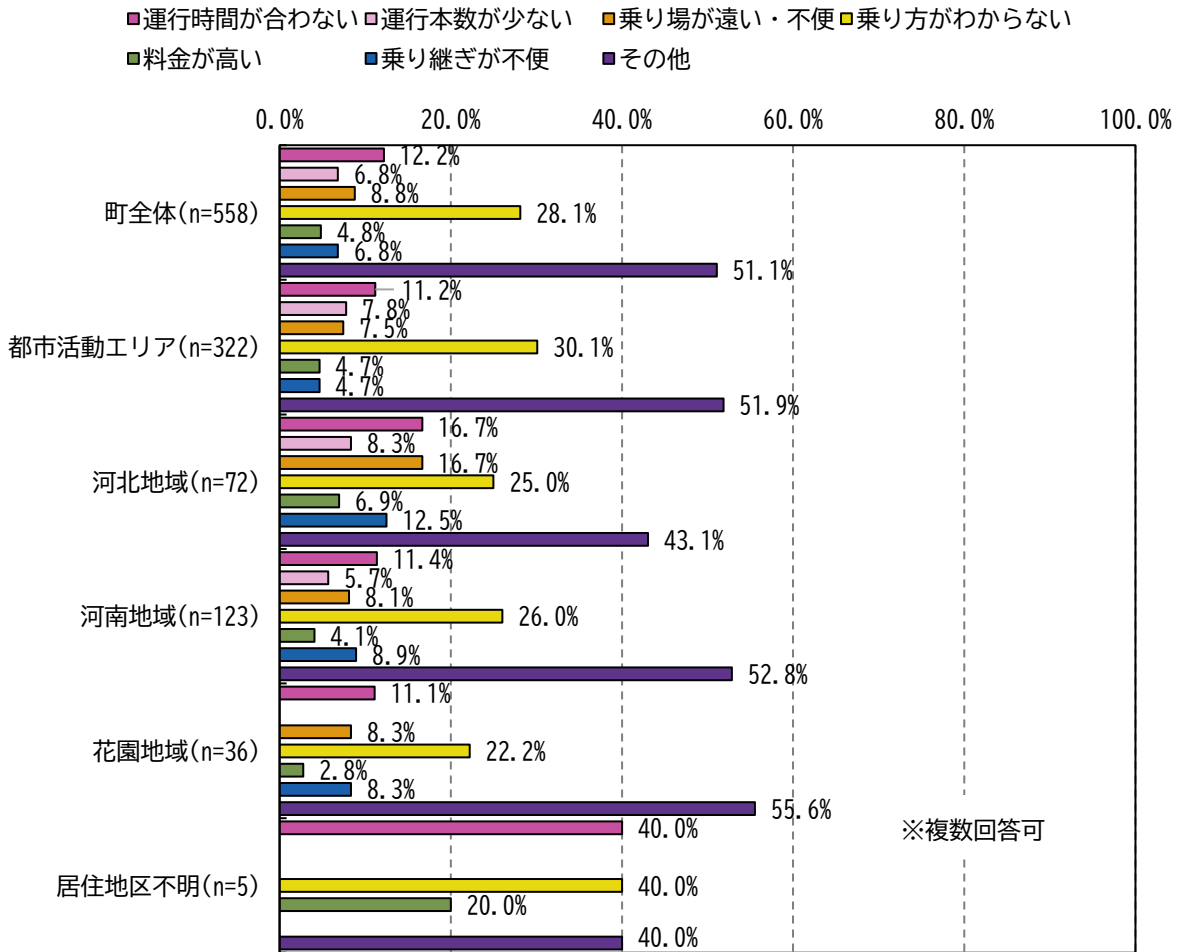


図 38 デマンド型乗合タクシーの利用頻度



【その他内容】自家用車を利用するから、必要ないから、知らなかった、時間がかかる など

図 39 デマンド型乗合タクシーを「利用しない」と回答した理由

●デマンド型乗合タクシー（免許を保有していない方のみ）

- ・ 河南地域では、「利用しない」と回答した方と無回答の方のみであり、利用者は確認されなかった。
- ・ 利用しない理由としては、「その他」を除くと、「乗り方がわからない」とする回答が各地域で多く挙げられており、制度や利用方法の認知不足が共通の課題となっている可能性がある。

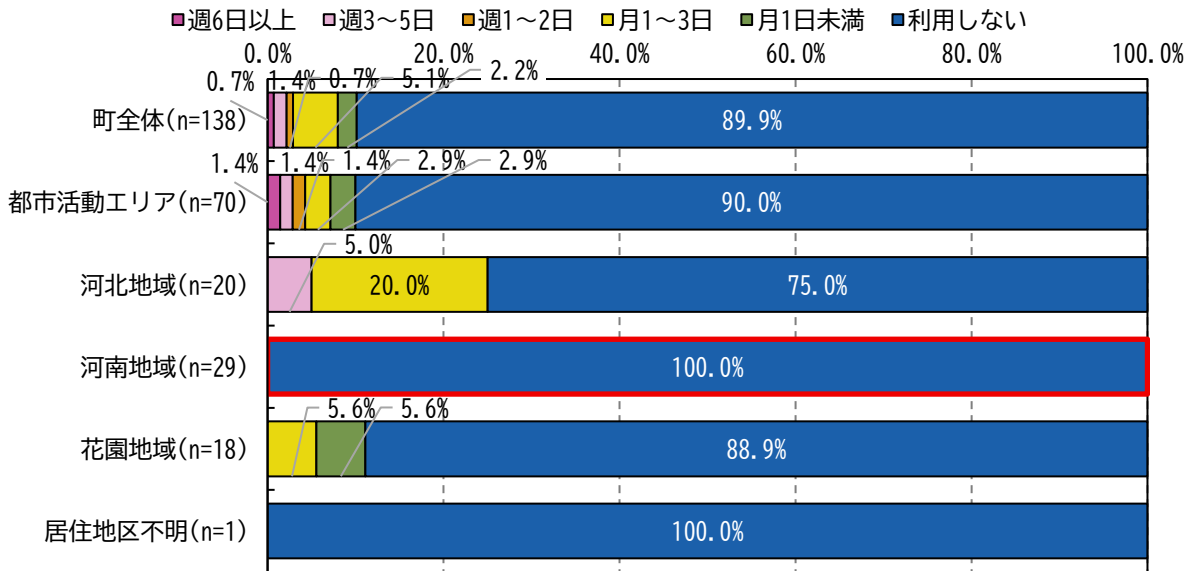
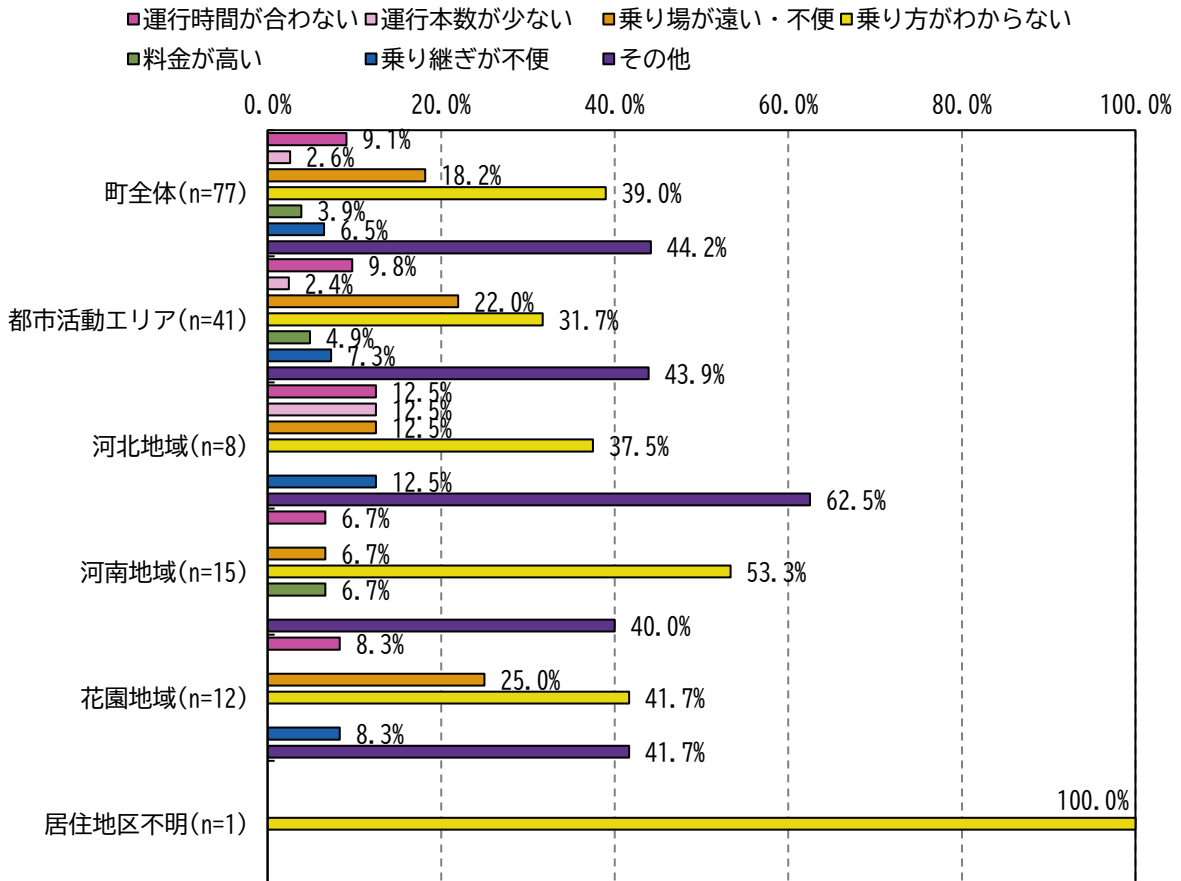


図 40 デマンド型乗合タクシーの利用頻度（免許を保有していない方を抜粋）



【その他内容】自家用車を利用するから、必要ないから、知らなかった、時間がかかる など

図 41 デマンド型乗合タクシーを「利用しない」と回答した理由（免許を保有していない方を抜粋）

■ 公共交通の総合的な満足度

● JR 和歌山線

- ・ 利用頻度に関する設問において「利用しない」と回答した方が多かったため、「わからない」とする回答が最も多くなっている。
- ・ 全体では「満足」「やや満足」が13.7%、「やや不満」「不満」が22.2%となっており、満足度よりも不満の割合がやや高い傾向が見られる。
- ・ 免許を保有していない方に限定しても、回答傾向は全体とほぼ同様であり、満足度・不満度ともに大きな差は見られなかった。

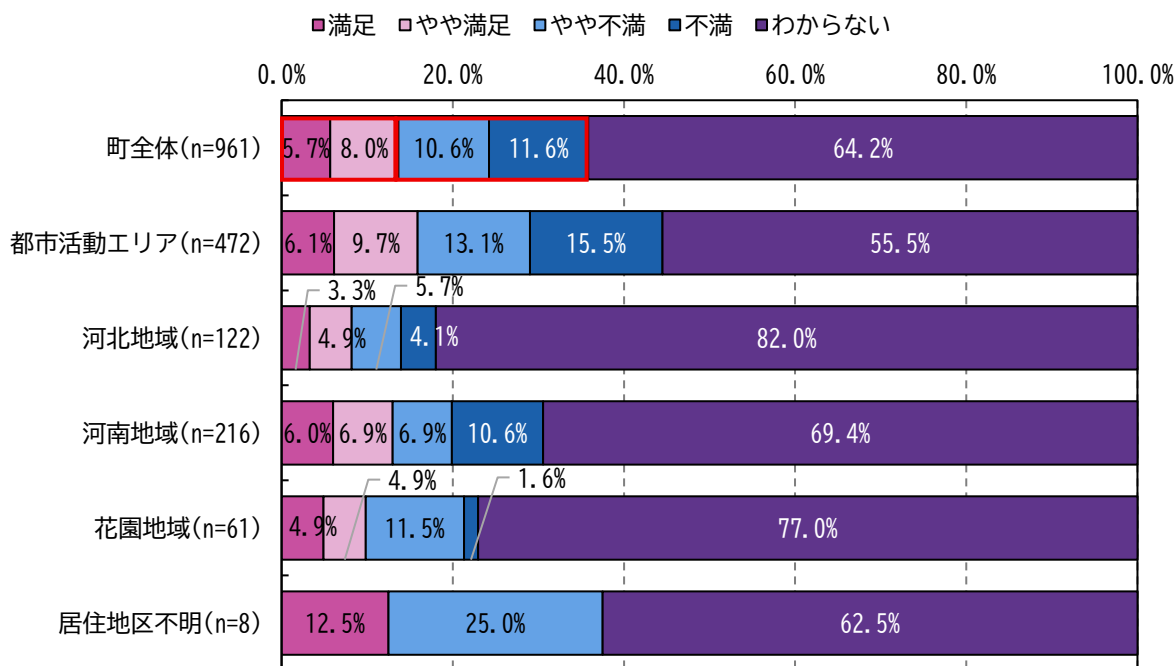


図 42 JR 和歌山線の満足度

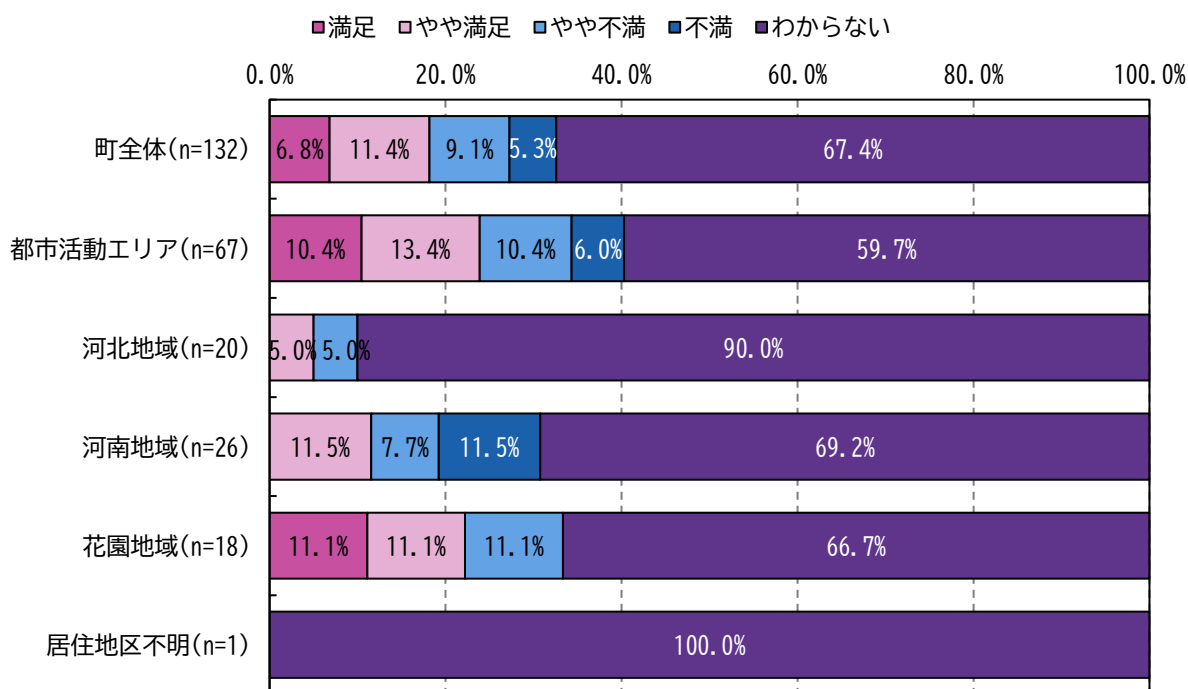


図 43 JR 和歌山線の満足度（免許を保有していない方を抜粋）

●コミュニティバス

- ・ 利用頻度に関する設問において「利用しない」と回答した方が多かったため、「わからない」とする回答が最も多くなっている。
- ・ 全体としては「満足」「やや満足」が 6.3%、「やや不満」「不満」が 10.6%となっており、満足度よりも不満の割合がやや高い傾向が見られる。
- ・ 一方で、花園地域にお住まいで免許を保有していない方に限ると、「満足」「やや満足」とする回答が 36.3%にのぼり、他地域と比べて満足度が高い傾向が確認された。

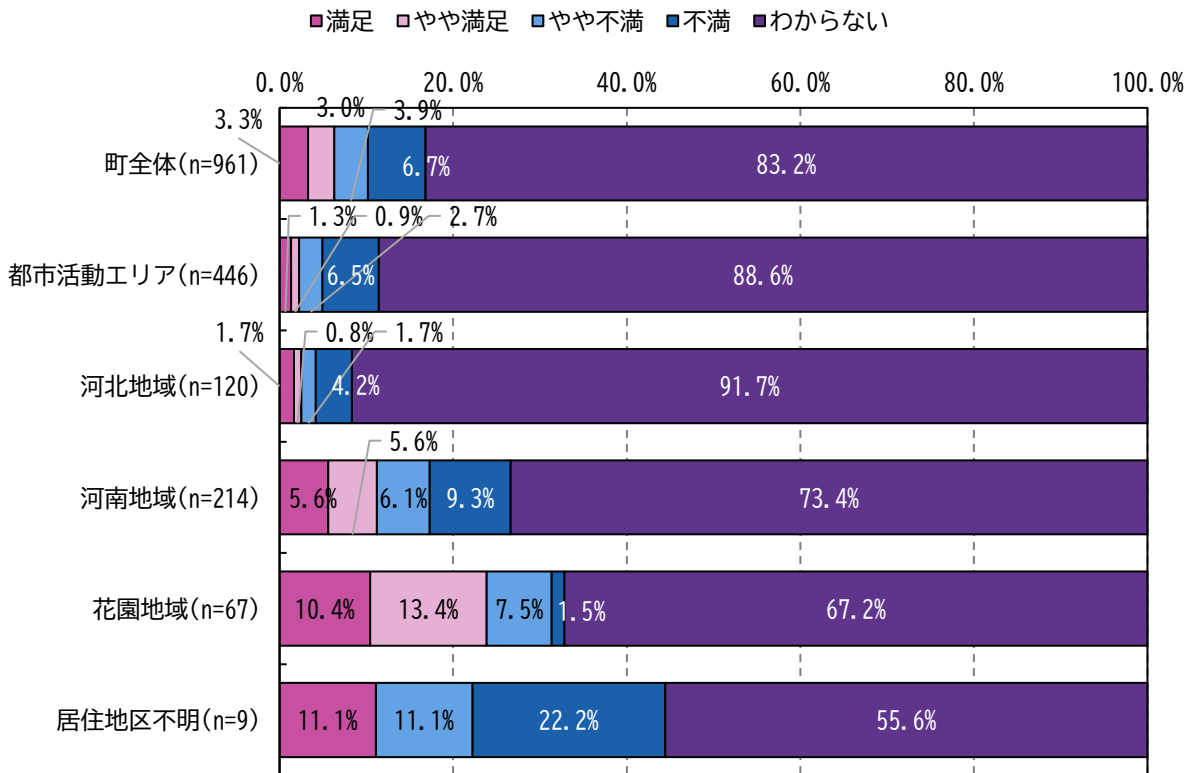


図 44 コミュニティバスの満足度

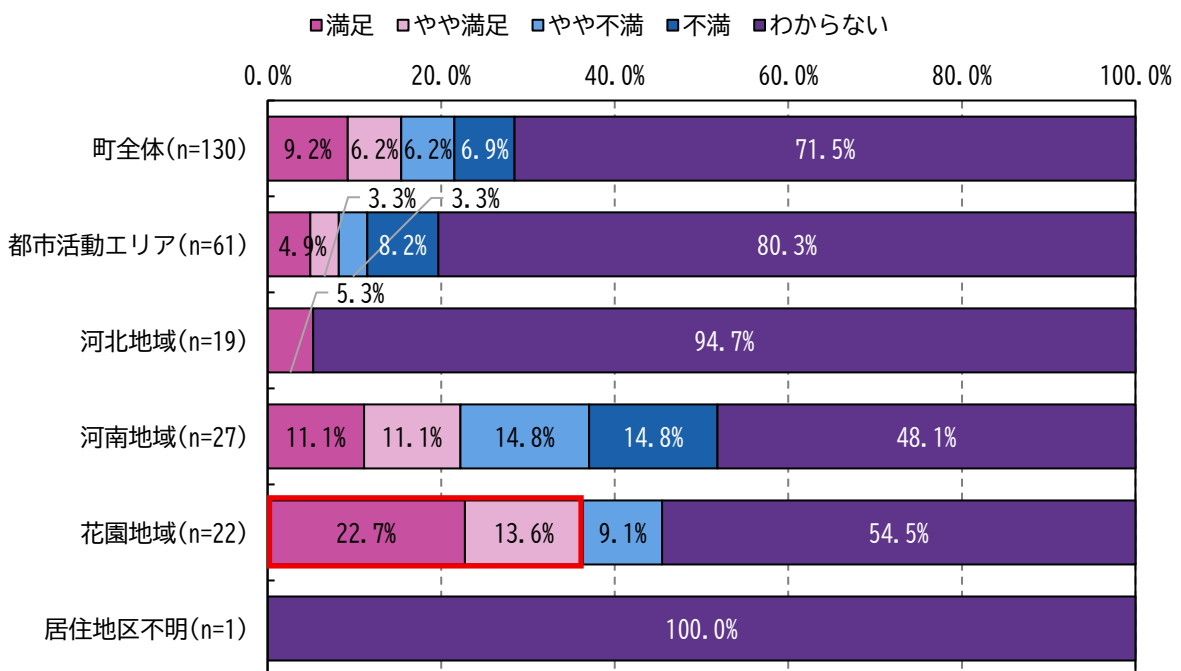


図 45 コミュニティバスの満足度（免許を保有していない方を抜粋）

●デマンド型乗合タクシー

- ・ 利用頻度に関する設問において「利用しない」と回答した方が多かったため、「わからない」とする回答が最も多くなっている。
- ・ 全体としては「満足」「やや満足」が3.2%、「やや不満」「不満」が5.8%となっており、満足度よりも不満の割合がやや高い傾向が見られる。
- ・ 一方で、河北地域にお住まいで免許を保有していない方に限ると、「満足」「やや満足」とする回答が14.3%にのぼり、他地域と比べて満足度が高い傾向が確認された。

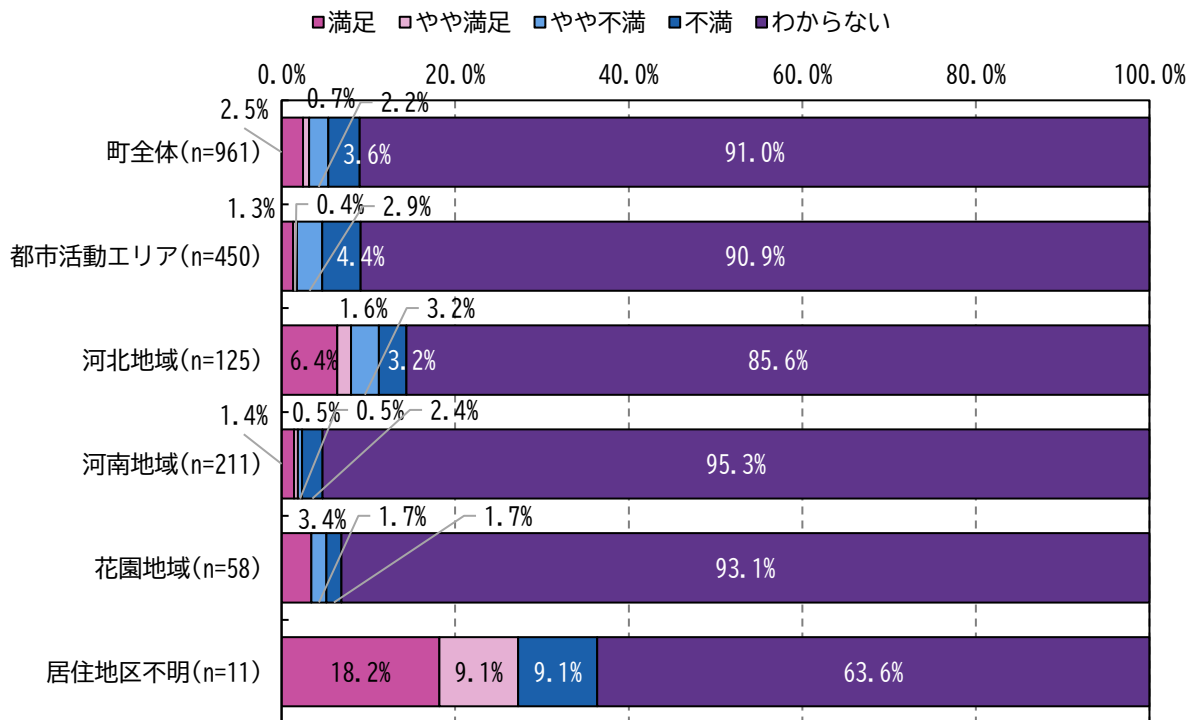


図 46 デマンド型乗合タクシーの満足度

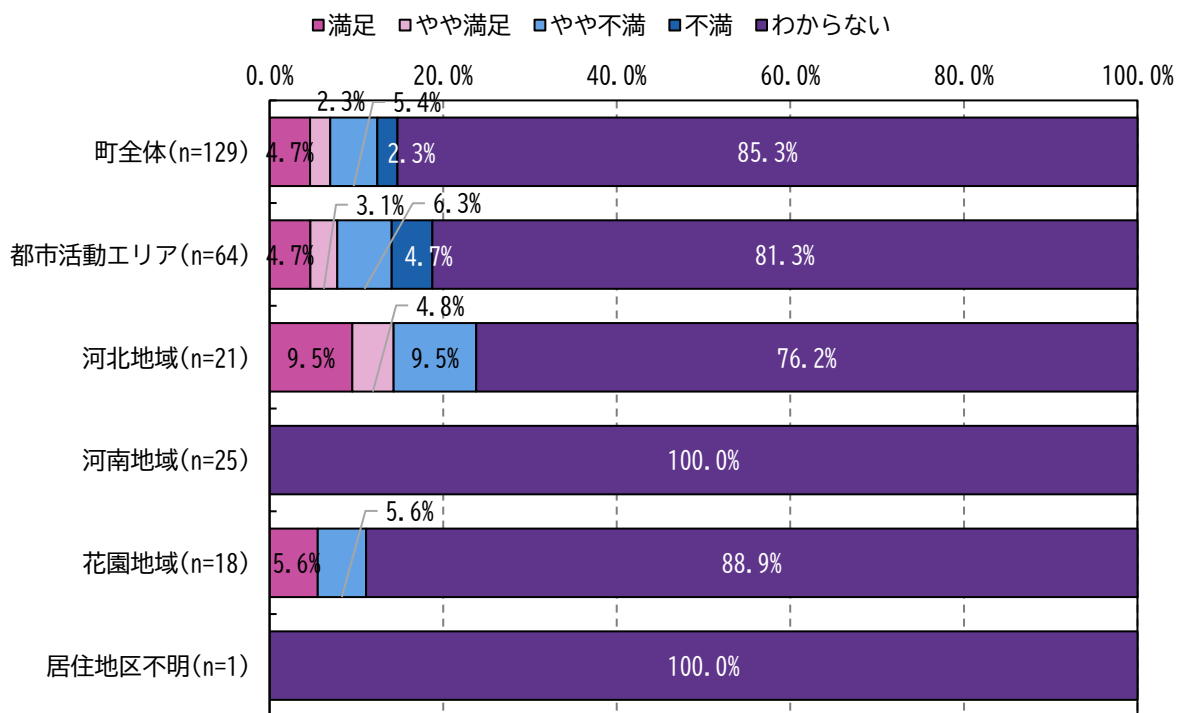


図 47 デマンド型乗合タクシーの満足度（免許を保有していない方を抜粋）

⑤ 送迎について

■ 送迎の状況

- ・ 「家族や知人に送迎をしてもらおう」と回答した方は、全体では 27.6%だが、免許を保有していない方では 87.8%と高く、移動を家族・知人による支援に強く依存している傾向が見られた。
- ・ 花園地域では「家族や知人に送迎をもらおう」割合が 46.0%と最も高く、他の地域よりも支援に基づく移動が多い地域となっている。
- ・ 一方で、都市活動エリアや河北地域では「自分で送迎する」割合が高く、自家用車を用いた送迎が生活に定着している傾向が見られる。
- ・ また、花園地域を除くすべての地域で、「自分で送迎する」割合が、「送迎をもらおう」を上回り、免許保有者は送迎する側としての役割が強い可能性がある。

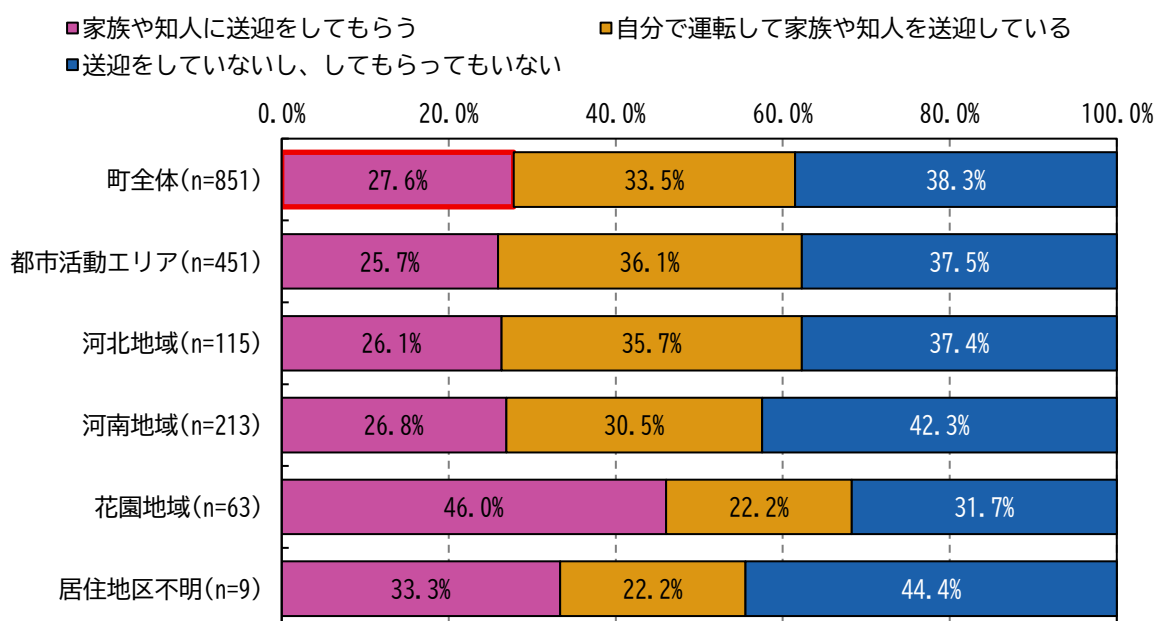


図 48 送迎の状況

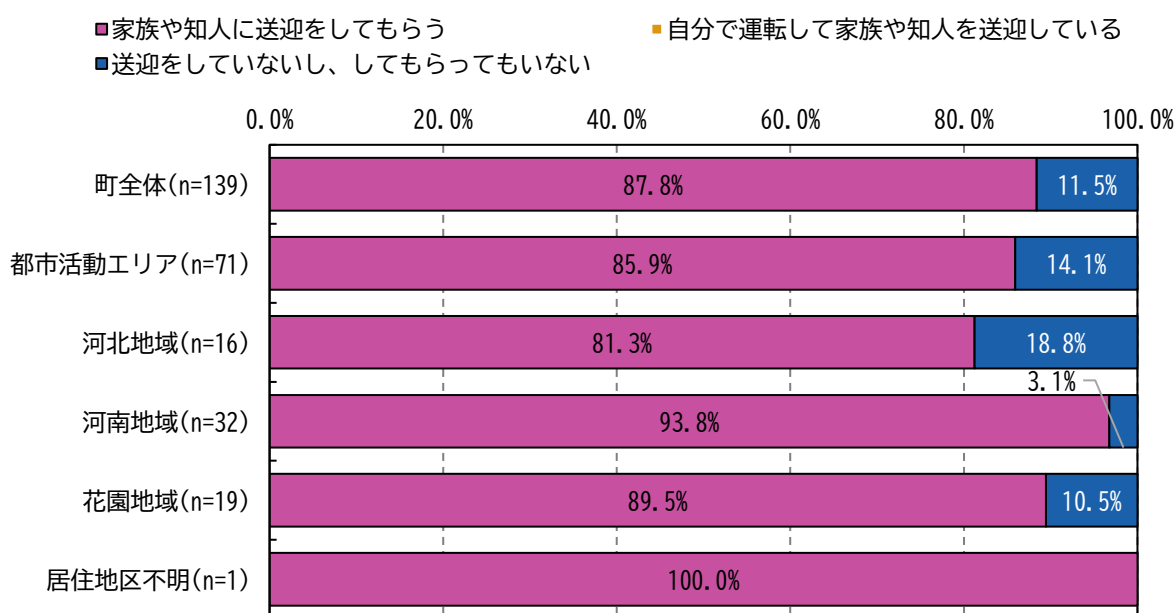
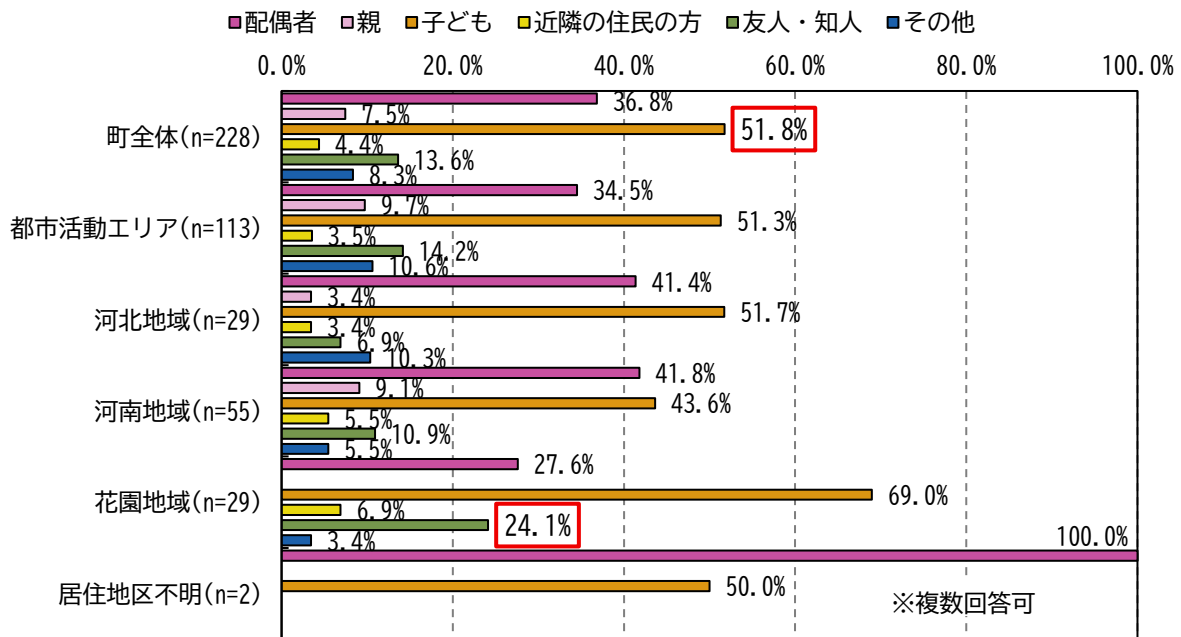


図 49 送迎の状況（免許を保有していない方を抜粋）

■ 「家族や知人に送迎をしてもらう」方の詳細

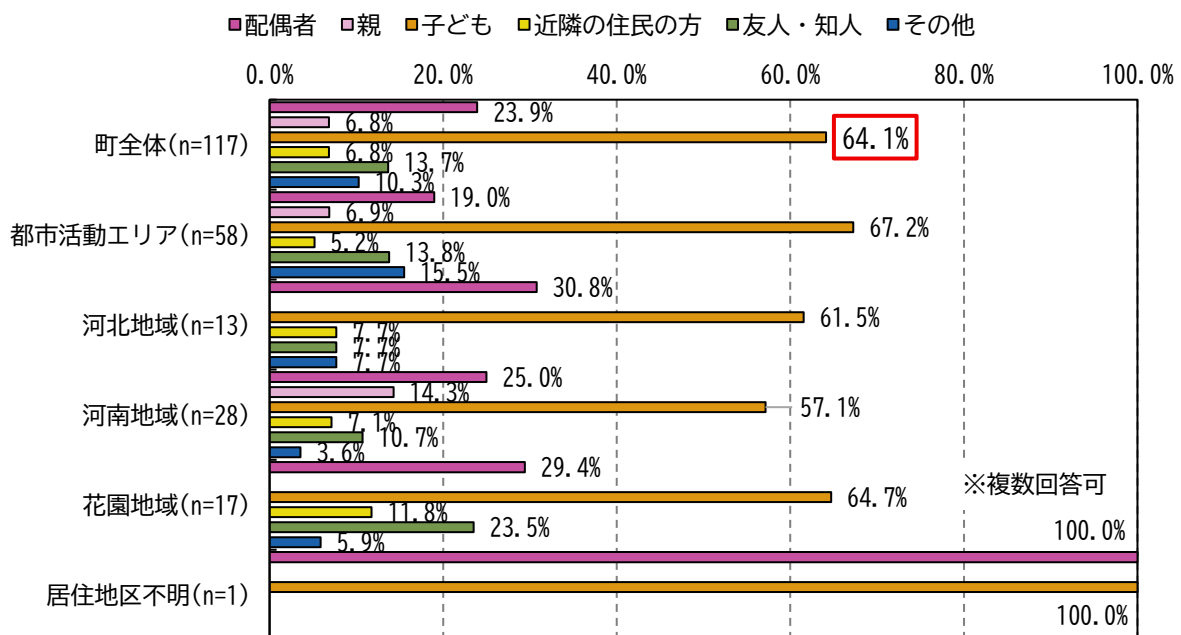
●送迎してもらっている方

- ・ どの地域でも「子ども」に送迎してもらっていると回答した方が最も多く、家族内での支援が中心となっている。
- ・ 花園地域では「友人・知人」に送迎してもらっている割合が 24.1%と他地域より高く、地域内のつながりによる支援が比較的多い傾向がある。
- ・ また、免許を保有していない方に限ると、「子ども」に送迎してもらっている割合は 64.1%にのぼり、移動手段として子どもへの依存が特に強い傾向が見られる。



【その他内容】兄弟・姉妹、甥・姪、職場の人 など

図 50 送迎してもらっている方（全体）



【その他内容】兄弟・姉妹、甥・姪 など

図 51 送迎してもらっている方（免許を保有していない方を抜粋）

●送迎してもらう頻度

- 町全体では、週1回以上送迎してもらっていると回答した方が35.6%となっている。
- 「ほぼ毎日」と回答した方が最も多かった地域は河北地域で13.8%となっており、週1回以上の頻度で送迎を受けている方の割合も37.8%と同地域が最も高い。
- また、免許を保有していない方に限ると、週1回以上送迎を受けている方の割合は45.2%にのぼり、移動手段として他者による支援に依存する傾向がより強く見られる。

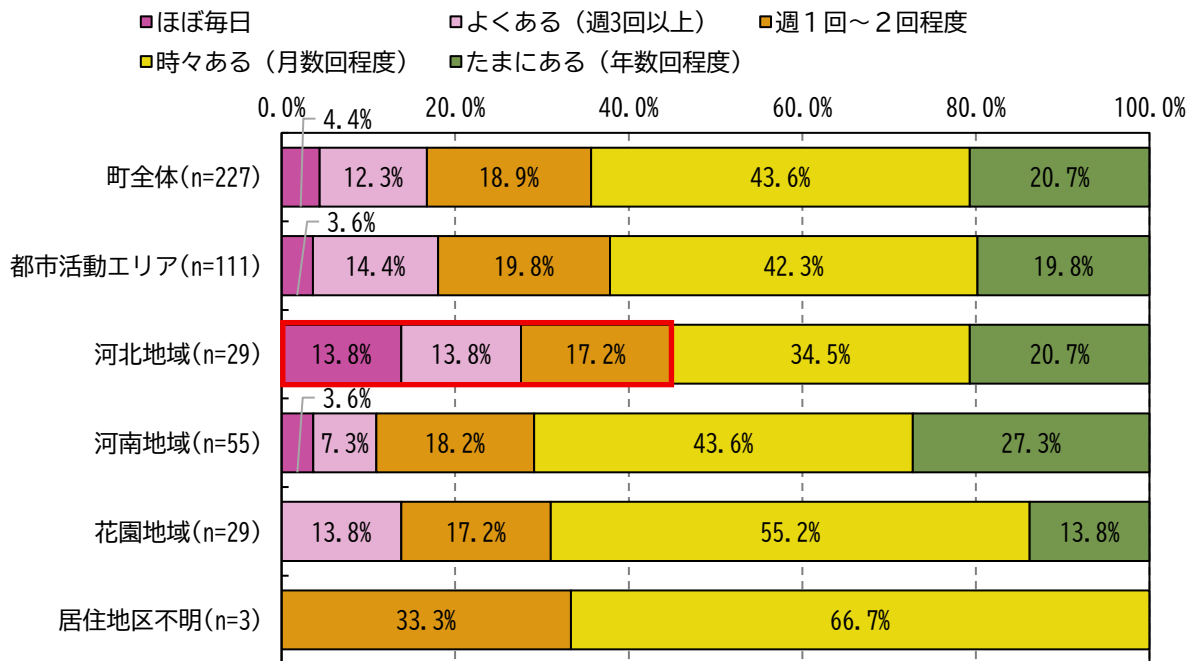


図 52 送迎をもらう頻度

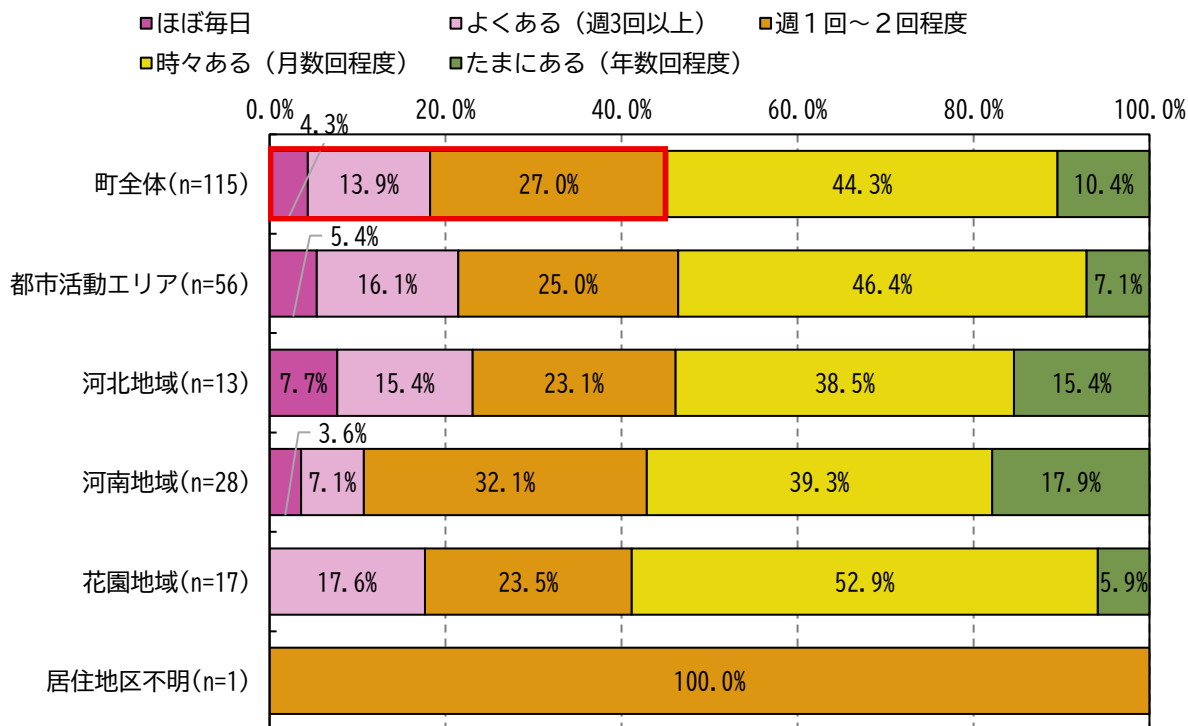
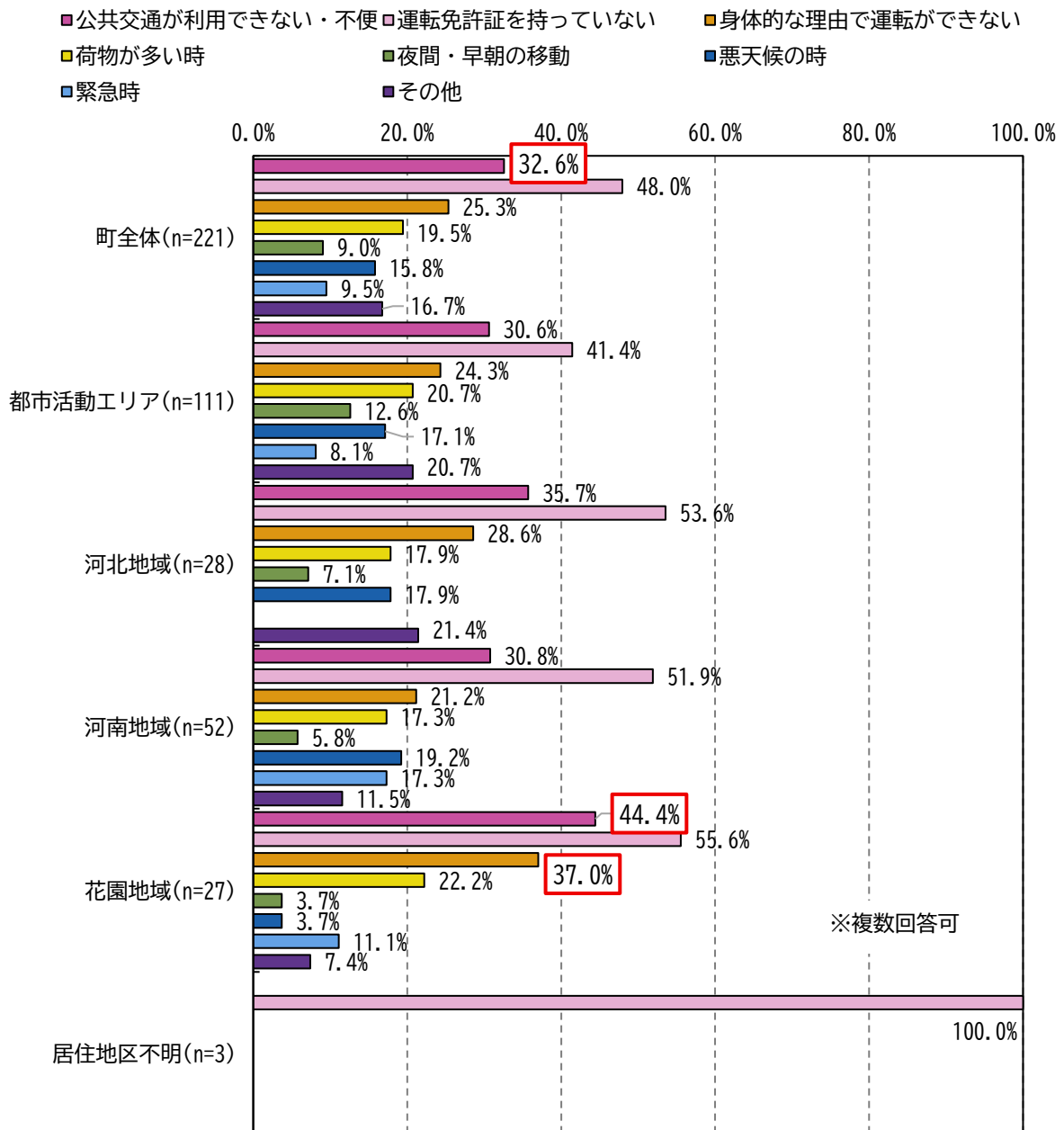


図 53 送迎をもらう頻度 (免許を保有していない方を抜粋)

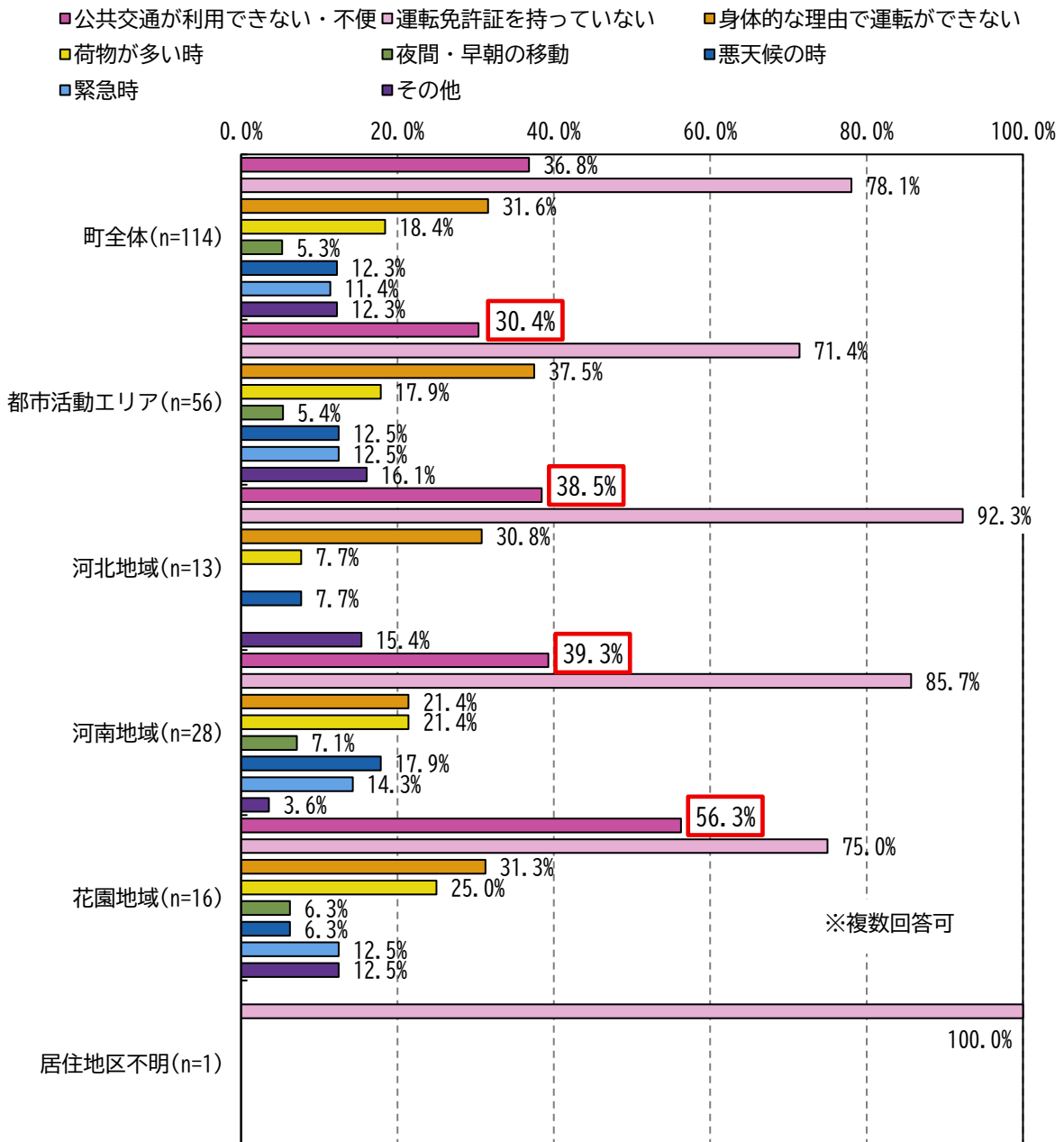
●送迎してもらう理由

- どの地域でも「運転免許証を持っていない」が最も多く、次いで「公共交通が利用できない」とする回答が多くなっている。特に「公共交通が利用できない」とする回答は、全体で 32.6%、花園地域では 44.4%と高く、地域によって公共交通の利便性に差があることがうかがえる。
- 河北地域・河南地域・花園地域の免許を持っていない方は、都市活動エリアの免許を持っていない方に比べて「公共交通が利用できない」とする回答が多くなっている。
- 「身体的な理由で運転ができない」とする回答は全体で 25.3%だが、花園地域では 37.0%と高く、高齢化や身体の不自由さなどにより移動が困難な方が多い地域では送迎の必要性がより高まっていることが示されている。



【その他内容】 飲酒時、通院、買い物、駅までの送迎 など

図 54 送迎をしてもらう主な理由



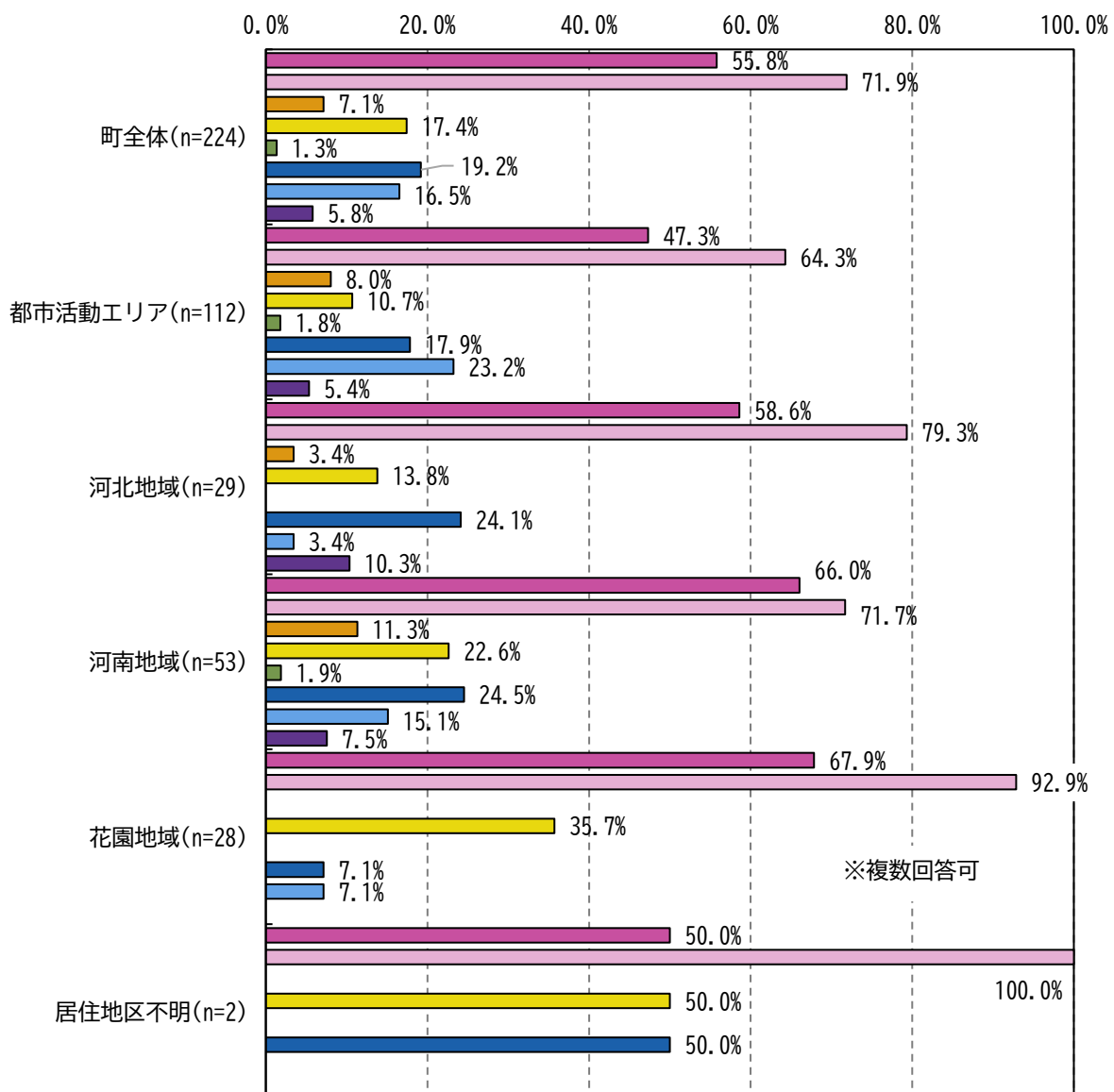
【その他内容】通院、買い物 など

図 55 送迎をしてもらう主な理由（免許を保有していない方を抜粋）

●送迎してもらう移動の主な目的

- ・ 移動の目的として最も多かったのは「通院」であり、次いで「買い物」、「友人・知人との交流」、「金融機関への用事」が続く結果となっている。
- ・ 「買い物」や「金融機関」など日常生活に関わる用事に加え、「友人・知人との交流」も一定の割合を占めており、社会的つながりを維持するための移動支援の重要性も示されている。
- ・ 免許を保有していない方も全体と同様に「通院」「買い物」「金融機関」が主な目的となっており、生活に必要な移動が中心となっている。特に河北地域・河南地域・花園地域ではこれらの目的の割合が高く、日常生活を支える送迎の重要性がより大きいことがうかがえる。

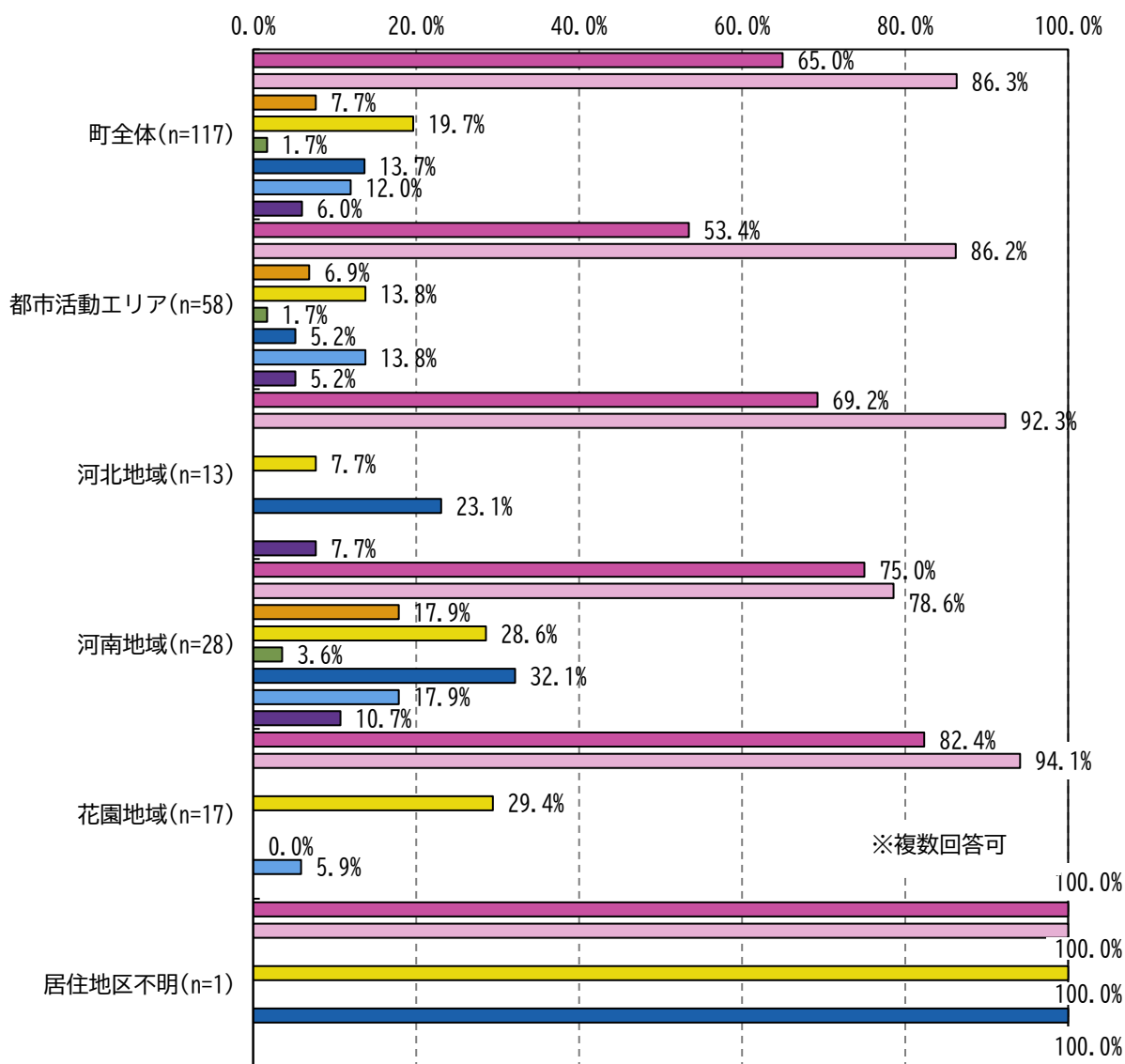
■買い物 □通院 ■通勤・通学 ■金融機関 ■塾や習い事 ■友人・知人との交流 ■趣味・娯楽活動 ■その他



【その他内容】 役場、飲酒、散髪、法事 など

図 56 送迎してもらう移動の主な目的

■買い物 □通院 ■通勤・通学 ■金融機関 ■塾や習い事 ■友人・知人との交流 ■趣味・娯楽活動 ■その他



【その他内容】役場、散髪、法事 など

図 57 送迎してもらう移動の主な目的（免許を保有していない方を抜粋）

●送迎してもらうことに申し訳なく感じているか

- ・ 全体では、「やや感じる」「大いに感じる」と回答した方の合計が 74.2%となっており、多くの方が送迎に対して何らかの申し訳なきを感じていることがわかる。
- ・ 特に河北地域と花園地域では「大いに感じる」と回答した方の割合が他地域より高く、送迎に対する心理的負担が強い傾向が見られる。
- ・ 免許を保有していない方に限ると、約 80%以上が申し訳なきを感じており、自力で移動できないことへの遠慮や負担感がより強く表れている。

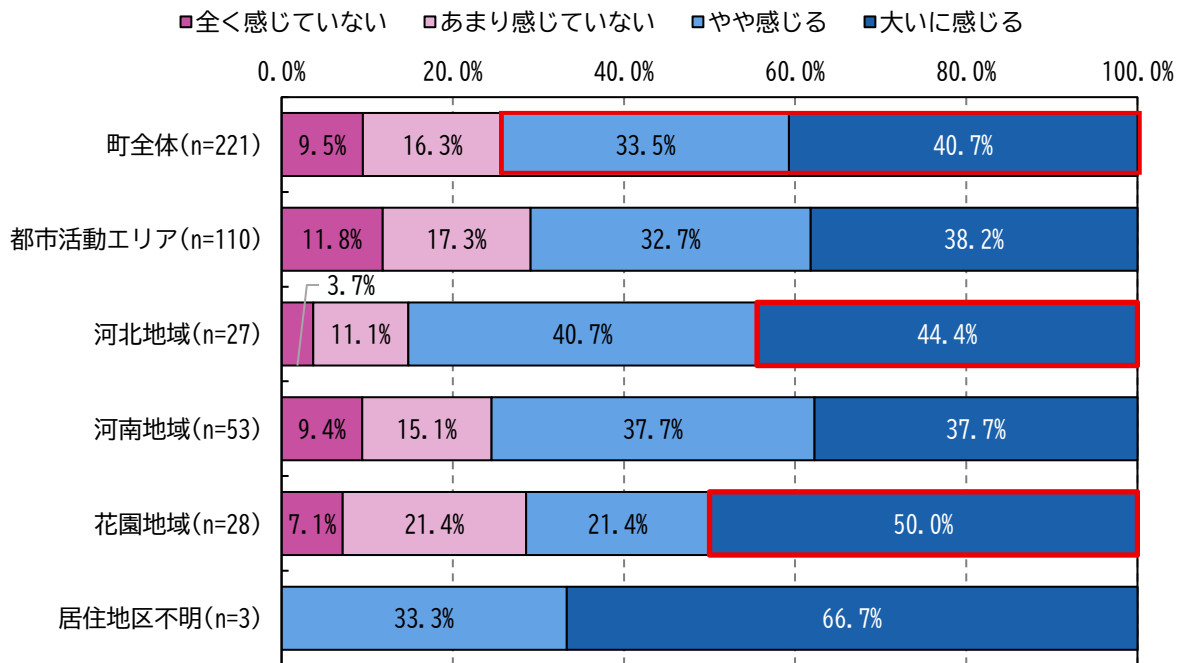


図 58 送迎をしてもらうことについて申し訳なく感じているか

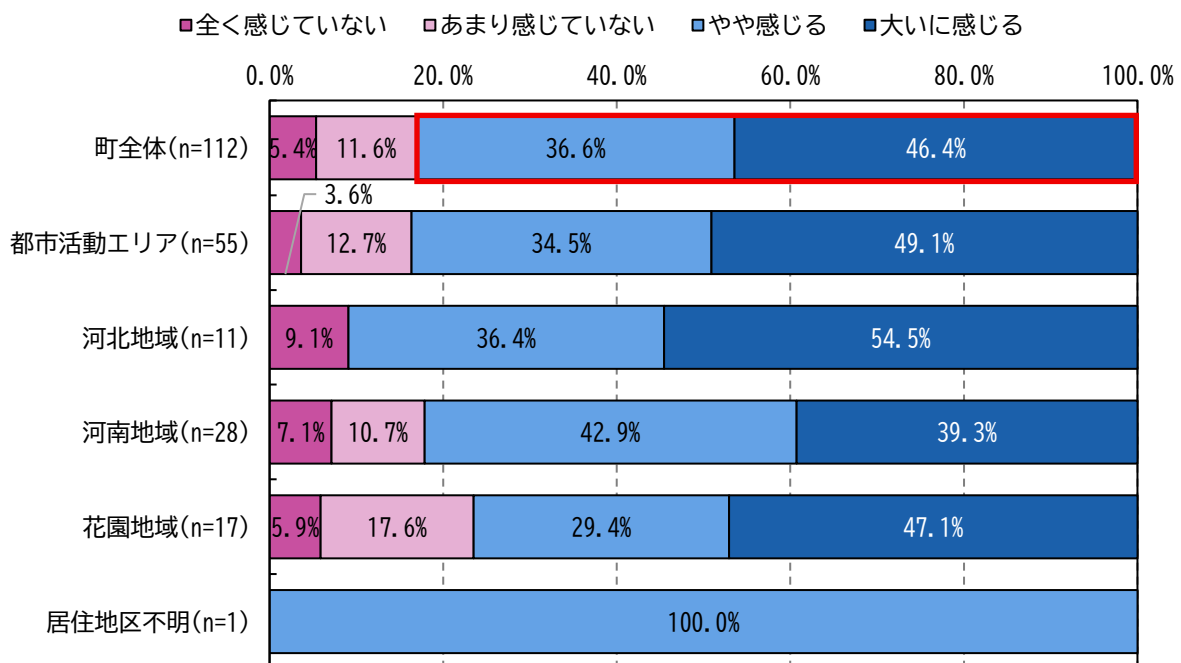
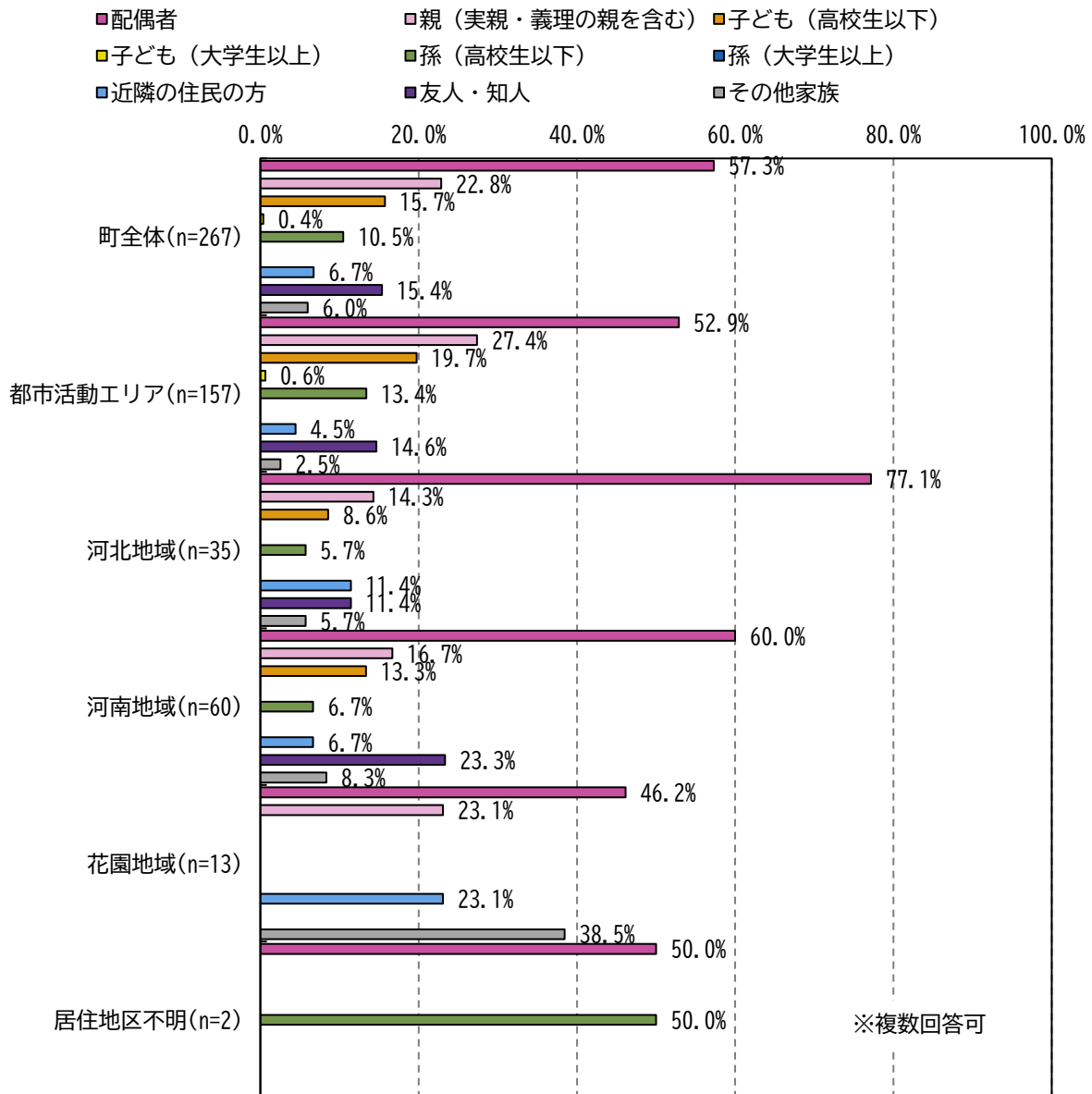


図 59 送迎をしてもらうことについて申し訳なく感じているか（免許を保有していない方を抜粋）

■ 自分で運転して家族や知人を送迎している方の詳細

●自分で運転して送迎をしている対象

- ・ 「配偶者」を送迎していると回答した方が 57.3%で最も多く、次いで「親（実親・義理の親を含む）」が22.8%、「子ども（高校生以下）」が15.7%となっている。
- ・ また、花園地域を除くすべての地域で「孫（高校生以下）」の送迎が一定数見られ、祖父母が孫の移動を支える関係が地域に根づいていることがわかる。



【その他内容】近所の方の子ども、兄弟・姉妹、甥・姪、パートナー など

図 60 自分で運転して送迎をしている対象

●送迎をする頻度

- 送迎をする頻度については、「時々ある（月数回程度）」と回答した方が 29.8%で最も多く、次いで「週1回～2回程度」が 25.7%となっている。
- 週1回以上送迎している方の割合は全体で 52.5%にのぼり、日常的に送迎を担っている方が半数を超えていることがわかる。
- 地域別に見ると、都市活動エリアは「ほぼ毎日」「週3回以上」の割合が全体より高く、家族や近隣の送迎支援を日常的に行っている層が一定数存在することがうかがえる。

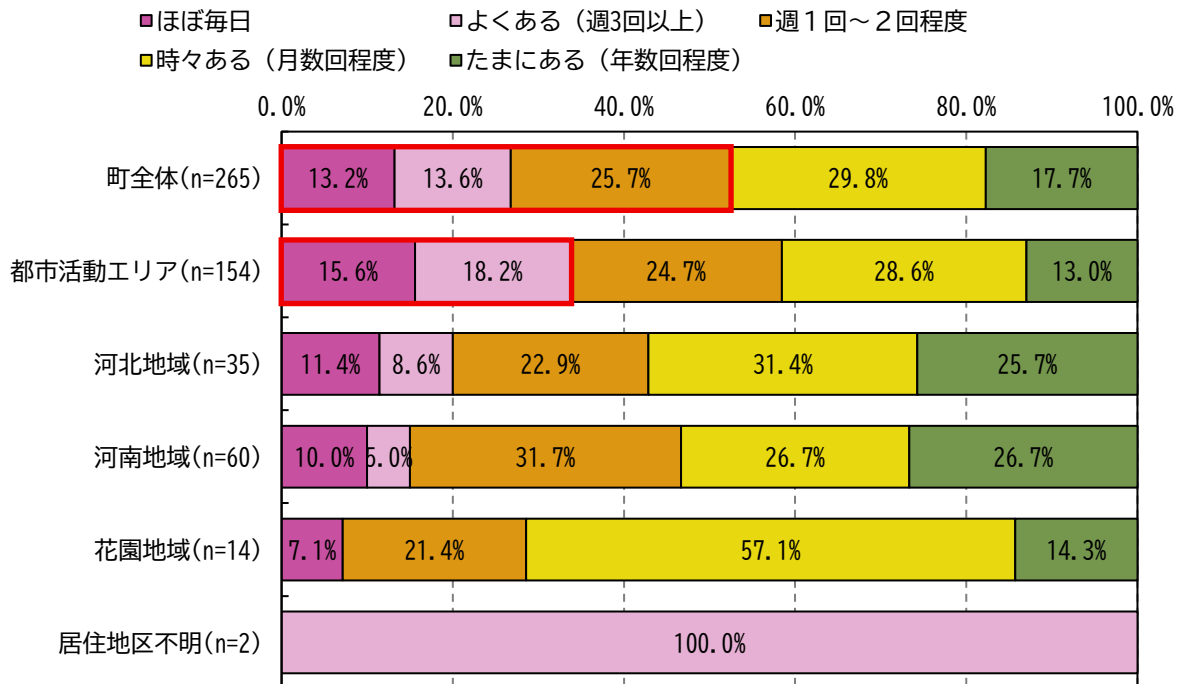
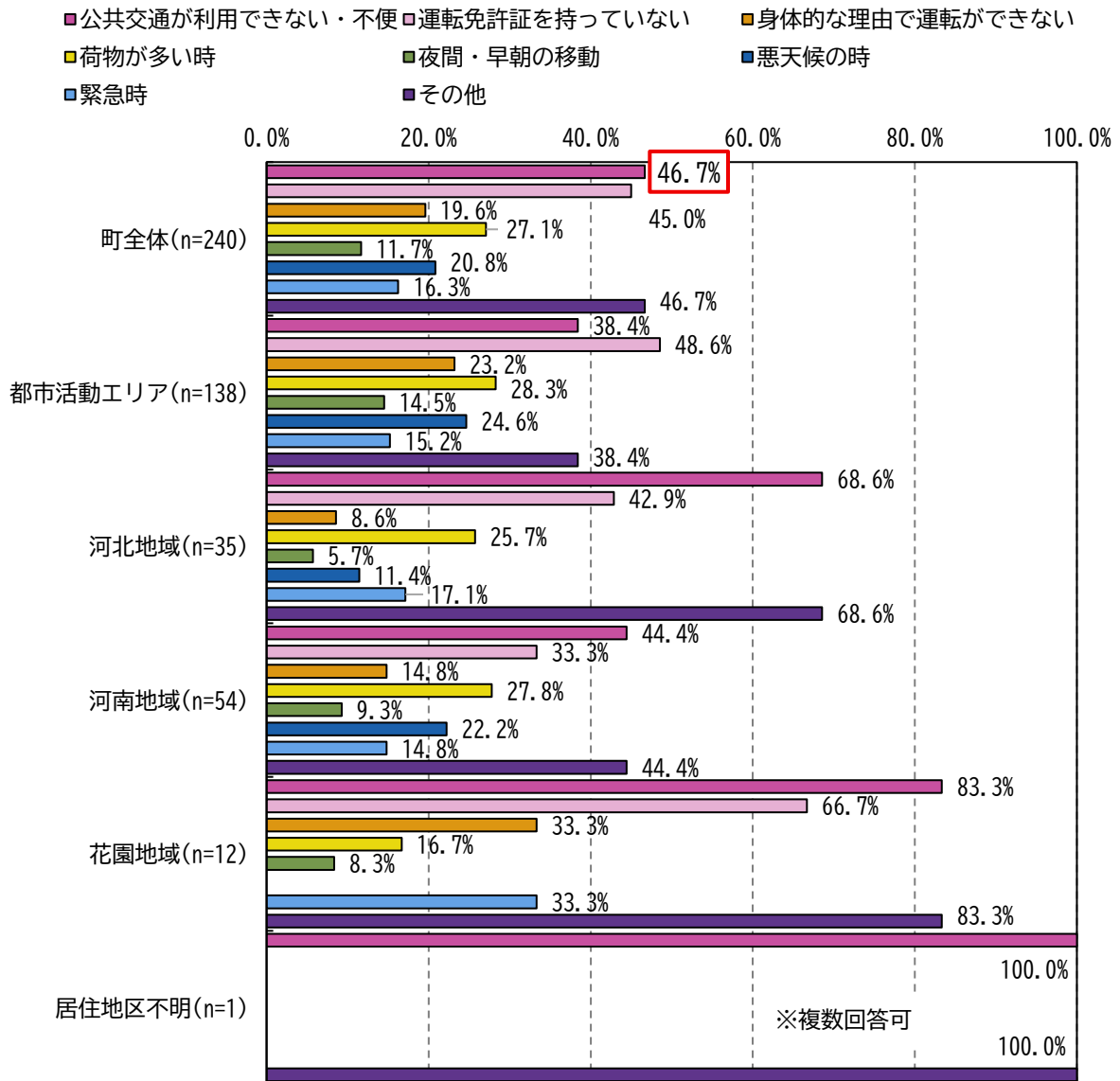


図 61 送迎をする頻度

●送迎をする主な理由

- ・ 送迎理由として「公共交通が利用できない・不便」と回答した方が最も多く、全体の46.7%を占めている。
- ・ また、「免許を持っていない」という理由以外では、「荷物が多い時」や「悪天候の時」などその時々状況によって移動が難しくなる場面で送迎を行うケースも一定数見られる。

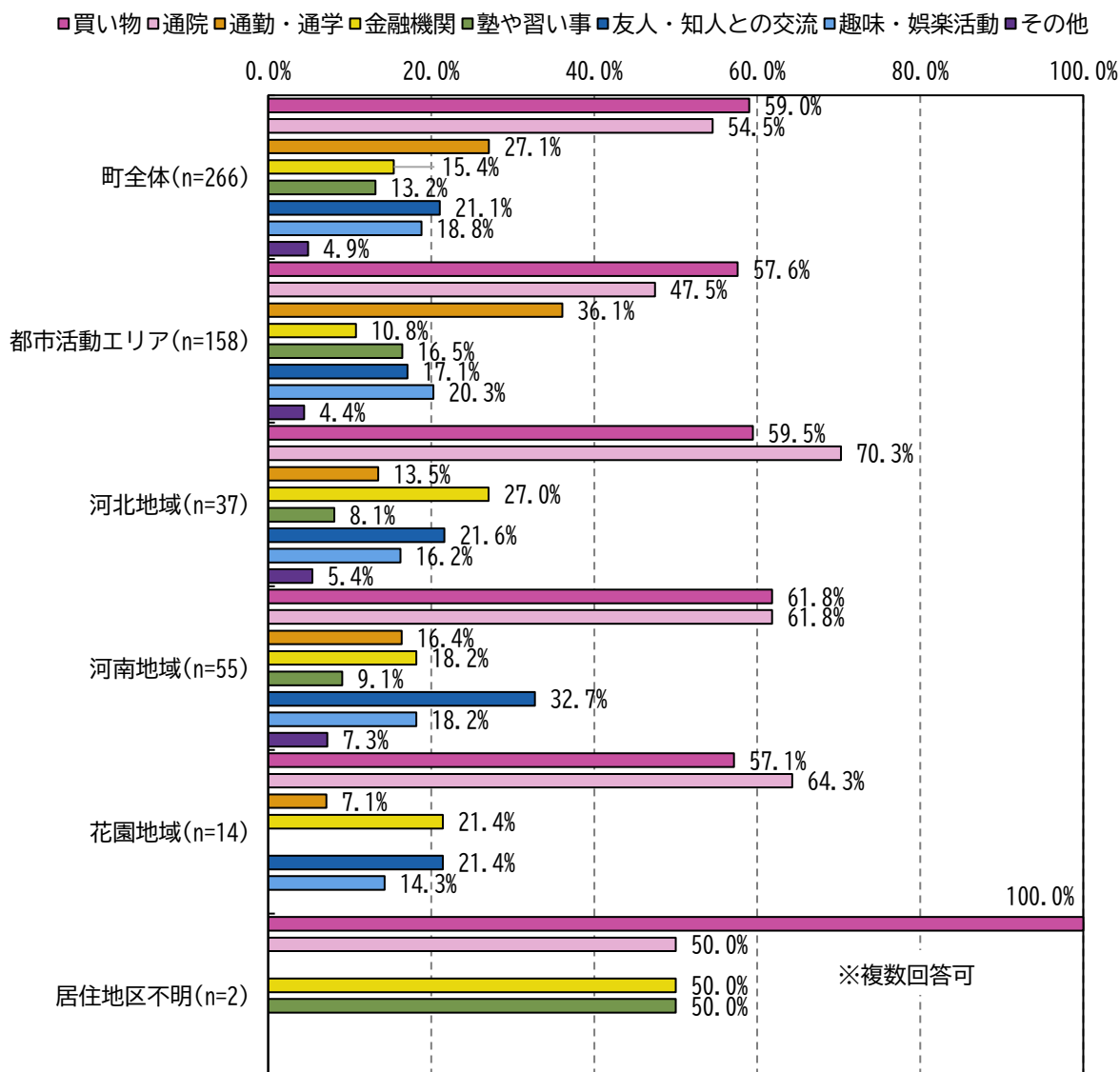


【その他内容】病院が遠いから、飲酒時、駅までの送迎、電車の本数が少ないから、習い事の送迎、学童の迎え、こども園の登園のため など

図 62 送迎をする主な理由

●送迎をする移動の主な目的

- ・ 全体では、「買い物」と回答した方が最も多く 59.0%、次いで「通院」が 54.5%、「通勤・通学」が 27.1%となっている。
- ・ 特に河北地域と花園地域では「買い物」より「通院」の割合が高く、医療機関へのい i 同が送迎の主な目的となっている傾向が見られる。
- ・ また、「金融機関」「友人・知人との交流」「趣味・娯楽活動」なども一定の割合を占めており、生活支援だけでなく、社会参加や心身の健康維持を目的とした送迎ニーズも存在していることがうかがえる。

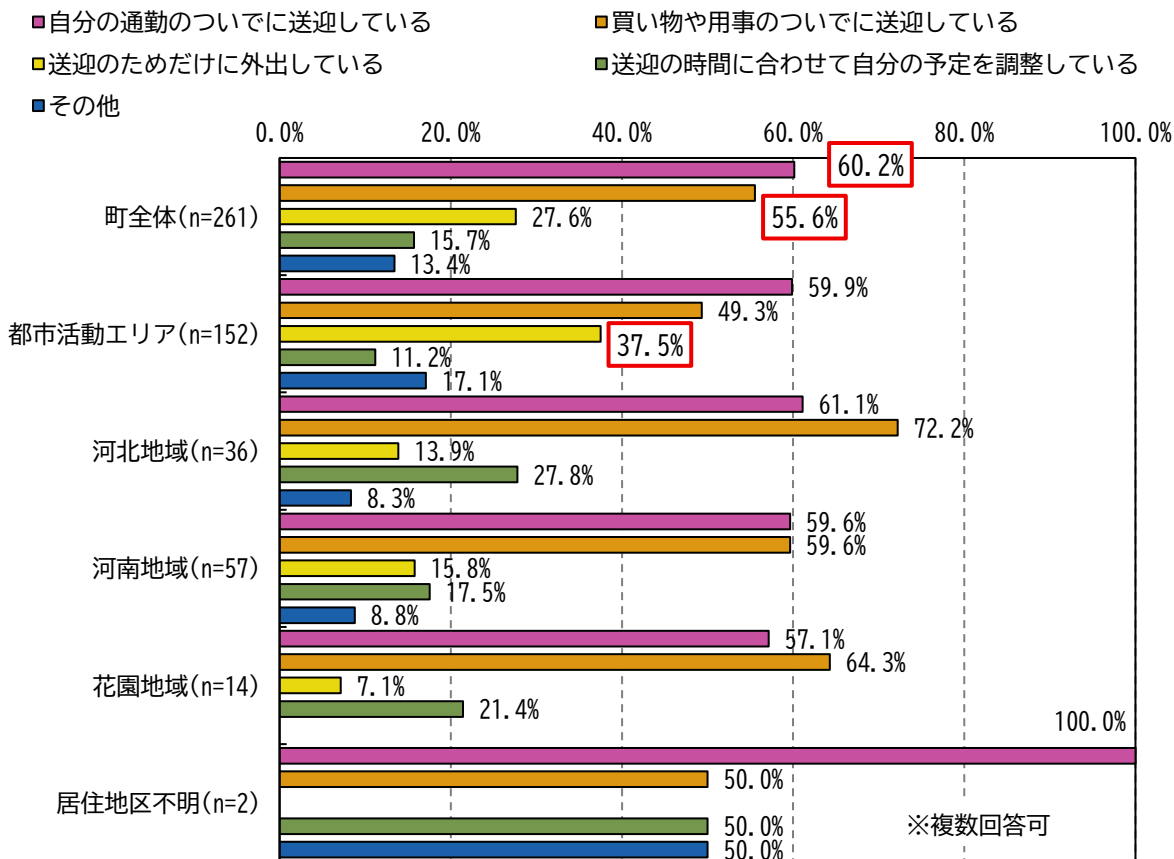


【その他内容】里帰り、仕事、農作業 など

図 63 送迎をする移動の主な目的

●送迎をする状況について

- 「自分の通勤のついでに送迎している」「買い物や用事のついでに送迎している」といった、自身の予定に合わせて送迎を行っているケースは、それぞれ 60%前後となっており、日常の行動と送迎を組み合わせている人が多いことがわかる。
- 一方で、「送迎のためだけに外出している」と回答した方は、都市活動エリアで 37.5%と最も高く、送迎を主目的として行動している層が一定数存在することが示されている。
- また、「送迎の時間に合わせて自分の予定を調整している」といった回答も見られ、送迎が日常の予定に影響を与えている様子もうかがえる。



【その他内容】趣味の活動と一緒にいく など

図 64 送迎をする状況

●送迎をすることについての負担感

- 送迎をすることについて、「全く感じていない」「あまり感じていない」と回答した方の合計は 70.8%となっており、送迎をされる側に比べて、送迎する側は負担感をあまり感じていない傾向がある。
- 一方で、河北地域や花園地域では「やや感じる」「大いに感じる」と回答した方の割合が町全体より高く、送迎を負担に感じている方が比較的多い地域であることがうかがえる。
- また、割合としては大きくないものの、「大いに負担を感じている」と回答した方は全ての地域で一定数存在しており、どの地域にも強い負担感を抱えている層がいることが確認できる。

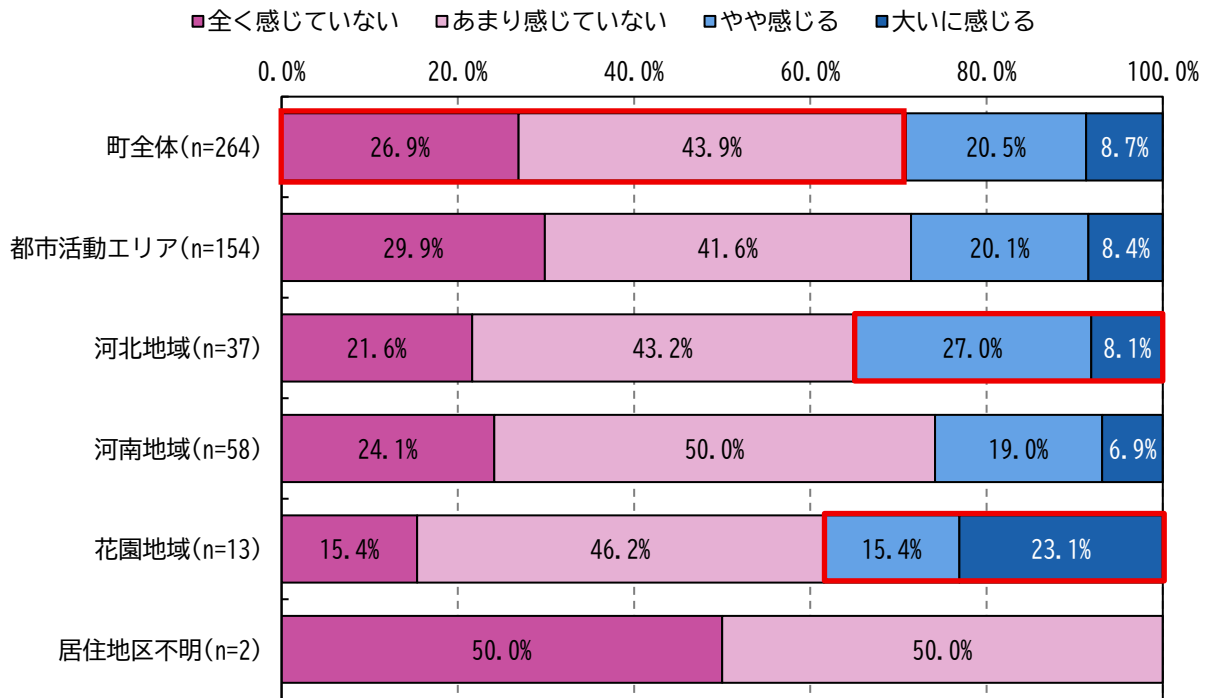


図 65 送迎をすることについての負担感

⑥ デマンド乗合交通「かつらいど」の実証実験について（花園地域除く）

■ デマンド乗合交通の実証実験の認知度

- ・ 実証実験の認知度については、「詳しく知っている」「聞いたことがある」と回答した方が合計 49.8%、「知らなかった」と回答した方が 50.2%となっており、認知している層と認知していない層がほぼ半々となっている。
- ・ また、免許を持っている場合も持っていない場合も、認知度の傾向はほぼ同様である。
- ・ 特に免許を持っていない方においても、「詳しく知っている」「聞いたことがある」と回答した方が 44.8%となっており、情報が一定程度届いていることがうかがえる一方で、過半数は「知らなかった」と回答しており、周知のさらなる工夫が求められる

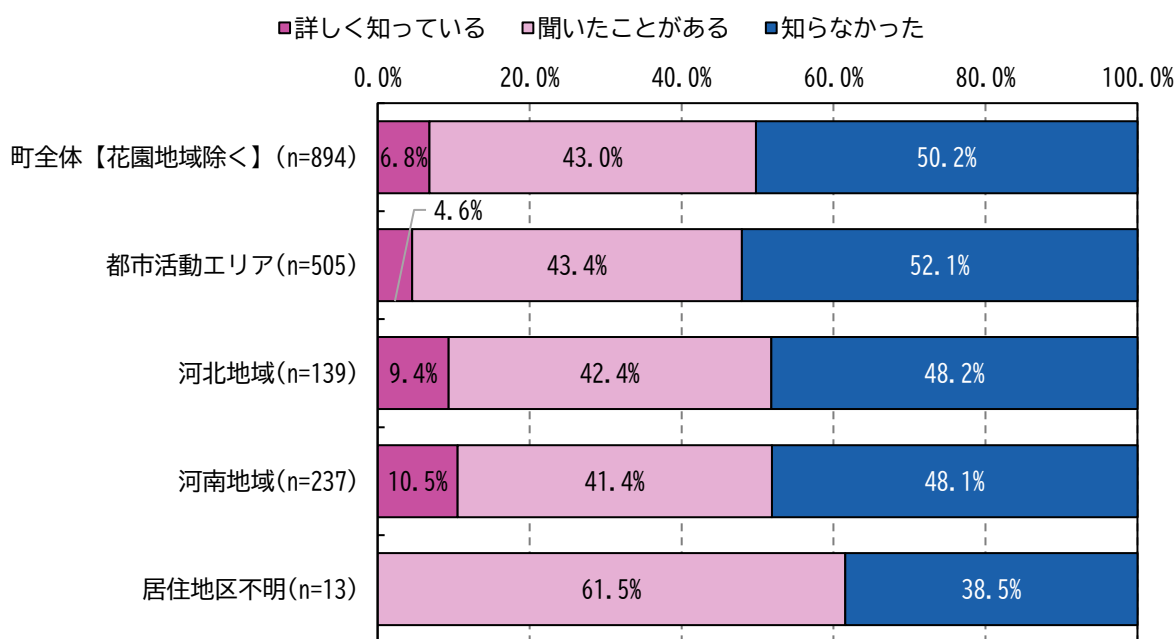


図 66 デマンド乗合交通「かつらいど」の実証実験の認知度

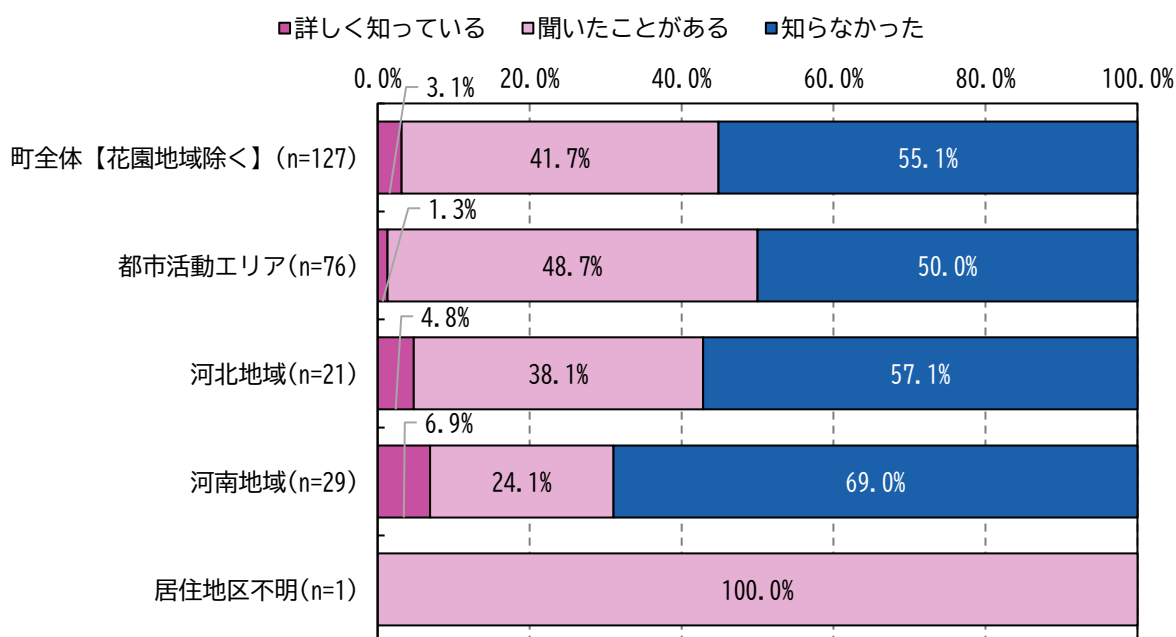


図 67 デマンド乗合交通「かつらいど」の実証実験の認知度（免許を保有していない方を抜粋）

■ デマンド乗合交通「かつらいど」の実証実験の利用意向

- ・ 利用意向については、「機会があれば利用したい」と回答した方が最も多く、一定の関心や期待を持っていることがうかがえる。一方で、「わからない」と回答した方も一定数おり、サービス内容や利用方法について十分に認知されていないことが示されている。
- ・ また、免許を保有していない方は、全体と比較して「ぜひ利用したい」「機会があれば利用したい」と回答した割合がすべての地域で高く、移動手段としての期待が高いことがわかる。
- ・ こうした傾向から、免許をもっていない方への情報提供や利用支援を重点的に行うことで、地域の移動支援効果を高められる可能性がある。

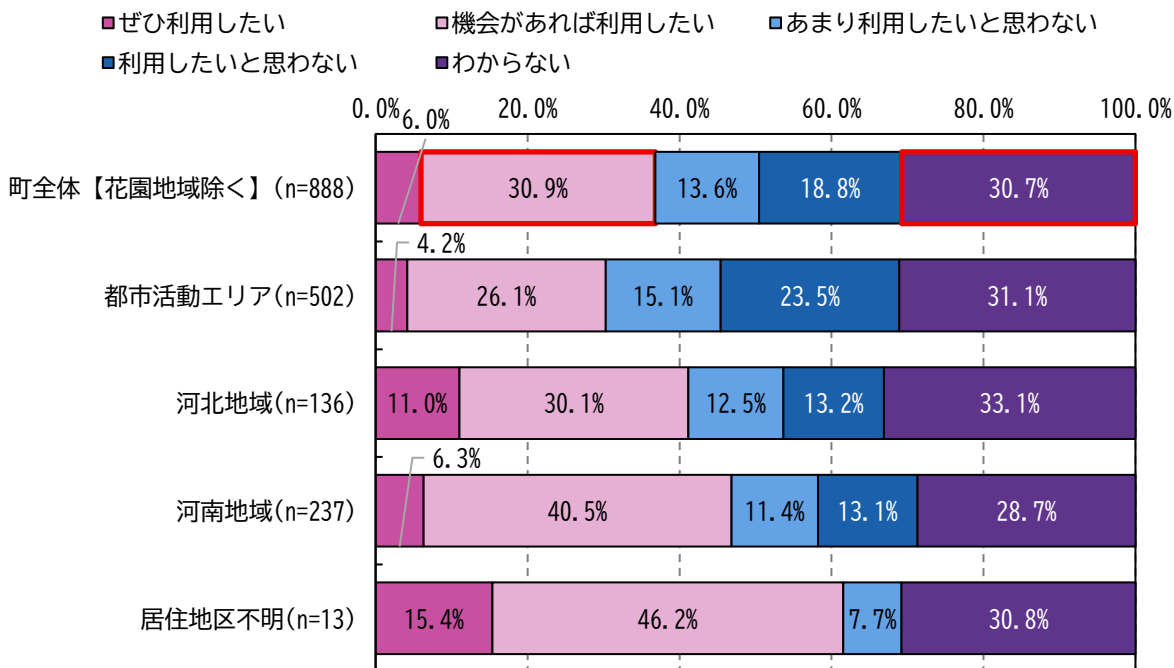


図 68 デマンド乗合交通「かつらいど」の利用意向

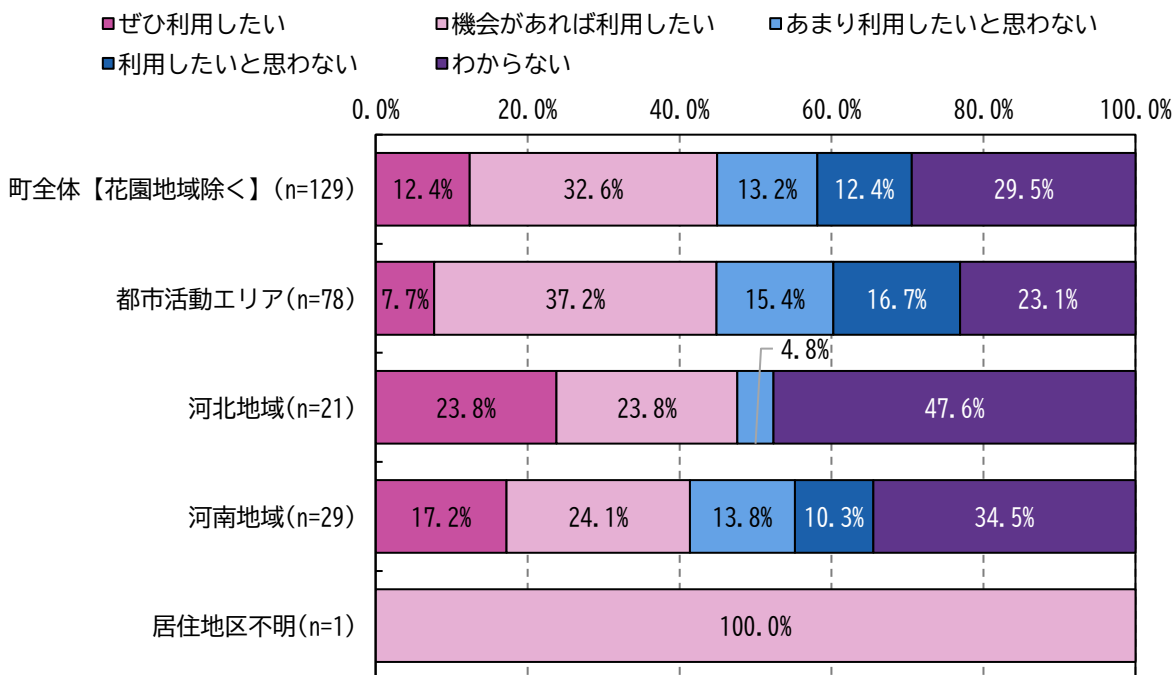
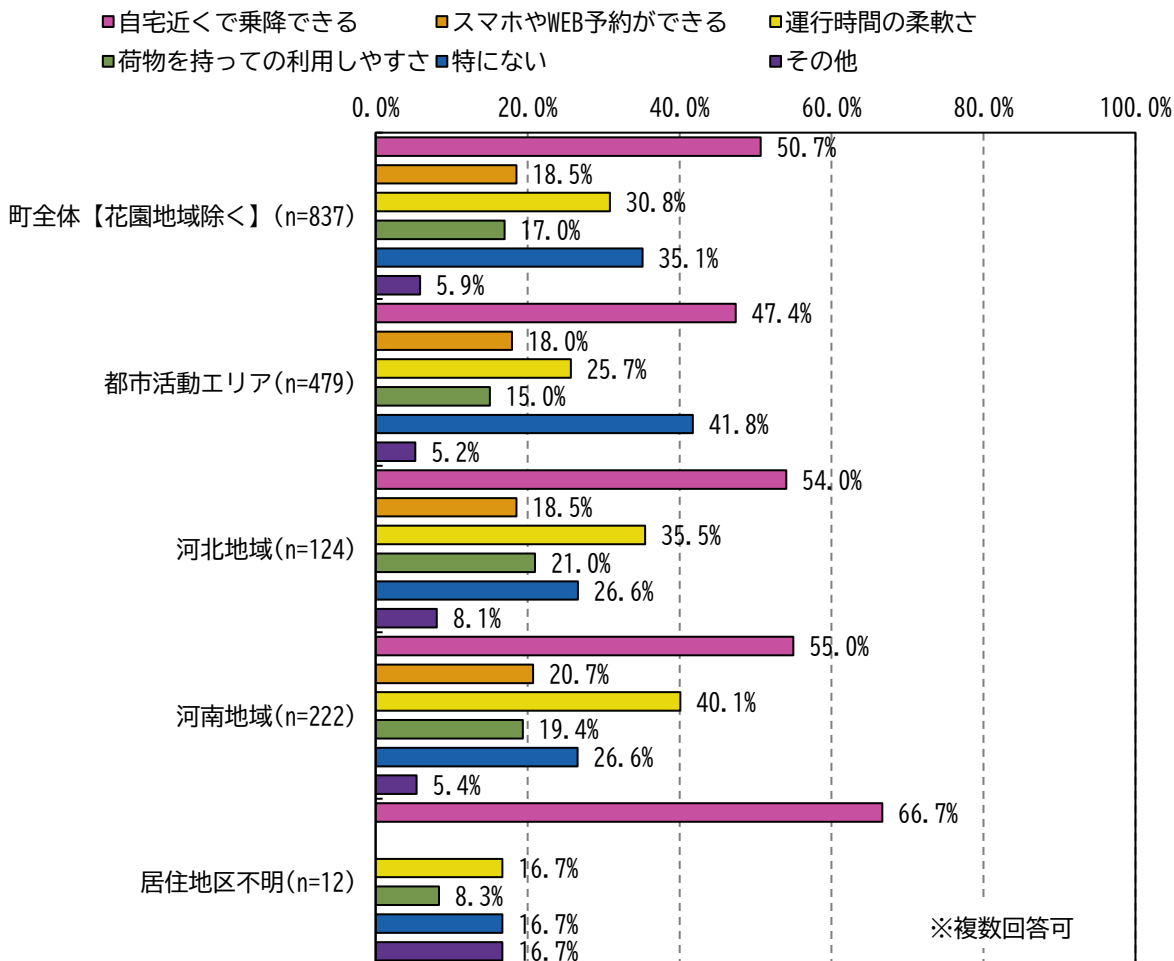


図 69 デマンド乗合交通「かつらいど」の利用意向（免許を保有していない方を抜粋）

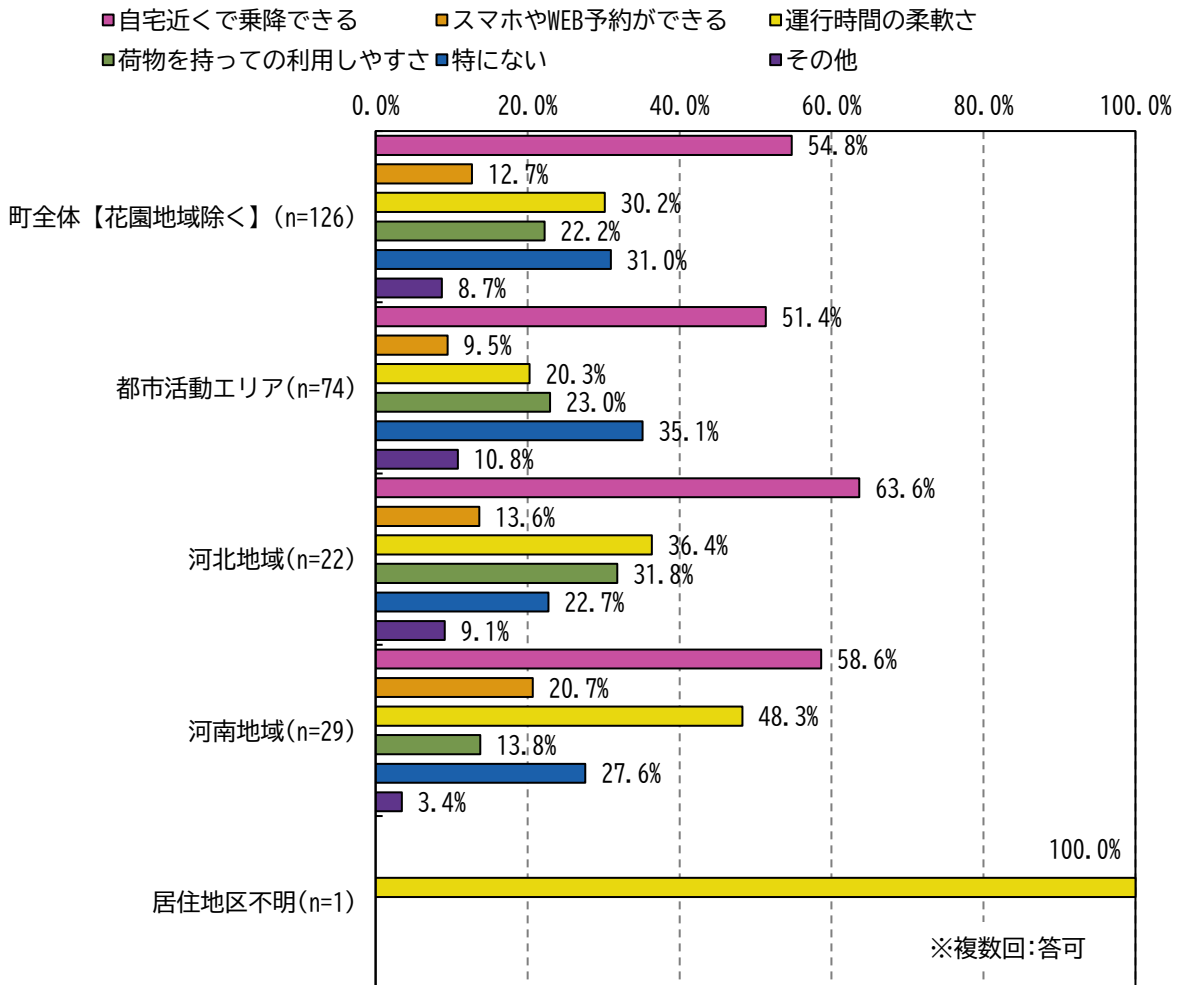
■ デマンド乗合交通「かつらいど」に期待すること

- ・ 「かつらいど」への期待は、「自宅近くで乗降できる」は町全体で 50.7%と過半数に達し、最重要ニーズとなっている。
- ・ 「自宅近くで乗降できる」「運行時間の柔軟さ」が全ての地域で上位となっている。
- ・ 免許を保有していない方は全体と比較して「荷物を持っての利用しやすさ」への期待が高く、一方で「スマホやWEB予約ができる」ことへの期待は低くなっている。



【その他内容】行先の多様さ、高齢者にとって便利なこと、車イスでの利用、病院へ直接行くことができる町中ポイントに学校（小・中）を含めてほしい、土日祝日・通学可能な時間帯での実施、高齢者の中にはスマホやWEBが使用できない人の対応 など

図 70 デマンド乗合交通「かつらいど」に期待すること



【その他内容】病院へ直接行くことができる、付き添いで乗った場合料金は2名分必要になるのか など

図 71 デマンド乗合交通「かつらいど」に期待すること（免許を保有していない方を抜粋）

⑦ 自由意見

- ・ かつらぎ町の公共交通について、ご意見があればご自由にお書きください。という設問について地域別に集計した。
- ・
 - 都市活動エリア
 - ・ 最も多くの意見が寄せられたのは「デマンド乗合交通」についてとなっている。
 - ・ 特に「利用方法が分かりにくい」「予約が不便」といった利便性に関する指摘が多くあった。
 - ・ 免許返納後や高齢になった際の移動手段に対する不安の一方で、デマンド乗合交通「かつらぎ」を免許返納後には利用したいという意向の意見が多くあった。
- ・
 - 河北地域
 - ・ 河北地域では現在自動車を自分で運転し、免許を返納する予定がないが、高齢になった際の移動手段としてデマンド乗合交通に期待を寄せている回答が多くあった。
 - ・ 一方で、デマンド乗合交通の「利用方法の分かりにくさ」について具体的な改善を求める声があった。
- ・
 - 河南地域
 - ・ コミュニティバスと JR の「運行本数・運行時間帯」と、それらの「接続の悪さ」に関する改善要望が最も多くあった。
 - ・ 現在は自動車を運転していても、将来免許を返納した後の移動手段に強い不安を感じる声が多数あった。
 - ・ 新たなデマンド乗合交通に対しては期待と同時に、高齢者や IT に不慣れな層への予約方法等への配慮を求める声があった。
- ・
 - 花園地域
 - ・ コミュニティバスは「最後の頼みの綱」と見なされており、その維持・継続を強く望む声が多くあった。
 - ・ 同じ花園地域内でもサービスが行き届いていないエリアが存在し、現行サービスの限界を補うため、福祉タクシーやライドシェアといった新たな交通手段の導入を求める具体的な回答があった。

都市活動エリア (n=122)		回答数
デマンド乗合交通・デマンド型乗合タクシー		
1	免許返納後の代替交通	6
2	利用方法や予約方法等が分かりにくい	6
3	運行の見直し	6
4	将来的には利用を検討	4
5	ドアトゥドアを希望	2
コミュニティバス・バス路線		
1	運行本数の増便	4
2	近隣市町までの延伸	4
公共交通全体		
1	公共交通の充実を希望	4
2	公共交通は不便	3
鉄道		
1	運行本数の増便	4
2	駅のバリアフリー対応・改修	2
3	近隣市町との連携	2
買い物（商業施設）		
1	買い物施設の不安	5
通学		
1	通学手段の確保	3

河北地域 (n=21)		回答数
デマンド乗合交通・デマンド型乗合タクシー		
1	利用方法や予約方法等が分かりにくい	2
公共交通全体		
1	公共交通の充実を希望	2

河南地域 (n=58)		回答数
コミュニティバス・バス路線		
1	乗り継ぎ改善（鉄道とコミュニティバス）	5
2	費用対効果	4
3	運行本数の増便	3
4	現状に満足	2
デマンド乗合交通・デマンド型乗合タクシー		
1	免許返納後の代替交通	4
2	運行の見直し	3
3	ドアトゥドアを希望	3
4	将来的には利用を検討	2
公共交通全体		
1	公共交通の充実を希望	4

花園地域 (n=22)		回答数
コミュニティバス・バス路線		
1	コミュニティバス路線維持希望	5
2	運行本数の増便	1
3	運行時間の見直し	1
4	高野山駅・高野山への接続	2
花園地域の問題		
1	交通手段不足	3

■自由意見 都市活動エリア（原文ほぼまま）

- パンフレットポイント④の条件を、自宅→ポイント→ポイント→自宅（但し、条件付きで1ポイントのみ利用可能とか）②近隣自治体内の病院等条件付きで、どうでしょうか。（但し、県内）
- 80才あとの位歩けるか分からないけど、オーフワ迄なら歩いて行けるから徒歩圏内、あとは橋本へは駅を利用する。今買物バスも走らせているけど利用している人がおるのかな。時間合わせて両方利用出来たらいいのにな。片道での料金で。
- 90代なので、そこまで(乗れる所)行けない。
- いずれデマンドを利用させていただくことになる可能性がありますので、その節はよろしくお願いします。
- いずれ運転免許証の返納後の外出が困難になるので、デマンド乗合交通に期待します。
- いずれ年老いて車の運転が出来なくなった時に又、詳しい事を教えてもらいたいです
- かつらぎ町の東の方の家ですがコンビニかスーパー誘致お願いしたいです。今まであったスーパーもなくなり不便を感じています。
- かつらぎ町は不便な所なので、1人暮らしになっても、車が乗れなくなっても、出来るだけ自宅に住みたいと思ってる。その為に色々と考えてくれたら助かります。年金暮しの事を忘れずに頼みます。税金をたくさん使わないで下さい。他から負担が増えては困ります。
- この前、予約で大型バスで笠田のオオクワへ予約して買物に乗せてもらい行きました。往復500円で友と一回行って見たくてバスに乗せてもらいましたが、大型バスで私達二人で往復乗って帰ってきました。もったいないなど一番に思いました。ガソリンも高い中、二人だけでした。私は、これはじきになくなるなど思ったら、その後、なくなりました。私達、今は足腰いけますが、これから先の事を考えて、一度下見しました。
- コミュニティバス、デマンド型乗合タクシー、デマンド乗合交通など様々な対策をしてくださっている事には感謝しますが、利用方法が分かりづらい。
- コミュニティバスの回数を増やしてほしいです
- コミュニティバスは、本数が少なすぎる。JRは各駅とも身体障害者は乗れない。かつらぎ町内に限らず、和歌山線は身障者にとっては、冷めたすぎる。
- スーパーが近くになくなったので不便をすごく感じています。今は娘(高野口在住)と主人に行ってもらっています。主人も(83才)高齢で身体の病持ちです。いつダメになるかわかりません。その時はデマンド乗合交通を利用させて頂こうと思っています。色々高齢者の為に考えて下さってありがとうございます。
- スマホWEBで予約が出来ますが今は息子が気にかけてくれ、送迎してくれますので公共の御世話にならないでいけると思います。
- たまに和歌山線を利用しますが陸橋が古くなってきてるし、階段の上り下りがきついです
- デマンド乗合交通がわかりにくく、名称は乗合タクシーで良いのでは。もう少し距離が東西に行けるようにしてほしい。料金が安い。昔のようにR24号線を走るだけのマイクロバスetcがあれば利用しやすい。ドアT0ドアの乗合交通は人によっては便利。
- デマンド乗合交通について利用の方法がわかりづらい。老人は利用出せないのでは。
- デマンド乗合交通の意味がわからない。
- デマンド乗合交通は役所の方々が色々考慮しての事業であると思いますが…その手順や利用

の仕方に高齢の方々がどのくらい把握できてうまく便利に利用できるのか、やや疑問に感じます。今回は実証実験ということで…その成業をまたお聞かせ願えればと思います。私の家族みんなも運転免許を持っているので不便はまだ感じていませんが、今後のことを思えばかつらぎ町でなくお隣の高野とも連携して、このような公共交通が利用できるようになれば、より生活が便利になると希望します。

- 河南地方については、何処に集合場所等明確にされていない。各戸に来て頂けるのですか？
- 笠田駅や妙寺駅で上り利用の場合は跨線橋を渡りますが高齢者には気の毒。列車行き違い時はやむをえませんがそうでないときは出口のある側のホームに着線してもらいたい。東北を旅行した際に利用したローカル線はそうされていたのでできるはず。
- 近い将来いつ何時なくなるかわからない移動手段、安堵しています。ありがとうございます。
- 近い将来に公共交通を利用する事になってくる時に、買い物(日常生活)に必要な食料品をお店(例 松源)側から迎えに来てくれて店内で買い物ができる。(夢です) 公共交通を利用できるシステムを作ってほしいと希望します。 それには、まず足腰を鍛える努力！！
- 現在コミュニティバスやスクールバスの委託費用はいくらですか？あまり利用していないのでは。
- 現在は必要としていないが、高齢化、身体の不自由度、運転免許返納など考えられるので、行政側での配慮を願いたい。
- 現在公の級を 13 コ持っています。こども園・小中学校・和歌山市内の公の所と公共交通の利用できない所が多く、車を利用するようになります。
- 交通機関、商業施設まったくなしで老人には身動きが出来ません。特に食料品は毎日ですので特に困ります。
- 公共交通は何がありますか。
- 高齢のため、利用が不可能です。
- 高齢化が進む中、以前と同じように、かつらぎ町全域にコミュニティバスを走らせて頂きたい！デマンド乗合交通のように事前に登録や予約など不便である。利用率が少ないとの事ではなくしたのだろうけど、目先ではなくもっと先々の事を考えて頂きかった。毎日同じ時間に走っていると、その時間に合わせて動ける。年を重ねてくると、お知らせだけでは理解しにくい。町から各町内会に説明に来るべき！
- 高齢者にとって不便な所で、タクシー型以外では公共交通の利用は難しいと思う
- 今は、自転車に乗っていますが、病院とか買い物行けなくなるでしょう。心配しています。
- 今は、消毒したりみかん取りしたりしていますが、将来乗れなくなってくると、橋を渡って買物に行かれなくなるとどうしようかと思っています。
- 今は運転できるので不便を感じないが、将来デマンド乗合交通を利用したいと思う
- 今は自分で運転していますが、先ではお世話になるかも知れません。
- 今は特に無し。
- 今は必要ナシ。
- 今回のデマンド乗合交通について、目的は何なのか。朝夕の利用は？
- 今回の実証実験が成功し、本運行となる事を期待している。(特に中山向地域の住民は)
- 山手で住んでいる者は、車がないと不使です。町からデマンド乗合交通実証実験が始まるのは大変ありがたいです。ただ行き先が決まっているので、タクシーではないのはわかってい

るのですが、もう少しそこは検討していただきたいです。 車が乗れない者が生活しやすい町づくりを期待しています。 よろしくをお願いします。

- 私用の時になるべくコミュニティバスとデマンド乗合交通と JR の時刻表を見てお願いする。上手く合わない時は自宅と JR 駅間は一般常用タクシーを利用する。
- 自分の足で歩ける人が利用出来るので、歩行困難な人は、家族や他人(タクシー) に頼る外出(病院行くだけ)をしている。元気で歩ける人には乗合交通は有難いと思う。
- 車の運転が出来なくなった時に利用できる公共交通がどうなっているか心配。
- 車の運転が不安になってきたら是非利用したいと思います。
- 将来、運転が不安になるのでしっかりした基盤をつくってほしい。
- 小さい車で旧道を通ってほしい。荷物の上げ下ろしに大車で遠くにおろされるとよけい不便。
- 人を大切に、人に寄り添う政策の推進を期待
- 足腰がダメなので何もかも無理です。年金生活なので1日1食で済ましています。米も買えないです。月に5万円削っています。
- 体の不自由な人はどこにも行けない。だからと言って何も助けてもしてもらえない。だからアンケートなんて何の意味もない
- 町内の医療機関は、どこまでか知りたい。かつらぎ町内で、どこからどこですか。
- 通院はしているが、特にデマンド乗合交通に利点なし。
- 電化製品を買いたい時(ジョーシン)衣類を買いたい時は、JR では不便(行きたい店が町内に無く、橋本市でも国道でも JR の駅から遠い)なので、和歌山バスを笠田から橋本駅まで行ってくれたら、有難いと思います。
- 特にありません。
- 特にない。妙寺方面が寂れていく気がする。町長が笠田の方の為か?
- 特にないが、役所の申請や通知、アンケートなどは郵送で来るが、返信が家のポストからできるようにするなど、郵便局と協議してほしい。
- 特になし
- 買い物も通院(何軒)も趣味もほぼ全て、橋本市(高野口)なので、我が家では、あまり関係のないことかもしれません。
- 忙しい取り入時期にやめて、1月~3月のやや暇な時期をお願いします。
- 妙寺地区からなぜ大型店が消えた理由が知りたい。買物が非常にこまる
- 免許の返納は行動範囲をせばめるので反対。それよりもより安全な運転ができるように車両の改善を望む。
- 免許証を返した後、たぶんデマンド乗合交通を利用するかもしれないので普通のタクシーの様に手軽に利用できる様にしてほしい。賃金も出来るだけ安く、まだ私の場合、子がいるので送迎してもらえ。
- 免許証を返納した方から聞きました。介護認定が受けられないからタクシー券ももらえないとの事。当地区は家から病院・買い物等片道約 3km は有ります。高齢者一人でも生活していける柔軟な往み良いかつらぎ町である事を期待します。
- 免許証返納後は買物、通院等が困る事を心配しているので利便さを求めます
- 利用客が少なくなれば又中止になるかと思うと、あまり期待しておりませんが、色々と考えてくれる事に感謝です。

- 良いと思います。
- 隣の町迄（病院、通院、会館）送迎して下さったら有難いと思うのですが…
- 老人に何かとご配慮頂き感謝しています。有難うございます。
- 和歌山線の駅まで車で行きたい(大谷、笠田駅など)が近くに駐車場がないです。橋本駅まで車で行き、駐車しています。不使です。駐車場が欲しいです。JR の利用が少なくなります。
- 「乗合」とは、自分以外の他の客も乗車するのであれば、気まずい。「まちなか」ポイント間で利用できないのは不便。病院の帰りの買い物をするにはあるので、利用登録と予約が事前に必要なのは不便。タクシーを TEL で呼ぶくらいの簡単さでないと、利用しようとはならない。免許返納したらタクシーチケット配布とかしないと、いつまでも高齢者の危険運転はなくなる。若者世代は通勤に不便なので、かつらぎ町から出る話をよく聞く。
- JR の本数を増やしてほしい。駅を大規模な複合施設にしてほしい
- JR 和歌山線の運行本数が少なくて、不便です。1 時間に 2 本程度あれば、便利になると思います。
- JR 和歌山線の整備について、高架橋複線化を行い和泉中央から南へ電車線を延伸し JR と接続する。都市部へのアクセスを向上しオンデマンド交通に投資する金額、将来的に予測される赤字を鑑みれば、電車の整備を行う方が安くて便利であり合理的であると考えます。
- JR 和歌山線の早朝本数が少なすぎます。笠田駅の橋本行き 5 時 30 分頃の次は 6 時 20 分頃と時間が開きすぎているので、その間にもう 1 本あれば助かります。
- それよりもかつらぎ町にスーパーなど店を出して下さい
- タクシーが夜遅くまで利用できてない。物価高の対策をしてほしい。
- 以前タクシーを利用したが、7 時半からと言われ、役に立たず雪が降ってるからダメと色々制約があり、面倒くさいと思った。今は、シルバーカーがあるから、私は免許を返納したらシルバーカーに乗りたいと思い、買い物はスーパーのスマホで買って持って来てもらおうと思います。
- 何度も実証実験を実施しているイメージ。そろそろ結果が欲しいのでは。買い物バスツアーの失敗を活かして下さい。成功するには住民の声を詳しく聴くこと。それに尽きます。
- 家の近く付近にタクシーがきてくれたら嬉しい。
- 会社員の頃は利用していたが退職後は車を運転するので公共交通を利用する機会がなくなった。しかし車を運転しなくなったら食料品等の買い物に必要なと思われる。
- 笠田駅のタクシーが終電までいてくれる日もあり助かりますが、日祝は早く終わってる時があります。乗る人が少ないので仕方ないですが、和歌山線が動いている時間（特に夜、終電まで）笠田や西笠田からタクシーを運行すると有難いです。 デマンド乗合交通は機会があれば使いたい。
- 橋本駅行きのバスがほしいです。
- 近い将来、住みにくい地区になりそうで、心配である。
- 現在は自分で運転して買い物に行けるが、将来運転できなくなったときに近くに店がない。(妙寺)笠田地区には、いくつも食料品店があるのに、この 1 年で松源、ツルハが撤退し地域のお年寄り、困っている。せめて 1 軒でもスーパーを誘致できないのでしょうか。
- 交通の便を考えることも大切だが、もっと商業施設をかつらぎ町に作ることを考えたほうがいい。

- 公共交通があるのを知らなかった。もっとわかりやすく町民にアピールすべき
- 広く町民の意見を聞く機会を多くしてもらいたいです。区長会や行政報告会などで公共交通をテーマにして協議することで、多くの意見や方法が出てくるかも知れないと思います。
- 高齢者にネット予約のハードルは高いと感じる。土・日・祝も運行が必要だと思う。(誰もがその日が休みとは限らないので) まちなかポイントからまちなかポイントまでが使えないのは良くない。使えるようにすべき。バスよりもタクシーの方が良かったので、前回のお買い物バスのような税金の無駄使いはしてほしくないです。
- 高齢者に対して分かりやすい説明やパンフレットがあればいいと思います。
- 今はまだ車の運転をしている為、特に困ってはいませんがこれから先のことを考えると不安です。公共交通の充実は有難いと思います。
- 山間部では、乗合場までの移動が大変です。また、ゴミの集積場への運搬も大変な方が居ます。デマンド乗合交通のチラシを見ました。年を重ねたら、利用を考えたい。シニアカーでは距離を移動出来ない。
- 子どもたちに利用しやすいしくみにしてください
- 車がないと生活できません。
- 車が運転できなくなった時が不安ですが、先のことなので、あまり実感が湧かないです。
- 車椅子でも利用しやすい
- 住人数が少なく公共交通機関が発展していないのは仕方がないが高齢者の運転が危険な場合が多い
- 将来的にも利用することはないと思う
- 将来的に不安がある
- 小、中学校のスクールバスが通っていない子どもが歩いて 30 分以上遠い場所にもバスの運行をして欲しいです。
- 小学校が遠いので通学に使える時間にバスがあればありがたい。高田は通学バスも通っていないのでとても不便。
- 障害者が利用しやすい方法をもっと考えてほしい。
- 乗客が減ったから仕方ないのかもしれないが以前のように和歌山⇄橋本間を乗れるバスに戻ってほしい。目的地近くまで行けなくて歩く距離が増えたり、電車とバス(他の市のバス)を乗り継いだりするのが大変です。乗り継ぐにも待ち時間が長かったりするので不便で、出掛けることを諦めてしまうのも多くあります。
- 精神障がい者を差別する町なのに、うまくいかないと思う。
- 大谷地区において京奈和道北部の住居から、京奈和道への乗り入れが不便。なぜ通り過ぎて南側から乗らなければならないのかわからない。他の IC の様に北側からも乗り入れができたのではないか
- 通学の為のバスが少ない(大谷にはそもそもない)ので、妙寺中学校までの通学バスもしくはコミュニティバスを増やしてほしい。
- 通学バスを出して欲しい
- 田舎には 1 人一台の自動車所有が当たり前だと思っているが、自分が老後を迎え、車を運転出来なくなったとき、都会のようにアプリでタクシーを手配できたり、コミュニティバスの運行時間が増えるとありがたいです。

- 特にない
- 特になし
- 年々不便になっている
- 年配の方が自動車運転免許証を返納しても、免許証返納前のように移動できるよう、価格や運行など考えてほしいです。
- 買い物の際、お店からお店の移動も使用出来ると有難い！
- 買い物先は町内に限らず近隣の店も対象にすべきと思います。例えば、マツゲン高野口店、エバーグリーン高野口店、オークワ那賀店 コメリ打賀店等・・・
- 不便である。
- 不便はある程度しかたない。金が不足するなら、人件費をへらせ
- 別に有りません
- 本数を増やして、多方面に運行して欲しい
- 妙寺付近にスーパーがないので絶対に車で行かないと買い物できないので不便
- 免許の有無等でアンケートを分けた方が詳しく分かるのでは。
- 目や足が悪くなったりして車が運転できなくなったら地域的に不安をかんじます。ひとりで車の乗降ができなくなったらと気になります
- 林間田園都市、和泉中央など、関西私鉄への通勤時間帯だけでもバスの運行をしてほしい。
- 老人に助かるサービスだと思います。
- 和歌山線と沿線駅の充実
- 和歌山線を1時間2本に増便してほしい

■自由意見 河北地域（原文ほぼまま）

- アンケートの時期についてですが私達夫婦は82才と78才の老齢です。今も現役で農業をしていますが、9月以降柿を始めとして収穫に追われ、疲れ切っています。ゆっくり考えて書ける冬場に出来ないでしょうか。ちなみに妻は書く気がないみたいです。
- タクシー代が笠田オークワ往復4500円、高野口マツゲン往復3600円が年金生活者には負担です。前回の乗合バスは二度利用させていただいて、感謝でした。矢野(広野)地区で一人ぐらしは私だけのため、バスの利用は無理と思っています。
- デマンド乗合タクシーを止めてデマンド乗合交通を充実した方が良い。
- デマンド乗合交通が利用できると嬉しいのですが、歩行が少ししか出来ないのでは家の近くまで来て頂けないでしょうか。
- デマンド乗合交通実証実験について、自宅を出てまちなかポイントで用件済みました後、次のまちなかポイントへの移動手段がない。まちなかポイント間の移動が出来れば2、3個の用件がすませられる。
- 家は山の上の方の不便な所にあるのでそんな所でも来てもらえたらありがたいですが、今はまだ自分の車で行き来できるので先の事を考えるとそうなって欲しいです。
- 公共交通が運行されていない、僻地に暮らす住民にとって有難い施策だと思っています。今後は町の思いと住民の思いとの中で、施策の理解と利用の促進の為の取り組みをお願いしたい。
- 今はまだ運転に自信があるが、もっと年をとって運転が危なくなったら利用したい。

- 私は、かつらぎ町大久保地区に住んでいます。町内会の付合で、お宮さんやお寺の付合があり、ここ5年で人口の減少があり、今まで村を主導して来たことが心にあり大変不便ですが、大久保に住んでいます。
- 自分で運転できても、地元で、スーパーが消えてなくなった為、隣町まで運転して買い物するには年と共に運転時間が長くなって、いつかは、利用したいと思うが、利用してないので具体的には思いつかない。
- 住んでいる町内会が不便な所である上、自宅の建位置が大変悪くて、出荷物の運搬、子育て、老人の世話、水等何かと不便な生活をして来ましたので、現在はこの生活があたりまえのように思って生活しています。別に生活している子供達は、86才で1人で住んでいる私の世話を大変だと思っていると思います。町が何かと計画をして下さるのは有難いですが、上手に利用させていただける自信がない歳となっています。残念です。(送迎してくれる子供も65歳と64歳です)
- 買物したあと30分~40分以内に迎えに来てほしいです。時間を決めて、こちらを守るつもりです。料金安くしてほしい。年金生活者なので。
- 不便な地域なので、デマンド乗合交通は大変有りがたい。
- 交通を含め、ゴミ出し等利便性の良い、地域の方は良いが、高齢と共に、不安を感じ、出来ない事もある！
- 高齢者の方の危険運転が日常目につきます。免許返還が前向きになれるような環境、フォローされる町になればいいと思います。
- 今は車を運転ができるが、年をとったら、完全に足が無くなる事が不安(買い物・通院など)。へき地から先に自動運転の技術が進んでくれると良いと思う。
- 自分専用の自動車を保有しており、また40代の為運転に身体的不安は今のところ出ていない。将来的に運転に不安が出てきた場合を考え、また病気・けがなどにより突発的に医療機関を利用したい場合、当サービスも町内に限られる事、町内公共交通機関までの距離が長い事からタクシーを使うことになる。日頃の移動は自分で運転か、家族が送迎か、タクシーに限られるのではないか。その解消の一助となるであろう当該サービスも帰宅便が16:00~となると、通院利用のお年寄りには難しいのではないか。
- 地域の差で、不平等があると思うので、より不便を感じている人を置きざりにしない、細やかで柔軟性のあるプランをぜひお願いします。役場の皆様の日頃のご苦勞には感謝しております。
- 地域差が大きい。
- 特にありません
- 特になし
- 不便です。

■自由意見 河南地域(原文ほぼまま)

- 17:40 笠田駅発のコミュニティバスですが、17:41 笠田駅着の橋本方面行電車がありますので、発車を数分遅らせる事ができれば連絡ができるのですが。
- コミュニティバスとJR和歌山線の時間を合わせて欲しい。
- コミュニティバスの本数が少ない。電車とバスの接続が悪い。

- コミュニティバスの本数が少な過ぎる。
- デマンド乗合交通は何か渋田へは通接行けないとか？利用する箇所がないのか(郵便局や JA 南支店は)。地方の高齢者は気のいた使い方がわからないと思う。田舎暮らしの高齢者はともかく通学する学生のことをもう少し考えてください。短い期間ですが大変苦労しております。
- バスが無人でもったいないから、どういう方法かで変化があればいいなと思う。
- バスの本数が少ない。電車とバスの接続が悪い。
- バスを小型自動車化するなど、運用コストを下げただけると良いかと思っています。
- 運行時間、乗り継ぎのよさ、本数の改善がなされるなら、自身も通勤で使用したい。子どもが送迎なく自力での移動を増やしたい。個人のアイノリなども検討されないですか？タクシーの割引などもよいと思う。(80%、何度でものような他市町村の事例あり)
- 運行時間の拡大
- 運行時間帯の拡大、電車の運行時間や家族定期券の発行
- 現在は運転が可能で特に不安はないですが、将来運転ができなくなったことを考えるとすごく不安です。町として公共交通、特に山間地について考えていただけるとうれしいです。
- 交流人口を増やすため、外の人でも利用出来ると良い。利用人数が増えれば採算もとれるようになるかと思う。和歌山線の利用を増やし、便利にする(30分毎の運行)ことも必要。駅に駐車場を設けることを考えては。
- 高校生の子供がいた期間は、公共交通の時間が合わないなどあり、送迎が大きな負担であった。
- 今は、自家用車を使用しているので公共交通は利用していないが、利用しなくてはならなくなったら、利便性が重要だと思う。デマンド乗合交通はいいかも、タクシーの補助も必要。
- 今は運転しているので不自由ないですが、これから老いるに従ってデマンド乗合交通なり、コミュニティバスなりの利用を考えている。利用者が少ない中で運行数を増やすのは難しいでしょうが、せめて、病院(紀北分院)等の受付時間とその帰りが適当なコミュニティバスなりがあれば、ありがたいと思っています。近いうちに、乗ってみたいと思っています。
- 今は自家用車中心ですが、10年後、20年後の自分自身を考えると公共交通の必要性を実感します。
- 子どもたちや高齢者の方たち、車を運転しない方々の”移動の自由”を最低限保証する仕組みにして欲しい。
- 自分で動けなくなれば、施設を考えれば良いと思う。
- 受験に受ければ4月から高校に通う事になります。コミュニティバスを使う事になりますが以前の8時すぎに笠田駅に着くバスの時刻が変わり7時35分着で授業開始まで1時間以上あります。デマンドは9-16時で時間もおおまかなので通学には使えません。笠田高校に通う事になれば笠田中学校まで高校生もスクールバスに乗せて欲しいです。高齢者だけではなく学生の交通にも何か対応が欲しいです。
- 新城 BASE でアルコールを飲むお客様が増えたら嬉しいです。大阪で飲んで帰って来て JR とコミュニティバスが連絡して無くて、奥さんに送迎をお願いしたらブチ切れされて離婚問題に発展した過去有りです。家庭円満の為に難波一橋本一笠田一新城の連絡をお願いします。切実に

- 人の乗ってないバスは必要ない、ムダ
- 代行運転の利便性を高めてほしい。
- 天野や花園など観光地へ行く、バスがあっても良いような気がします。
- 天野行きのコミュニティバスについて、もう 1 本ずつ遅い便がほしいです。定時の仕事が終わっても 5:40 分に間に合わせるのはなかなか厳しく、高校生も部活やアルバイトなどできないのでは？ 天野から笠田行きも最終が早すぎます(16:00 時)。もう少し遅い便があると、ありがたいです。
- 電車の発着に合わせた便があれば公共交通機関を利用しやすいが飲み会等では利用出来ないのでは泊まりになる
- 同地区の中でも高齢の方が増えているので皆が使える公共交通が増えるのは良いことだと思います。私達も自分で車の運転ができなくなる日がやってくると思うので、こうやって教えていただけるのはありがたいです。特に山間部に暮らす人にとっては切実な問題だと思います。
- 未字を覚悟の運営は困難だとは思いますが、自家用車を運転できなくなれば、公共交通機関を利用する事が必須なので最低限でかまいません。効率のよい公共交通の運行を考えて頂きます様お願い致します。
- 免許証返納したら考えたい。タクシーを使わざるを得ないと考えています。デマンド乗合交通の扱い方のパンフレット等があれば見てみたいです。
- 郵便物の受け取りでさえ時間が今はないのに、デマンド乗合交通で時間が合うか心配です(志賀区)
- 利用されない公共交通が減少・撤退するのは当然の事だと思います。松源の撤退も然り。これを機に私も含め町民は、今一度、地域の施設・店舗・機関の利用を考え直すべきと思います。町職員さんには、大変でしょうが交通弱者対策を宜しくお願いします。
- コミュニティバスと JR の乗継ぎが悪い。
- コミュニティバスの廃止を検討との考えもあるようですが、現在バスを利用している人の中で、実家を残して(空家)、町へ転出しており、月に 1~2 日、家、基、畑等の管理に利用している人が、数人おり、廃止になれば、管理ができないとの声も聞く。
- コミュニティバスを利用してる人はいるのですか？
- デマンド乗合交通で買い物や病院や調剤薬局など、一回の乗車で乗り換えする事なく運転して
- デマンド乗合交通の意味が分かりづらい。日本語を使ってほしい。一人暮らしや車の乗れなくなった者には乗合タクシーは助かると思うが、車の入る家の前まではタクシーは入って来てもらいたい。買い物した物を持って 50~100m は歩けない。紀北分院など、待ち時間の予想ができない所はどのように迎えの時間を言えば、どれくらいで来てくれるのか？
- また、経過、現状を町民に知らせてください。
- もう少し年を取ればデマンド乗合交通にお世話になるかも知れません。よろしく願います。
- 運行時間を拡大してほしい
- 家が坂の上などの場合、坂の上で乗り降りできれば、老人にとってありがたいと思います。近くまで歩くのが大変な人もいると思うのです。そのような人に対しては、家の前で乗り降

りできるような配慮が必要だと思えます。老人にはスマホや web を使いこなす人が少ないと思うので、その点も考慮してあげて欲しい。

- 我が地区に公共交通は何が通ってますか。妙寺地区にスーパー等 1ヶ所もない。巡回スーパーもない我が区から笠田または高野に食料買い出しに行かねばならぬ。パン 1 枚買う場所無い、老人は飢え死にするのみ、死の町妙寺地区の老人達よ。名前名乗ってもよい。
- 現在は大丈夫ですが、やがてはお世話になると思えます。是非充実して頂ければ有難いです。
- 現在は利用することはありませんが、更に齢になれば必要とする時期が来るかと思えます。移動手段のない方々には便利な制度であると思えます。
- 現時点では必要ないが今後はわからない。
- 高齢化で身体の不自由を感じる様になりました。病院や買物に乗合交通の日々必要を感じます。できるだけ自宅に迎えが来て、自宅までが一番有難いのですが、乗合との事で無理かと思えますが、今後の切実な問題です。高齢化の今後を考えて頂いているに感謝します。
- 今は運転できてますが、乗れなくなった時には、是非利用したい。
- 今は運転免許証があるが運転が出来なくなった時、町でアパートでも生活しようか?とも思っています。
- 今は自家用車で行っているが、やがて自分で運転出来ない時が来るのでデマンド乗合交通はありがたいと思えます。ぜひ実施していただきたく願いたします。
- 今は自分が運転出来ているが、もうすぐ出来なくなった時、不便なのでデマンド乗合交通があれば、ずいぶん助かります。よろしく願い致します。
- 今は自分で車を運転しているが、近い将来乗れなくなるので、まだ元気なら便利な乗合交通があるとありがたい、必要!!
- 週 1 回、病院・買い物にコミュニティバスを利用しています。車を持たない私共は大助かりです。ありがとうございます。
- 出来るだけ、利用の制約が少なくなるようにして欲しい。(例 土、日の運行、まちなかポイント間も利用できる等)
- 乗場が近ければ最高!
- 身体障害者は無料にすべき
- 天野に住んでいます。月に 1~2 回ほど大阪方面へ外出します。コミュニティバスと JR(南海)と乗り継いで行きます。これですと、朝・午前中のバスが 2 便しかなく、JR との接続も良くないです。また、大阪で少しゆっくりすると、笠田駅にもどる頃にはコミュニティバスの最終便(17:30)に間に合わなくなります。こうした不都合が新しい「デマンド乗合交通」で大きく改善されることを期待しています。
- 独居高齢者、特に山間地の高齢者には食品の買い出しや病院への通院には苦勞します。なので軽トラだけでも、今のところ手放せないと思っています。
- 不便な地区に住んでいるのでこれから車の運転が出来なくなった時どうなるのか、不安があります。通院、買い物等月に数回は子供達に帰ってもらわなくてはと思っています。今後の不安が大きいです。
- 娘が他県から毎週、家、親の様子を見に来ている。コミュニティバスがあるので有難く利用させていただいています。

■自由意見 花園（原文ほぼまま）

- 移動手段がないのでコミュニティバスは助かってます。絶対に継続して欲しいです。手足に障害がある為、笠田駅の歩道橋は辛いですがなんとかクリアしてます。通院の関係で和歌山線の通学時間に乗らなければならないのですが優先座席も学生が占領しており、揺れに対応するのが大変です。
- 花園上地区の方へも、コミュニティバスの運行を考えてもらいたい。運転ができなくなったら、今住んでいるところから、出ていけないといけなくなる。不安になる。
- 花園地区は公共交通の手段が限られている。上花園地区はそれ以上に不便だと思う（交通手段が無いので）。生きている間は車を運転しなければ生活が出来ない。親世代より、自分達はどうなるのか不安。
- 居住地から公共交通機関のある場所まで出るためにコミュニティバスは欠かせないです。今の本数で維持して頂きたいです。
- 今のところは自分で運転できるので必要ないが、必ず何年か後には必要とする（コミュニティバス）
- 今のところは必要としていないが、将来的に必要となると思います。
- 今のままでよいと思う。
- 免許持っているが、身体障害のため1人で運転してはいけないとDrから言われているので、妻が常に運転してくれてますが、たまに妻のケガ等で自分が妻を横に乗せ病院まで行くことがあるので 免許返納出来ない。公共交通が全くない所なので、この先妻が年を取るとどうなるのか！ 常に恐怖ですが、町内に住んでいる人には絶対理解できないでしょうね。ご近所皆は恐怖と戦っています!!
- 1日3回の花園から高野山までバスを運行してほしい
- いつでもどこの場所でも介護タクシーがあればありがたいです
- コミュニティバスの利用でもう少し時間の見直しをしていただければ(出発から到着までの内、時間のロスがあるように思います)
- 一人暮らしで、なかなか公共交通の時間に合わせるできないため病院通いが苦にならない方法を考えてほしい。
- 運転出来ないためコミュニティバスがなにより頼りなのでできるだけなくさないようお願いいたします。コミュニティバスが1番の頼りです。
- 花園地区はオンデマンド乗合タクシーなど地域外になるのはなぜか？コミュニティバスはあるけれど病人が何時間もかけて乗り換えて病院に行かなければならない。また普通のタクシーを利用すると往復で多額の金額になってしまいます。 花園地区だけでも町外の病院にドア to ドアで通院などの送迎してもらえる公共ライドシェア、又は有田町のようにみんなの定額タクシーのような交通手段を考えていただければ嬉しいです。 町の予算も厳しい状況でしょうが町が補助金を出して紀美野町のように 低料金の福祉タクシーを作っていただければ嬉しいです。
- 現在はいいませんが、高野山駅までの送迎バスがあれば良いです
- 今は公共交通を利用せず自力で活動できるが、車の運転ができなくなった 生活を考えるととても不安である。コミュニティバスでの外出になるが、本数が少なく活動範囲も限られてくる。通院、美容院、日用品等の買い出しが難しくなる。 コミュニティバス停まで自力で

行けない人にとってはバスの利用さえできない。 不定期でもよいので〇〇行きコースで小人数で運んでいただくと安心である。

- 今後運転免許を返納した場合、移動手機の確保をどうするか問題となる。公共の交通手数の充実が必要となる。
- 住まいの近くを公共交通がなく、出かけるとしても不自由である。申込みなどで利用出来る車があれば良いと思っている。
- 病院や買物にコミュニティバスを利用させていただいています。なくならない様をお願いします。
- 本人は施設に入所しています。1 ページめは本人の状態。それ以降は家族が思っていることで、答えられるところに○をしました。お疲れ様です。
- 利便性も重要ですが町財政との兼ね合いもあると思うので、今は不便性も地域の特徴でもあると思う。

2. 高校生アンケート調査

(1) 調査概要

調査のねらい	高校生等の通学における問題点やニーズ等、送迎の実態把握						
調査期間	令和7年9月						
調査方法	<p>町内2校、町外5校の事務局へ高校生の通学状況等についてアンケート。回答状況を踏まえ、各高校へwebフォームの回答URLを記載したチラシを送付。</p> <p>町内2校は全校生徒を対象に、町外5校はかつらぎ町から通う生徒を対象にチラシを配布してもらい、web回答。</p> <p>高校生の保護者にも回答を依頼し、web回答。</p>						
回収状況	<p>【高校生】 回収率：22.5%（回収176部／配布781部）</p> <p>【保護者】 回収率：14.2%（回収111部／配布860部）</p>						
		高校名	配布数	生徒回答数	回収率	保護者回答数	回収率
	町内	県立笠田高等学校	432	70	16.2%	51	11.8%
		県立紀北農芸高等学校	165	50	30.3%	16	9.7%
	町外	県立粉河高等学校	51	12	23.5%	12	23.5%
		県立伊都中央高等学校	19	5	26.3%	3	15.8%
		県立紀北工業高等学校	41	15	36.6%	7	17.0%
		県立橋本高等学校	43	13	30.2%	14	32.6%
県立那賀高等学校		30	11	36.7%	7	23.3%	
主な質問項目	<p>【高校生】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 個人属性 ② 普段の登下校の状況 ③ 公共交通等の利用状況・満足度 ④ 保護者の送迎状況（最も多く送迎してもらうパターン） ⑤ 新たな交通手段（デマンド乗合交通「かつらいど」）について ⑥ 公共交通に対する改善要望 <p>【保護者】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 送迎状況 ② 公共交通のサービス改善 ③ 新たな交通手段（デマンド乗合交通「かつらいど」）について 						

(2) 高校生アンケート調査結果

① 個人属性

- 町内にある高校（笠田高校、紀北農芸高校）の生徒は、町内よりも町外からの通学者が圧倒的に多い（笠田高校 77.1%、紀北農芸高校 90.0%）。
- 笠田高校は主に橋本市（52.9%）から、紀北農芸高校は橋本市（22.0%）、岩出市（22.0%）、和歌山市（20.0%）、紀の川市（18.0%）など広範囲から通学している。
- 笠田地区と妙寺地区から町外の高校へ通う生徒が多くなっている。
- 朝練のある部活に所属している生徒は、笠田高校（4.3%）と紀北工業高校（6.7%）で特に少なく、紀北農芸高校（18.0%）や粉河高校（16.7%）でも2割未満である。
- 放課後に塾・予備校や習い事に「行っている」生徒は、橋本高校と那賀高校を除くといずれも10%以下となっている。

		笠田高校 (n=70)	紀北農芸高 校(n=50)	粉河高校 (n=12)	伊都中央高 校(n=5)	紀北工業高 校(n=15)	橋本高校 (n=13)	那賀高校 (n=11)
町内	笠田地区	10.0%	8.0%	50.0%	40.0%	26.7%	30.8%	36.4%
	妙寺地区	10.0%	0.0%	33.3%	40.0%	66.7%	38.5%	27.3%
	大谷地区	1.4%	0.0%	8.3%	0.0%	6.7%	7.7%	9.1%
	見好地区	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	15.4%	9.1%
	三谷地区	1.4%	2.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	18.2%
	天野地区	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
和歌山県内	和歌山市	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	紀の川市	12.9%	18.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	橋本市	52.9%	22.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	岩出市	7.1%	22.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	九度山町	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高野町	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大阪府内	堺市	1.4%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	河内長野市	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図 72 居住地区

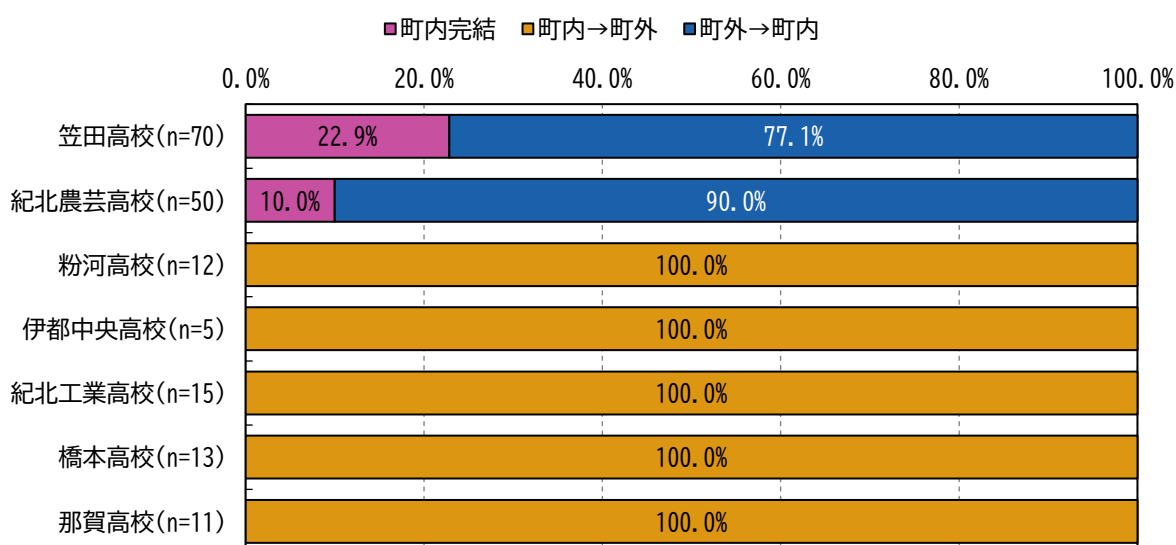


図 73 移動状況

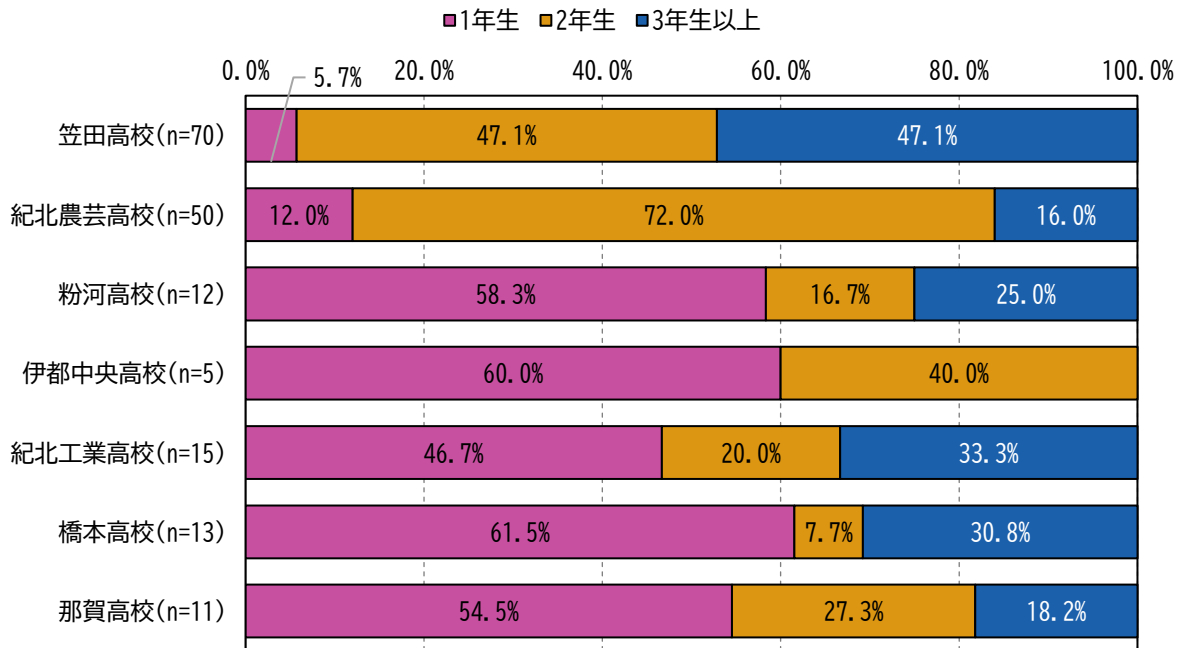


図 74 学年

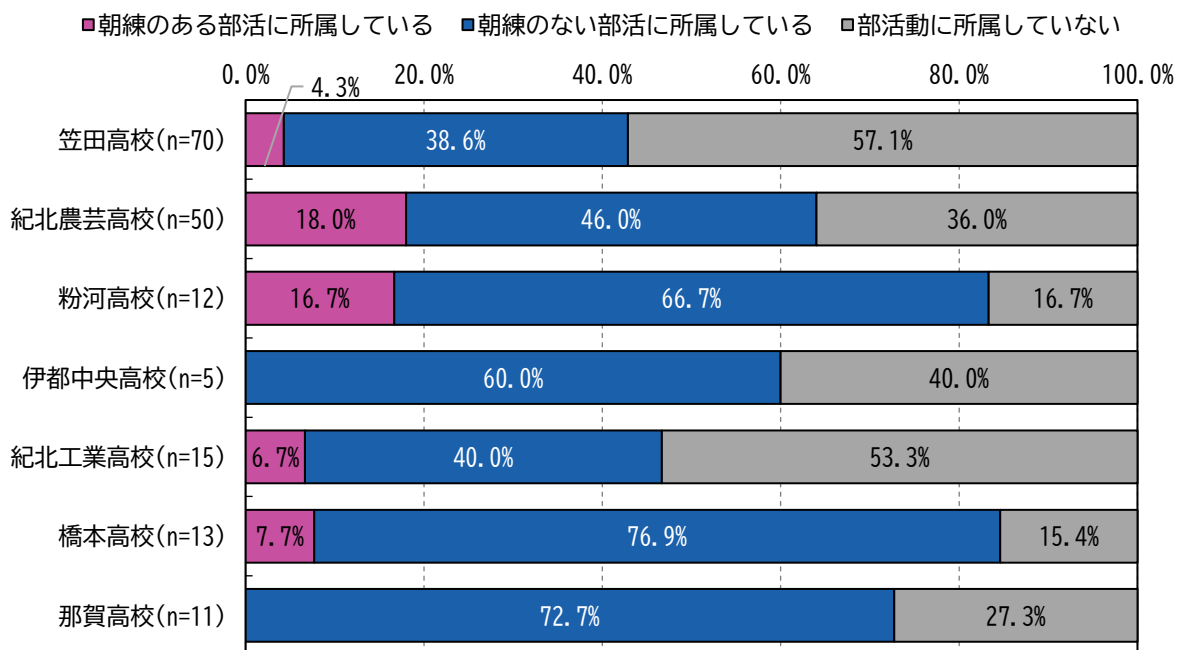


図 75 部活動の所属状況

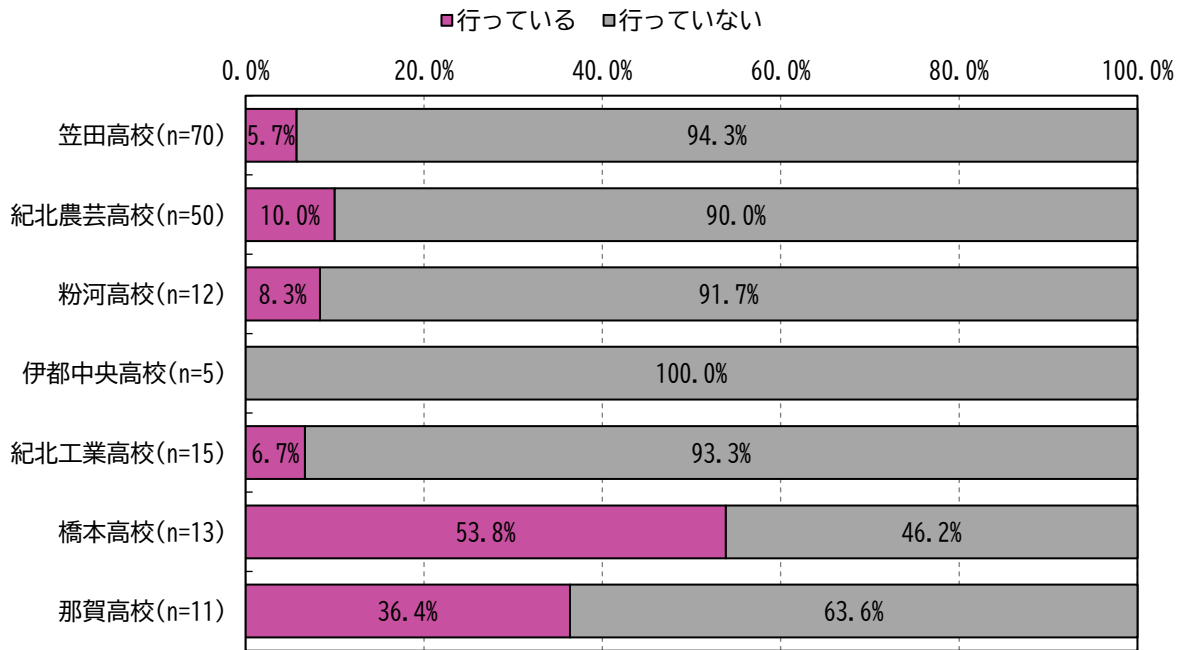


図 76 塾・予備校・習い事の状況

② 普段の登下校の状況

■ 登校時に家を出発する時間

- ・ 町内にある高校に通う生徒のうち、町内在住の生徒は7時台または8時台に出発する者が100%である。
- ・ 一方、町外から通う生徒は6時台以前に出発する生徒が笠田高校で9.4%、紀北農芸高校で23.8%を占めており、町内在住者よりも早く家を出る傾向にある。
- ・ 町外の高校に通う町内在住の生徒の多くが7、8時台と回答しており、橋本高校と那賀高校に通う生徒のみ6時台と回答している。

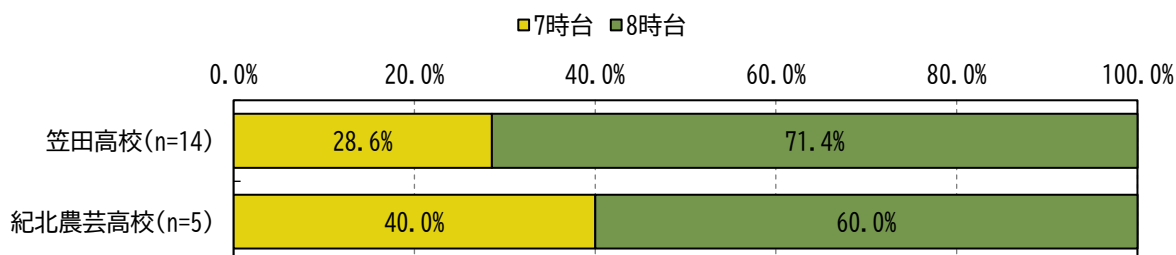


図 77 登校時に家を出発する時間（町内の自宅→町内の高校）

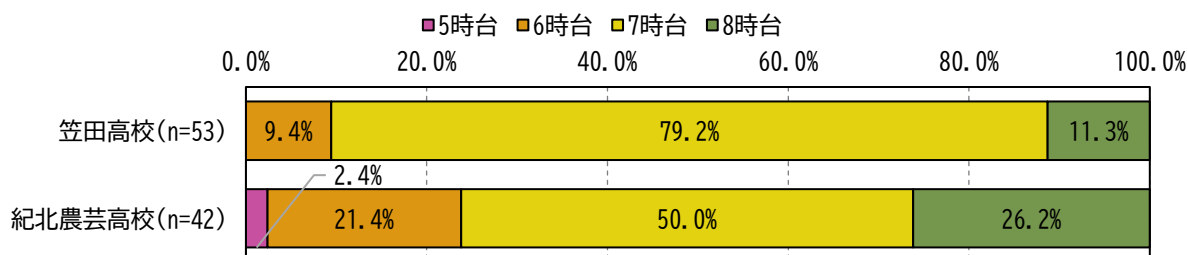


図 78 登校時に家を出発する時間（町外の自宅→町内の高校）

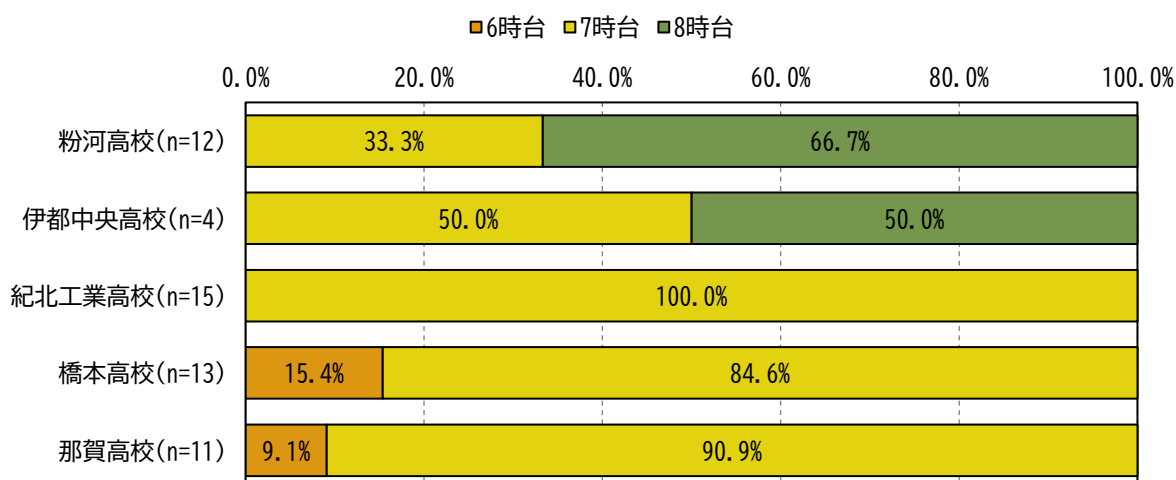


図 79 登校時に家を出発する時間（町内の自宅→町外の高校）

■ 学校から直接家に帰る時に家に到着する時間

- ・ 町内にある高校に通う町内在住の生徒は 15 時台または 16 時台に到着する生徒が 90%以上であり、早い時間に帰宅している。
- ・ 一方、町外から通う生徒は 17 時台以降の到着が多く、特に紀北農芸高校は 19 時台以降の到着が 31.6%を占め、帰宅時間が大幅に遅くなっている。
- ・ 町内在住の生徒は、粉河高校、伊都中央高校、紀北工業高校への通学では 16 時台以前に到着する生徒が多い。
- ・ 一方、橋本高校と那賀高校への通学では 17 時台以降の到着が 100%であり、帰宅時間が遅くなる傾向にある。

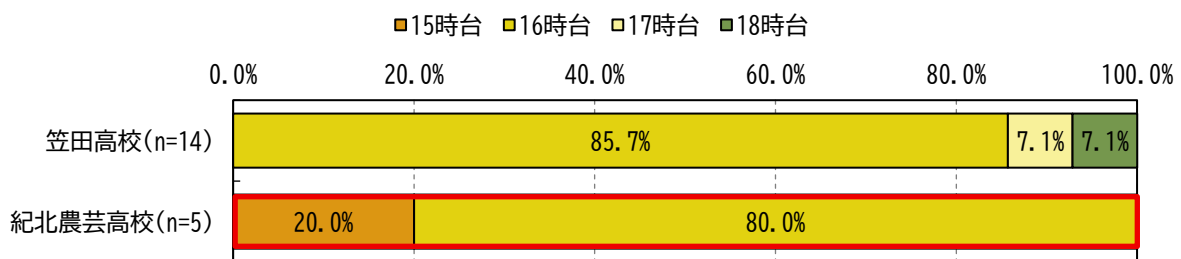


図 80 学校から直接家に帰る時の到着時間（町内の高校→町内の自宅）

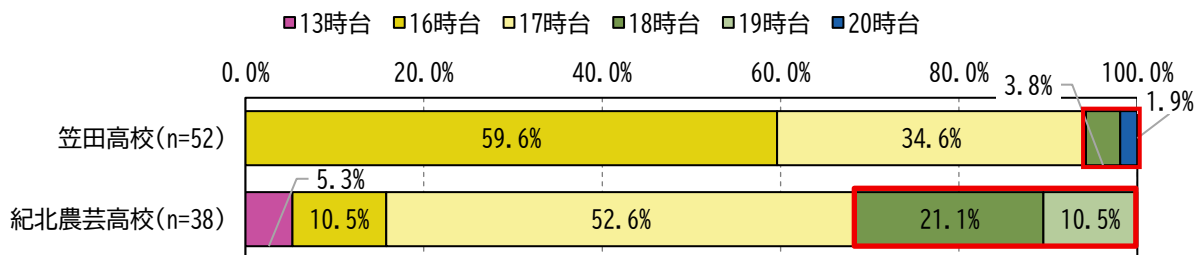


図 81 学校から直接家に帰る時の到着時間（町内の高校→町外の自宅）

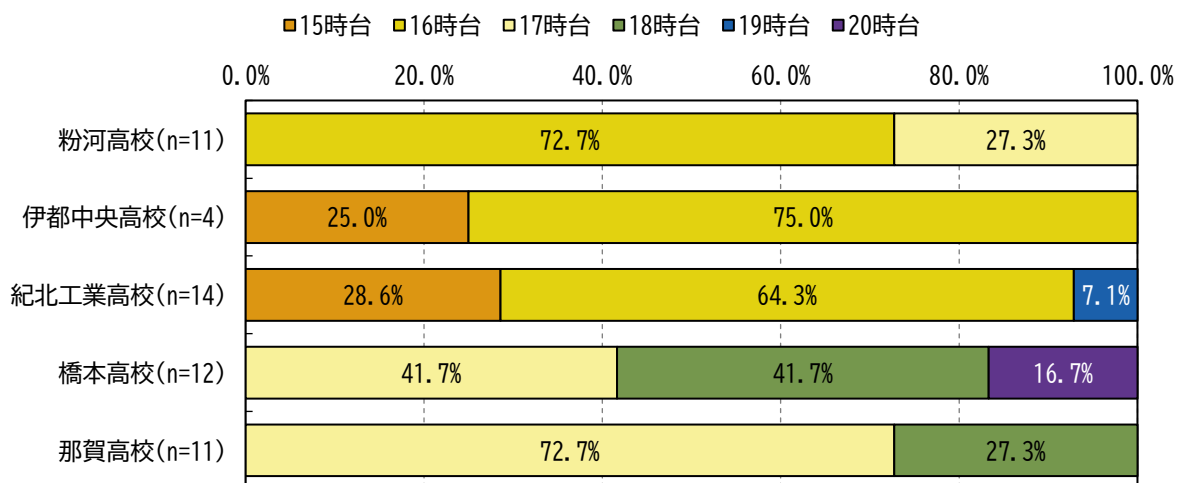


図 82 学校から直接家に帰る時の到着時間（町外の高校→町内の自宅）

■ 塾や部活などをして遅い時間に家に帰る時に家に到着する時間

- 塾や部活で遅くなった場合、町内高校に通う町内在住の生徒の 20 時台以降の帰宅は笠田高校で 9.1%と少ないが、紀北農芸高校では 60.0%あり、一部で遅い時間まで活動している。
- 町内高校に通う生徒が塾や部活で遅くなった場合、町外の自宅に帰る生徒は、20 時台以降の到着が笠田高校で 41.2%、紀北農芸高校で 35.8%と約 4 割を占めている。
- 町外高校に通う町内在住の生徒では、橋本高校に通う生徒の 50.0%が 20 時台以降に帰宅しており、特に帰宅時間が遅くなる傾向にある。

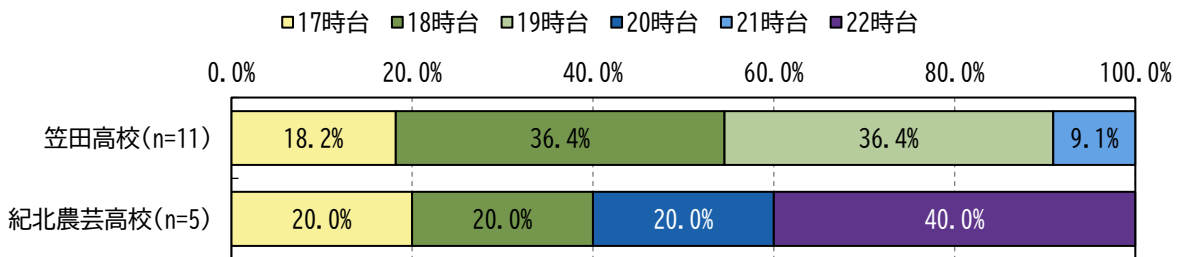


図 83 塾や部活などをして遅い時間に家に帰る時の到着時間（町内の高校→町内の自宅）

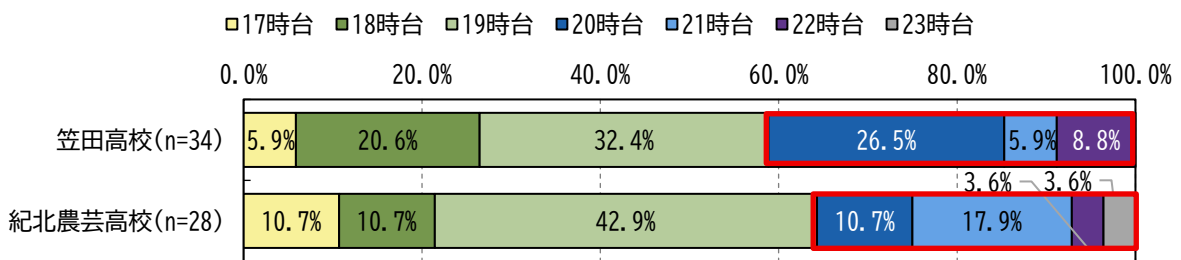


図 84 塾や部活などをして遅い時間に家に帰る時の到着時間（町内の高校→町外の自宅）

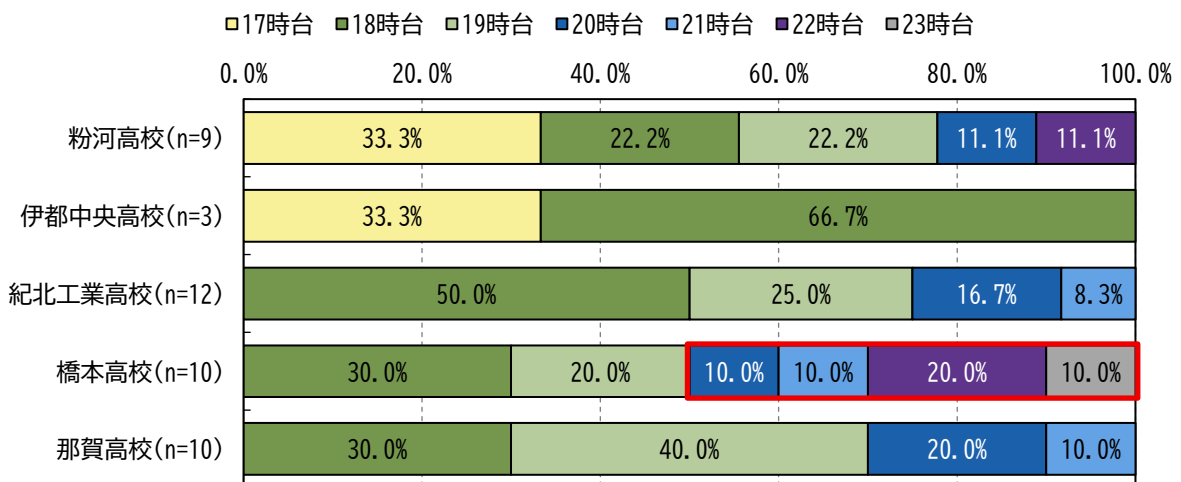


図 85 塾や部活などをして遅い時間に家に帰る時の到着時間（町外の高校→町内の自宅）

■ 通学時に利用する交通手段

- ・ 町内にある高校への町内在住の生徒は自転車または徒歩が主な手段である。
- ・ 町外からの生徒は、JR 和歌山線の利用が圧倒的に多く（笠田高校 92.6%、紀北農芸高校 73.3%）、鉄道への依存度が高い。
- ・ 町内から町外の高校への通学は JR 和歌山線の利用が全ての高校で 8 割以上を占めている。
- ・ 「保護者による送迎」は全ての高校で 20%以上となっており、送迎の負担が大きいことが示されている。
- ・ いずれの高校においても「デマンド型乗合タクシー」で通学している生徒はいない。

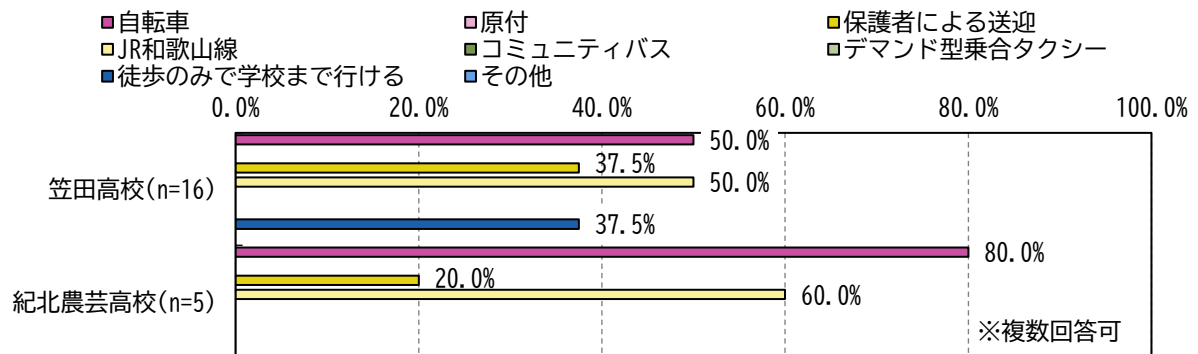


図 86 通学時に利用する交通手段（町内の自宅⇔町内の高校）

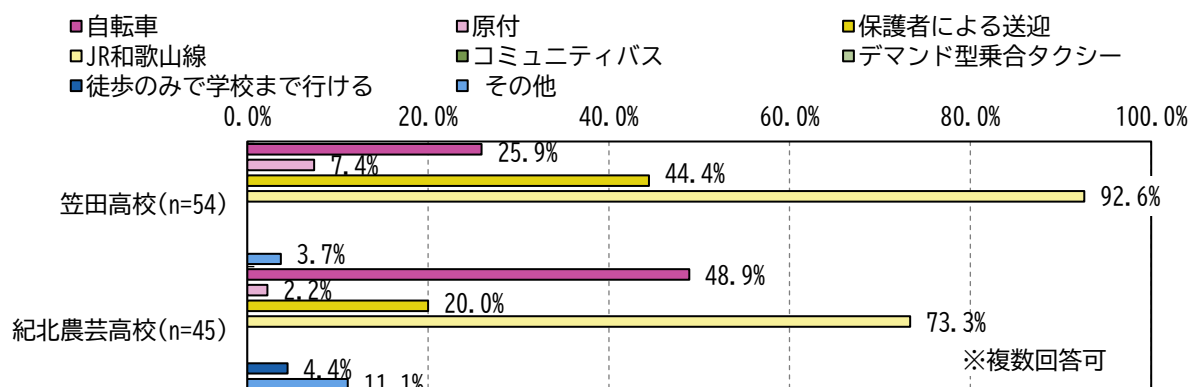


図 87 通学時に利用する交通手段（町外の自宅⇔町内の高校）

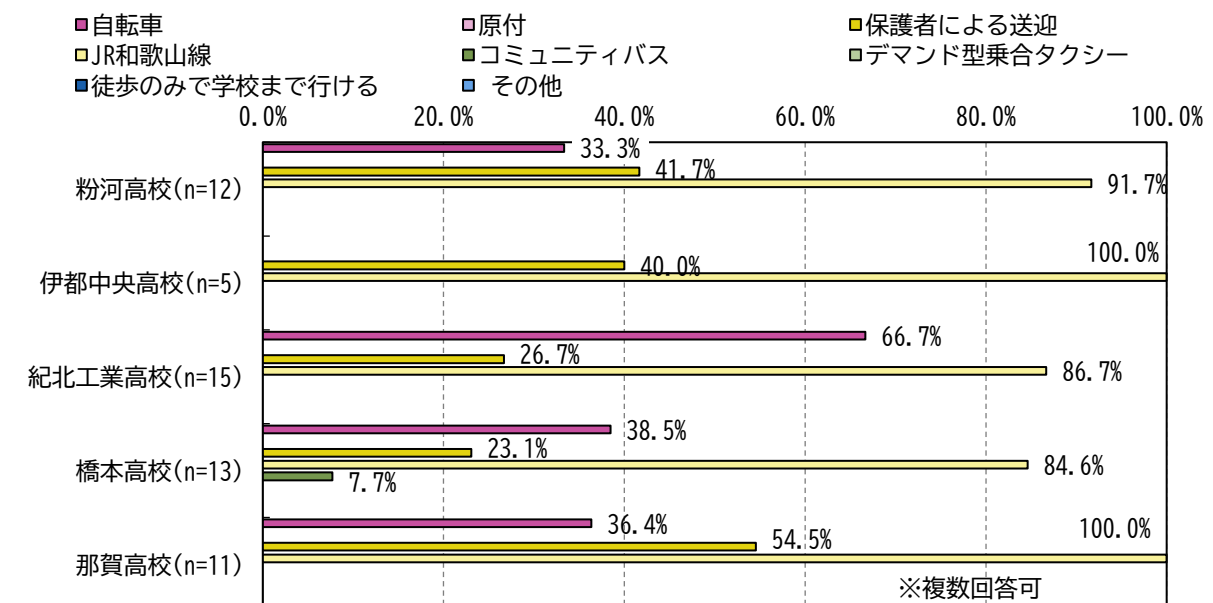


図 88 通学時に利用する交通手段（町内の自宅⇔町外の高校）

■ 行きと帰りで交通手段が異なることはあるか

- ・ 「行きと帰りの交通手段は同じ」と回答した生徒が、伊都中央高校を除くといずれの高校も 50%を超えている。多くの生徒が往復で一貫した通学ルートを利用していることを示している。
- ・ 「ほぼ毎日異なる」または「時々異なる」と回答した生徒は、伊都中央高校（80.0%）で最も多く、次いで笠田高校（40.0%）、橋本高校（46.2%）の順に高い。行きと帰りで異なる交通手段を必要とする生徒が一定数存在しており、特に帰りの時間帯の交通手段の確保が課題となる可能性がある。

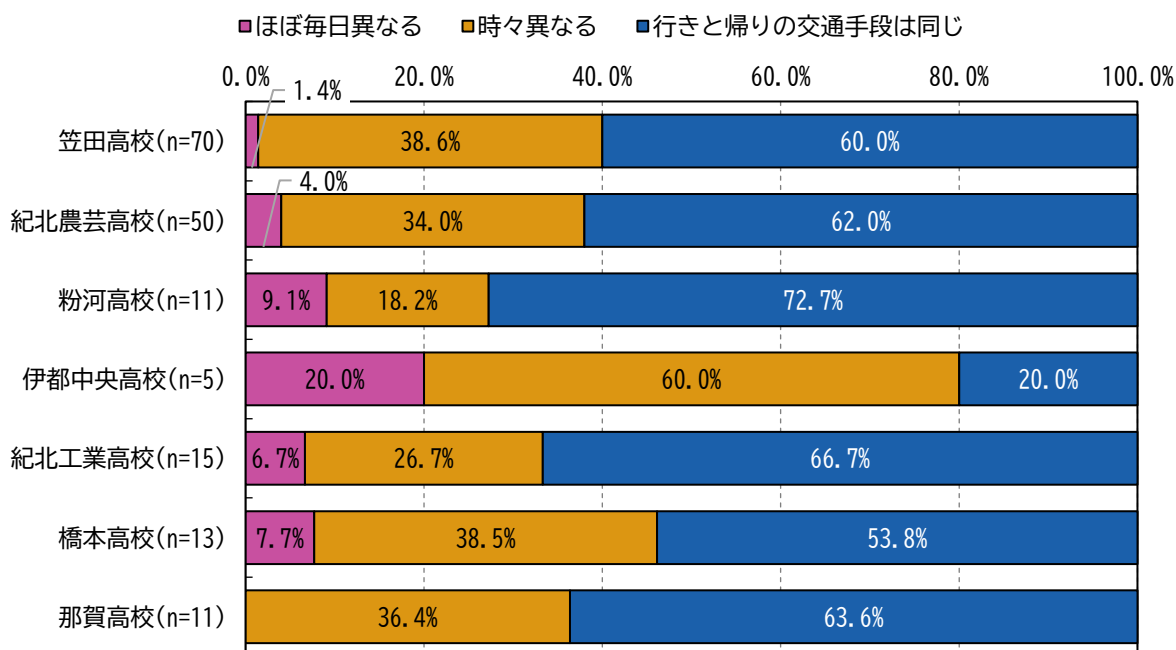


図 89 行きと帰りで交通手段が異なることはあるか

③ 公共交通等の利用状況・満足度

■ 交通手段の利用状況について（通学以外も含む）

- ・ 伊都中央高校を除く全ての高校で、生徒の 80%以上が JR 和歌山線を「週 5 日以上」利用している。これは、JR 和歌山線が高校生の日常的な移動手段として重要であることを示している。
- ・ 伊都中央高校では「週 5 日以上」の利用が 60.0%に留まり、残りの 40.0%は「週 3 日以上」「週 1 日以上」の利用となっている。
- ・ 橋本高校の生徒がコミュニティバスを「週 5 日以上」利用（7.7%）している以外、全ての高校でコミュニティバスおよびデマンド型乗合タクシーを「月 1 日未満・使わない」が 90%以上を占めている。
- ・ 高校生の移動は JR 和歌山線に依存しており、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーは、通学以外の目的を含めても、ほとんど利用されていない状況にある。

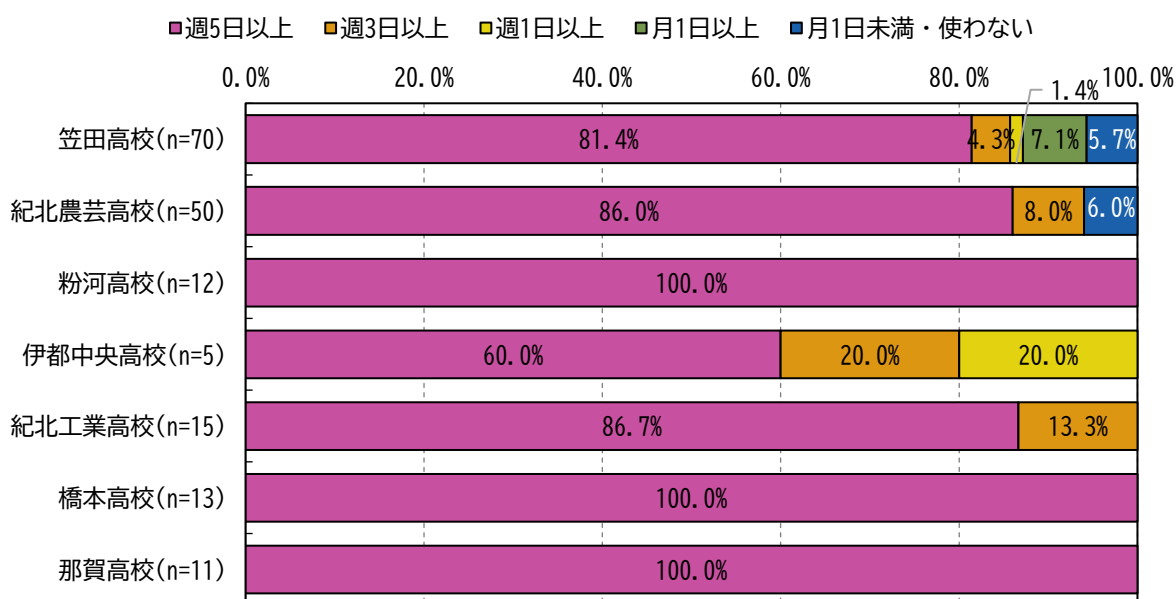


図 90 JR 和歌山線の利用頻度



図 91 コミュニティバスの利用頻度



図 92 デマンド型乗合タクシーの利用頻度

■ JR 和歌山線の満足度

- 多くの高校で「やや不満」または「不満」が過半数を超えており、特に橋本高校では92.3%が不満を示している。
- 不満の理由として、「電車の本数が少ない」という運行本数に関する内容が最も多く、その他に混雑、遅延、快適性の欠如が挙げられている。
- 満足している生徒は、「わかりやすい」「時間通りに来る」など、利便性と信頼性を評価している。

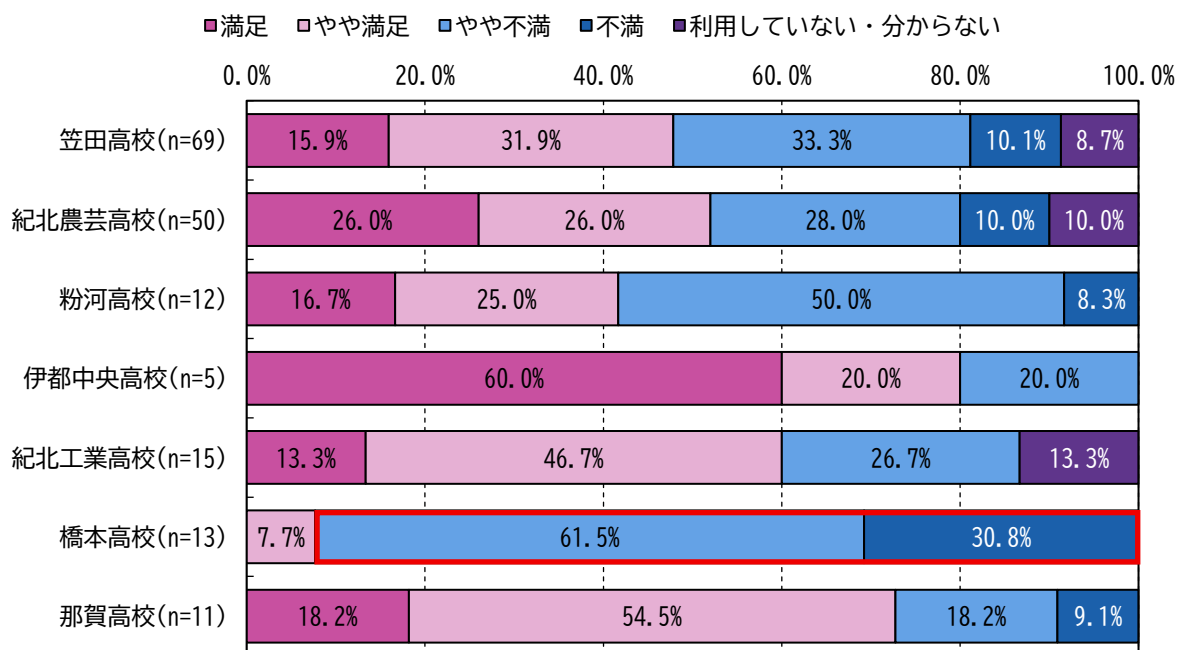


図 93 JR 和歌山線の満足度

【満足度の回答理由】※抜粋

- 「満足」と回答した方の理由
 - ・わかりやすいし、乗りやすいから
 - ・安心して毎日乗れるから
 - ・快適
 - ・遠くに移動できるから
 - ・時間通りに来るから
 - ・冷暖房完備だから
 - ・車で学校まで行かなくて済む
 - ・乗り降りしやすい
 - ・遅れないから
 - ・乗り心地がいいから
 - ・便利
- 「やや満足」と回答した方の理由
 - ・電車の本数が少ない
 - ・降りる時に前しか開かないことが多くて不便
 - ・もっと本数を増やしてほしい
 - ・少しの雨で止まる
 - ・遅延多い
 - ・各駅が汚い
 - ・マナーが守れている人が多いから
- 「やや不満」と回答した方の理由
 - ・電車の本数が少ない
 - ・18時台の電車が混む
 - ・車両が少ない
 - ・いつも座れないので、学校につく前に疲れる
 - ・混んでいるから
 - ・床に座っている人や話し声がうるさい人がいる
 - ・遅延が多い
- 「不満」と回答した方の理由
 - ・電車の本数が少ない
 - ・南海高野線との接続が悪い
 - ・車両が少ない

■ コミュニティバスの満足度

- どの高校に通う生徒も、ほぼ「利用していない・分からない」と回答している。
- コミュニティバスは、高校生の移動手段としてほとんど利用されていない状況であり、満足度を評価できるだけの利用者がいない。
- 橋本高校の利用者は、通学頻度の設問（図 91）で「週 5 日以上」利用している生徒（7.7%）と概ね一致しており、ごく一部の生徒が通学手段として利用しているに過ぎない。

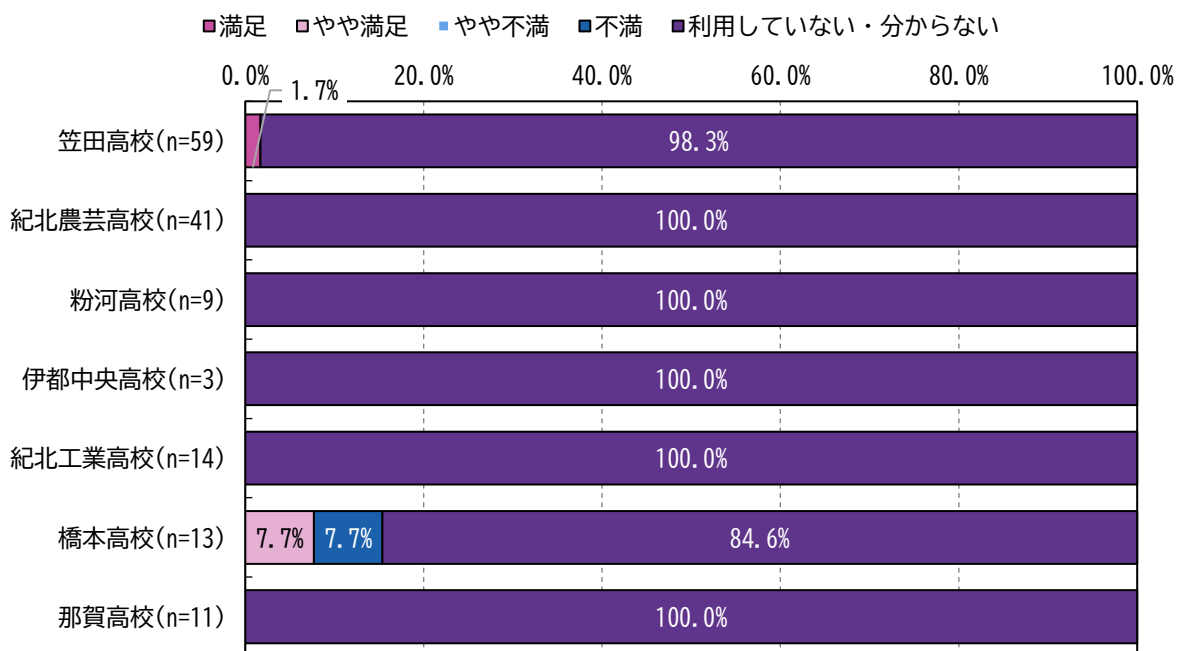


図 94 コミュニティバスの満足度

【満足度の回答理由】 なし

■ デマンド型乗合タクシーの満足度

- 全ての高校で、生徒の 100.0%がデマンド型乗合タクシーを「利用していない・分からない」と回答している。
- デマンド型乗合タクシーは、高校生の通学・生活圏における移動手段として全く利用されておらず、サービス自体が認知されていないか、あるいは高校生のニーズや利用時間帯に適合していないことが明らかである。

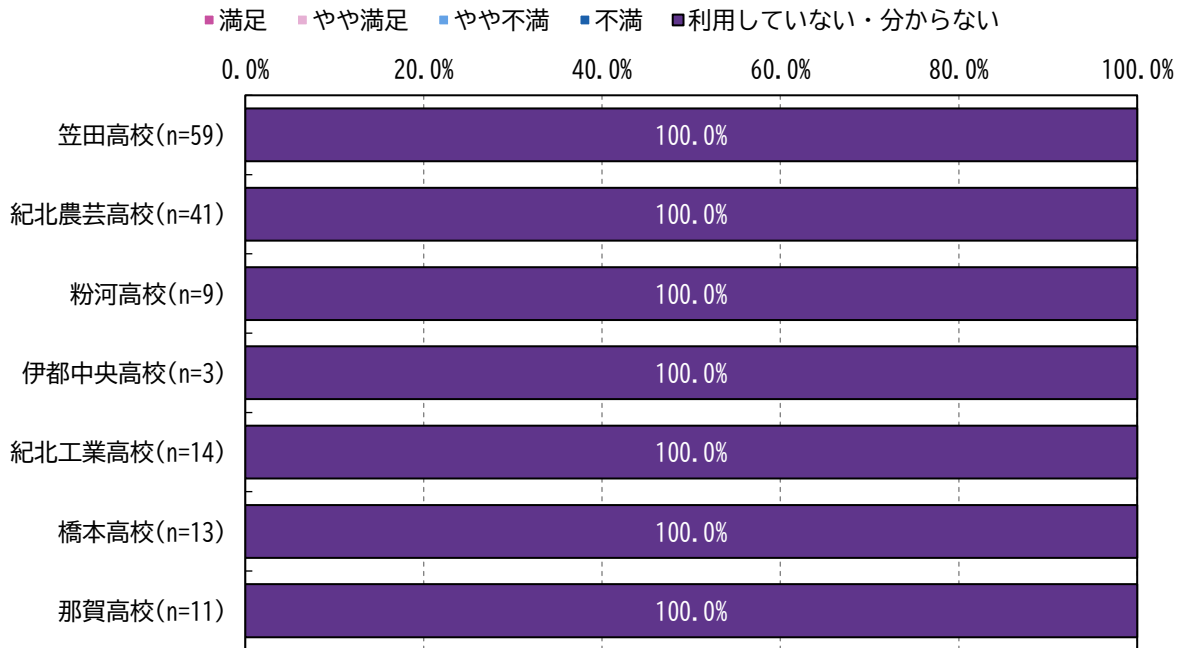


図 95 デマンド型乗合タクシーの満足度

【満足度の回答理由】 なし

④ 保護者の送迎状況（最も多く送迎してもらうパターン）

- 橋本高校の生徒が「週5日以上」「週3日以上」の合計が53.9%と最も高く、半数以上が頻繁に送迎を受けている。
- 紀北農芸高校は「月1日未満・送迎してもらわない」が44.9%と最も高く、送迎頻度は低い傾向にある。
- ほとんどの生徒が送迎してもらう範囲として「家から学校まで（またはその逆）」「家から最寄り駅・バス停まで（またはその逆）」と回答している。

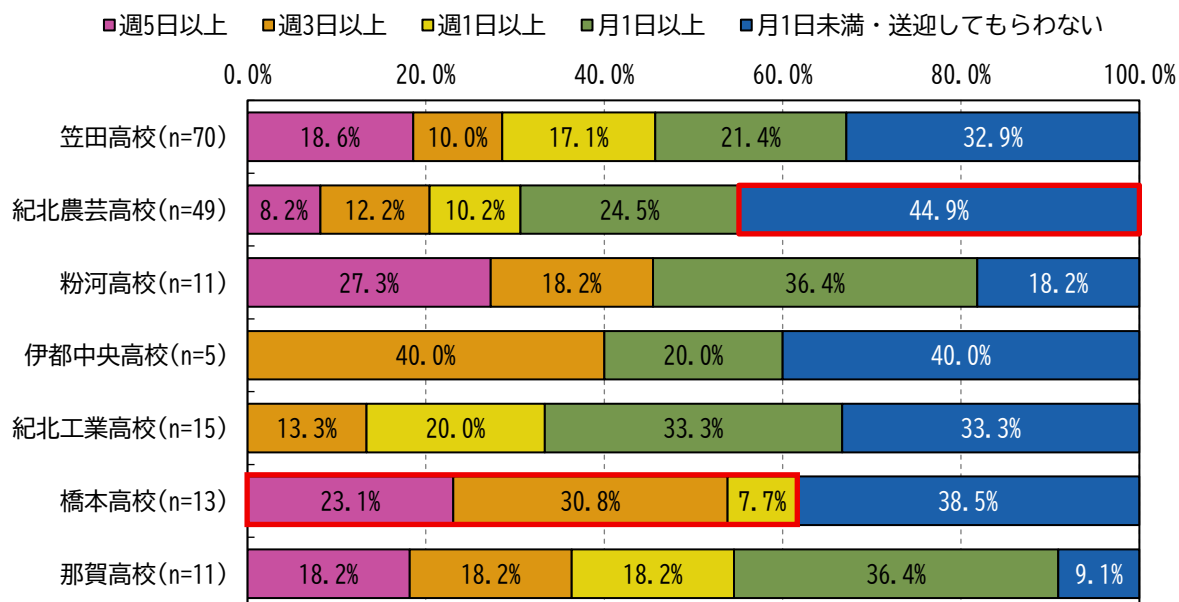


図 96 通学や部活・塾などで保護者の方に送迎してもらう頻度

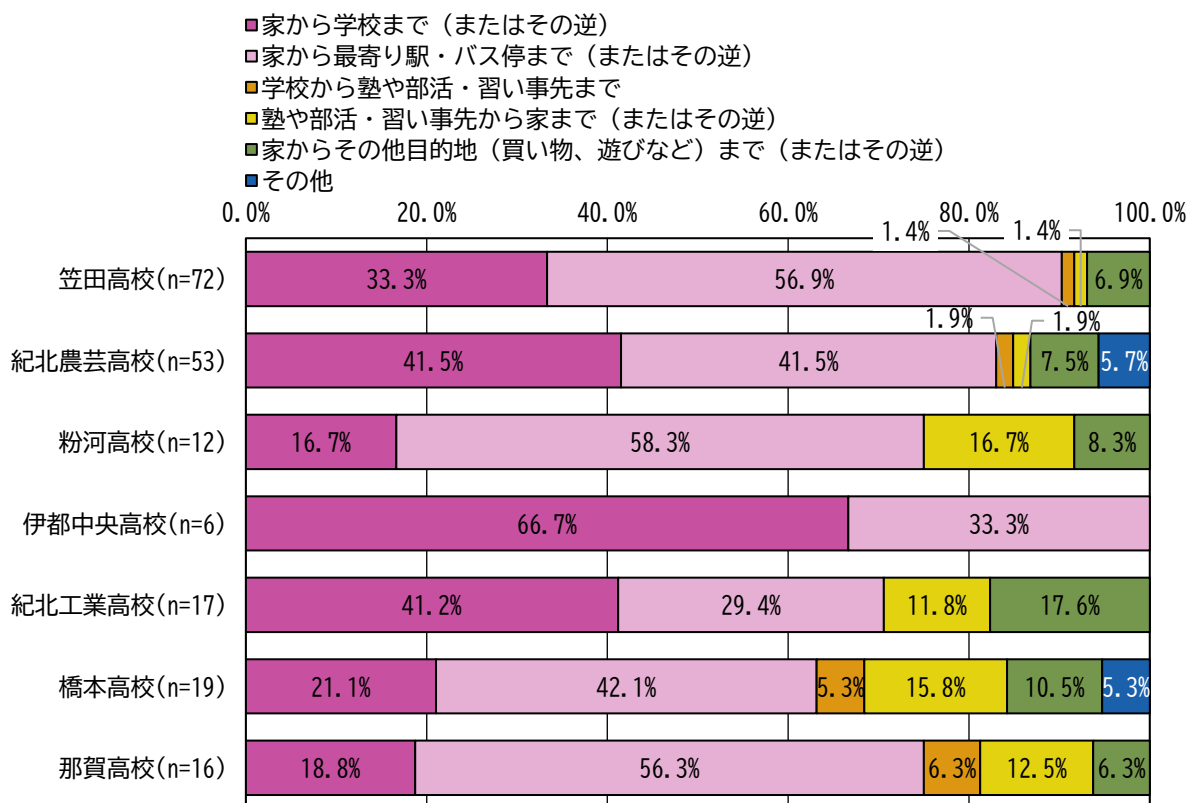


図 97 送迎してもらう範囲

■ 送迎してもらうことに申し訳なく感じているか

- 全ての高校で、60%以上の生徒が保護者による送迎に気兼ねや遠慮を感じており、送迎が生徒の精神的な重荷になっていることが明らかである。
- 申し訳なさを感じる割合は、送迎頻度が高い層で特に顕著であり、「週5日以上」の生徒の76.0%が親に負担をかけていると感じている。
- 送迎の有無にかかわらず、生徒は保護者の送迎の負担を強く意識している。公共交通の利便性向上は、保護者の送迎負担の軽減と同時に、生徒が親に遠慮なく通学できるという精神的なメリットをもたらす可能性がある。

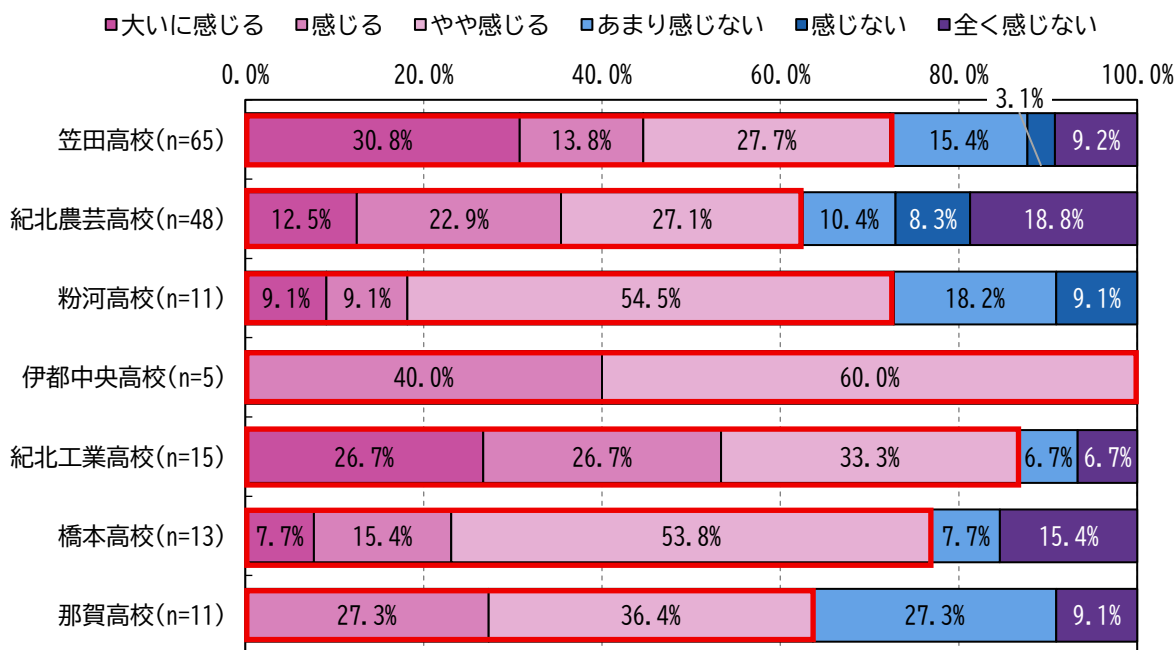


図 98 保護者の方に送迎してもらうことについて気兼ねや遠慮、申し訳なさなどを感じることはあるか (学校別)

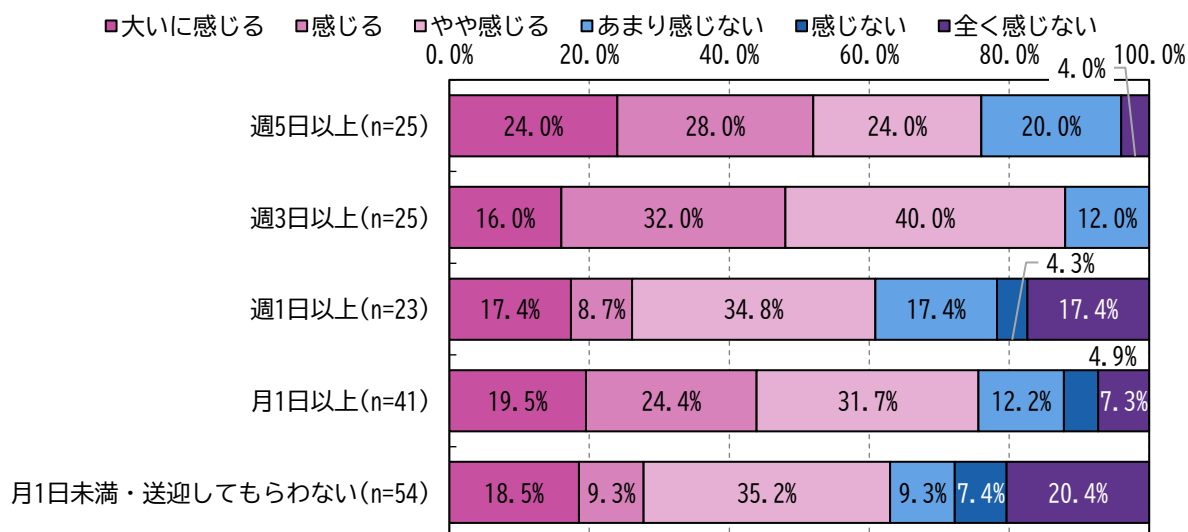


図 99 保護者の方に送迎してもらうことについて気兼ねや遠慮、申し訳なさなどを感じることはあるか (送迎頻度別)

⑤ 新たな交通手段（デマンド乗合交通「かつらいど」）について

- ・ 全ての高校で「分からない」と回答した生徒が最も多く、過半数以上がサービス内容を認知していない。
- ・ 「利用したいと思う」生徒は橋本高校（23.1%）などで一定数存在し、その理由は「時間に融通がきく」点にある。
- ・ 利用しない主な理由はとして今の通学手段（JR や保護者による送迎）で十分満足しており、費用をかけてまで利用するメリットを感じていないことにある。

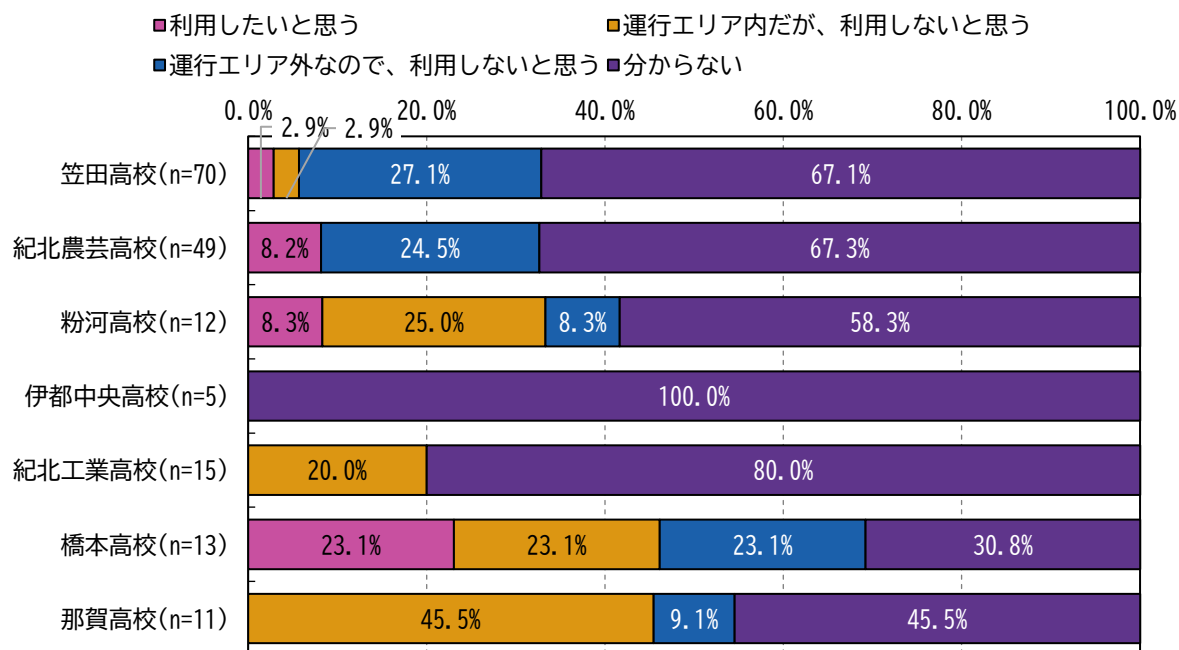


図 100 新たな交通手段（デマンド乗合交通「かつらいど」）の利用意向

【回答理由】

- 「利用したい」と回答した方の理由
 - ・ コミュニティバスよりも時間に融通がきくから。
 - ・ 外出するときに利用するから。
 - ・ 新しいものだから試しに乗りたいと思ったから。
 - ・ 便利
- 「運行エリア内だが、利用しないと思う」と回答した方の理由
 - ・ お金もったいない。
 - ・ 駅が家から近く、バスを待っているうちに駅に着けると思うから。
 - ・ 今の電車通学で安定しているから。
 - ・ 使う必要がない。
 - ・ 自家用車で送迎してもらっている。
 - ・ 朝早いから。
 - ・ 電車があるので。
 - ・ 忙しいので時間が合わない。

⑥ 公共交通に対する改善要望

- ・改善要望のほとんどは JR 和歌山線に集中しており、運行本数の増便や、朝夕の混雑緩和を目的とした車両編成の増加に関する要望が多かった。
- ・利便性向上のため、ICOCA 等 IC 改札機の増設への要望も多く見られた。
- ・その他の要望として 駅の美化、遅延・運行停止の改善、車内マナーの向上など、運行の質に関する要望も存在する。
- ・改善要望が叶えられた場合、全ての高校で「増えると思う」または「今と同じくらい利用すると思う」と回答しており、改善が利用維持・促進に繋がることが示されている。

【JR 和歌山線に対する改善要望】

●JR 和歌山線の本数を増やしてほしい 22 人

- ・朝と夕方～夜にかけて
- ・学校が終わってから 1 時間待たないといけないので
- ・1 時間に 1 本はきつい
- ・1 時間に 3 本はほしい
- ・30 分に 1 本くらいに増やしてほしい
- ・特に 16、17 時台を増やしてほしい

●JR 和歌山線の車両編成数を増やしてほしい 12 人

- ・朝の混む時間帯を 4 両にしてほしい
- ・平日も 4 両にしてほしい

●IC をタッチする機械を置いてほしい 3 人

- ・どの駅にも機械を置いてほしい
- ・妙寺駅に ICOCA のタッチできる機械を設置してください

●その他

- ・各駅を綺麗にしていきたい
- ・遅延 運行停止が多い
- ・電車でたばこや地面に座っている人がいる
- ・電車の中静かにしてほしい

【バスに対する改善要望】

- ・バスに ICOCA を導入してほしい 1 人
- ・バスと電車の接続を良くする 1 人
- ・バスの本数を増やしてほしい 1 人

【コミュニティバスに対する改善要望】

- ・コミュニティバスの本数を増やしてほしい 1 人

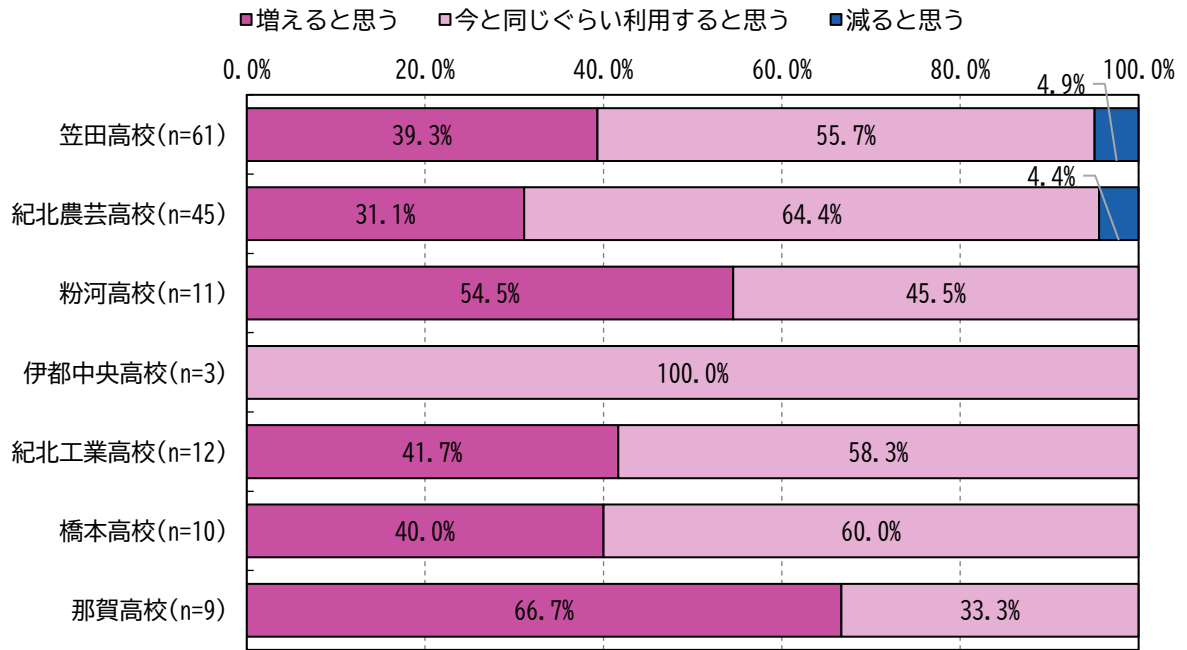


図 101 改善要望が叶えられたら、公共交通の利用回数は増えると思うか

(3) 保護者アンケート調査結果

① 送迎状況

■ 送迎頻度と平均送迎回数

- ・ 橋本高校の保護者は「週5日以上」(38.5%)の送迎が最も多くなっている。
- ・ 送迎している保護者のうち約半数が「1日2回程度」送迎しており、これが一般的なパターンである。特に「週5日以上」送迎する層では21.7%が「1日3回以上」送迎しており、頻繁な送迎層では1日複数回の送迎が日常的に行われている。
- ・ 頻繁に送迎している保護者(週3日以上)の約6割が1日2回(行きと帰り)の送迎を行っており、約1~2割が1日3回以上の送迎を行っていることから、保護者の時間的・身体的な負担が非常に大きいことが示唆される。

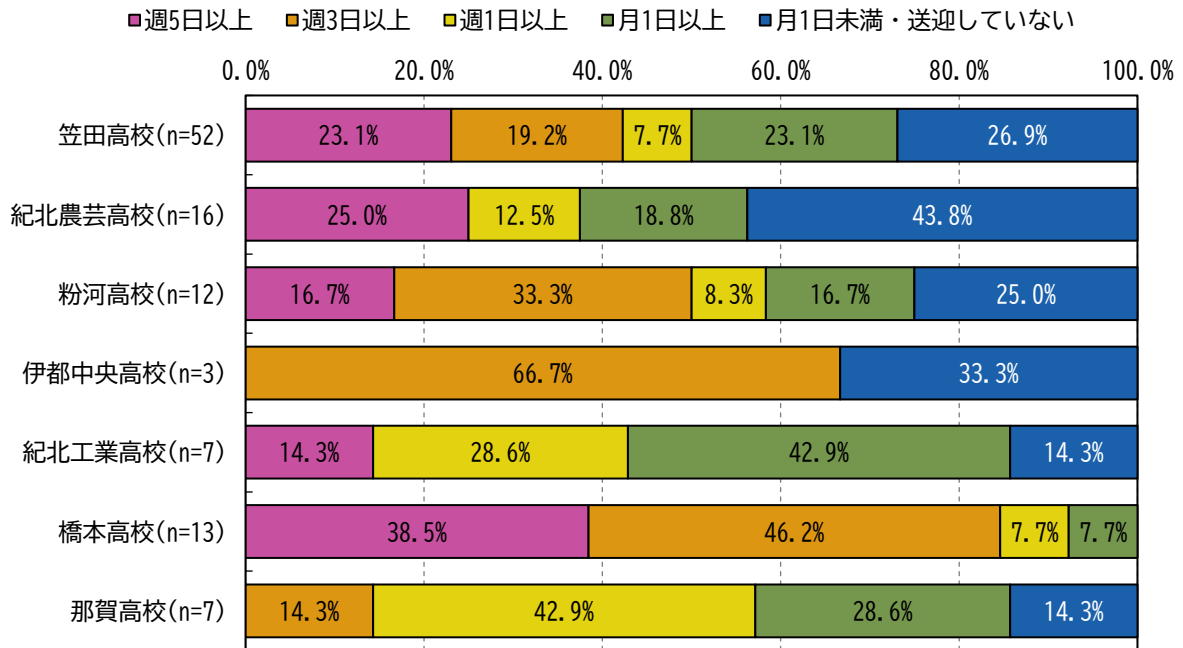


図 102 通学や部活・塾などでお子様を送迎する頻度

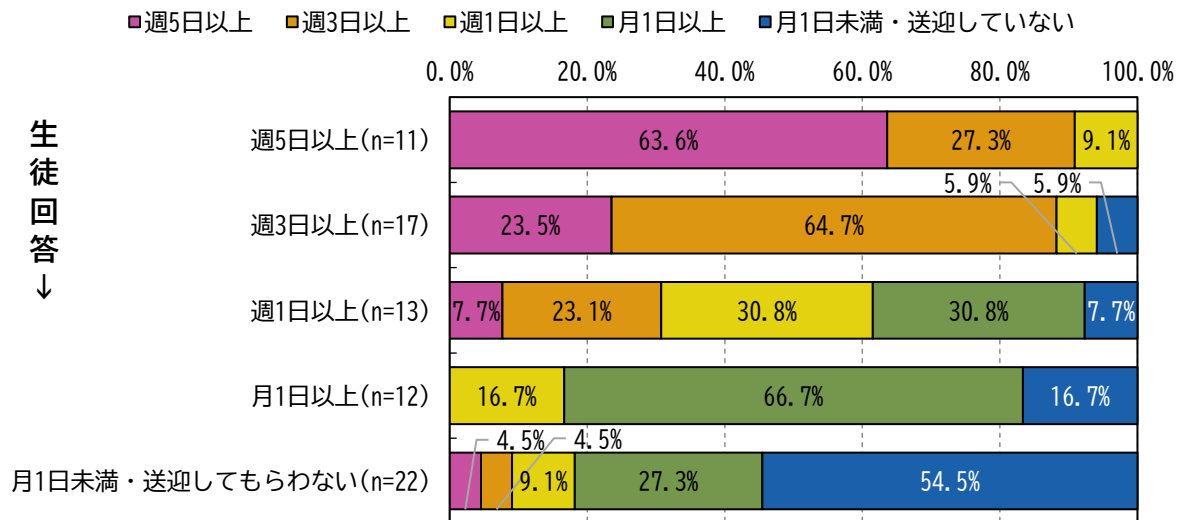


図 103 生徒回答「通学や部活・塾などで保護者の方に送迎してもらった頻度(回数)はどのくらいですか。」と保護者回答「通学や部活・塾などでお子様を送迎する頻度はどのくらいですか。」のクロス集計

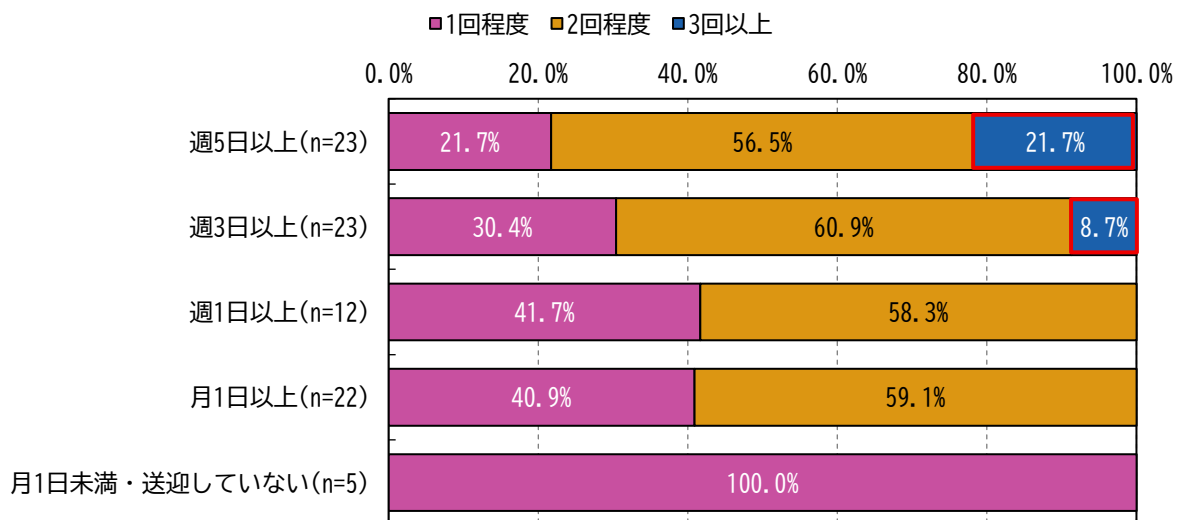


図 104 お子様を送迎する日の1日の平均送迎回数

■ 送迎をしている人

- ・ どの送迎頻度においても「保護者自身」が送迎しており、83.3%~95.7%を占めている。
- ・ 「保護者の両親」(祖父母)も送迎に関わっており、「週3日以上」送迎している層では約3割が祖父母の協力を得ている。
- ・ 送迎の負担は主に保護者自身が担っているが、頻繁な送迎が必要な家庭では、祖父母の協力を得ることで負担を分散している実態がうかがえる。送迎の代替手段を検討する際は、保護者だけでなく祖父母の負担軽減にも繋がる可能性がある。

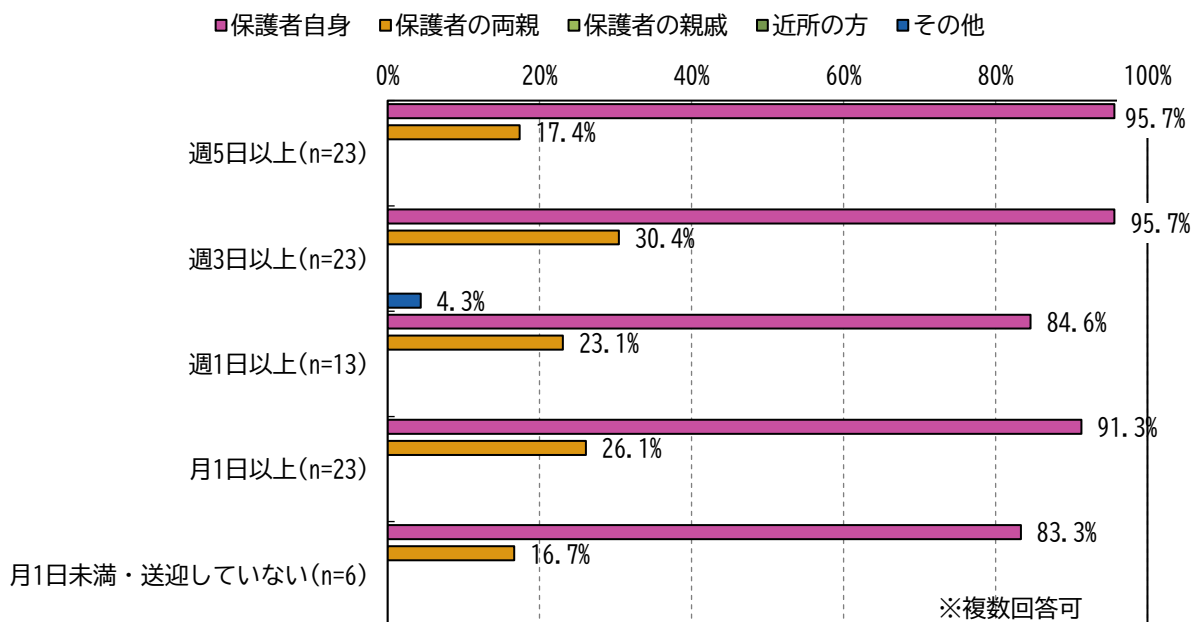


図 105 お子様の送迎をしている人

■ 送迎方法と送迎のために通勤時間を変更しているかどうか

- ・ 送迎している保護者のうち、「送迎のためだけに外出している」と回答した者が 65.2%から 87.0%と最も多く、送迎が保護者の行動に大きな制約を与えている。
- ・ 特に「週 3 日以上」送迎している層では 87.0%が送迎のためだけに外出しており、送迎が他の用事と両立できていない実態が明らかである。
- ・ 送迎頻度にかかわらず、通勤時間を「変更していない」と回答した保護者が大半を占めている。
- ・ 通勤時間の変更は少数派ではあるものの、「週 5 日以上」送迎している保護者は、47.8%が通勤時間を変更しており、頻繁な送迎は仕事の調整を必要とするレベルの負担となっている。

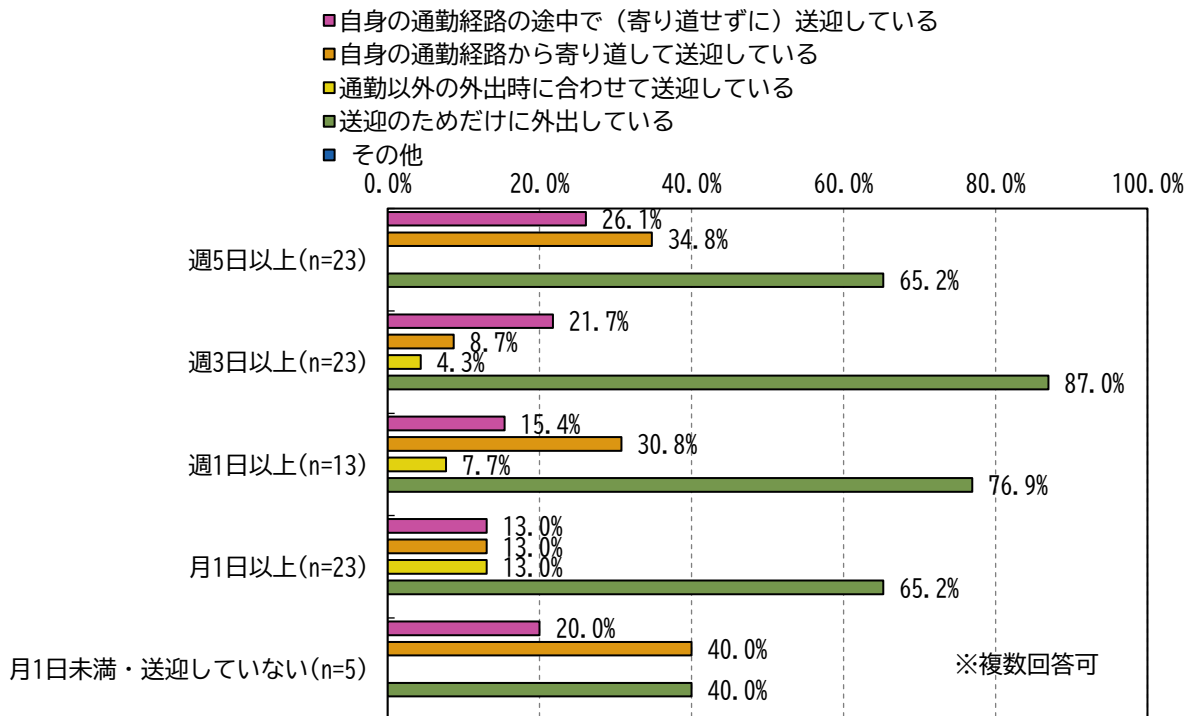


図 106 お子様の送迎方法

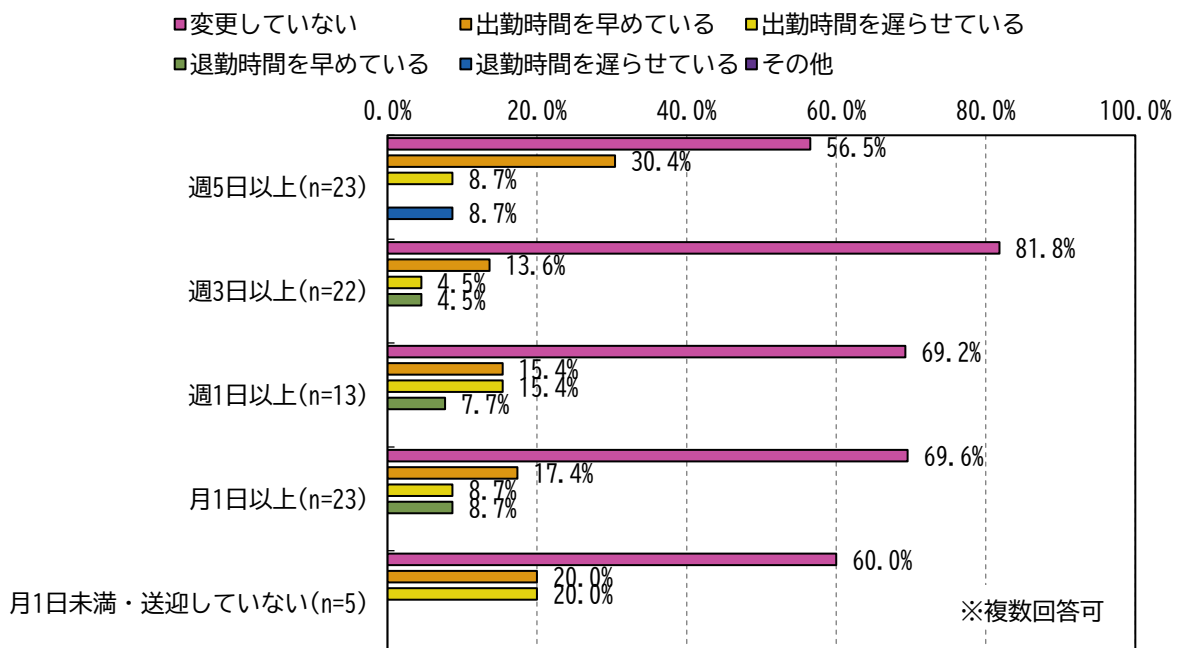


図 107 お子様の送迎のために通勤時間を変更しているか

■ 送迎する理由と時間帯

- 送迎の理由として、「公共交通の時間が合わないから」が最も多く、特に「週3日以上」送迎している層では47.8%を占めている。
- 次いで「安全のため」「公共交通で行けないから」も高い割合であり、公共交通の利便性不足と安全面への懸念が送迎の主な動機となっている。
- 送迎する時間帯としては、朝は7時台と8時台に集中している。一方で、夜間は17時台から19時台に集中する傾向があるが、21時台以降の送迎も17.4%（週5日以上）存在しており、部活動や塾などで帰宅が遅くなる生徒への対応として、夜遅くまでの送迎が必要とされている。

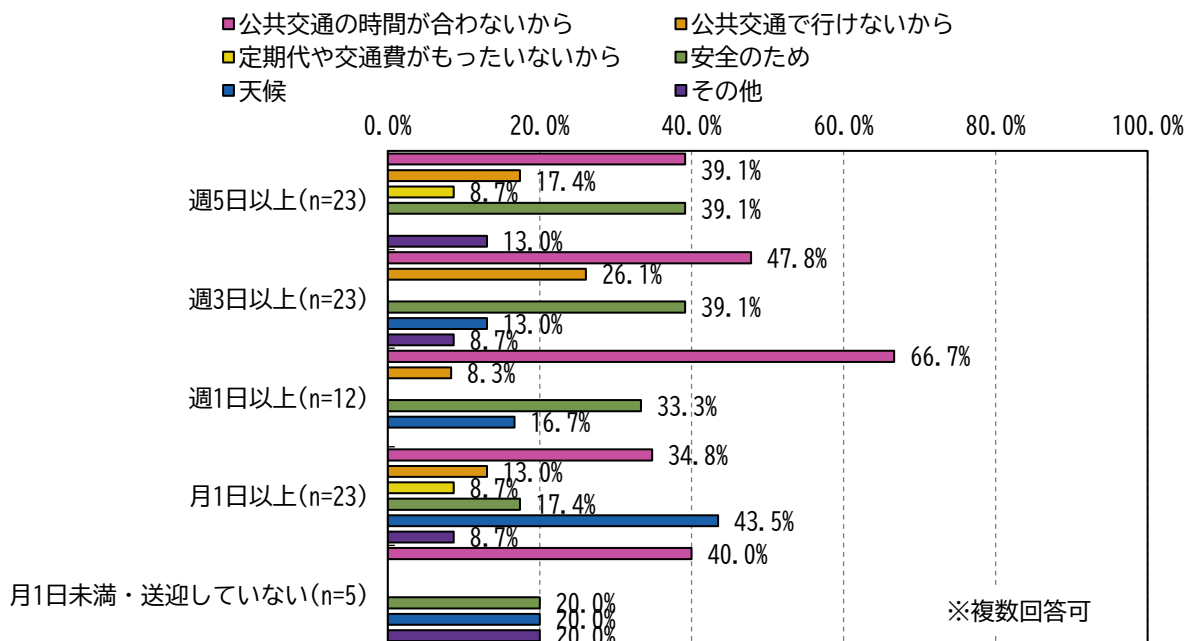


図 108 お子様を送迎する理由

時間帯	週5日以上 (n=23)	週3日以上 (n=23)	週1日以上 (n=13)	月1日以上 (n=23)	月1日未満・送迎していない (n=5)
6時より前	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6時台	4.3%	4.3%	15.4%	21.7%	20.0%
7時台	56.5%	65.2%	30.8%	52.2%	40.0%
8時台	34.8%	17.4%	30.8%	26.1%	60.0%
9時～12時台	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%
13時～14時台	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%
15時台	0.0%	8.7%	0.0%	8.7%	0.0%
16時台	17.4%	21.7%	0.0%	8.7%	0.0%
17時台	30.4%	30.4%	23.1%	8.7%	0.0%
18時台	34.8%	26.1%	46.2%	13.0%	0.0%
19時台	21.7%	34.8%	15.4%	17.4%	0.0%
20時台	8.7%	8.7%	30.8%	8.7%	0.0%
21時台	17.4%	21.7%	30.8%	4.3%	0.0%
22時台	0.0%	8.7%	0.0%	4.3%	0.0%
23時台	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
24時以降	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図 109 お子様を送迎する時間帯

■ 送迎に対する負担感

- ・ 「週 5 日以上」、「週 3 日以上」送迎している保護者の約 8 割の保護者が送迎に対して何らかの負担を感じている。
- ・ 負担を感じる理由として最も多いのは、「仕事の時間調整が必要なこと」（週 5 日以上で 43.5%）である。その他、「長時間運転により疲労がたまること」「ガソリン代が家計を圧迫すること」など、時間的・身体的・経済的な負担が複合的に発生している。
- ・ 生徒は「全く感じない」と回答している場合でもその保護者の 37.5%の保護者が送迎に対して負担を感じている。

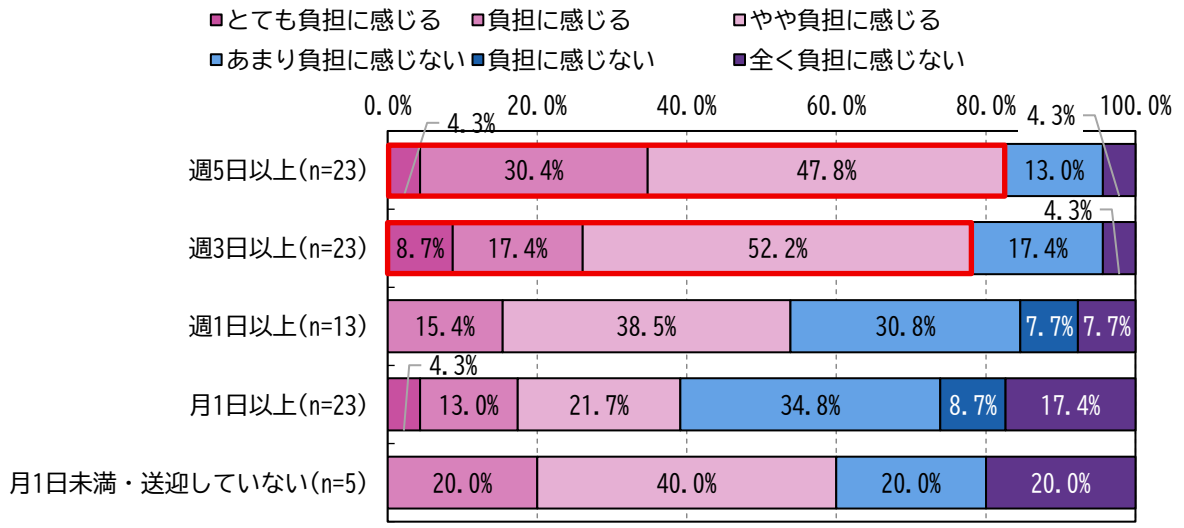


図 110 お子様の送迎はどの程度負担に感じるか

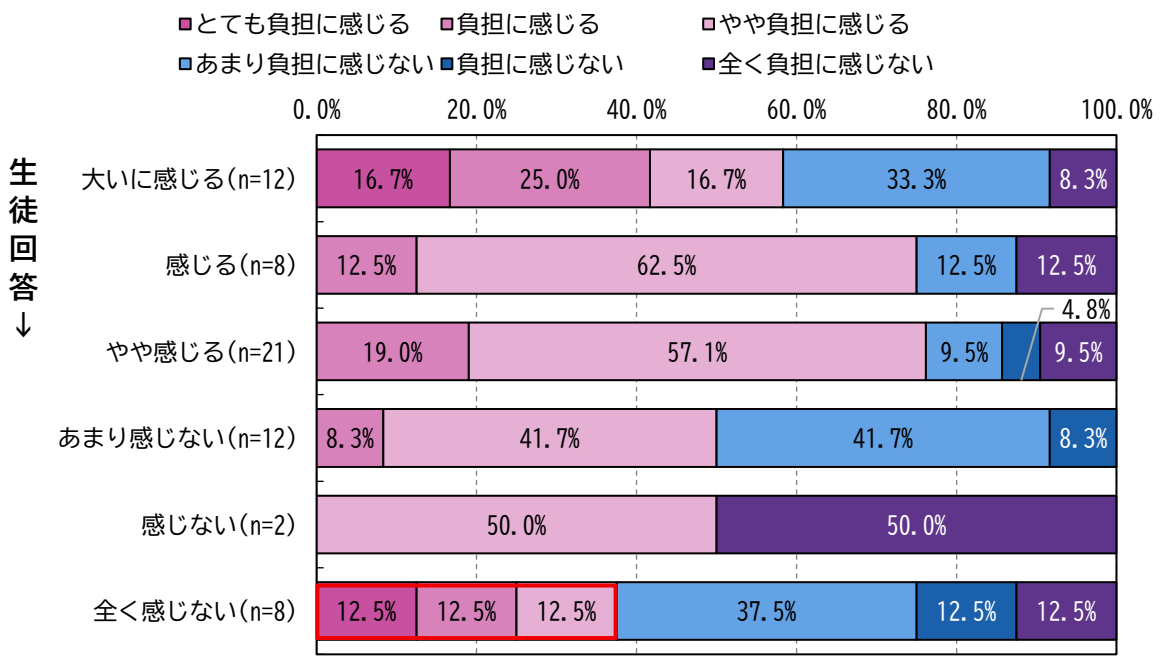


図 111 生徒回答「保護者の方に送迎してもらうことについて気兼ねや遠慮、申し訳なさなどを感じることはありますか。」と保護者回答「お子様の送迎はどの程度負担に感じますか。」のクロス集計

- 仕事の時間調整が必要なこと
- 送迎の待機時間が長いこと
- 休日が送迎で潰れること
- ガソリン代が家計を圧迫すること
- クルマの維持費が増加すること
- 仕事を休むことにより収入が減ること
- 早朝・夜間の運転が辛いこと
- 悪天候時の運転が不安なこと
- 長時間運転により疲労がたまること
- 事故への不安があること
- 子供の自立への影響が心配なこと
- 他の活動を諦めるストレスがあること
- いずれも当てはまらない
- その他

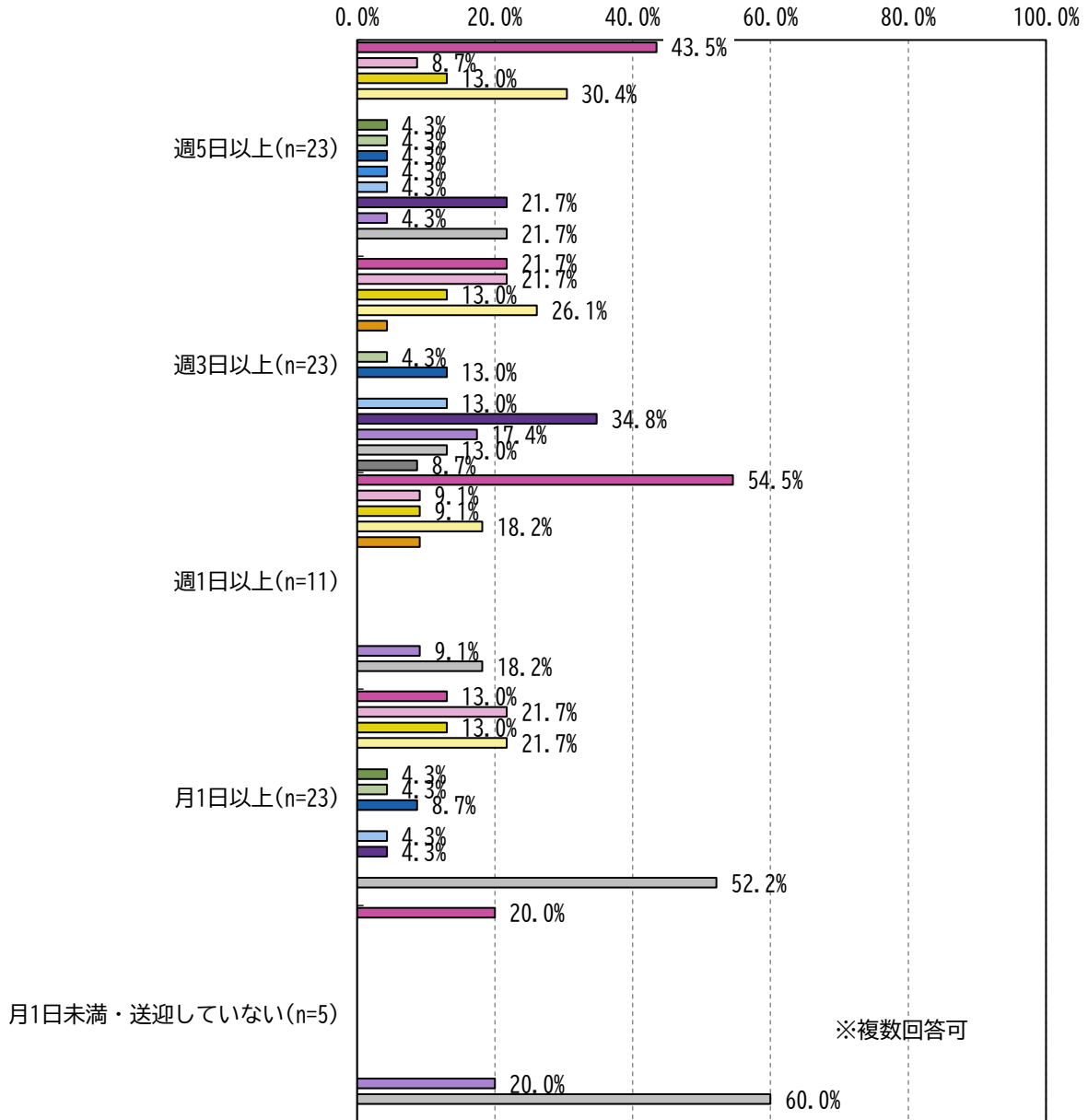


図 112 送迎でもっとも負担に感じること

■ お子様以外の送迎について

- ・ 日頃からお子様の送迎をしている保護者は、お子様以外の送迎も負担している傾向がある。
- ・ 「子どもの送迎より多頻度で送迎する」または「子どもの送迎と同程度で送迎する」と回答した保護者は、お子様以外の送迎に対して強い負担を感じている。

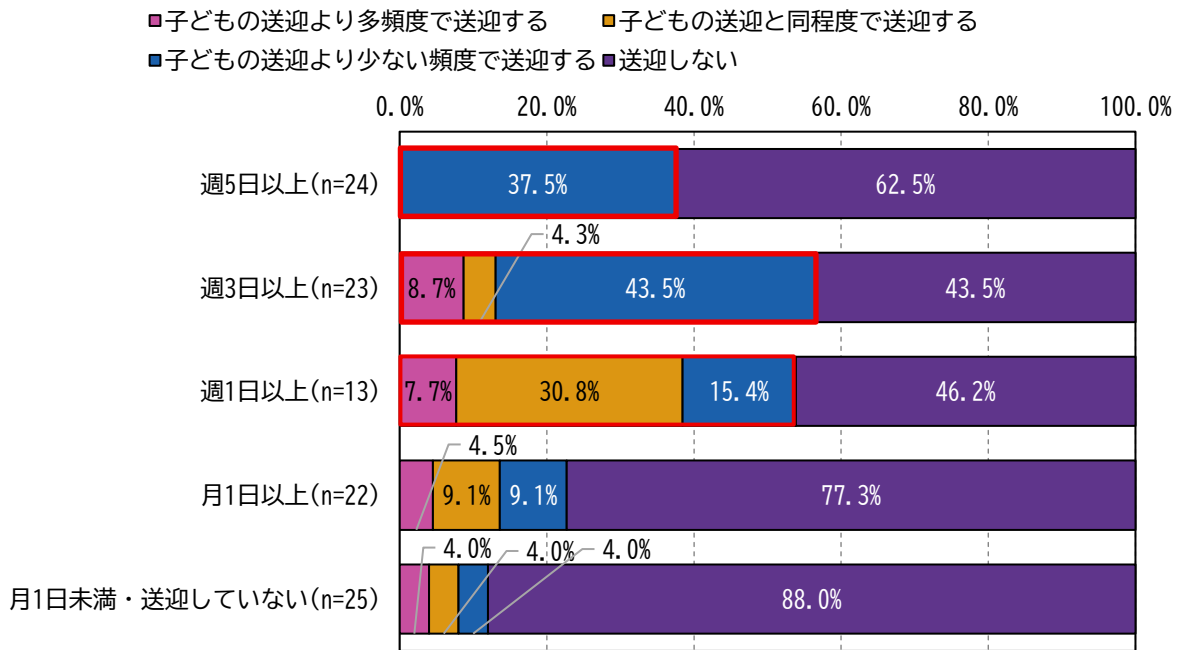


図 113 お子様以外にご家族などを送迎することはあるか

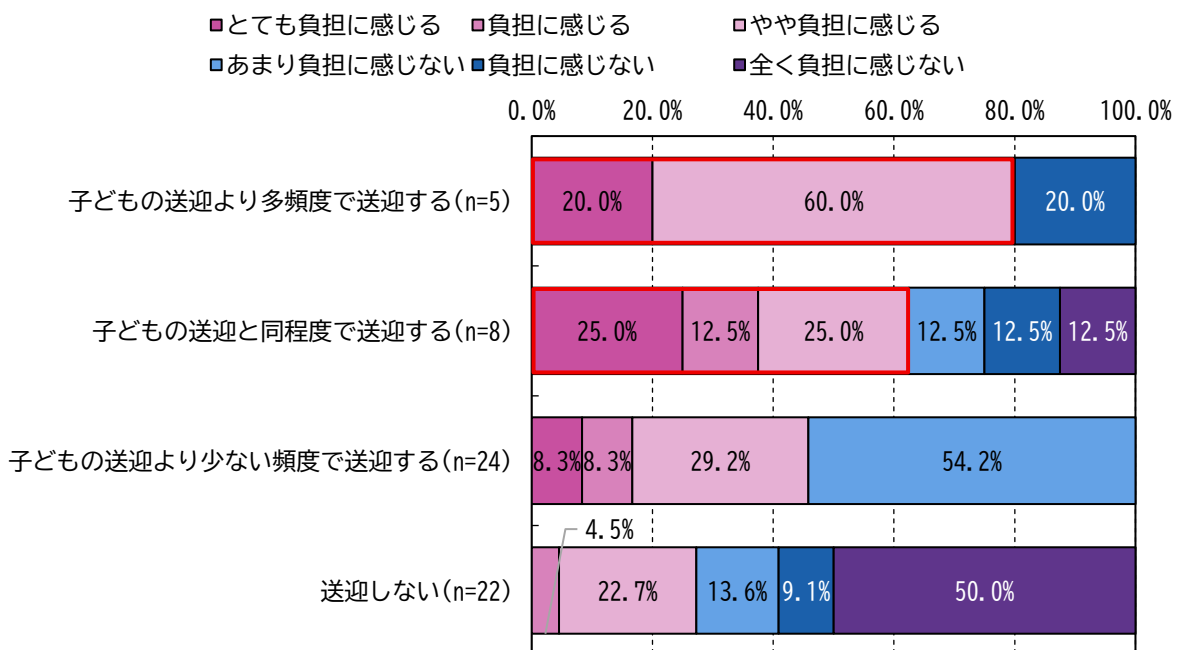


図 114 お子様以外の送迎はどの程度負担に感じるか

② 公共交通に対する改善要望

- 公共交通のサービス内容が改善された場合、どの送迎頻度においても 80%前後の保護者が、お子様に公共交通を使うよう勧めようと考えている。
- 要望は JR 和歌山線に集中しており、最も多いのは「電車の本数を増やしてほしい」である。特に朝夕の通学時間帯の増便や、終電時間の繰り下げが強く求められている。
- その他、混雑緩和のための「車両を増やしてほしい」、利便性向上のための「ICOCA の導入」、「バスと鉄道の接続改善」などが挙げられている。

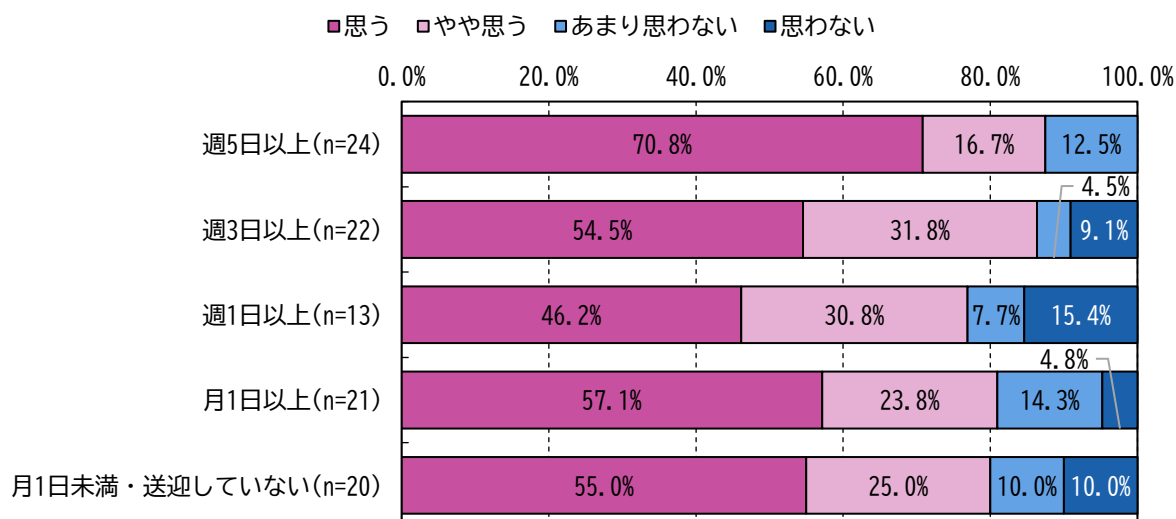


図 115 公共交通のサービス内容が改善されたら、公共交通を使うようお子様に勧めようと思うか

【どのように改善されたら、公共交通を使うようお子様に勧めようと思いますか。】

●町内在住の方

- 電車の本数が増えたら 12人
- 通学時間帯だけでも電車の本数が増えたら 2人
- 車両を増やしてほしい 2人
→どうしてか通学ピークの次の時間の列車が4両もある
- 電車の時間が合えば 1人
- 電車の運行がたびたび止まらなければ 1人
→数年前、代行でバスが出てた時もあまりにバス台数が少なく乗れなかった、地域コミュニティバスも利用できるコースがなくて、役場・病院に向かう以外への目的や行き先でも利用できたらいいなど。
- 荒天時の運転見合わせの情報提供 1人
- 路線バスの充実 1人
- コミュニティバスと電車の接続 1人
- 遅い時間のコミュニティバスの増便 1人
- 家の近くで乗り降りできたらいいと思う 1人
- 近くに停留所があれば 1人
- 選択肢の増加と安全性 1人
- 無料にする 1人
- 利用したい時間が合えば勧めようと思う 1人
- 良い時間に利用できる 1人

●町外在住、居住地不明の方

- ・電車の本数が増えたら 25人
 - 1時間に2本くらいほしい
 - 電車が朝の7時~10時迄1時間に4本にする
 - 朝の4時台の始発を開発して欲しい。夏は、大会などにより、電がありません。
 - 朝、夕の学生の通学が重なり、電車がいっぱい乗れない時がある。人が、動かないので定期をかざす機械にたどりつけず、最寄り駅で乗り降り出来ない状態です。その為、ひと駅先まで車で送迎しなければならない。最寄り駅から定期を購入しているのもったいない。最寄り駅なら、自分で歩いて行ける距離なのに、わざわざ送迎しないと行けない状態。時間帯で、電車の本数を増やして欲しい。
 - 休日は部活の時間に間に合うように電車に乗る際は、1時間に1本しかないので部活開始時間までにいくと、学校で約1時間暑い中部活までの時間待機しなければならないのは、辛いと思います。
 - 朝、4時台の始発を開発して欲しい。夏は、大会などにより、電がありません。学校が遠いと朝早くから送迎しないといけないのです。
 - 夜のJRの本数を増やす
- ・登校時、下校時にちょうどいい時間があれば 3人
 - 現在、公共交通を使うとなると、登校時、下校時共に、学校や駅で、数時間(下校については2時間以上)待ち続けなければならない状況。ちょうどいい時間にあれば、本人も自分で行って帰りたい。
- ・車両が増えたら 2人
- ・南海との連絡が良くなれば 2人
- ・橋本向きを学校に間に合う時間帯(電車乗り換え) 1人
- ・駅近くに売店やコンビニもないのが不便 1人
- ・雨天時、電車が運休した際に何時間も待機せざるを得ない為、振替輸送を行う 1人
- ・バスが自宅近くからでたら 2人
 - 自宅の近くからバスで学校の近くまで行けたら良いのになと思います
- ・バスの本数が増えたら 1人
- ・路線バスがあれば 1人
- ・電車の駅までバスがあれば 1人
- ・電車の到着時間にあったバスがあれば。 1人
- ・学生専用バス 1人
- ・交通費が安くなったら 1人
- ・乗り継ぎに待ち時間が少ない 1人
- ・もう少し本数が増えたら 2人
- ・少しの雨でも運行してほしい 1人
- ・安全性 1人
- ・雨具の充実 1人

③ 新たな交通手段（デマンド乗合交通「かつらいど」）について

- 送迎頻度にかかわらず、保護者の過半数以上が「かつらいど」を「勧めないと思う」または「分からない」と回答しており、推奨意向は低い。
- 勧めない主な理由は、「家族で何とかできている」に加え、「予約が面倒」や「料金が高い」といった利便性・費用面での懸念である。
- 勧める理由は、「送迎の負担軽減」と「子どもの自立」への期待に集中している。

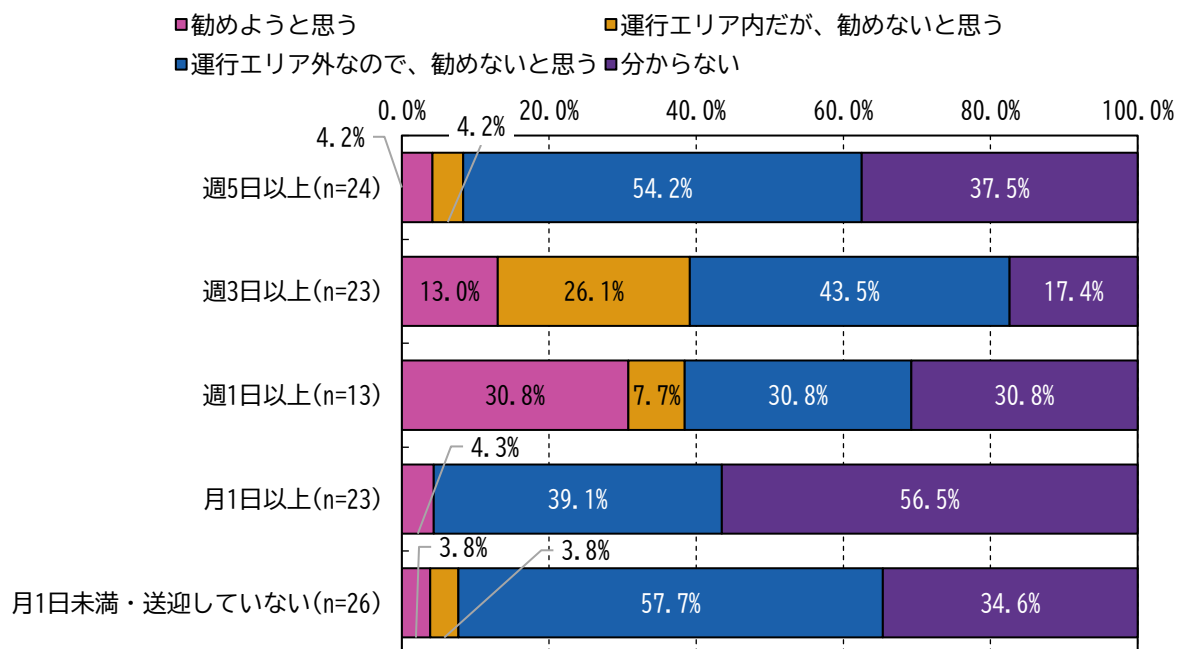


図 116 「通学や部活・塾などでお子様を送迎する頻度（1週間のうち送迎する日の日数）はどのくらいですか。」と「デマンド乗合交通の実証運行をお子様を使うよう勧めようと思いますか。」のクロス集計

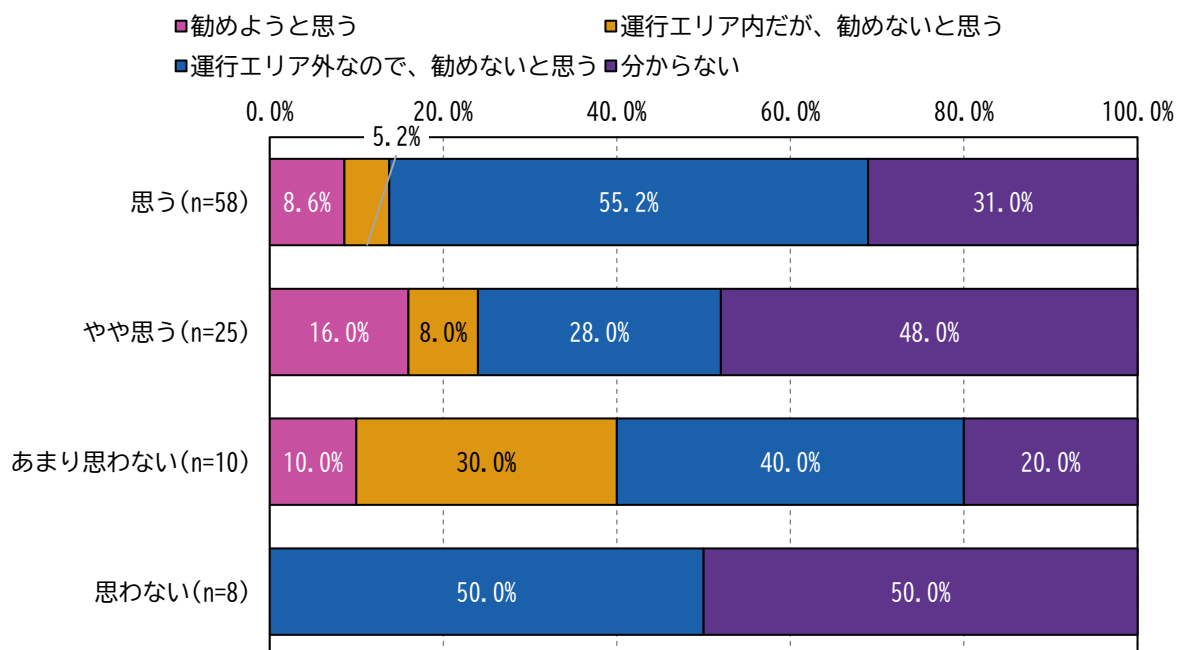


図 117 「公共交通のサービス内容が改善されたら、公共交通を使うようお子様に勧めようと思いますか。」と「デマンド乗合交通の実証運行をお子様を使うよう勧めようと思いますか。」のクロス集計

●「勧めたいと思う」と回答された方の理由

- ・もうすぐ原付免許をとるのでほぼ使わないと思うが、選択肢のひとつとして。
- ・家事や自分時間の確保。
- ・迎えの時間が合わない時があるから。
- ・自分の送迎の負担が軽くなる。子どもが親の都合を考えずに自身で自分の計画を立てることができる。

●「運行エリア内だが、勧めないと思う」と回答された方の理由

- ・駅まで徒歩 10 分程なので、利用しないと思う。
- ・家族で何とかできている為、余計な費用をかけられないから。
- ・学生は忙しいから時間に余裕がないから。
- ・月 3,000 円払うなら頑張って家族内で運転して送迎するかな、と。送迎も出来ない状況になれば、便利なサービスだと思う。
- ・便利ではなさそう。
- ・予約が面倒。
- ・料金が高い。

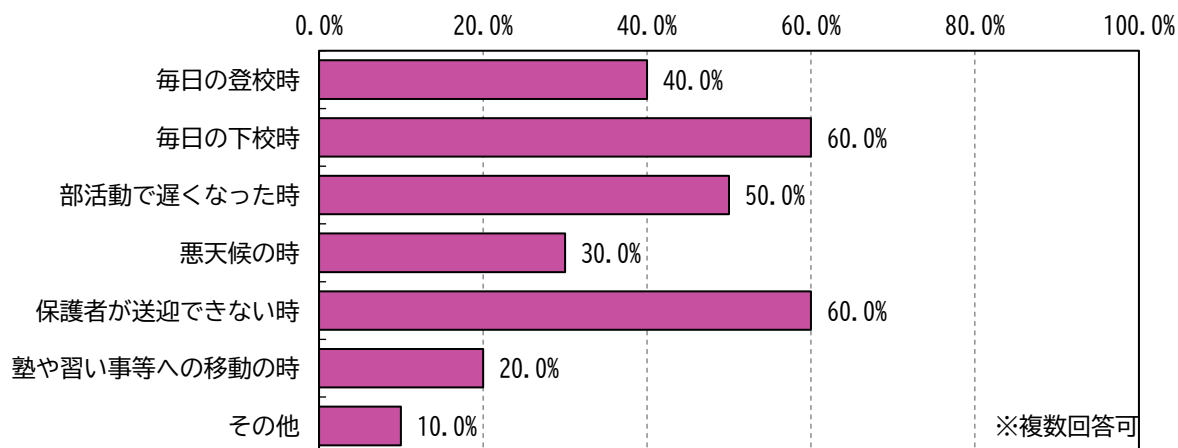


図 118 「勧めたいと思う」と回答した人が、どのような場面で利用を勧めたいと思っているか

3. 民生児童委員・サロン代表者アンケート調査

(1) 調査概要

調査のねらい	統計データで把握しきれない、町民の移動実態や移動に関する問題点、ニーズの把握
調査期間	令和7年9月
調査対象	かつらぎ町の全民生児童委員（74名）・サロン代表者（35名）
配布・回収方法	配布方法：郵送配布 109部 郵送回収
回収率・回収数	民生児童委員 回収率：67.6% 回収数：50部 サロン代表者 回収率：71.4% 回収数：25部
主な質問項目	① 担当地区名 ② 日常生活での移動について （一人で外出できる方／一人で外出が困難な方 それぞれの意見） ③ 普段利用する医療施設や商業施設について ④ 公共交通や移動に関する要望・意見 （一人で外出できる方／一人で外出が困難な方 それぞれの意見） ⑤ 運転免許証の状況や免許返納 ⑥ 自由意見

民生児童委員さんを対象とした高齢者等の移動と公共交通に関するアンケート調査のお願い			
<p>平素より町政へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。 本町では、持続可能な地域公共交通の構築を目指し、「かつらぎ町地域公共交通計画」の策定を予定しております。 本調査は日ごろから高齢者等の生活状況をご存じの民生児童委員の皆様にご協力をお願いしております。 アンケートは、同封の返信用封筒にて9月29日(月)までにご返送ください。 なお、回答内容は個人が特定される形で公表をしたり、本調査以外の目的に使用することはありません。</p> <p style="text-align: right;">令和7年9月 かつらぎ町役場 企画公室</p>			
担当地区名	<input type="checkbox"/> 笠田地区 <input type="checkbox"/> 妙寺地区 <input type="checkbox"/> 大谷地区 <input type="checkbox"/> 四郷地区 <input type="checkbox"/> 見好地区 <input type="checkbox"/> 三谷地区 <input type="checkbox"/> 天野地区 <input type="checkbox"/> 西邑地区 <input type="checkbox"/> 志賀地区 <input type="checkbox"/> 新城地区 <input type="checkbox"/> 花園地区		
<p>※以下の設問は、あなたの担当地区にお住まいの高齢者の方などの状況について、普段からお聞きになっていることをお書きください。</p> <p>1. 日常生活での移動について 周辺にお住まいの高齢者の方など普段の生活で移動の困難な人が、医療・買物・金融・行政などの施設へ行く際、「どのような手段で移動を行っているか」、「移動の際に困っていること」、「何時ごろに外出し、何時ごろ帰ることが多いか」等を具体的に記入してください。</p> <p>記入例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> ・近所の人にお願いして、朝8時頃、車に乗せてもらい、帰りはタクシー利用している ・気軽に行ける範囲に買い物施設がない ・免許返納を家族に勧められているが、移動手段がないので返せない </td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table> <p>(※これまでに高齢者の方などの会話で出た交通に関する話題や、お困りごとなどがございましたら、ぜひご記入ください)</p>		・近所の人にお願いして、朝8時頃、車に乗せてもらい、帰りはタクシー利用している ・気軽に行ける範囲に買い物施設がない ・免許返納を家族に勧められているが、移動手段がないので返せない	
・近所の人にお願いして、朝8時頃、車に乗せてもらい、帰りはタクシー利用している ・気軽に行ける範囲に買い物施設がない ・免許返納を家族に勧められているが、移動手段がないので返せない			
一人て外出できる方のご意見			
一人て外出が困難な方のご意見			

1/2ページ

2. 普段利用する医療施設や商業施設について
 あなたの担当地区にお住まいの高齢者の方など、普段の生活で移動の困難な人が**日常利用する医療機関および商業施設名等**をご記入ください。

医療機関	
商業施設	
その他	

3. 公共交通や移動に関する要望・意見
 あなたの担当地区にお住まいの高齢者の方など、普段の生活で移動の困難な人が感じている、**公共交通や移動に関する要望・意見**について、できるだけ具体的に記入してください。
 ※公共交通とは、住民が日常的に利用できる移動手段のことで、JR和歌山線、コミュニティバス、乗合タクシーなどが含まれます。

記入例

・××駅●時着の電車に乗りたいがバス(●●行き)との乗り継ぎが悪い ・月曜日の8時に紀北分院に着くバスがほしい	
--	--

一人て外出できる方のご意見	
一人て外出が困難な方のご意見	

4. 運転免許証の状況や返納に関するお考えについて、ご記入ください。

意向・課題	免許返納を検討している方のご意見 免許返納をためらっている方の理由
--------------	--------------------------------------

4. 最後に公共交通について、町へのご意見・ご要望等がありましたら、ご記入ください

--	--

ご協力ありがとうございました。

○アンケート調査に関するお問い合わせ先 : かつらぎ町役場 企画公室
 平日 8:30~17:15 電話 0736-22-0300

2/2ページ

高齢者等の移動と公共交通に関するアンケート調査のお願い			
<p>平素より町政へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。 本町では、持続可能な地域公共交通の構築を目指し、「かつらぎ町地域公共交通計画」の策定を予定しております。 本調査は日ごろからサロンの運営を通じて高齢者等の生活状況をご存じの皆様にご協力をお願いしております。 アンケートは、同封の返信用封筒にて9月29日(月)までにご返送ください。 なお、回答内容は個人が特定される形で公表をしたり、本調査以外の目的に使用することはありません。</p> <p style="text-align: right;">令和7年9月 かつらぎ町役場 企画公室</p>			
活動地区名	<input type="checkbox"/> 笠田地区 <input type="checkbox"/> 妙寺地区 <input type="checkbox"/> 大谷地区 <input type="checkbox"/> 四郷地区 <input type="checkbox"/> 見好地区 <input type="checkbox"/> 三谷地区 <input type="checkbox"/> 天野地区 <input type="checkbox"/> 西邑地区 <input type="checkbox"/> 志賀地区 <input type="checkbox"/> 新城地区 <input type="checkbox"/> 花園地区		
<p>※以下の設問は、サロンに参加されている高齢者の方などの状況について、普段からお聞きになっていることをお書きください。</p> <p>1. 日常生活での移動について 周辺にお住まいの高齢者の方など普段の生活で移動の困難な人が、医療・買物・金融・行政などの施設へ行く際、「どのような手段で移動を行っているか」、「移動の際に困っていること」、「何時ごろに外出し、何時ごろ帰ることが多いか」等を具体的に記入してください。</p> <p>記入例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> ・近所の人にお願いして、朝8時頃、車に乗せてもらい、帰りはタクシー利用している ・気軽に行ける範囲に買い物施設がない ・免許返納を家族に勧められているが、移動手段がないので返せない </td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table> <p>(※これまでにサロン活動中の会話や、参加者の皆様から直接お聞きした内容をもとにご記入ください)</p>		・近所の人にお願いして、朝8時頃、車に乗せてもらい、帰りはタクシー利用している ・気軽に行ける範囲に買い物施設がない ・免許返納を家族に勧められているが、移動手段がないので返せない	
・近所の人にお願いして、朝8時頃、車に乗せてもらい、帰りはタクシー利用している ・気軽に行ける範囲に買い物施設がない ・免許返納を家族に勧められているが、移動手段がないので返せない			
一人て外出できる方のご意見			
一人て外出が困難な方のご意見			

1/2ページ

2. 普段利用する医療施設や商業施設について
 あなたの活動地区にお住まいの高齢者の方など、普段の生活で移動の困難な人が**日常利用する医療機関および商業施設名等**をご記入ください。

医療機関	
商業施設	
その他	

3. 公共交通や移動に関する要望・意見
 あなたの活動地区にお住まいの高齢者の方など、普段の生活で移動の困難な人が感じている、**公共交通や移動に関する要望・意見**について、できるだけ具体的に記入してください。
 ※公共交通とは、住民が日常的に利用できる移動手段のことで、JR和歌山線、コミュニティバス、乗合タクシーなどが含まれます。

記入例

・××駅●時着の電車に乗りたいがバス(●●行き)との乗り継ぎが悪い ・月曜日の8時に紀北分院に着くバスがほしい	
--	--

一人て外出できる方のご意見	
一人て外出が困難な方のご意見	

4. 運転免許証の状況や返納に関するお考えについて、ご記入ください。

意向・課題	免許返納を検討している方のご意見 免許返納をためらっている方の理由
--------------	--------------------------------------

4. 最後に公共交通について、町へのご意見・ご要望等がありましたら、ご記入ください

--	--

ご協力ありがとうございました。

○アンケート調査に関するお問い合わせ先 : かつらぎ町役場 企画公室
 平日 8:30~17:15 電話 0736-22-0300

2/2ページ

図 119 アンケート用紙 (上部: 民生児童委員・下部: サロン代表者)

(2) 民生児童委員・サロン代表者アンケート調査結果

① 担当地区名

担当地区	人数
花園地区	4
笠田地区	10
見好地区	5
三谷地区	3
四郷地区	4
四邑地区	2
志賀地区	1
新城地区	1
大谷地区	4
天野地区	1
妙寺地区	15
計	50

表1 民生児童委員担当地区

活動地区	人数
花園地区	1
笠田地区	9
見好地区	1
四郷地区	1
四邑地区	1
志賀地区	1
大谷地区	1
妙寺地区	9
不明	1
計	25

表2 サロン代表者活動地区

② 日常生活での移動について

周辺にお住まいの高齢者の方など普段の生活で移動の困難な人が、医療・買物・金融・行政などの施設へ行く際、「どのような手段で移動を行っているか」、「移動の際に困っていること」、「何時ごろに外出し、何時ごろ帰ることが多いか」等を具体的にご記入ください。（自由記述）

■ 一人で外出できる方（全体）

- ・ 主な移動手段として「自分で徒歩・自転車で移動」が最も多く、次いでタクシー利用、自家用車の運転が中心である。
- ・ 家族や親族、近所の方や友人による送迎に頼っている高齢者が多く、移動手段として送迎が重要である。
- ・ 不便に感じている点は、「近くにスーパーがなく不便」という回答が最も多く、生活圏内の買い物に課題がある。
- ・ 現在は一人で外出できているが、「将来の移動に対する不安」を抱えている。
- ・ デマンド乗合型タクシーやコミュニティバスの利用は少ない状況である。

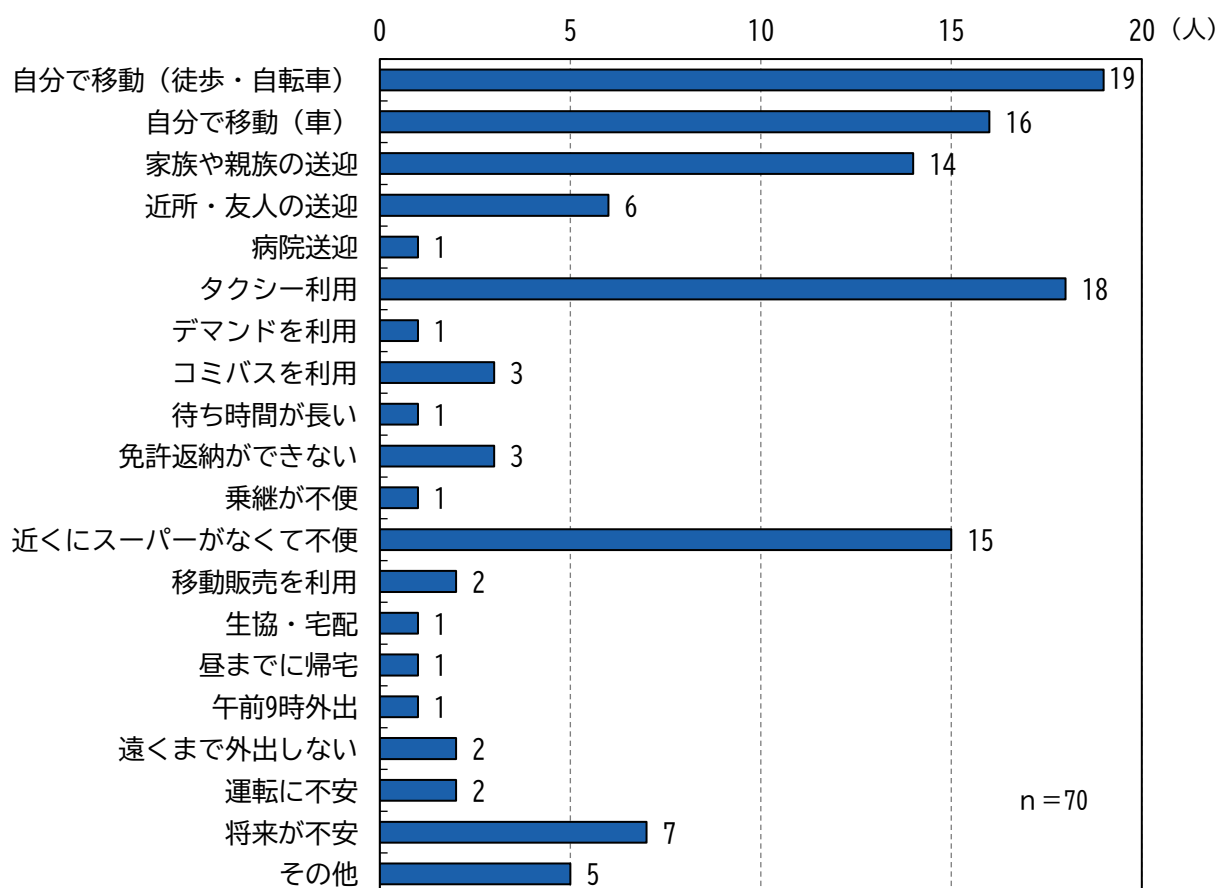


図 120 日常生活での移動状況（一人で外出できる方）

■ 一人で外出できる方（地域別）

- ・ 笠田・妙寺地区では移動手段が徒歩・自転車、自家用車（運転）、送迎、タクシーに依存している。特に妙寺地区ではタクシー利用が多く、買い物難民の可能性はある。
- ・ 複数の地区で家族や親族、友人による送迎に頼っている実態が確認される。
- ・ 地域を問わず、「近くにスーパーがなく不便」という買い物に関する課題が最も多い。
- ・ 現在は一人で外出できているが、「将来の移動に対する不安」を抱えているという回答が複数のエリアで見られ、移動手段の喪失に対する懸念は地域共通の課題である。

	花園地区	笠田地区	見好地区	三谷地区	四郷地区	四邑地区	志賀地区	新城地区	大谷地区	天野地区	妙寺地区	不明
自分で移動（徒歩・自転車）		11							1		7	
自分で移動（車）	2	7			1	1					5	
家族や親族の送迎	1	5		1	1	1		1	2		2	
近所・友人の送迎		1	1		2						2	
病院送迎		1										
タクシー利用		4	1	1	1				3		8	
デマンドを利用					1							
コミバスを利用	1					1				1		
待ち時間が長い						1						
免許返納できない	1						1				1	
乗継が不便									1			
近くにスーパーがなく不便	1	1		1							11	1
移動販売を利用		1	1									
生協・宅配		1										
昼までに帰宅											1	
午前9時外出		1										
遠くまで外出しない					1						1	
運転に不安		1									1	
将来がに不安	1	1	1						1		3	
その他	1		1	1					1		1	

表3 日常生活での移動状況（一人で外出できる方）地域別 回答数

【その他の回答】

- 時間などは自由にできる。
- 別に不便を感じていない。
- 優先駐車位置があいていない。
- 妙寺地区からオークワ(笠田)を利用すると、タクシーで3,000円程度かかる。
- 重い水、調味料など車から自宅内に運び入れるのが大変。
- かつらぎ地区、押手地区へは遠く1人で移動は大変。

■ 一人で外出が困難な方

- ・ 移動手段は「家族や親族の送迎」(35人)が圧倒的に多く、送迎への依存度が極めて高い。
- ・ 「タクシー利用」も一定数いるが、外出するためには家族・友人・近隣住民による送迎が不可欠である。
- ・ 買い物は「家族が届けてくれる」や「移動販売を利用」など、外出せずに済ませている方が非常に多い。
- ・ 外出困難な高齢者の生活は家族の送迎に大きく依存しており、家族の負担が極めて大きい。

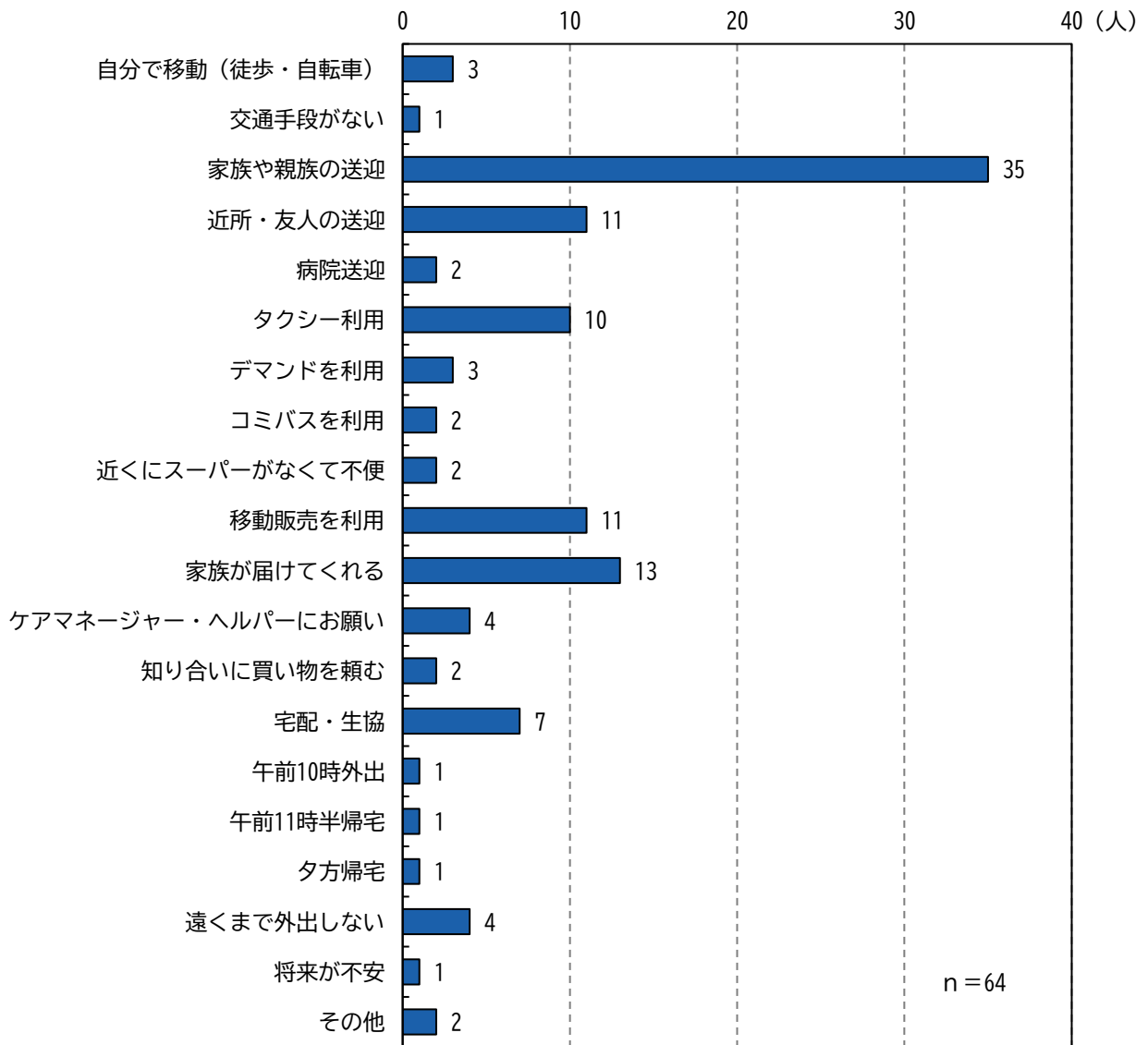


図 121 日常生活での移動状況 (一人で外出が困難な方)

■ 一人で外出が困難な方（地域別）

- ・ ほぼ全ての地区で「家族や親族の送迎」が最も主要な移動手段であり、地域全体で送迎に大きく依存している。
- ・ 妙寺地区や笠田地区では、家族の送迎に加え、移動販売や宅配といった外出を伴わない買い物支援が生活を支えている。
- ・ デマンド型乗合タクシーやコミュニティバスの利用は極めて少なく、外出困難な層の移動手段として機能していない。
- ・ 外出困難な高齢者の生活は、家族の送迎と非移動型の買い物支援の組み合わせによって維持されている。

	花園地区	笠田地区	見好地区	三谷地区	四郷地区	四邑地区	志賀地区	大谷地区	天野地区	妙寺地区	不明
自分で移動（徒歩・自転車）		1			1			1			
交通手段がない	1										
家族や親族の送迎	3	7	4	2	1	2	1	4	1	10	
近所・友人の送迎	1	3	1	1			1			4	
病院送迎			1							1	
タクシーを利用		3	1	1				1	1	2	1
デマンドを利用			1		2						
コミバスを利用	1										1
近くにスーパーがなくて不便				1						1	
移動販売を利用	1	3	2							5	
家族が届けてくれる		4	1	1		1				6	
ケアマネージャー・ヘルパーに 買い物を頼む										4	
知り合いに買い物を頼む										2	
宅配・生協		2								5	
午前10時外出		1									
午前11時半帰宅		1									
夕方帰宅		1									
遠くまで外出しない	1	1						1		1	
将来が不安										1	
その他										1	

表4 日常生活での移動状況（一人で外出が困難な方）地域別

【その他の回答】

- 生協を利用していたが、魅力がなく解約した。

③ 普段利用する医療施設や商業施設

あなたの担当地区にお住まいの高齢者の方など、普段の生活で移動の困難な人が日常利用する医療機関および商業施設名等をご記入ください。

■ 普段利用する医療施設

- ・ かつらぎ町内の医療施設では、紀北分院が最も多く利用されている。
- ・ 橋本市民病院と那賀病院など、町外の基幹病院も一定数利用されている。
- ・ 高齢者の医療移動は、町内の紀北分院と町外の基幹病院の移動が見られる。公共交通の改善はこれら主要な医療施設へのアクセスを考慮する必要がある。
- ・ 有田川町の松谷医院の利用は地理的に近い花園地域の回答となっている。

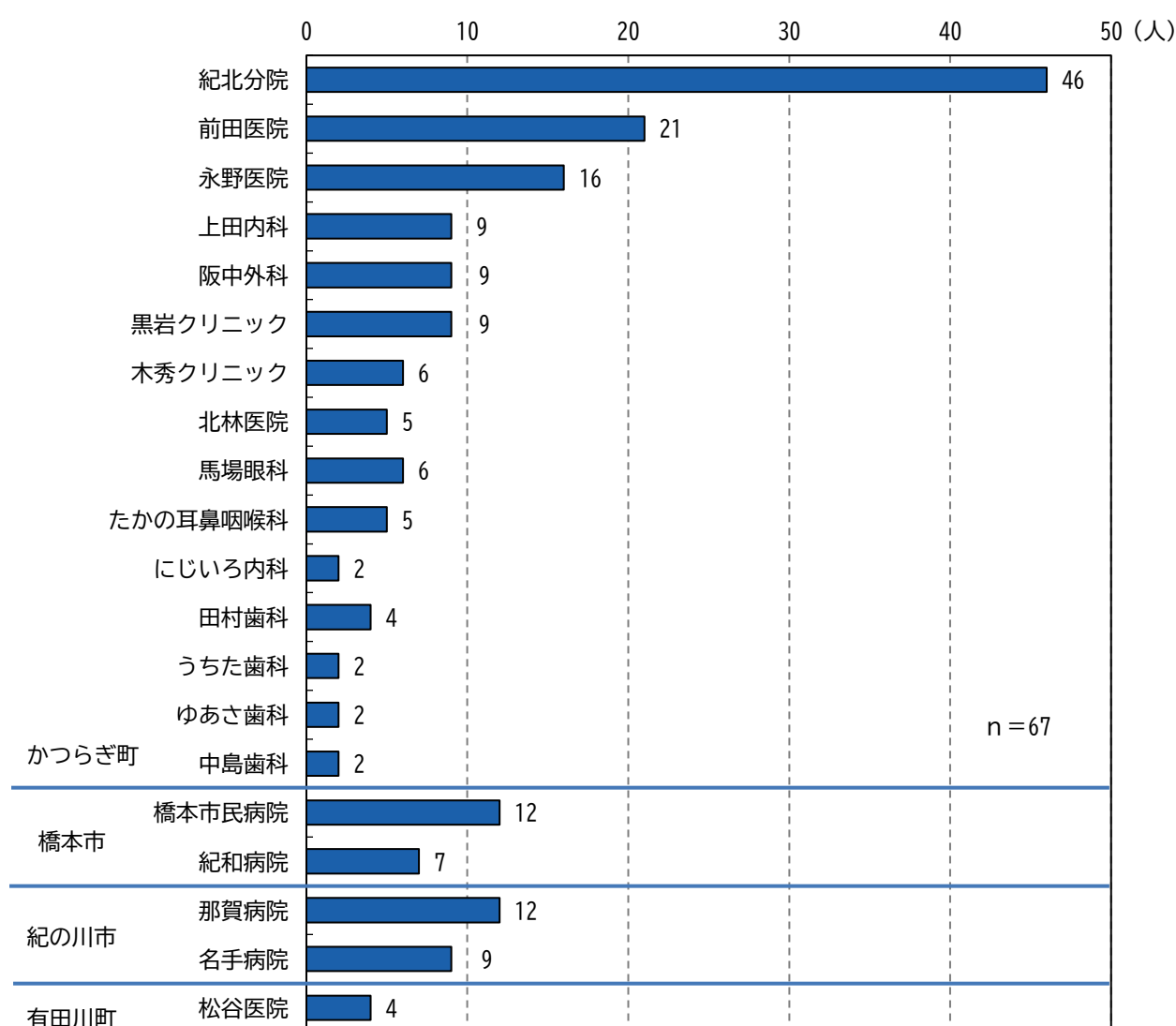


図 122 普段利用する医療施設 (回答数 2 人以上抜粋)

■ 普段利用する医療施設（地域別）

- ・ 紀北分院は妙寺地区（18人）を中心に広範囲の地区から利用されており、町内全域の主要な医療拠点である。
- ・ 笠田地区は紀の川市方面（那賀病院、名手病院など）の利用が多い。
- ・ 妙寺地区は橋本市民病院の利用が多い。
- ・ 花園地区は地理的に近い有田川町の松谷医院の利用が最も多い。
- ・ 公共交通の改善は、紀北分院へのアクセスに加え、地域ごとの医療移動の方向性（笠田→紀の川市、妙寺→橋本市、花園→有田川町）を検討する必要がある。

		花園地区	笠田地区	見好地区	三谷地区	四郷地区	四邑地区	志賀地区	新城地区	大谷地区	天野地区	妙寺地区	不明
かつらぎ町	紀北分院	2	8	3	2	3	2	1	1	4	1	18	1
	前田医院		11	2		2	1	1		3		1	
	永野医院		6	2		1	2		1	2	1	1	
	上田内科		2	1		1		1		1	1	2	
	阪中外科			1	1					1		6	
	黒岩クリニック				1					1		7	
	木秀クリニック											6	
	北林医院	1	2			1				1			
	馬場眼科		2				1			2	1		
	たかの耳鼻咽喉科		2	1			1					1	
	にじいろ内科		2										
	田村歯科		2						1	1			
	うちた歯科		2										
	ゆあさ歯科		2										
中島歯科					1							1	
橋本市	橋本市民病院	2	1	2			1				1	5	
	紀和病院		2	1		1						3	
紀の川市	那賀病院	1	3	1						2	1	4	
	名手病院		4	3								2	
有田川町	松谷医院	3								1			

表5 普段利用する医療施設(回答数2人以上) 地域別

【その他回答があった施設】

西山整骨院（かつらぎ町）、泉谷眼科、阪口クリニック、佐藤クリニック（紀の川市）、誠佑病院（和歌山市）、紀北クリニック、森本胃腸肛門科、栗山クリニック、山本病院（橋本市）、西岡病院（有田川町）、辻本病院（高野口町）、横手クリニック（九度山町）

■ 普段利用する商業施設

- ・ 最も利用されている商業施設はオークワ（49 人）であり、次いでエバーグリーン（29 人）など、大型スーパーに集中している。
- ・ 妙寺地域ではかつらぎ町外となる松源が多くなっており、他の地域に比べ、スーパーがなくなった影響かコンビニエンスストアの回答が多くなっている。
- ・ 高齢者の買い物移動は、町内の主要スーパーと町外のスーパーに分散しており、公共交通の改善はこれらの主要な買い物拠点へのアクセスを確保することが重要である。

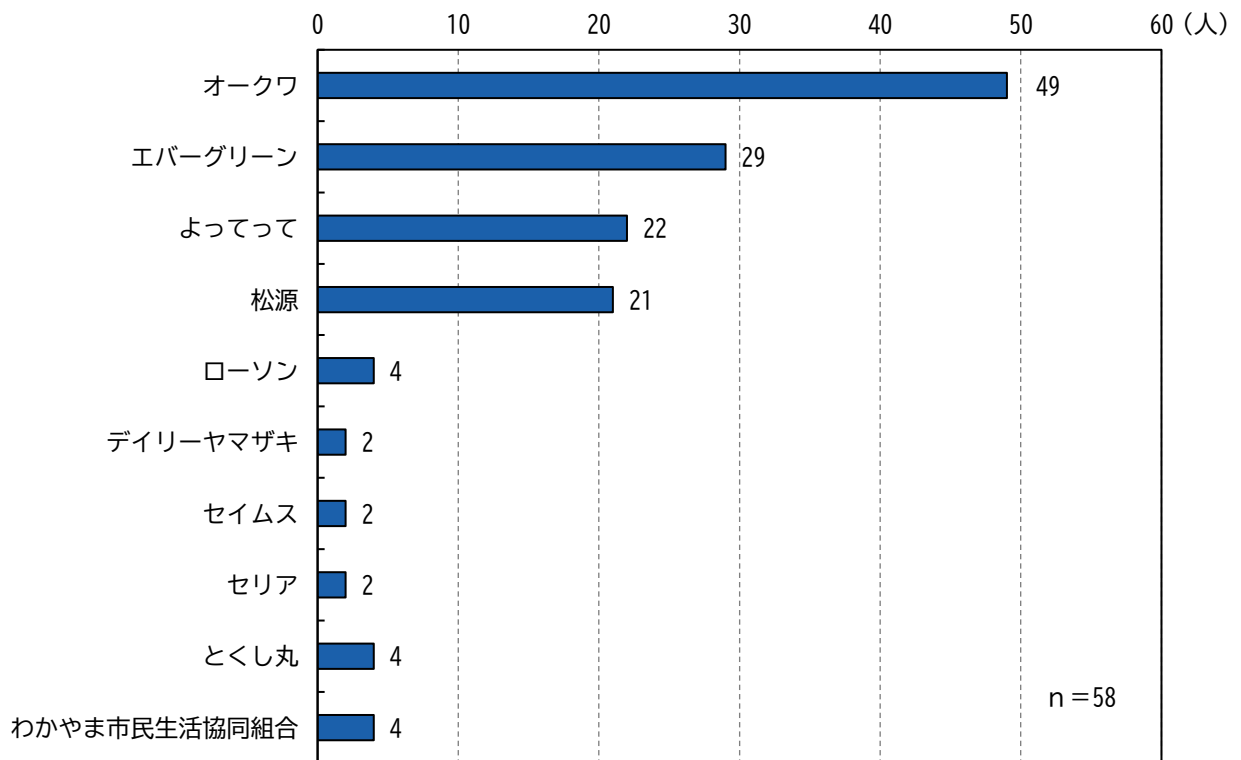


図 123 普段利用する商業施設（上位10位抜粋）

■ 普段利用する商業施設（地域別）

- ・ オークワは笠田地区（15人）、妙寺地区（12人）など、広範囲の地区で最も多く利用されており、町内最大の買い物拠点である。
妙寺地区は、オークワに次いで町外のスーパーである松源（11人）の利用が多く、コンビニエンスストアの利用も目立つ。生活圏内のスーパー不足の影響を受けている可能性がある。
- ・ 公共交通の改善は、オークワへのアクセスを最優先としつつ、妙寺地区の町外スーパーやコンビニへの移動ニーズへの対応も考慮する必要がある。

	花園地区	笠田地区	見好地区	三谷地区	四郷地区	四邑地区	志賀地区	新城地区	大谷地区	天野地区	妙寺地区	不明
オークワ	3	15	4	3	2	3	1	1	4	1	12	
エバーグリーン		11	2	2	2	2	1	1	3		5	
よってって	2	9	1	1		1	1	1	2	1	3	
松源	2	2	3	2					1		11	
ローソン											4	
デイリーヤマザキ											2	
セイムス									1		1	
セリア									1		1	
とくし丸			2								2	
わかやま市民生活協同組合		1									2	1

表6 普段利用する商業施設（上位10位抜粋）地域別

【その他回答があった施設】

よってって高野口、西岡商店移動販売、九度山道の駅、コーナン、ファミリーマート、菅野商店、すいれん、二軒目飯店、笑福亭、中華厨房まきの、サッポロラーメン、JA和歌山かつらぎセンター、一カ、ラグマン、コメリ、池喜商店、ナフコ、森岡美容室、しまむら、ダイソー

④ 公共交通や移動に関する要望・意見

あなたの担当地区にお住まいの高齢者の方など、普段の生活で移動の困難な人が感じている、公共交通や移動に関する要望・意見について、できるだけ具体的にご記入ください。

■ 一人で外出できる方

- ・ 公共交通に関する意見は「停留所が遠い」という意見が最も多く、停留所まで歩くのが大変という立地面の不便さが最大の障壁となっている。
- ・ コミュニティバスは「使いたい時間がない」など、ダイヤの不便さに関する不満が多い。
- ・ デマンド型乗合タクシーは「使いづらい」という利用の煩雑さに関する意見が最も多くなっている。
- ・ 公共交通の改善は、停留所の近さと時間的な利便性の確保に加え、実証運行ではデマンド乗合交通の利用方法の簡素化が重要である。

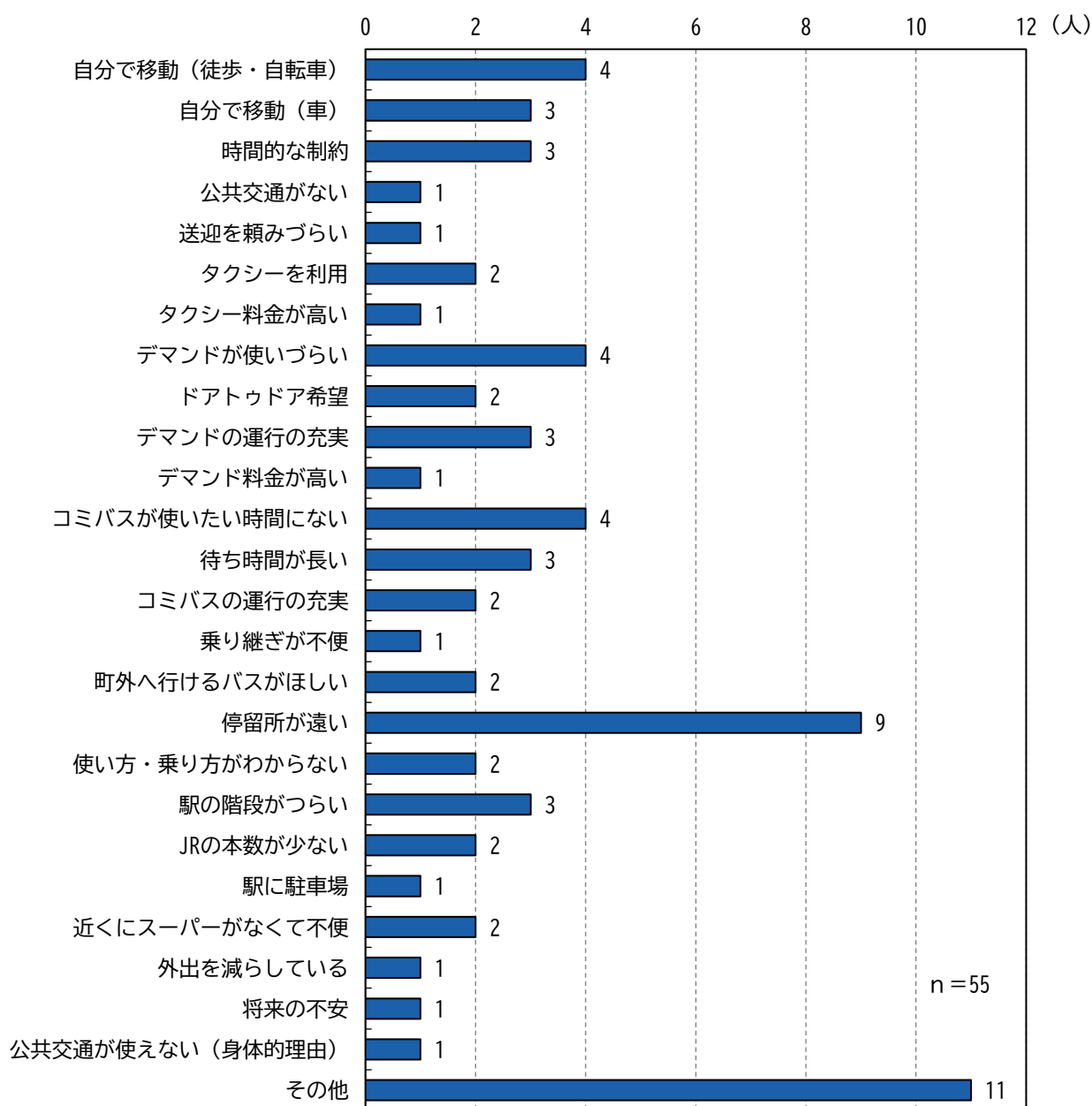


図 124 公共交通や移動に関する要望・意見 (一人で外出できる方)

■ 公共交通や移動に関する要望・意見（地域別）

- ・ 「停留所が遠い」という意見は笠田地区と妙寺地区に多く、停留所まで歩くのが大変という立地の不便さが最優先課題である。
- ・ 「デマンド型乗合タクシーが使いづらい」という意見は笠田・妙寺地区から出ており、利用方法の簡素化が求められている。
- ・ 妙寺地区は停留所の遠さに加え、駅の階段や JR の本数、タクシー料金など、複数の移動課題について意見が見られる。

	花園地区	笠田地区	見好地区	三谷地区	四郷地区	四邑地区	志賀地区	新城地区	大谷地区	天野地区	妙寺地区	不明
自分で移動（徒歩・自転車）							1				3	
自分で移動（車）		1									2	
時間的な制約		1		1							1	
公共交通がない	1											
送迎を頼みづらい		1										
タクシーを利用		1									1	
タクシー料金が安い											1	
デマンドが使いづらい		2									2	
ドアトゥドア希望									1		1	
デマンドの運行の充実			1		1						1	
デマンド料金が安い											1	
コミバスがほしい時間がない		1	1						1		1	
待ち時間が長い								1			2	
コミバスの運行の充実			1								1	
乗り継ぎが不便								1				
町外へ行けるバスがほしい											2	
停留所が遠い		4								1	4	
使い方・乗り方がわからない		1	1									
駅の階段がづらい		2									1	
JRの本数が少ない					1						1	
駅に駐車場が欲しい			1									
近くにスーパーがなく不便				1							1	
外出を減らしている					1							
将来の不安											1	
公共交通が使えない（身体的理由）											1	
その他		2	1	1		1	1		2		2	1

表7 公共交通や移動に関する要望・意見（一人で外出できる方）地域別

【その他の回答】

- 三谷橋が狭く運転しづらい。
- ガソリン代が高い。
- 現在は大丈夫であるが近い将来の事を考える時期が来ている。
- 特に聞いていません。
- 電話の予約できるかなと思っている。
- 特にありません。
- 医大や近大の大きな病院へ行くようになった時に困ります。
- 別に問題なし。
- 困らない。
- 乗物の時刻表を見るのがめんどくさい。
- 胃カメラでは麻酔をかけるので、車にのっていけない。
- 皆さんお元気にサロンに集われますので、あまりそういう相談とかは聞かせて頂けていません。

■ 一人で外出が困難な方

- ・ 公共交通に関する意見は一人で外出できる方の意見と同様に「停留所（駅・バス停）が遠い」という意見が最も多くあった。
- ・ 一人で外出できる方の意見と比べて、デマンド型乗合タクシーに関しては「ドアトゥドアを希望」の回答が多く、自宅から目的地まで直接移動したいという、外出困難な方特有の強いニーズが示されている。
- ・ 「家族・親戚の送迎」や「送迎を頼みづらい」といった送迎依存と心理的負担に関する意見が多く、家族の負担軽減と気兼ねなく外出できる手段への要望が強くなっている。
- ・ 送迎依存と心理的負担を解消するためには、家族の送迎に代わる、自宅から利用できるデマンド乗合交通の実現が最も重要である。
- ・ 「コミバスが使いたい時間がない」という、ダイヤの不便さに関する不満も依然として高い。

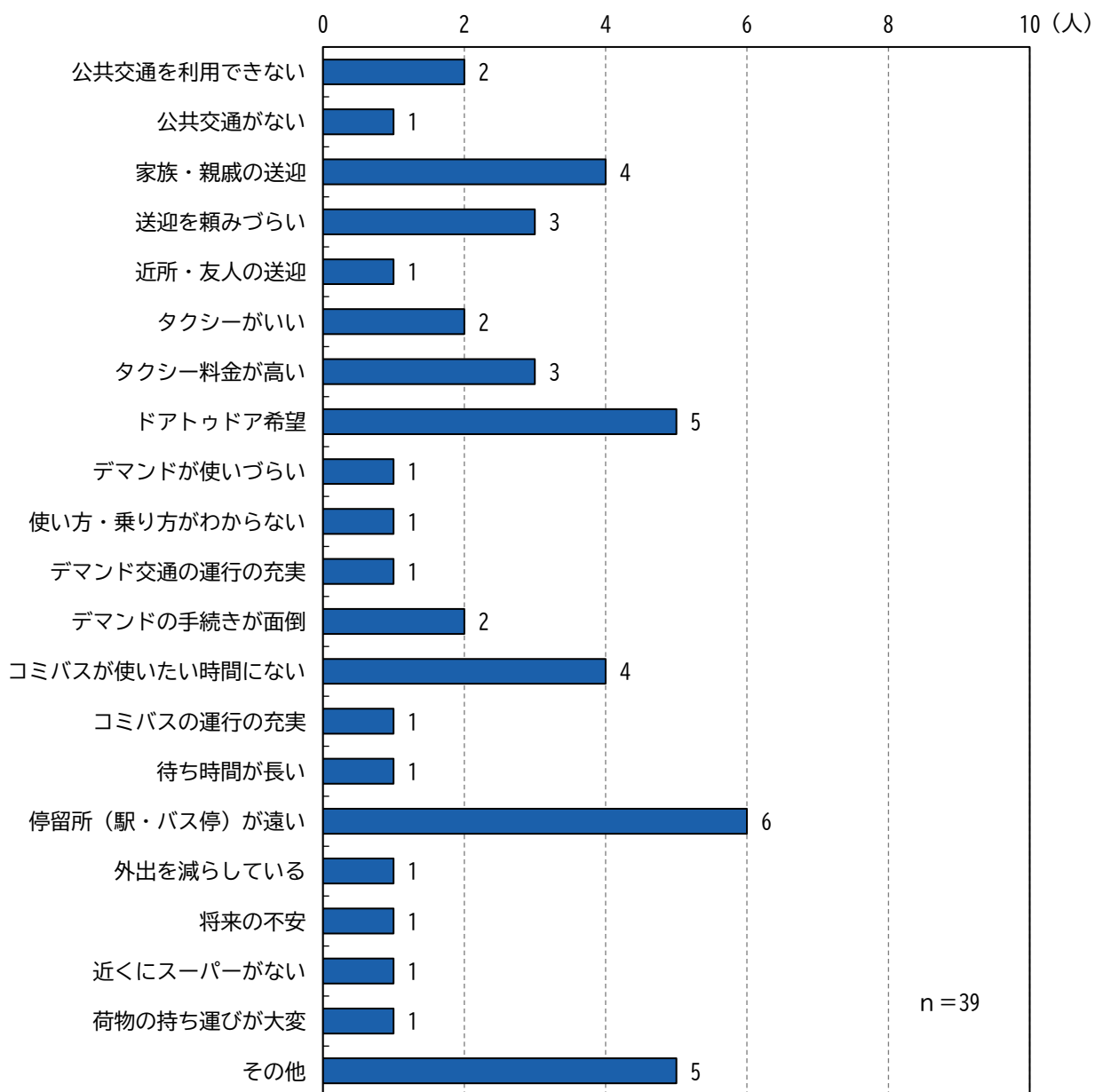


図 125 公共交通や移動に関する要望・意見（一人で外出が困難な方）

■ 公共交通や移動に関する要望・意見（一人で外出が困難な方）地域別

- ・ 四郷・四邑・妙寺地区などで「家族・親戚の送迎」への依存が見られ、三谷・妙寺地区で「送迎を頼みづらい」という心理的負担が確認される。
- ・ 見好地区で「ドアトゥドア希望」が最も強く、同時に「デマンド型乗合タクシーが使いづらい」という課題も指摘されており、自宅からの移動手段の利便性改善が急務である。
- ・ 広範囲の地区で「停留所が遠い」ことが指摘されており、外出困難な方にとって自宅近くからの移動手段の確保が重要である。
- ・ 外出困難な高齢者の移動課題は、家族の送迎負担の軽減と、自宅から利用できるデマンド型乗合タクシーの利便性向上に集約される。

	花園地区	笠田地区	見好地区	三谷地区	四郷地区	四邑地区	志賀地区	新城地区	大谷地区	天野地区	妙寺地区	不明
公共交通を利用できない		1									1	
公共交通がない	1											
家族・親戚の送迎					2	1					1	
送迎を頼みづらい				1							1	1
近所・友人の送迎											1	
タクシーがいい											2	
タクシー料金が高い			1	1							1	
ドアトゥドア希望		1	2								2	
デマンドが使いづらい			1									
使い方・乗り方がわからない		1										
デマンドの運行の充実			1									
デマンドの手続きが面倒		1	1									
コミバスがやりたい時間がない		2			1				1			
コミバスの運行の充実									1			
待ち時間が長い		1										
停留所（駅・バス停）が遠い	1	1	2						1		1	
外出を減らしている		1										
将来の不安											1	
近くにスーパーがない											1	
荷物の持ち運びが大変		1										
その他								1			4	

表8 公共交通や移動に関する要望・意見（一人で外出が困難な方）地域別

【その他の回答】

- 介護ヘルパーをお願いしているが、急に必要になった時に対応してもらえない時がある。
- 地域の会館に来てほしい。
- 今かつらぎ町でバス会社と交渉し補助金をバス会社に支払っている路線がある。（例、期間限定で、橋本駅→九度山道の駅→丹生官省符神社前→丹生酒殿神社→丹生都比神社→高野山駅間を各所に止まりバス代は利用者が他の補助金として和歌山県 40 万円丹生都比神社 40 万円支払っているようです。利用者は多く喜ばれている。3 ヶ月間の土日祝日のようです。バス会社は橋本の南海バスのようです。）

- 何をするにも人頼みになり、毎日の食事が心配。
- 介護保険を使って買い物連れて行ってもらったりして、ヘルパーさんに助けてもらっている。
- 近所の方々も高齢者が多く、困難な事があっても助けてもらえない。近所付き合いも減ってきている。

⑤ 運転免許証の状況や免許返納

■ 免許返納を検討している方のご意見

- ・ 免許返納を検討している主な動機は「家族に返納を勧められている」(9人)であり、家族からの働きかけが最も大きい。
- ・ 返納を妨げる最大の要因は「車がないと困る・移動手段がない」(7人)であり、代替移動手段の欠如が返納に踏み切れない理由となっている。
- ・ 免許返納を促進するためには、「車がないと困る」という不安を解消する代替移動手段、特に実証運行するデマンド乗合交通を自家用車に代わる手段として機能させることが不可欠である。

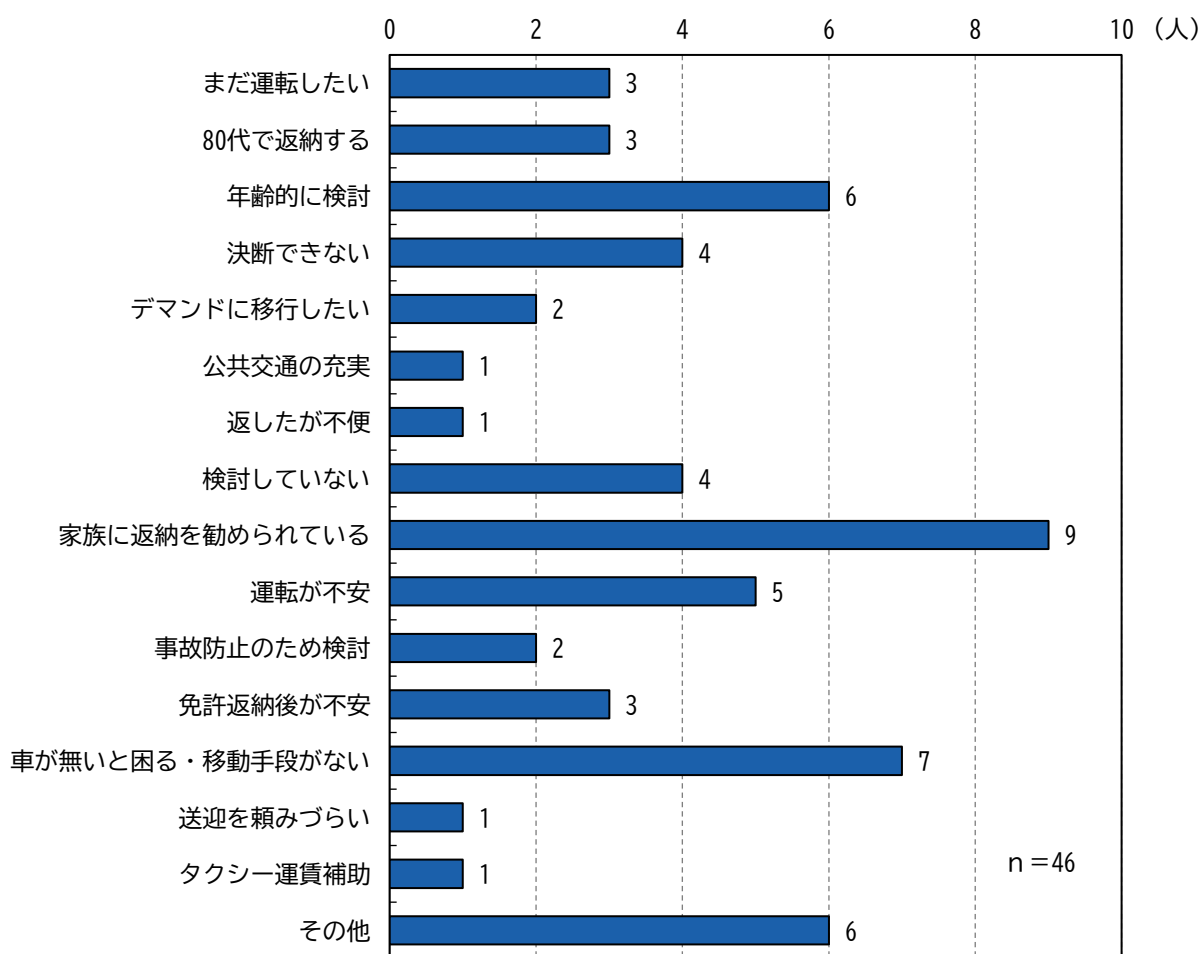


図 126 運転免許の返納を検討している方の意見

■ 運転免許の返納を検討している方の意見（地域別）

- ・ 「家族に返納を勧められている」という意見は妙寺地区と笠田地区で多く見られ、家族からの働きかけが主要な動機となっている。
- ・ 返納を妨げる要因としては「車がないと困る・移動手段がない」という意見が笠田地区と妙寺地区で多くみられ、代替移動手段の欠如が返納を妨げる最大の要因である。
- ・ 笠田・妙寺地区は、返納検討の動機と移動手段の不安の両方が集中しており、実証運行するデマンド乗合交通を自家用車に代わる移動手段として機能させることが、円滑な免許返納を促進する鍵となる可能性がある。

	花園地区	笠田地区	見好地区	三谷地区	四郷地区	四邑地区	志賀地区	新城地区	大谷地区	天野地区	妙寺地区
まだ運転したい					2						1
80代で返納する											3
年齢的に検討		2	2	1							1
決断できない		2									2
デマンドに移行したい			1						1		
公共交通の充実	1										
返したが不便											1
検討していない	2								1		1
家族に返納を勧められている		3		1	1						4
運転が不安		1	1	1							2
事故防止のため検討				1							1
免許返納後が不安		1					1				1
車が無いと困る・移動手段がない	1	3									3
送迎を頼みづらい		1									
タクシー運賃補助			1								
その他	1	1				1			1		2

表9 運転免許の返納を検討している方の意見・地域別

【その他の回答】

- 高齢者の方で検討している方は、近くにご家族が住んでいる方と思います。
- 自由に行き来したい(自分の都合に良い時)
- 車生活に慣れてきているので、出来るだけ便利な移動手段が欲しい。
- 地域の中心、会館などに来てほしい。
- 特になし。
- 特に聞いていません。

■ 免許返納をためらっている方の理由

- ・ 最も多い理由は「車がないと移動に困る・移動手段がなくなる」(37人)であり、代替移動手段の欠如が返納をためらわせる最大の要因となっている可能性がある。
- ・ 「スーパーが遠い」など、買い物といった生活維持のための移動手段として車が不可欠であるという具体的な理由が見られる。
- ・ 免許返納を促進するためには、自家用車に代わる移動手段を確保し、特に買い物といった生活維持に必要な移動を代替できるサービスを提供することが不可欠である。

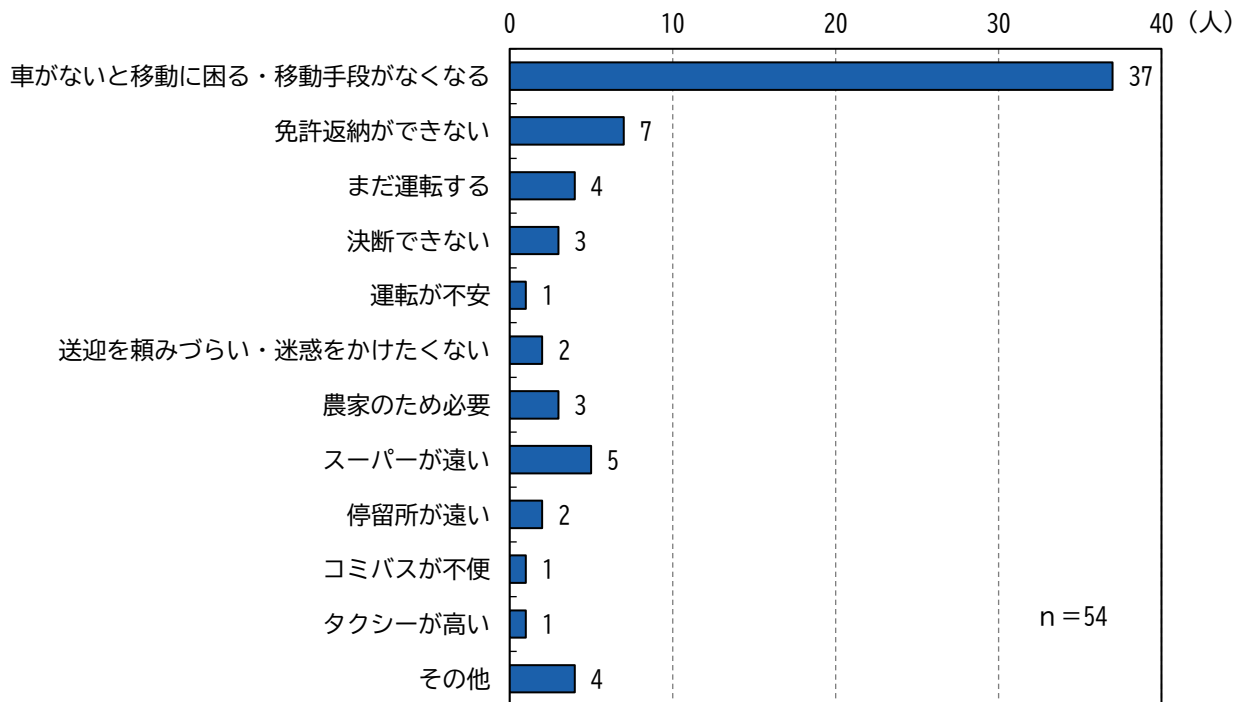


図 127 運転免許の返納をためらっている方の理由

■ 運転免許の返納を検討している方の意見（地域別）

- ・ 「車がないと移動に困る・移動手段がなくなる」という理由は、全ての地区で圧倒的な理由となっており、自家用車依存が町全体の構造的な課題である。
- ・ 妙寺地区は「車がないと困る」（10人）に加え、「スーパーが遠い」（3人）という買い物難民の問題の可能性がある。
- ・ 免許返納を促進するためには、地域を問わず自家用車に代わる移動手段を確保し、特に妙寺地区の買い物ニーズに対応できるサービスの提供が不可欠である。

	花園地区	笠田地区	見好地区	三谷地区	四郷地区	四邑地区	志賀地区	新城地区	大谷地区	天野地区	妙寺地区	不明
車がないと移動に困る・ 移動手段がなくなる	5	8	5	2	2	1	1	1	1	1	10	
免許返納ができない	1	1	1		1						3	
まだ運転する		1		1			1				1	
決断できない											3	
運転が不安		1										
送迎を頼みづらい・ 迷惑をかけたくない							1				1	
農家のため必要											2	1
スーパーが遠い		1									3	1
停留所が遠い	1								1			
コミバスが不便			1									
タクシーが高い				1								
その他					1				2		1	

表10 運転免許の返納をためらっている方の理由・地域別

【その他の回答】

- ヘキ地のため。
- 今のところなし。
- 山間地なので自由にできる。
- 特に聞いていません。

⑥ 自由意見

- ① **商業施設と交通の一体的課題**: 「妙寺」「スーパー」「買い物」が強く結びついており、公共交通の利便性向上だけでなく、町中心部への商業施設誘致が切実な要望として浮かび上がっている。
- ② **デマンドタクシーへの期待**: 「デマンド」「タクシー」「便利」「乗合」が一つに結びついており、実証運行中のデマンド乗合タクシー「かつらいど」に対する関心の高さと、本格運行への期待が示されている。
- ③ **橋本市への広域移動ニーズ**: 「橋本」「出来る」「生活」が結びつき、町内完結ではなく隣接する橋本市への定期的な移動手段(かつての路線バスのような交通)を求める声がある。
- ④ **高齢者の交通弱者化への懸念**: 「高齢」「人」「交通」「手段」「多い」が中心的となり、今後の高齢化進展に伴う移動困難者の増加を見据えた、持続可能な交通システムの必要性が強く認識されている。
- ⑤ **コミュニティバスの課題**: 「コミュニティ」「バス」「利用」「地区」が結びつく一方で、路線の地域間格差、便数の少なさ、バス停までのアクセス距離、利用実績の情報不足など、現行の課題に関する意見が多くあった。特に路線から外れた地域住民からは不公平感を伴う指摘が見られた。

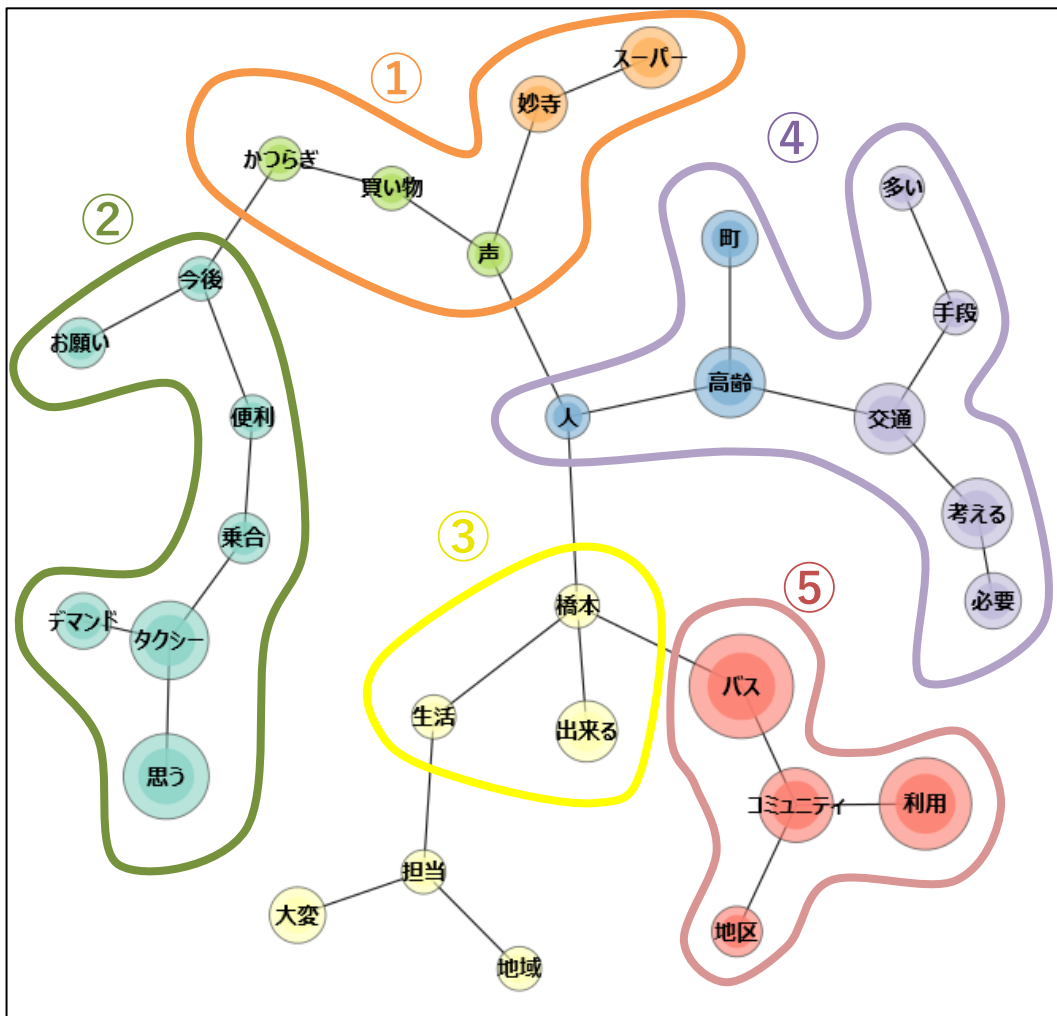


図 128 民生児童委員・サロン代表者自由意見 テキストマイニング

民生児童委員・サロン代表者自由意見（原文ほぼまま）

- 480号は車が大変多く、東谷から出る所は少し下りになっているので大変危ないと思います。出来れば押しボタン式の信号付けてほしいです。
- JR、30分に1本運行だともっと利用が増えると感じます。
- アンケートを頂いて、お1人お1人にお話を聞かせて頂けば、もっとくわしい事がわかるかと思うのですが、そうした機会もなく、こういうアンケートは民生委員の方がよくわかるのではと思いました。
- かつらぎ町にバス、タクシー等、買い物バスがありますが、高齢者の方からのお声では、使っている人はあまりないような気がします。買い物バスより、スーパー建築(妙寺に！！)が先ではないでしょうか！！
- かつらぎ町ほぼ中心の妙寺管内に、スーパー、ホームセンター等呼び込んで、同時に空き家に家族が…町の中のシャッターも上がり、中から買い物客の音が響き、子供たちの明るい声が聞こえ役場が忙しくなっている町でありたい。
- コミュニティバスは利用していない。理由は必要な時に便がない。(病院は予約していても待ち時間が長くて終了時間が予測できない)(80代)
- これから高齢化が進んで交通手段が不自由になる人が多くなるので、このような方法を考えていただけたらうれしいです。近い将来、自分もお世話になる日が来ると思います。
- タクシー代の補助や食料品などの宅配サービスのお願いなど。
- デマンドタクシーも隣町のスーパー迄行ってけると助かります。
- デマンド型乗合タクシーはとても便利で、今後も利用して行きたい。安く毎々使える様に、補助金をもっと出してほしい。
- デマンド乗り合い交通の実証実験後の本格施行を願っております。ドア to ドアの充実によって住みよい福祉社会の推進よろしくお願い致します。担当職員の皆様には鋭意お取り組み頂き感謝申し上げます。健康第一に今後ともご活躍をご祈念し、以上よろしくお願い致します。
- とにかく無料にして下さい。
- バスの発車回数をふやしてほしい。(地域差)
- スーパー前など、バスの停車停留所を設けてほしい。
- 閉店した松源やパーティーハウス跡など、ぜひとも複数の商店ができてほしい。”
- 安全安心して利用できるようにしてほしい。
- 手続きをやさしく、わかりやすく。”
- 以前のような路線バス(かつらぎ⇄橋本市)があれば、かなり生活しやすくなる。本数は減らしてでも常時使える交通手段があれば車の運転ができない高齢者にとって大変助かる。商業施設の誘致が無理ならば、せめて交通手段の確保をお願いしたい。人は食料がなければ生きられません！
- 以前国道24号線を走っていたように定期時刻にバスを走らせてもらえたらコミュニティバスの大きさを橋本駅→那賀バスセンター間を利用出来るようにコミュニティバスを拡大出来ないものでしょうか。
- 家から駅への距離を考えると公共交通の中では乗合タクシーが一番便利と思う。
- 近所と乗り合わせるには隣人がいないので難しいのではないかと。

- 移動販売店があれば利用したいが少量では来てもらいにくいようです。”
- 現在、町で試行的に計画している取り組みに興味を持っている方が多かったです。積極的に進めてください。
- 現在のコミュニティバス及び、デマンド型乗合タクシーの実績が全く分かりません。公報にのせてください。
- 個人でデマンドタクシーが利用できたらいいと思う。
- 御所地区については、コミュニティバス停まで遠く、タクシーを乗りこなせれば便利になると思う。コミュニティバスが通っていないところは不便。
- 交通機関も必要だが、自転車や徒歩で行けるスーパー等があればと考える。
- 交通費用を子供・75歳以上の高齢者を無料にしてほしい。
- 高野山、高野山駅に行くバスを考えて下さい。
- 高齢でも簡単に申し込みできるようにしてほしい。
- スーパーが妙寺に出来る事を願う。”
- 今のところ利用していないので、わからない。
- 最近ご近所付き合いが希薄になってきて、助け合う機会が減っている。もっとボランティアの心を育む取り組みが必要だと思う。
- 主旨はわかりませんが効果については疑問があります。
- 今のコミュニティバスの利用状況を考えてほしい。”
- 出来るだけ利用者を会員化し、会員の週間行動計画をパターン化して、利用者の生活リズムに組み込む。いちいち予約を取らなくてもいいように。
- 出来ればかつらぎ町内だけでなく、5日か一週間に一回でも橋本駅まで行ってくれる様なバス(乗り合いでも)があれば、大変嬉しいと思います。
- 将来的に自動運転交通システム等が導入されるにしても、道路の整備が必要と考えます。多くの費用と手間が必要ですが、かつらぎ町の特性を踏まえ、今後、既存の公道(里道含む)のみならず、私道等も整備、利用を図るべきと考えます。
- 乗合タクシー等、これから利用を考えておられる方のために各地域やサロンを通して説明会をしていただきたい。
- 町で高齢者に対し年間有効なタクシー券を発行したらどうですか。
- 鉄道もコミュニティバスもあまり利用していないのではと思います。
- 当該地区全般について承知していません。ご承知のとおり、全町にサロン会(35)他、高齢クラブがあると思います。是非出向されて勉強できれば、全設問に回答できると思います。おいで下さい。お待ち申します。すでに同意済でしょうが、民生児童委員さんが、担当地域の高齢者、特に独居老人の生活実態をリアルに把握されています。担当課のデータを参考されてはいかが？
- 妙寺駅は階段があり大変。大谷、中飯降は駐車スペースがない為無理ですよ！！
- 妙寺地区に商業施設が欲しい。
- 有鉄が運用していた、花岡地区内でのコミュニティバス運用。